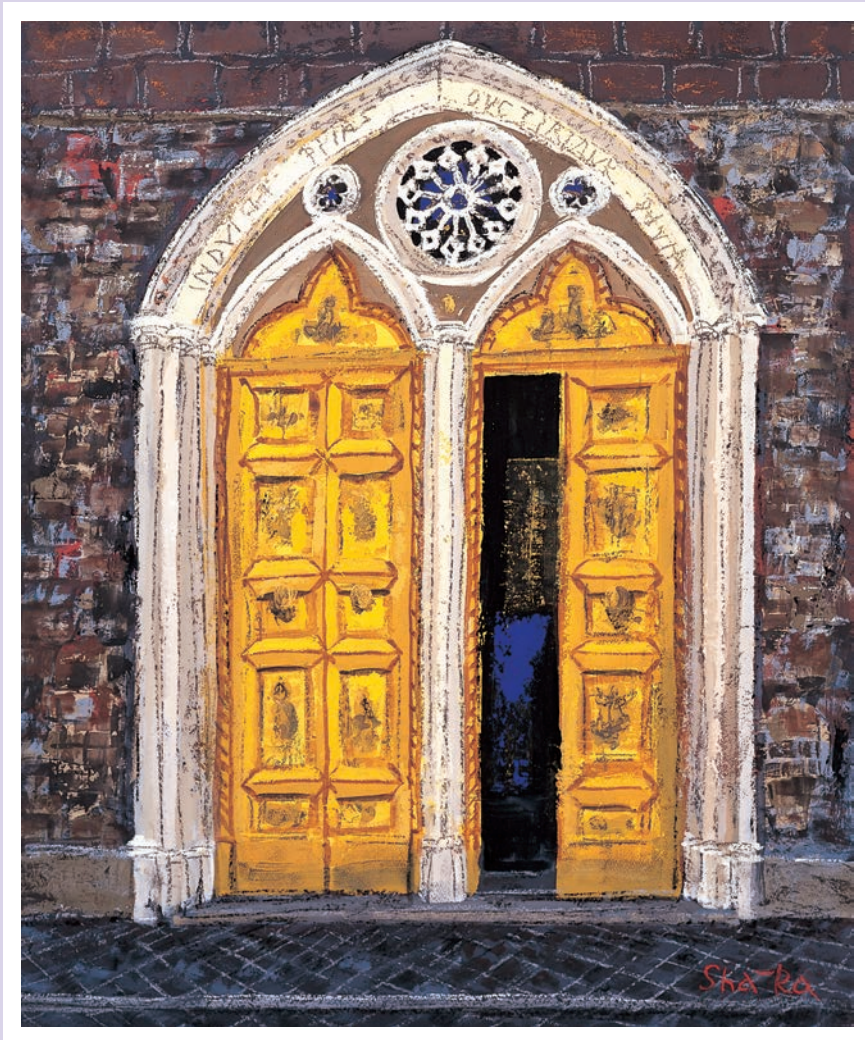



文部科学省認可通信教育

レポート課題集

3・4年次配当科目



2011

 東北福祉大学

レポート課題集

2011

3・4年次配当科目
特別支援学校免許状関連科目



東北福祉大学 通信教育部

目次

平成23年度 開始にあたって

1	平成23年度からの諸変更……………	8
2	平成23年度学年暦・ 科目修了試験日程…	16
3	平成23年度スクーリング開講予定 ……………	19
4	平成23年度オンデマンド・ スクーリング実施予定…	28
5	産業能率大学との間の「単位互換協定 にもとづく認定単位」スクーリング…	30

3・4年次配当科目

社会福祉学科関連専門科目

社会保障論	050107	……………	32
公的扶助論	050108	……………	36
社会福祉法制	050111	……………	39
～20 社会保険論	050112	……………	41
社会病理学	050114	……………	41
国際福祉論	050115	……………	41
ケアマネジメント論	050124	……………	42
～20 福祉施設管理論	050125	……………	45
～20 社会福祉援助技術論Ⅲ	050128	…	48
～20 社会福祉援助技術論Ⅳ	050129	…	51
～20 社会福祉援助技術演習Ⅱ	050131	……………	54
～20 社会福祉援助技術現場実習指導	050132	……………	59
～20 社会福祉援助技術現場実習	050901	…	65

精神保健福祉論Ⅲ	050135	……………	68
精神科リハビリテーション学	050139	……	70
精神医学	050140	……………	72
精神保健福祉援助演習	050141	……	75
精神保健福祉援助実習	050902	……	83
卒業研究	050991	……………	98
レクリエーション実技	050281	……	105
レクリエーション事業	050282	……	105

社会福祉学科 新カリキュラム関連科目

(注) 20年度以前入学者は履修できません。

新カリキュラム関連専門科目

掲載ページ……………	108		
社会調査の基礎	050073	……………	110
福祉経営論	050074	……………	111
保健医療サービス論	050075	……	113
就労支援サービス論	050076	……	116
福祉行財政と福祉計画	050080	……	117
社会福祉援助技術演習B	050083	……	119
社会福祉援助技術演習C	050084	……	126
社会福祉援助技術実習指導A	050190	…	134
社会福祉援助技術実習指導B	050191	…	138
社会福祉援助技術実習	050907	……	143
介護技術	050193	……………	146

福祉心理学科関連専門科目

認知心理学	050510	……………	150
学習心理学	050512	……………	153
児童青年心理学	050516	……………	156
老年心理学	050517	……………	160

障害児の心理 050518	164
心理療法 050520	168
心理療法各論 050521	174
労働法 050691	177
職場のメンタルヘルス 050692	179
卒業研究 050991	181

資格科目

障害児の生理・病理 050713	184
障害児の教育課程 050714	186
介護実習事前事後指導 050701	188
介護実習事前事後指導 (23~) 050741	195
介護実習 050903	196
総合演習 050709	202
教育実習の事前事後指導 050710	203
教育実習 050904	207
障害児教育実習の事前・事後指導 050716	213
障害児教育実習 050905	213

特講科目

特講・社会福祉学5 (社会福祉士国家試験対策講義) 050205	216
特講・社会福祉学6 (精神保健福祉士国家試験対策講義A) 050206	219
特講・社会福祉学7 (精神保健福祉士国家試験対策講義B) 050207	222

掲載順

3・4年次配当科目、特別支援学校教諭免許状関連科目(新法対応)に2分し、3・4年次配当科目は「社会福祉学科関連専門科目」「社会福祉学科 新カリキュラム関連科目」「福祉心理学科関連専門科目」「資格科目」「特講科目」に区分しました。

注

「社会教育学科」の方のみが卒業要件単位になる科目(生涯学習概論・教育社会学など)は掲載しておりません。『レポート課題集2007』をご覧ください。

特別支援学校教諭免許状関連科目

(注) 新法対応科目です

障害者教育総論 050718 (旧050717・720)	227
知的障害者の心理 050721	229
知的障害者の生理・病理 050722	232
肢体不自由者の心理、生理・病理 050723	235
病弱者の心理、生理・病理 050724	240
聴覚障害者の心理 050725	245
聴覚障害者の生理・病理 050726	248
知的障害教育 050727	250
肢体不自由教育 050719 (旧050728)	253
病弱教育 050729	257
聴覚障害教育 050730	262
病弱教育総論 050731	265
重複障害教育総論 050732	268
(軽度)発達障害者の心理 050733	271
(軽度)発達障害教育総論 050734	273
自閉症教育総論 050735	275
コミュニケーション障害教育 050736	277
視覚障害教育総論 050737	281
障害者教育実習の事前・事後指導 050740 (旧050738・739)	283
障害者教育実習 050906	289
特別支援教育支援員概論 050771	296

科目別索引

★平成21年度以降入学者のみ履修可

◆平成20年度以前入学者のみ履修可

1・2 の表記のあるものは、別冊の『レポート課題集 1・2年次配当科目』をご覧ください。

2007年版 の表記がある科目は『レポート課題集2007』を、また 2008年版 とあるものは、『レポート課題集2008』をご参照ください。

ア行

050079	★医学一般	1・2
050106	◆医学一般	1・2
050113	NPO論	1・2
050322	女の民俗	2007年版

カ行

050065	★介護概論	1・2
050120	◆介護概論	1・2
050193	★介護技術	146
050903	介護実習	196
050701	介護実習事前事後指導	188
050741	介護実習事前事後指導	23～195
050708	カウンセリング	1・2
050682	カウンセリングⅠ	1・2
050683	カウンセリングⅡ	1・2
050684	カウンセリングⅢ	1・2
050685	カウンセリング演習Ⅰ	1・2
050686	カウンセリング演習Ⅱ	1・2
050020	科学的な見方・考え方	1・2
050512	学習心理学	153
050010	数の世界	1・2
050515	家族心理学	1・2
050144	家族法	1・2
050504	環境心理学	1・2
050018	観光と文化	1・2
050012	基礎英作文	2008年版
050145	基礎演習	1・2
050301	教育原理	1・2
050306	教育史	2007年版
050904	教育実習	207
050710	教育実習の事前事後指導	203

050304	教育社会学	2007年版
050513	教育心理学	1・2
050706	教育方法論 (視聴覚教育等を含む)	1・2
050702	教職論	1・2
050124	ケアマネジメント論	42
050734	(軽度)発達障害教育総論	273
050733	(軽度)発達障害者の心理	271
050016	健康科学	1・2
050308	現代社会と社会教育Ⅰ	2007年版
050309	現代社会と社会教育Ⅱ	2007年版
050006	現代社会を見る眼	1・2
050323	考古学概論	2007年版
050110	公衆衛生学	1・2
050069	★更生保護制度論	1・2
050108	公的扶助論	36
050703	高等学校教育課程の意義と編成	1・2
050064	★高齢者福祉論	1・2
050117	◆高齢者福祉論	1・2
050115	国際福祉論	41
050019	子どもと社会	2008年版
050011	コミュニケーション英語	1・2
050736	コミュニケーション障害教育	277
050326	古文書学	2007年版

サ行

050680	産業カウンセリングⅠ	1・2
050681	産業カウンセリングⅡ	1・2
050687	産業心理学	1・2

050737	視覚障害教育総論……………	281	050905	障害児教育実習(旧法) ……	213
050719	(旧050728) 肢体不自由教育……………	253	050716	障害児教育実習の事前・事後指導 ……………	213
050723	肢体不自由者の心理, 生理・病理 ……………	235	050714	障害児の教育課程……………	186
050066	★児童・家庭福祉論……………	1・2	050715	障害児の指導法……………	1・2
050516	児童青年心理学……………	156	050518	障害児の心理……………	164
050116	◆児童福祉論……………	1・2	050713	障害児の生理・病理……………	184
050735	自閉症教育総論……………	275	050906	障害者教育実習(新法) ……	289
050312~5	社会教育演習Ⅰ~Ⅳ	2007年版	050740	(旧050738・739) 障害者教育実習の事前・事後指導 ……………	283
050305	社会教育行政論……………	2007年版	050718	(旧050717・720) 障害者教育総論……………	227
050307	社会教育計画……………	2007年版	050118	障害者福祉論……………	1・2
050303	社会教育史……………	2007年版	050311	生涯スポーツ論……………	2007年版
050514	社会心理学……………	1・2	050195	★障害の理解……………	1・2
050073	★社会調査の基礎……………	110	050502	生涯発達心理学……………	1・2
050114	社会病理学……………	41	050692	職場のメンタルヘルス……………	179
050130	◆社会福祉援助技術演習Ⅰ	1・2	050013	情報英語……………	2007年版
050131	◆社会福祉援助技術演習Ⅱ…	54	050332	情報処理Ⅰ……………	1・2
050082	★社会福祉援助技術演習A	1・2	050333	情報処理Ⅱ……………	2007年版
050083	★社会福祉援助技術演習B…	119	050334	情報処理Ⅲ……………	2007年版
050084	★社会福祉援助技術演習C…	126	050331	情報処理論……………	2007年版
050907	★社会福祉援助技術実習…	143	050327	史料講読……………	2007年版
050901	◆社会福祉援助技術現場実習 ……………	65	050511	人格心理学……………	1・2
050132	◆社会福祉援助技術現場実習指導 ……………	59	050690	人的資源論……………	1・2
050190	★社会福祉援助技術実習指導A ……………	134	050519	心理アセスメント……………	1・2
050191	★社会福祉援助技術実習指導B ……………	138	050501	心理学概論……………	1・2
050070	★社会福祉援助技術総論…	1・2	050508	心理学研究法Ⅰ……………	1・2
050126	◆社会福祉援助技術論Ⅰ…	1・2	050509	心理学研究法Ⅱ……………	1・2
050127	◆社会福祉援助技術論Ⅱ…	1・2	050505	心理学実験Ⅰ……………	1・2
050128	◆社会福祉援助技術論Ⅲ…	48	050506	心理学実験Ⅱ……………	1・2
050129	◆社会福祉援助技術論Ⅳ…	51	050507	心理学実験Ⅲ……………	2008年版
050071	★社会福祉援助技術論A…	1・2	050520	心理療法……………	168
050072	★社会福祉援助技術論B…	1・2	050521	心理療法各論……………	174
050104	社会福祉原論(職業指導を含む) ……………	1・2	050015	スポーツ(バードゴルフ)…	1・2
050111	社会福祉法制……………	39	050014	スポーツ(バレーボール)…	1・2
050112	社会保険論……………	2008年版	050194	★生活行動と人体……………	1・2
050107	社会保障論……………	32	050140	精神医学……………	72
050076	就労支援サービス論……………	116	050139	精神科リハビリテーション学 ……………	70
050302	生涯学習概論……………	2007年版	050136	精神保健……………	1・2
050711	障害児教育Ⅰ……………	1・2	050141	精神保健福祉援助演習…	75
050712	障害児教育Ⅱ……………	1・2	050138	精神保健福祉援助技術各論 ……………	1・2

050137	精神保健福祉援助技術総論	1・2
050902	精神保健福祉援助実習.....	83
050133	精神保健福祉論Ⅰ.....	1・2
050134	精神保健福祉論Ⅱ.....	1・2
050135	精神保健福祉論Ⅲ.....	68
050707	生徒指導論 (進路指導を含む).....	1・2
050005	生命の科学.....	1・2
050330	西洋美術史.....	2007年版
050324	先史考古学.....	2007年版
050001	禅のこころ.....	1・2
050709	総合演習.....	202
050688	組織心理学.....	1・2
050991	卒業研究.....	98・181

◀ タ 行 ▶

050105	地域福祉論.....	1・2
050727	知的障害教育.....	250
050721	知的障害者の心理.....	229
050722	知的障害者の生理・病理.....	232
050119	知的障害者福祉論.....	1・2
050730	聴覚障害教育.....	262
050725	聴覚障害者の心理.....	245
050726	聴覚障害者の生理・病理.....	248
050732	重複障害教育総論.....	268
050146	統計情報を見る眼.....	1・2
050321	東北の山岳信仰.....	2007年版
050705	特別活動の指導法.....	1・2
050771	特別支援教育支援員概論.....	296
050316	図書館概論.....	2007年版
050205~	特講・社会福祉学5~7	216~224
050210	特講・社会福祉学10 (スクール・ソーシャルワーク論).....	1・2
050608	特講・福祉心理学8 (ストレスとつきあう心理学).....	1・2
050611	特講・福祉心理学11 (受容と排斥の心理学).....	1・2

◀ ナ 行 ▶

050329	日本美術史.....	2007年版
050328	日本文化史.....	2007年版
050689	人間関係論.....	1・2
050017	人間と教育.....	1・2
050004	人間と宗教.....	2008年版
050510	認知心理学.....	150

◀ 八 行 ▶

050317	博物館概論.....	2007年版
050729	病弱教育.....	257
050731	病弱教育総論.....	265
050724	病弱者の心理, 生理・病理	240
050704	福祉科の指導法.....	1・2
050121	福祉機器論.....	1・2
050080	★福祉行財政と福祉計画.....	117
050074	★福祉経営論.....	111
050123	◆福祉計画法.....	1・2
050125	◆福祉施設管理論.....	45
050109	福祉思想論.....	1・2
050101	福祉社会学.....	1・2
050103	福祉心理学.....	1・2
050003	福祉と経済.....	1・2
050021	福祉と生活.....	1・2
050063	★福祉法学.....	1・2
050102	◆福祉法学.....	1・2
050142	福祉ボランティア活動.....	1・2
050143	福祉リスクマネジメント.....	1・2
050008	文学入門.....	1・2
050318	文化財概論.....	2007年版
050319	文化財の保護と活用.....	2007年版
050007	法の基礎 (日本国憲法を含む).....	1・2
050075	★保健医療サービス論.....	113
050002	ボランティア論.....	1・2

◀ マ・ラ 行 ▶

050320	民俗学概論.....	2007年版
050122	リハビリテーション論.....	1・2
050503	臨床心理学.....	1・2
050325	歴史考古学.....	2007年版
050009	歴史を見る眼.....	1・2
050280	レクリエーション概論.....	1・2
050282	レクリエーション事業.....	105
050281	レクリエーション実技.....	105
050310	レクリエーション論.....	2007年版
050691	労働法.....	177
050517	老年心理学.....	160

平成23年度 開始にあたって

- 1** 平成23年度からの諸変更
- 2** 平成23年度学年暦・科目修了試験日程
- 3** 平成23年度スクーリング開講予定
- 4** 平成23年度オンデマンド・スクーリング
実施予定
- 5** 産業能率大学との間の「単位互換協定に
もとづく認定単位」スクーリング

1 平成23年度からの諸変更

●平成23年度より新設する科目

下記の科目は皆さんの科目選択の幅を広げるために、新設するものです。希望者のみが履修すればよいものです。

科目名	単位数	配当学年	履修方法	学科配当・備考
特別支援教育支援員概論	2	2年以上	SR	福選・心B・教B
統計情報を見る眼	2	2年以上	RorSR	福選・心B・教B
心理療法各論	1	3年以上	R	心A
人間関係論	1	2年以上	S	福選・心A
組織心理学	1	2年以上	S	福選・心A
介護技術	2	3年以上	SR	21～福選・心B 福祉科免許状取得希望者向き 他の方は受講定員制 (p. 148)
生活行動と人体	2	2年以上	R	21～福選・心B
障害の理解	1	1年以上	R	21～福選・心B

学科配当・備考欄

福選 社会福祉学科＝専門選択科目 教B 社会教育学科＝専門選択科目B群
 心A 福祉心理学科＝専門選択科目A群 心B 福祉心理学科＝専門選択科目B群
 21～ 21年度以降入学者のみ履修可

●平成23年度後期より開設予定の科目

下記の3科目は、10月より新設予定で準備を進めておりますが、詳細は未定です。履修登録は8月ごろより可能となる予定です。今後詳細が決まり次第、『With』などでご案内いたします。

科目名	単位数	配当学年	履修方法	学科配当・備考
レクリエーション概論	2	2年以上	RorSR	福選・心B・教B
レクリエーション実技	2	3年以上	SR	福選・心B・教B
レクリエーション事業	1	3年以上	実習科目	福選・心B・教B

●スクーリング開講科目の増加

下記の科目は、履修方法を「R」から「RorSR」に変更し、スクーリングを開講します。

科目名	コマ数	スクーリング単位	教科書対応
人格心理学	12	2	21年度以降配本分
認知心理学	12	2	23年度以降配本分
発達障害者の心理	6	1	19年度以降配本分

なお、「発達障害者の心理」は現在、平成19（2007）年度入学者以降の社会福祉学科専門選択科目ですが、23年度より社会教育学科・福祉心理学科専門選択科目B群の科目としても位置づけられます。

●「心理学実験Ⅰ」の平成23年度東京・平成24年度札幌スクーリング開講について

「心理学実験Ⅰ」は平成21年度まで仙台でのみ開講しておりましたが、平成23年度東京・平成24年度札幌でもスクーリングを開講する予定です。

なお、「心理学実験Ⅱ」「心理学研究法Ⅱ」は現在のところ仙台以外での開講予定はありません。

●スクーリング開講の隔年化

「スポーツ（バレーボール）」「スポーツ（バーンゴルフ）」「歴史を見る眼」「観光と文化」「リハビリテーション論」「福祉機器論」「ケアマネジメント論」「社会福祉法制」「家族法」「福祉リスクマネジメント」のスクーリングは隔年開講とさせていただきます。スクーリングを開講した翌年度は開講されず、翌々年度に開講予定ですので、ご了承ください。

また、「カウンセリングⅠ・Ⅱ カウンセリング演習Ⅰ・Ⅱ 産業カウンセリングⅠ・Ⅱ」「人的資源論」「組織心理学」なども平成24年度以降隔年開講とする予定です。

なお、その他のスクーリング開講科目も毎年開講されるとは限りませんので、ご了承ください。

●他大学との間の「単位互換協定にもとづく認定単位」について

平成23年度より、本学と単位互換協定を締結している他大学（産業能率大学、学都仙台コンソーシアムに加入する大学）の授業科目（主としてスクーリング）を履修し、単位を修得した場合、本学通信教育部の授業科目によって修得したものとみなし、卒業に必要な単位に算入できる制度を開始いたします。

制度については、『With』72号 p. 67、または『学習の手引き2011』1章を参照してください。具体的な科目や申込方法は、『With』74号以降でご案内します（p. 30に速報掲載）。

●平成23年度の特講科目の開講予定と履修期限

23年度も今年度とは別科目の「特講・社会福祉学」「特講・福祉心理学」を開講します。特講科目は、ある1つのテーマについてよりくわしく学んでいただくために毎年設定しているものです。S科目（スクーリング必修科目）となります。皆さんの興味関心に応じて、希望者のみが履修すればよいものです。

来年度の開講予定科目は下記のとおりです。23年度に開講予定の下記の特講科目は、「特

講・社会福祉学5～7」を除き、24年度は開講されません。

下記注1・2の変更にもご注意ください。

科目名（講義名は仮称です）	開講日	開講地
特講・社会福祉学5（社会福祉士国家試験対策講義）	6/11・10/29・30	仙台
特講・社会福祉学6（精神保健福祉士国家試験対策講義A）	6/11・12	仙台
特講・社会福祉学7（精神保健福祉士国家試験対策講義B）	10/29・30	仙台
特講・社会福祉学10（スクールソーシャルワーク論）	H24 3/3・4	仙台
特講・福祉心理学8（ストレスとつきあう心理学）	6/4・5	仙台
特講・福祉心理学11（受容と排斥の心理学）	8/13・14	仙台

（注1） 特講科目のスクーリング申込みを不要とするのは、平成23年度より開講年度とその前年度に履修登録した方のみとします。それ以外の年度の履修登録者は別途書面で受講の有無をお伺いいたします。

（注2） 平成23年度は、「特講・社会福祉学5（社会福祉士国家試験対策講義）」と「特講・社会福祉学6・7（精神保健福祉士国家試験対策講義）」は、共通の講義内容が含まれるため、同時に履修できません。

※「特講・社会福祉学6・7（精神保健福祉士国家試験対策講義）」（6=6/11・12, 7=10/29・30）の両方、またはいずれかを履修する方は「特講・社会福祉学5（社会福祉士国家試験対策講義）」（6/11・10/29・30）の履修はできません。

●平成23年度休講科目のお知らせ

国際福祉論：教員海外出張のため、平成23年度は開講いたしません。22年度までの履修登録者も3月5日以降レポートを提出することはできません。4課題レポートを提出した方の科目修了試験受験は5月までのみ可能です。

平成24年度以降に新規履修登録受付やレポート提出、科目修了試験受験は再開します。

社会病理学：平成23年度は開講いたしません。22年度までの履修登録者は7月1日以降レポートを提出することはできません。『レポート課題集2010（3・4年次）』記載の課題を解答してください。4課題レポートを提出した方の科目修了試験受験は7月までのみ可能です。平成24年度以降の開講再開時期は現時点では未定です。

カウンセリングⅢ：平成23年度以降の開講予定はありません。

産業心理学：平成23年度以降の開講予定は現時点では未定です。

●産業カウンセラー受験資格取得カリキュラムの確定について

最終的なカリキュラムは『With』73号p.72～74、または『学習の手引き2011』3章を参照してください。

●認定心理士取得に関するカリキュラムの変更

22年度以前入学者に行っていた、「福祉心理学科」を卒業すれば必ず認定心理士の必要単

位数を満たすというご案内ができなくなりました。福祉心理学科 専門選択科目A群のなかの「認知心理学」「環境心理学（平成14～17年度入学者は社会心理学）」「家族心理学」のうちいずれか1科目を単位修得するなど、認定心理士取得要件のための「5領域中3領域が各4単位以上」を満たすことが必要になります。

くわしくは『With』72号 p. 65～66、または『学習の手引き2011』3章を参照してください。

●精神保健福祉援助実習の申込締切の変更

平成23・24年度の2年間は、平成20年度以前入学者も平成21年度以降入学者も、8月末・11月末のいずれの時期の実習申込みも可能となりました。

平成25年度からは、平成20年度以前入学者も平成21年度以降入学者も8月末実習申込みが廃止され、11月末の実習申込みのみとなる予定です。

●精神保健福祉士国家試験科目の変更の予定

現時点では、平成24年度の入学者から国家試験受験指定科目が変更になる予定ですが、現在の在学学生は、卒業までは現在の指定科目で受験資格は取得できます（平成24年度以降に再入学・学籍変更を行う場合を除く）。また、平成25年の国家試験より精神保健福祉士国家試験の科目が変更になる予定です。詳細は法改正待ちです。

●高校福祉科教職免許状希望者への重要なお知らせ

- 1) 「教職実践演習」を受講することが必要な方は、年度末に「履修カルテ」の作成が必要になります。

該当者は『With』72号 p. 102～103、または『学習の手引き2011』3章を参照して登録（「履修カルテ」申込）作業をおこなってください。

- 2) 現行法規で高校福祉科教職免許状を取得するための期限が定められます

平成23年度の入学者より、高校福祉科教職免許状を取得するための必要科目数が文部科学省の「教育職員免許法施行規則」改正（H22. 3. 31文部科学省令9号）により、変更になります。法令上の必要科目に「人体構造及び日常生活行動に関する理解」「加齢及び障害に関する理解」の2科目が加わります。そのための本学での開設科目は『学習の手引き2011～平成21年度以降入学者用』3章に記載のとおりですが、**変更は平成23年度入学者からのみ適用**となります。ただし、下記の方はご注意ください。

- ①平成22年12月現在在学の、正科生で5条別表1で福祉科免許取得予定の方へ

卒業までに必要な単位を修得し、免許の申請を行えば、平成22年度以前入学者の

科目で免許状が取得できます。

ただし、途中で科目等履修生になるなど、再入学手続きを行うと、平成26年3月31日までに必要な単位を修得し、免許の申請を行わないと、平成22年度以前入学者の科目では免許状が修得できなくなります。

②平成22年12月現在在学の、科目等履修生で5条別表1で福祉科免許取得予定の方へ

平成26年3月31日までに必要な単位を修得し、免許の申請を行わないと、平成22年度以前入学者の科目では免許状が取得できなくなります。ご注意ください。

③平成22年12月現在在学の、高等学校教職免許状をお持ちの方で「6条別表4（教育職員検定）」で福祉科免許取得予定の正科生・科目等履修生の方へ

平成22年度中に学習を終え、申請されることを推奨いたします。平成23年度以降に申請予定の方は、各自で何年度までの申請ならば、平成22年度以前入学者の科目で修得できるかを申請予定の都道府県教育委員会に確認してください。

●特別支援教育支援員基礎講座（大学認定資格）の開設について

小・中学校において障害のある児童生徒に対し、発達障害の児童生徒に対し学習活動上のサポート、食事、排泄、教室の移動補助等学校における日常生活上の介助や健康・安全確保、まわりの児童生徒に対する障害理解の促進を行ったりする「特別支援教育支援員」に注目が集まっています（くわしくは文部科学省ホームページ参照）。

本学では平成19年度より「特別支援教育支援員の養成プログラム」を開発・実施しておりますが、23年度より通信教育の方法で、基礎講座を開講し、基礎講座修了証明書を発行します（東北福祉大学認定）。支援員は自治体によっては「指導補助員」「介助員」「学習支援員」等の名称で呼ばれ、多くの場合非正規雇用ですが、その応募の際に「特別支援教育支援員養成基礎講座修了（東北福祉大学）」と履歴書に書いていただくことが可能です。

現在「特別支援教育支援員」に携わっている方も、これから「支援員」をめざす方にも適したカリキュラムとなっております。

《修了の方法》

正科生または科目等履修生として、必修科目「特別支援教育支援員概論」（2単位＝スクーリング必修科目）、「知的障害教育」（4単位）、「肢体不自由教育」（2単位）、「発達障害者の心理」（2単位）の4科目10単位、選択科目として「コミュニケーション障害教育」（2単位）、「病弱教育」（2単位）、「聴覚障害教育」（4単位）、「自閉症教育総論」（2単位）、「教育心理学」（2単位）、「視覚障害教育総論」（2単位）のなかから1科目2単位以上選択、合計12単位以上の単位取得後、通信教育部に申請をすれば「修了証明書」を発行します。

修了証明にあたって大学卒業や教職免許状は不要ですが、「特別支援教育支援員」応募・採用にあたっては大学卒業や教職免許状が求められることもあります。

●科目等履修生の継続手続きに関する変更事項

文部科学省の教職免許法改正通知などにより、現在、在籍期限が1年である科目等履修生について、在籍継続を申し出された場合に入学年度の適用カリキュラムが永久に続くのは、正科生に比して矛盾が生じる事態となりました。

つきましては、平成23年5月現在在籍しているすべての科目等履修生（10月生を含む）は、約3年後の平成26年3月末まで在籍継続した場合、平成26年3月末で一度現在の学籍を修了扱いとさせていただきます。

平成26年4月以降も継続はできませんが、別途再度の出願手続きが必要になり、適用カリキュラムは平成26年度入学者と同じになります。旧養護学校の旧法カリキュラムでの特別支援学校免許状取得希望者、高等学校教諭一種免許状（福祉）の現在までのカリキュラムでの取得希望者は、平成26年3月末までに必要単位を取得しないと、平成26年度入学者のカリキュラムでの免許状取得となります。ご注意ください。

また、平成26年4月以降の継続にあたっては在籍更新料30000円が授業料以外に必要なになります。さらに、3年間在籍継続を行うごとに在籍更新料30000円と再度の出願手続きが必要になる予定です。

●科目等履修生の学習期限の特例

4月生・科目等履修生の学習期限は2月末、10月生・科目等履修生の学習期限は8月末ですが、下記のケースは3月のスクーリング受講を認めます。

毎年3月末のスクーリングを4月生・科目等履修生が履修する場合 翌年度の履修登録科目として手続きを早めに行えば、その科目のスクーリングは受講可とします。

●スクーリング受講料の返金について

学内財務部などの指導により、来年1月開講の冬期スクーリングⅡの事前連絡済み欠席者のスクーリング受講料返金にあたっては、コンビニエンスストアで受講料を納入いただいた際の領収書原紙（青色の払込受領書）を貼付いただくことになりました。

くわしくは『With』72号 p. 69～70、または『学習の手引き2011』8章を参照してください。

●休学費の納入方法の変更

学内財務部などの指導により、平成23年度の休学受付より、休学費10,000円の納入につ

いては、現金書留の納入をご遠慮いただくことになりました。休学許可願を学生の方にご提出いただいた後、休学費10000円の納入依頼書を送付いたし、コンビニエンスストアで納入いただくことになりました。

なお、平成23年度の休学に関しては、移行期間として現金書留での納入も受け付けます。

●平成23年度からのレポート課題変更科目

平成23年度は、約20科目のレポート課題が見直しされました。変更のあった課題は、この『レポート課題集』に表示のとおりです。

『レポート課題集2009』掲載の課題も2011年9月まで、『レポート課題集2010』掲載の課題も2012年9月までは提出できますが、これから学習に取り組む方は今年度の課題で提出してください。

なお、高等学校教諭一種免許状（福祉）のための科目として「老年心理学」を使用できるのは、平成23年度以降の履修登録、レポート課題、スクーリング、科目修了試験にもとづいて平成23年度以降に単位修得した方のみです。

なお、21年度より一部科目の一部課題について、スクーリング受講者に対して、希望により解答可能な専用レポート（通称「別レポート」）を配布いたしています。その詳細や実施科目は、『レポート課題集2010（1・2年次）』p.17～18にありますので、ご確認ください。

●平成23年度からの教科書変更科目

平成23年度に教科書が変更になる科目は、巻末「教材購入申込書」一覧のとおりです。また、『レポート課題集』本文中にも注記があります。教科書が変わった科目についても、平成22年度の教科書・レポート課題にもとづいて学習を継続することができます。1・2単位めを変更前の教科書で、3・4単位めを変更後の教科書にもとづいて、レポートを提出することも可能です。

また、スクーリングを受講する場合は、変更後2年以内ならば新しい教科書にもとづいて授業を進めることが多くなります。

変更後の教科書は本学より配本しませんので、必要に応じてご自身で購入ください（購入の義務はありません）。巻末の「教材購入申込書」を利用し、代金分の郵便小為替を同封のうえ、お申込みいただければ通信教育部から郵送いたします。通信教育部窓口での購入はできません。

申込書到着日	発送予定日
2月26日～3月10日	3月30日
3月11日～4月10日	4月20日
4月11日～5月10日	5月20日

変更後の教科書の出来遅れにより、上記より発送が遅れる場合がございますが、『With』などでご案内いたします。

●平成23年度担当教員の変更

平成23年度にレポートを添削したりスクーリングで授業を行う担当教員が変更になる科目は「認知心理学」「地域福祉論」の2科目です。新しい担当教員については、レポート課題集をご覧ください。

「福祉社会学」「知的障害者福祉論」は前期のみ担当教員が変更になります。

「★福祉経営論」「◆福祉施設管理論」は長岡でのスクーリングのみ担当教員が変更になります。

また、「心理学概論」など科目によっては、担当教員以外のレポート添削指導者がレポートを添削いたすこともあります。スクーリングは、担当教員が開講します。

●スクーリングの会場担当者について

各地でのスクーリング実施にあたっては、会場での出席確認や試験監督などを通信教育部卒業生など本学が適当と認めた方が担当することもあります。ご了承ください。個人情報保護などの守秘義務は徹底していますが、何かお気づきの点があれば通信教育部までご連絡ください。

●2011年版「履修希望科目登録用紙（OCR）」の記入上のご注意

- 1) 社会教育学科のみが卒業単位になる科目、旧法の特別支援学校免許状履修者で「障害児の心理」以外の科目、「病弱教育総論」は、2011年版のOCR用紙に記載がないので、科目名・単位数をまちがいなく、右下の「その他の科目欄」に記載してください。
- 2) 「レクリエーション概論」「レクリエーション実技」「レクリエーション事業」の3科目は、2011年版のOCR用紙に記載がありますが、7月ごろまでは履修登録できません。『With』での案内が出てから、履修が可能となります。
- 3) 「介護技術」のスクーリングは、高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望者が優先となります。それ以外の方は抽選となります。履修登録者が全員受講できない可能性がありますので、その旨ご了承の上、履修登録をおこなってください。
- 4) 正科生で超過履修費（1単位あたり5,000円）の納入が必要なことを了解している方は、2011年版OCR用紙右上の該当欄にチェックを入れてください。
- 5) 「発達障害者の心理」はOCRに表記できませんでしたが、どの年度の入学者も「社会福祉学科＝専門選択科目、社会教育学科および福祉心理学科＝専門選択科目B群」の科目として、卒業単位に算入することが可能になります。

2 平成23年度学年暦・科目修了試験日程

●平成23年度学年暦 4月中旬の『試験・スクーリング 情報ブック2011』刊行後は、
そちらが最新の日程となります。(◆=平成20年度以前入学者対象 ★=平成21年度以降入学者対象)

年	月	スクーリング	科目修了試験・卒業試験・ 卒業研究・特講科目履修締切	『With』 発行予定	
23	3	3 / 4 (金) 〔障害者 (児)〕教育実習の事前指導 (3 / 26・27) 申込締切		3 / 25(金) 74号 『With』の最新の発行予定は前号の『With』の目次末参照	
		3 / 15(火) ◆社会福祉援助技術演習Ⅱ・★演習B・精神保健福祉援助演習 申込締切			
	4	申込締切 3 / 17(木) → 4 / 9(土)~24(日) 納入期限 3 / 31(木) 春期スクーリングⅡ	4 / 5(火) 卒業研究申込締切	4 / 21(木) 第1回試験申込締切	4 / 30(土) 75号
	5	申込締切 4 / 7(木) → 4 / 29(金)~5 / 15(日) 納入期限 4 / 21(木) 春期スクーリングⅢ		5 / 7(土) or 8(日) 第1回試験	
		申込締切 4 / 27(木) → 5 / 20(金)~6 / 13(月) 納入期限 5 / 12(木) 春期スクーリングⅣ		5 / 10(火) 特講・心理8・ 社福5・6締切	
		5 / 31(火) ◆社会福祉援助技術演習Ⅰ・★演習A 申込締切			
	6	申込締切 5 / 26(木) → 6 / 18(土)~7 / 10(日) 納入期限 6 / 9(木) 夏期スクーリングⅠ	6 / 2(木) 第2回試験申込締切	6 / 18(土) or 19(日) 第2回試験	6 / 1(木) 76号
		6 / 23(木) 介護実習事前指導 (7 / 16~18) 申込締切			
	7	7 / 6(木) 障害者 (児) 教育実習の事前指導 (7 / 30・31) 申込締切	7 / 7(木) 特講・心理11・ 社福7締切	7 / 14(木) 第3回試験申込締切	7 / 29(金) or 30(土) or 31(日) 第3回試験
		申込締切 6 / 23(木) → 7 / 16(土)~29(金) 納入期限 7 / 7(木) 夏期スクーリングⅡ			
	8	申込締切 7 / 7(木) → 7 / 30(土)~8 / 14(日) 納入期限 7 / 21(木) 夏期スクーリングⅢ		8 / 25(木) 第4回試験申込締切	8 / 1(月) 77号
		申込締切 7 / 21(木) → 8 / 15(月)~28(日) 納入期限 8 / 4(木) 夏期スクーリングⅣ			
		8 / 31(火) ◆社会福祉援助技術現場実習・★精神保健福祉援助実習 申込締切			
	9	申込締切 8 / 11(木) → 9 / 2(金)~11(日) 納入期限 8 / 25(木) 夏期スクーリングⅤ		9 / 10(土) or 11(日) 第4回試験	9 / 22(木) 78号
		9 / 15(木) ◆社会福祉援助技術演習Ⅱ・★演習B・精神保健福祉援助演習 申込締切		9 / 24(土) 9月卒業生卒業日	
		申込締切 8 / 25(木) → 9 / 17(土)~10 / 2(日) 納入期限 9 / 8(木) 秋期スクーリングⅠ	9 / 30(金) 特講・社福7 (10月生) 締切		

年	月	スクーリング	科目修了試験	『With』 発行予定	
24	10	申込締切 9 / 15(木) → 10 / 8 (土)~23(日) 納入期限 9 / 29(木) 秋期スクーリングⅡ	10 / 5 (木) 卒業研究申込締切 10 / 13(木) 第 5 回試験申込締切 ↓ 10 / 29(土) or 30(日) 第 5 回試験	『With』 発行予定	
		申込締切 10 / 11(火) → 10 / 29(土)~11 / 13(日) 納入期限 10 / 25(火) 秋期スクーリングⅢ			
	申込締切 10 / 27(木) → 11 / 19(土)~27(日) 納入期限 11 / 10(木) 秋期スクーリングⅣ				
	11 / 30(木) 社会福祉援助技術(現場)実習・精神保健福祉援助実習 申込締切	11 / 24(木) 第 6 回試験申込締切			
	11 / 30(木) ◆社会福祉援助技術演習Ⅰ・★演習 A 申込締切	↓			
	12	申込締切 11 / 10(木) → 12 / 3 (土)~18(日) 納入期限 11 / 24(木) 冬期スクーリングⅠ	12 / 10(土) or 11(日) 第 6 回試験		11 / 5 (土) 79号
	12 / 12(月) 介護実習事前指導 (1 / 7 ~ 9) 申込締切				
	申込締切 12 / 1 (木) → 12 / 23(金)~28(木) 納入期限 12 / 15(木) 冬期スクーリングⅡ				
	1	申込締切 12 / 12(月) → 1 / 7 (土)~29(日) 納入期限 12 / 26(月) 冬期スクーリングⅢ	1 / 5 (木) 第 7 回試験申込締切 ↓ 1 / 21(土) or 22(日) 第 7 回試験		
	1 / 6 (金) 特講・社福10締切				
	1 / 11(木) 3月卒業者 初回レポート提出締切	1 / 25(木) 81号			
	2	申込締切 1 / 12(木) → 2 / 4 (土)~19(日) 納入期限 1 / 26(木) 冬期スクーリングⅣ	2 / 9 (木) 第 8 回試験申込締切 ↓ 2 / 25(土) or 26(日) 第 8 回試験		
3	3 / 1 (木) (障害者(児))教育実習の事前指導 (3 / 24・25) 申込締切				
申込締切 2 / 9 (木) 3 / 2 (金)~20(火) 納入期限 2 / 23(木) 冬期スクーリングⅤ					
3 / 15(木) ◆社会福祉援助技術演習Ⅱ・★演習 B・精神保健福祉援助演習 申込締切					
申込締切 3 / 1 (木) → 3 / 24(土)~4 / 1 (日) 納入期限 3 / 15(木) 2011春期スクーリングⅠ	3 / 23(金) 3月卒業者卒業日	3 / 23(金) 82号			

●科目修了試験日程

会場確保の都合上、日程や開催地が変更される場合がございますが、ご了承ください。
 なお、4月発行の『試験・スクーリング 情報ブック2011』刊行後は、そちらが最新のデータとなります。

回	レポート提出期限 申込締切日	日時 (集合は開始の15分前)	開催地 (予定=変更される場合があります)
第1回	4/21(木)必着 または 4/18(月)消印有効 申込案内： 『With』74号	5/7(土)13:45～	札幌・青森・秋田・山形・福島・さいたま(川口)・名古屋・福岡・奄美
		5/8(日)10:00～	仙台・帯広・盛岡・水戸・東京・新潟・大阪
第2回	6/2(木)必着 または 5/30(月)消印有効 申込案内： 『With』75号	6/18(土)13:45～	仙台・釧路・旭川・青森・郡山・水戸・横浜・長岡・長野・大阪・広島・奄美・那覇
		6/19(日)10:00～	札幌・函館・盛岡・秋田・山形・いわき・小山・東京・静岡・新潟・福岡
		6/19(日)13:45～	千葉
		6/19(日)15:00～	仙台〔※当日のスクーリング受講者のみ受験可〕
第3回	7/14(木)必着 または 7/11(月)消印有効 申込案内： 『With』76号	7/29(金)15:00～	仙台
		7/30(土)9:15～	仙台・札幌
		7/30(土)13:45～	酒田・宇都宮・横浜・長岡・大阪・那覇
		7/31(日)10:00～	東京
		7/31(日)13:45～	盛岡
		7/31(日)16:00～	仙台
第4回	8/25(木)必着 または 8/22(月)消印有効 申込案内： 『With』77号	9/10(土)13:45～	仙台・札幌・釧路・八戸・宮古・秋田・福島・水戸・さいたま(川口)・名古屋・広島・福岡・奄美
		9/11(日)10:00～	旭川・函館・盛岡・山形・いわき・宇都宮・東京・新潟・長野
		9/11(日)13:45～	仙台・横浜
第5回	10/13(木)必着 または 10/10(月)消印有効 申込案内： 『With』78号	10/29(土)13:45～	帯広・青森・山形・郡山・さいたま(川口)・千葉・長岡・富山・福岡・奄美
		10/30(日)10:00～	札幌・盛岡・秋田・水戸・東京・新潟・静岡・大阪
		10/30(日)14:45～	仙台
		10/30(日)16:30～	仙台〔※当日のスクーリング受講者のみ受験可〕
第6回	11/24(木)必着 または 11/21(月)消印有効 申込案内： 『With』79号	12/10(土)13:45～	旭川・函館・盛岡・酒田・小山・横浜・岡山・那覇
		12/11(日)10:00～	札幌・青森・宮古・郡山・東京・新潟・名古屋
		12/11(日)13:45～	仙台
		12/11(日)16:30～	仙台〔※当日のスクーリング受講者のみ受験可〕
第7回	1/5(木)必着 または 12/28(水)消印有効 申込案内： 『With』80号	1/21(土)13:45～	札幌・八戸・秋田・福島・水戸・横浜・富山・広島・奄美
		1/22(日)10:00～	仙台・帯広・旭川・弘前・盛岡・山形・いわき・宇都宮・東京・新潟・浜松・大阪・福岡
第8回	2/9(木)必着 または 2/6(月)消印有効 申込案内： 『With』81号	2/25(土)13:45～	釧路・函館・盛岡・山形・郡山・小山・千葉・横浜・大阪・福岡
		2/26(日)10:00～	仙台・札幌・青森・秋田・水戸・新潟
		2/26(日)13:45～	東京

3 平成23年度スクーリング開講予定（開講地域別）

2月10日時点の平成23年度スクーリング開講予定です。やむをえない事情により、ここに掲載した開講日程・開講場所を変更させていただくことがあります。『With』73号より変更になった科目もございますが、ご了承ください（「社会心理学 川口VTR」など）。

今回は、①仙台 開講予定科目（科目別 分野別）、②札幌・帯広 開講予定科目（開講日順）、③盛岡・青森・秋田・山形 開講予定科目（開講日順）、④関東地方 開講予定科目（開講日順）、⑤新潟・長岡・郡山 開講予定科目（開講日順）に掲載しています。

4月上旬発行の『試験・スクーリング 情報ブック2011』発行後は、そちらが最新となります。その他、注意点は下記のとおりです。

- (1) 同じ科目で2度以上開講される場合は、どちらか一方を受講していただければ結構です。
- (2) スクーリング開講時間は、『試験・スクーリング 情報ブック2011』で発表します。時間が重なっていない科目（同一日でa bの記載のある科目）は、同時に受講できます。
- (3) 開講地欄に、「札幌 配信」などと表示のある科目は、仙台でのスクーリングをインターネットで同時中継し、東京会場、札幌会場、盛岡会場、新潟会場で受講することができます（インターネット配信授業）。ただし、会場の都合により、インターネット配信授業が実施できなくなることもありますので、ご了承ください。
- (4) 開講地欄（または科目名）にVTRとある科目はビデオ・スクーリングです。ビデオ・スクーリングで修得した単位は10単位までのみ卒業に必要なスクーリング単位として算入できます。
- (5) 自宅で受講できるオンデマンド型授業の実施予定科目はp. 28～29「4 オンデマンド型授業実施予定」記載のとおりです。それ以外の科目は現在のところ実施予定はありません。
- (6) 「介護技術」のスクーリングは、高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望者が優先となります。受講定員制のため、それ以外の方は抽選となり受講できない可能性があります。
- (7) 旧・新欄の凡例は下記のとおりです。科目属性をあらわす概略とお考えください。

◆＝平成20年度以前入学者受講可

★＝平成21年度以降入学者受講可

心理＝福祉心理学科関連科目（全学生履修可） 共通＝共通基礎科目（全学生履修可）

高福祉＝高等学校教諭一種免許状（福祉）関連科目

支援員＝特別支援教育支援員基礎講座科目

特支＝特別支援学校教諭一種免許状関連科目（発達障害者の心理、事前指導を除き原則として19年度以降入学者のみ履修可）

■仙台 社会福祉士・精神保健福祉士指定科目（一部関連科目）

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
◆	★	福祉心理学	6/25・26	仙台	1	6	1年以上
			12/10・11	仙台 VTR			
◆	★	福祉社会学 VTR	8/8~10	仙台 VTR	2	12	
◆		高齢者福祉論	4/30~5/2	仙台(一部VTR)	2	12	
			11/19・20+12/17・18	盛岡+仙台			
	★	高齢者福祉論	4/30・5/1 a	仙台	1	6	
	★	介護概論	5/1 b・2	仙台 VTR	1	6	
			12/17・18				
◆	★	児童(・家庭)福祉論	12/23~25	仙台	2	12	
◆	★	障害者福祉論	8/26~28		2	12	
			H24 2/10~12				
◆		福祉法学	7/22~24		2	14	
	★	福祉法学	7/22・23 a		1	6	
			11/19・20				仙台 VTR
	★	更生保護制度論	7/23 b・24	仙台	1	8	
	★	社会福祉援助技術総論	5/3~5	2	12	2年以上	
			11/4~6				仙台 VTR
	★	社会福祉援助技術論A	8/5・6 a	1	6		
	★	社会福祉援助技術論B	8/6 b・7	1	6		
◆		医学一般	10/8~10	仙台	2		12
	★	医学一般	10/8・9 a		1		6
	★	保健医療サービス論	10/9 b・10		1	6	3年以上
◆	★	社会福祉原論（職業指導を含む）	8/19~21	2	12	2年以上	
◆	★	地域福祉論	H24 1/7~9	2	12		
◆		社会福祉援助技術論Ⅱ	8/17・18	1	6		
			H24 2/11・12				仙台 VTR
	★	社会調査の基礎	8/17・18	仙台	1	6	3年以上
			H24 2/11・12	仙台 VTR			
◆	★	社会福祉援助技術演習A・演習Ⅰ	7/9・10	仙台	1	8	
			7/30・31				
			8/24・25				
			H24 2/4・5				
◆	★	精神保健福祉論Ⅰ	5/27・28 a	仙台	1	6	2年以上
			12/4・17 a	仙台 VTR			
◆	★	精神保健福祉論Ⅱ	5/28 b・29	仙台	1	6	
			12/17 b・18	仙台 VTR			
◆	★	精神保健福祉援助技術総論	7/30~8/1	仙台	2	12	
◆	★	精神保健福祉援助技術各論	8/26~28	仙台	2	12	
◆		福祉計画法	4/30・5/1 a				
			H24 3/25 b・26	仙台 VTR	1	6	
	★	福祉行財政と福祉計画	4/30・5/1 a	仙台	1	6	3年以上
			H24 3/25 b・26	仙台 VTR			

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
◆		福祉施設管理論	5 / 1 b・2	仙台 VTR	1	6	3年以上
			H24 3 / 24・25 a	仙台			
	★	福祉経営論	5 / 1 b・2	仙台 VTR	1	6	
			H24 3 / 24・25 a	仙台			
◆	★	就労支援サービス論	12 / 17・18	仙台	1	8	
◆	★	社会保障論	4 / 1～3	仙台 VTR	2	12	
◆	★		9 / 23～25				
◆	★	公的扶助論	4 / 23・24		1	6	
◆	★	社会福祉援助技術演習B・演習II	5 / 21・22	仙台	1	8	
			6 / 11・12				
			10 / 15・16				
			10 / 29・30				
			11 / 12・13				
			12 / 17・18				
◆	★	精神保健福祉論III VTR	10 / 22・23	仙台 VTR	1	6	
◆	★	精神科リハビリテーション学	9 / 17～19		2	12	
◆	★	精神保健福祉援助演習	5 / 14・15		1	7	
			7 / 9・10				
			10 / 29・30				
			11 / 5・6				
	★	社会福祉援助技術実習指導A	4 / 2		0	4	
			H24 3 / 3				
			H24 3 / 17				
			H24 4 / 1				
	★	社会福祉援助技術実習指導B (B-1) + 社会福祉援助技術演習C (C-1)	4 / 16・17	仙台	0	8	
			5 / 3・4				
			5 / 14・15				
			5 / 21・22				
◆		社会福祉援助技術現場実習指導 (事前)	4 / 16		0	4	
			5 / 3				
			5 / 14				
			5 / 21				
			6 / 25				
			11 / 5				
			12 / 17				
	★	社会福祉援助技術実習指導B (B-2)	6 / 4		0	2	
			6 / 12				
			6 / 25				
	★	社会福祉援助技術実習指導B (B-3) + 社会福祉援助技術演習C (C-2)	9 / 3・4	仙台	2 + 1	8	
			10 / 22・23				
			11 / 19・20				
◆		社会福祉援助技術現場実習指導 (事後)	6 / 12	仙台	1	4	
			9 / 3				

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
◆		社会福祉援助技術現場実習指導（事後）	10/22	仙台	1	4	4年
			11/19				
			H24 1/7				
	★	社会福祉援助技術演習C	7/30・31		1	8	
			H24 2/4・5				
◆	★	精神保健福祉援助実習（事前指導）	5/22		0	4	
			6/5				
			7/3				
			11/20				
			12/18				
◆	★	精神保健福祉援助実習（事後指導）	7/9・10	1	5		
			9/10・11				
			12/3・4				
			H24 2/4・5				
◆	★	特講・社会福祉学5（社会福祉士国家試験対策講義）	6/11・10/29・30	1	8		
◆	★	特講・社会福祉学6（精神保健福祉士国家試験対策講義A）	6/11・12	1	8		
◆	★	特講・社会福祉学7（精神保健福祉士国家試験対策講義B）	10/29・30	1	8		

■仙台 福祉心理学科 関連科目

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
		心理学概論	9/2～4	仙台 VTR	2	12	1年以上
			H24 1/7～9	仙台			
		福祉心理学	6/25・26	仙台 VTR	1	6	
			12/10・11				
		社会心理学	8/3・4	仙台 VTR	1	6	
			H24 1/21・22				
		生涯発達心理学	4/30～5/2	仙台	2	12	
		臨床心理学	5/3～5		2	12	
		環境心理学	10/14・15a		仙台 VTR	1	6
			7/31・8/1				
	心理(◆★)	心理学実験Ⅰ	7/30～8/2	仙台	1	13	2年以上
		心理学実験Ⅱ	8/18～21		1	12	
		心理学研究法Ⅰ	8/16・17	仙台 VTR	1	7	
			12/3・4				
		心理学研究法Ⅱ	8/22・23	仙台	1	6	
			H24 3/3・4				
		認知心理学	10/8～10		2	12	3年以上
		人格心理学	8/24～26		2	12	
		教育心理学	7/9・10		1	6	2年以上
			10/15b・16				
		家族心理学	12/23・24a	1	6		

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
		心理アセスメント	8/19~21	仙台 VTR	1	6	2年以上
			12/24b・25				
		児童青年心理学	6/11~13	仙台	2	12	3年以上
		老年心理学	8/11~13a		2	12	
		障害児の心理	9/17~19		2	12	
		心理療法	9/23~25		2	12	
		産業カウンセリングⅠ	9/3・4		1	8	
		産業カウンセリングⅡ	10/1・2		1	8	
		カウンセリングⅠ	7/2・3		1	8	
		カウンセリングⅡ	H24 3/10・11		1	8	
		カウンセリング演習Ⅰ	11/12・13		1	8	2年以上
		カウンセリング演習Ⅱ	H24 2/4・5		1	8	
		組織心理学	8/27・28		1	8	
		人間関係論	5/21・22		1	8	
		人的資源論	10/22・23		1	8	
		統計情報を見る眼	11/19・20		1	6	3年以上
		発達障害者の心理	8/4・5		1	6	
		特講・福祉心理学8(ストレスとつきあう心理学)	6/4・5	1	8		
		特講・福祉心理学11(受容と排斥の心理学)	8/13b・14	1	8		
						2年以上	

■仙台 福祉系 専門選択科目

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
		NPO論	未定(7月ごろ)	仙台	1	6	2年以上
		知的障害者福祉論 VTR	8/13・14	仙台 VTR	1	6	
		リハビリテーション論	H24 2/11・12	仙台	1	6	
		家族法	H24 1/7~9		2	12	3年以上
		社会福祉法制	10/8~10		2	12	
		ケアマネジメント論	9/23~25		2	12	
		特講・社会福祉学10(スクール・ソーシャルワーク論)	H24 3/3・4		1	8	2年以上

■仙台・東京 教職免許状・支援員関連科目

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年	
		高福祉 (◆★) 介護実習事前事後指導(23~介護実習事前事後指導・介護技術)	7/16~18	仙台	1 (23~2)	12	3年以上	
			H24 1/7~9					
			総合演習		8/6・7	1		8
			教育実習の事前事後指導		H24 3/24・25	1		8
		(軽度)発達障害教育総論	6/11・12	東京	1	6	3年以上	
		障害者教育総論	7/28・29	仙台	1	6	2年以上	
		知的障害教育 VTR	7/25~27	仙台 VTR	2	12		
		聴覚障害教育	12/25~27	仙台	2	12		
		知的障害者の心理	8月上旬	仙台 VTR	1	6	3年以上	
			H24 3/26・27	仙台				

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
		聴覚障害者の生理・病理	H24 3月下旬	仙台	1	6	3年以上
		重複障害教育総論	未定		1	6	
		(軽度)発達障害者の心理	8 / 4・5		1	6	
		(軽度)発達障害教育総論 VTR	H24 3月下旬	仙台 VTR	1	6	
		障害者(児)教育実習の事前(・事後)指導	7 / 30・31 H24 3 / 24・25	仙台	1	8	
支援員		特別支援教育支援員概論	12 / 23・24		1	8	2年以上

■仙台・盛岡・札幌 共通基礎科目

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
		ボランティア論	11 / 12・13	仙台	1	6	1年以上
		福祉と経済	5 / 20~22		2	12	
		生命の科学	8 / 5~7		2	12	
		歴史を見る眼	9 / 2~4		2	12	
		コミュニケーション英語	H24 1 / 7~9		1	12	
		スポーツ (バングルフ)	9 / 17~19		1	12	
		人間と教育	10 / 8~10		2	12	
		観光と文化	H23年度開講中止		2	12	
		科学的な見方・考え方	7 / 1~3		2	12	
		基礎演習	6 / 18・19 12 / 3・4		1	8	
		法の基礎 (日本国憲法を含む)	H24 3 / 2~4		盛岡	2	
		福祉と生活	H24 3 / 10・11	札幌	1	6	

■札幌・帯広 開講予定科目 開講日順

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
◆		福祉計画法 VTR	4 / 9・10 a	札幌 VTR	1	6	2年以上
	★	福祉行財政と福祉計画 VTR					3年以上
◆		福祉施設管理論 VTR	4 / 10 b・17	札幌 VTR	1	6	3年以上
	★	福祉経営論 VTR					3年以上
◆	★	公的扶助論	4 / 23・24	札幌配信	1	6	3年以上
	★	社会福祉援助技術総論	5 / 3~5	札幌配信	2	12	2年以上
心理		心理学概論	5 / 3~5	札幌	2	12	1年以上
	★	介護概論 VTR	5 / 28・29	札幌 VTR	1	6	1年以上
◆		高齢者福祉論 VTR	5 / 28・29・6 / 4・5		2	12	1年以上
	★	高齢者福祉論 VTR	6 / 4・5		1	6	1年以上
	★	社会福祉援助技術実習指導B (B-2)	6 / 19		札幌	0	2
◆★	心	福祉心理学	6 / 25・26	札幌配信	1	6	1年以上
◆	★	障害者福祉論	7 / 16~18	札幌	2	12	1年以上
◆		福祉法学	7 / 22~24	札幌配信	2	14	1年以上
	★	福祉法学	7 / 22・23 a		1	6	2年以上
	★	更生保護制度論	7 / 23 b・24		1	8	2年以上
◆	★	社会福祉援助技術演習A・演習I	7 / 30・31	札幌	1	8	2年以上
◆	★	社会保障論	8 / 5~7	札幌	2	12	3年以上

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
◆	★	児童(・家庭)福祉論	9/17~19	札幌	2	12	1年以上
◆	★	社会福祉原論(職業指導を含む)	10/8~10	札幌	2	12	2年以上
◆		福祉施設管理論 VTR	10/15・16	帯広 VTR	1	6	3年以上
	★	福祉経営論 VTR					3年以上
◆	★	社会福祉援助技術演習B・演習II	10/22・23	札幌	1	8	3年以上
心理		社会心理学	11/5・6	札幌	1	6	1年以上
◆		医学一般	11/12・13+12/3・4	札幌	2	12	2年以上
	★	医学一般	11/12・13		1	6	2年以上
	★	保健医療サービス論	12/3・4		1	6	3年以上
◆★心		福祉心理学 VTR	11/26・27	札幌 VTR	1	6	1年以上
◆		社会福祉援助技術現場実習指導(事後)	11/26	札幌	1	4	4年
	★	社会福祉援助技術実習指導B(B-3) +社会福祉援助技術演習C(C-2)	11/26・27		2+1	8	4年
	★	社会福祉援助技術論A VTR	12/17・18	帯広 VTR	1	6	2年以上
◆	★	地域福祉論	12/23~25	札幌	2	12	2年以上
◆		社会福祉援助技術論II VTR	H24 2/11・12	札幌 VTR	1	6	2年以上
	★	社会調査の基礎 VTR					3年以上
共通		福祉と生活	H24 3/10・11	札幌	1	6	1年以上
心理		人間関係論	H24 3/17・18	札幌	1	8	2年以上
	★	社会福祉援助技術実習指導A	H24 3/17	札幌	0	4	3年以上

■盛岡・青森・秋田・山形 開講予定科目 開講日順

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
◆	★	公的扶助論	4/23・24	盛岡配信	1	6	3年以上
	★	社会福祉援助技術総論	5/3~5	盛岡配信	2	12	2年以上
		社会福祉援助技術実習指導B(B-2)	6/18	青森	0	2	4年
	★		6/19	盛岡			
				秋田			
				山形			
◆★心		福祉心理学	6/25・26	盛岡配信	1	6	1年以上
◆	★	社会福祉援助技術演習A・演習I	7/2・3	盛岡	1	8	2年以上
◆	★	児童(・家庭)福祉論	7/16~18	盛岡	2	12	1年以上
◆		福祉法学	7/22~24	盛岡配信	2	14	1年以上
	★	福祉法学	7/22・23a		1	6	2年以上
	★	更生保護制度論	7/23b・24		1	8	2年以上
	★	社会福祉援助技術論A VTR	8/27・28	青森 VTR	1	6	2年以上
◆	★	福祉社会学 VTR	9/3・4・10	青森 VTR	2	12	1年以上
◆	★	地域福祉論	9/17~19	盛岡	2	12	2年以上
◆	★	社会保障論	9/23~25	盛岡配信	2	12	3年以上
◆		高齢者福祉論 VTR	10/8~10	秋田 VTR	2	12	1年以上
	★	高齢者福祉論 VTR	10/8・9a		1	6	1年以上
	★	介護概論 VTR	10/9b・10		1	6	1年以上
◆	★	社会福祉援助技術演習B・演習II	10/22・23	盛岡	1	8	3年以上
◆★心		福祉心理学 VTR	10/22・23	秋田 VTR	1	6	1年以上
◆		高齢者福祉論	11/19・20+12/17・18	盛岡+仙台	2	12	1年以上

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
	★	高齢者福祉論	11/19・20	盛岡	1	6	1年以上
◆		社会福祉援助技術現場実習指導(事後)	11/26	盛岡	1	4	4年
	★	社会福祉援助技術実習指導B(B-3) +社会福祉援助技術演習C(C-2)	11/26・27		2+1	8	4年
◆★	心	福祉心理学 VTR	12/3・4	青森 VTR	1	6	1年以上
◆	★	社会福祉援助技術演習A・演習I	H24 1/28・29	盛岡	1	8	2年以上
	共通	法の基礎(日本国憲法を含む)	H24 3/2~4	盛岡	2	12	1年以上
	★	社会福祉援助技術実習指導A	H24 3/3	盛岡	0	4	3年以上

■関東地方 開講予定科目 開講日順

(関東と記載のある科目は、埼玉県・東京都・神奈川県のみで開講いたします)

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
	★	社会福祉援助技術総論 VTR	5/3~5	川口 VTR	2	12	2年以上
◆		福祉計画法 VTR	5/7・14	川口 VTR	1	6	2年以上
	★	福祉行財政と福祉計画 VTR					3年以上
	★	高齢者福祉論 VTR	6/4・11	川口 VTR	1	6	1年以上
	特支	(軽度)発達障害教育総論	6/11・12	東京	1	6	3年以上
◆		高齢者福祉論(一部 VTR)	6/4・11+7/2・3	川口・東京 (一部VTR)	2	12	1年以上
	★	社会福祉援助技術実習指導B(B-2)	6/18 6/19	水戸 東京	0	2	4年
◆★	心	福祉心理学	6/25・26	東京配信	1	6	1年以上
	共通他	単位互換協定にもとづく科目	6~8月ごろ	東京	2	15	1年以上
	★	介護概論	7/2・3	東京	1	6	1年以上
	心理	生涯発達心理学 VTR	7/2・9・10	川口・東京 VTR	2	12	2年以上
◆		福祉法学	7/22~24	東京配信	2	14	1年以上
	★	福祉法学	7/22・23a		1	6	2年以上
	★	更生保護制度論	7/23b・24		1	8	2年以上
◆	★	社会福祉援助技術演習A・演習I	8/13・14	川口	1	8	2年以上
	心理	臨床心理学	8/14~16	東京	2	12	2年以上
	★	社会福祉援助技術論A	9/17・18a	東京	1	6	2年以上
	★	社会福祉援助技術論B	9/18b・19		1	6	2年以上
◆	★	精神保健福祉論I VTR	9/17・23a	川口 VTR	1	6	2年以上
◆	★	精神保健福祉論II VTR	9/23b・24		1	6	2年以上
	心理	心理学実験I	9/23~25	東京	1	13	2年以上
◆	★	社会保障論	9/23~25	東京配信	2	12	3年以上
◆	★	社会福祉援助技術演習B・演習II	10/22・23	関東	1	8	3年以上
	心理	社会心理学 VTR	10/29・11/3	川口 VTR	1	6	1年以上
◆★	心	福祉心理学 VTR	11/5・19a	川口 VTR	1	6	1年以上
◆	★	社会福祉援助技術演習B・演習II	11/5・6	東京	1	8	3年以上
	★	保健医療サービス論 VTR	11/19b・20	川口 VTR	1	6	3年以上
◆		社会福祉援助技術現場実習指導(事後)	11/26	川口	1	4	4年
	★	社会福祉援助技術実習指導B(B-3) +社会福祉援助技術演習C(C-2)	11/26・27		2+1	8	4年
	共通他	単位互換協定にもとづく科目	11~1月ごろ	東京	2	15	1年以上

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
◆	★	公的扶助論	12/3・4	東京	1	6	3年以上
◆	★	社会福祉原論(職業指導を含む)	12/23~25	東京	2	12	2年以上
◆	★	児童(・家庭)福祉論	H24 1/7~9	東京	2	12	1年以上
		心理 カウンセリングⅠ	H24 1/21・22	東京	1	8	2年以上
◆	★	社会福祉援助技術演習A・演習Ⅰ	H24 1/28・29	東京	1	8	2年以上
	★	社会福祉援助技術実習指導A	H24 3/10	関東	0	4	3年以上

■新潟・長岡・郡山 開講予定科目 開講日順

旧	新	科目名	開講日	開講地	S単位	コマ数	配当学年
◆	★	社会保障論 VTR	4/15~17	新潟 VTR	2	12	3年以上
◆	★	公的扶助論	4/23・24	新潟配信	1	6	3年以上
◆	★	生涯発達心理学 VTR	4/29~5/1	新潟 VTR	2	12	2年以上
	★	社会福祉援助技術総論	5/3~5	新潟配信	2	12	2年以上
心理		心理アセスメント VTR	5/14・15	新潟 VTR	1	6	2年以上
◆		福祉計画法 VTR	6/3・4 a	長岡 VTR	1	6	2年以上
	★	福祉行財政と福祉計画 VTR					3年以上
◆		福祉施設管理論	6/4 b・5	長岡	1	6	3年以上
	★	福祉経営論					3年以上
心理		心理学研究法Ⅰ VTR	6/4・5	新潟 VTR	1	7	2年以上
	★	保健医療サービス論 VTR	6/11・12	新潟 VTR	1	6	3年以上
	★	社会福祉援助技術実習指導B(B-2)	6/18	郡山	0	2	4年
			6/19	新潟			
◆★心		福祉心理学	6/25・26	新潟配信	1	6	1年以上
心理		環境心理学 VTR	7/2・3	新潟 VTR	1	6	2年以上
◆	★	社会福祉援助技術演習A・演習Ⅰ	7/16・17	郡山	1	8	2年以上
◆		高齢者福祉論 VTR	7/16~18	新潟 VTR	2	12	1年以上
	★	介護概論 VTR	7/17 b・18		1	6	1年以上
	★	高齢者福祉論 VTR	7/16・17 a		1	6	1年以上
◆		福祉法学	7/22~24	新潟配信	2	14	1年以上
	★	福祉法学	7/22・23 a		1	6	2年以上
	★	更生保護制度論	7/23 b・24		1	8	2年以上
心理		老年心理学 VTR	8/8~10	新潟 VTR	2	12	3年以上
◆	★	障害者福祉論	9/17~19	新潟	2	12	1年以上
	★	社会福祉援助技術論A VTR	9/23・24 a	新潟 VTR	1	6	2年以上
	★	社会福祉援助技術論B VTR	9/24 b・25		1	6	2年以上
◆	★	社会福祉援助技術演習B・演習Ⅱ	10/22・23	長岡	1	8	3年以上
◆		社会福祉援助技術論Ⅱ VTR	11/5・6	新潟 VTR	1	6	2年以上
	★	社会調査の基礎 VTR			1	6	3年以上
◆		社会福祉援助技術現場実習指導(事後)	11/26	新潟	1	4	4年
	★	社会福祉援助技術実習指導B(B-3) +社会福祉援助技術演習C(C-2)	11/26・27		2+1	8	4年
◆	★	社会福祉援助技術演習A・演習Ⅰ	12/3・4	新潟	1	8	2年以上
	★	社会福祉援助技術実習指導A	H24 3/4	新潟	0	4	3年以上

4 平成23年度オンデマンド・スクーリング実施予定

自宅のパソコンとインターネット回線を通じてスクーリングを受講するオンデマンド型授業の平成23年度実施予定科目と申込締切は下記のとおりです。1回め、2回めいずれかで申込み、期限までに視聴した上で「試験レポート」を提出する必要があります。

申込方法は74号以降の『With』でご案内いたします。申込みにあたっては、『学習の手引き』8・10章をよくお読みください。

また、システムの変更により下記の日程が変更になることがあります。ご了承ください。

旧	新	科目名	1回め			2回め		
			With掲載	申込締切	試験レポート提出期限	With掲載	申込締切	試験レポート提出期限
◆	★	法の基礎 (日本国憲法を含む)	—	—	—	79号	11月16日正午	12月24日正午
	★	福祉法学	75号	5月18日正午	6月29日正午	79号	11月30日正午	1月11日正午
	★	介護概論	77号	8月10日正午	9月21日正午 ※1	81号	2月8日正午	3月21日正午 ※2
	★	更生保護制度論	75号	5月18日正午	6月29日正午	79号	11月30日正午	1月11日正午
	★	社会福祉援助技術総論	75号	5月18日正午	6月29日正午	78号	10月19日正午	11月30日正午
	★	社会調査の基礎	75号	5月11日正午	会場試験 (6/18・19を予定)	78号	10月19日正午	会場試験 (12/10・11を予定)
	★	福祉経営論	77号	8月10日正午	9月21日正午 ※1	78号	10月19日正午	11月30日正午
	★	保健医療サービス論	74号	4月6日正午	5月18日正午	79号	11月30日正午	1月11日正午
◆	★	就労支援サービス論	—	—	—	80号	1月18日正午	2月29日正午
	★	福祉行財政と福祉計画	76号	6月15日正午	会場試験 (7/30・31を予定)	79号	11月30日正午	会場試験 (1/21・22を予定)
◆		福祉法学	75号	5月18日正午	6月29日正午	79号	11月30日正午	1月11日正午
◆	★	福祉心理学	76号	6月22日正午	8月3日正午	78号	10月5日正午	11月16日正午
◆	★	社会保障論	74号	4月6日正午	5月18日正午	79号	11月16日正午	12月24日正午
◆	★	公的扶助論	76号	6月22日正午	8月3日正午	78号	10月5日正午	11月16日正午
◆	★	障害者福祉論	76号	6月15日正午	7月27日正午	79号	11月16日正午	12月24日正午
◆		福祉計画法	76号	6月15日正午	会場試験 (7/30・31を予定)	79号	11月30日正午	会場試験 (1/21・22を予定)
◆		福祉施設管理論	77号	8月10日正午	9月21日正午 ※1	78号	10月19日正午	11月30日正午
◆		社会福祉援助技術論Ⅰ	74号	4月6日正午	会場試験 (5/7・8を予定)	—	—	—
◆		社会福祉援助技術論Ⅱ	75号	5月11日正午	会場試験 (6/18・19を予定)	78号	10月19日正午	会場試験 (12/10・11を予定)
◆	★	精神保健福祉論Ⅰ	74号	4月20日正午	6月1日正午	78号	10月19日正午	11月30日正午
◆	★	精神保健福祉論Ⅱ	75号	5月11日正午	6月22日正午	79号	11月16日正午	12月24日正午
◆	★	精神保健福祉論Ⅲ	74号	4月20日正午	6月1日正午	78号	10月5日正午	11月16日正午
◆	★	家族法	74号	4月6日正午	5月18日正午	—	—	—
◆	★	生涯発達心理学	75号	5月18日正午	6月29日正午	81号	2月8日正午	3月21日正午 ※2

旧	新	科目名	1 回め			2 回め		
			With 掲載	申込締切	試験レポート 提出期限	With 掲載	申込締切	試験レポート 提出期限
◆	★	環境心理学	76号	6月22日正午	会場視聴・試験 (7月下旬ごろを予定)	—	—	—
◆	★	心理学研究法 I ▼	74号	4月20日正午	6月1日正午	81号	2月8日正午	3月21日正午 ※2
◆	★	社会心理学	75号	5月11日正午	6月22日正午	80号	1月18日正午	2月29日正午
◆	★	老年心理学	76号	6月15日正午	7月27日正午	—	—	—
◆	★	障害児の心理	74号	4月6日正午	5月18日正午	80号	1月18日正午	2月29日正午
◆	★	心理アセスメント	74号	4月20日正午	6月1日正午	78号	10月5日正午	11月16日正午
◆	★	知的障害者の心理	76号	6月22日正午	8月3日正午	—	—	—
◆	★	知的障害教育	76号	6月15日正午	会場視聴・試験 (7/27を予定)	—	—	—

▼受講条件あり。詳しくは、『レポート課題集』を参照ください。

旧教科書（平成21年または22年度のもの）によって行われる講義内容となりますので、ご了承ください。

※1 2011年9月卒業希望者の提出期限は、9/7正午となります。

※2 2012年3月卒業希望者の提出期限は、2/29正午となります。

受講可能期間 原則として申込締切の1週間後～試験レポート提出期限までとなります。ただし、会場視聴・試験がある科目は、指定される日（科目修了試験と同会場試験の場合は、試験申込締切日など）までに視聴する必要があります。

5 産業能率大学との間の「単位互換協定にもとづく認定単位」スクーリング

- 制度の紹介 p. 9, 『With』72号 p. 67, 『学習の手引き2011』1章など参照
- 申込方法 『With』74号でご案内予定（後期分は77号を予定）
- 資料請求締切 2011年4月18日必着
- 出願締切 4月28日必着
- 受講料納入期限 5月18日厳守
- 受講料 1科目あたり10,000円（欠席の場合も返金は一切できません）
- スクーリング受講会場 産業能率大学（東京都世田谷区）
- 前期開講科目一覧（予定）

（産業能率大学 特別聴講学生 単位互換対象スクーリング）

科目名	開講日	単位数	S単位	会場
ビジネス倫理	7/8 7/9 7/10	2	2	東京 産業能率大学
考える力をつける	7/12 7/19 7/26	2	2	
経営戦略の考え方	7/16 7/17 7/18	2	2	
人材マネジメントの考え方		2	2	
マーケティングの考え方		2	2	
考える力をつける		2	2	
問題発見・解決力を伸ばす		2	2	
ビジネスプランの作成	7/23 7/24	2	2	
経営管理総論Ⅰ	7/30	2	2	
考える力をつける	8/5	2	2	
演出・表現力を磨く	8/6	2	2	
情報解釈力を鍛える	8/7	2	2	

※日程が重なっている科目はいずれか1科目のみ受講可能です。

3・4年次配当科目

**社会福祉学科関連
専門科目**

社会保障論

科目コード●050107

担当教員●阿部 裕二



4単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉

必修

社会教育

選択B

福祉心理

選択B

科目の内容

私たちの国の社会保障制度は、進展している少子高齢化のなかで構造的な転換期を迎えており、「社会保障革命」というべき各種の見直しが行われています。例えば、2000年には介護保険が創設され、近年においても年金制度や医療（保険）制度なども改革の道を歩んでいます。まさに新しい生活保障システムが求められている時代ともいえるでしょう。とはいえ、「構造的な転換期」だからこそ原点に立ち返り、「社会保障とは何か」の古典的な議論も必要であると思われます。

そこで、本科目においては、社会保障の考え方や歴史等を踏まえて、「社会保障とは何か」をともに考え、その上で、各種社会保障制度の現状と課題について学んでいただきたいと思います。

教科書

福祉臨床シリーズ編集委員会編『社会保障〈第2版〉（社会福祉士シリーズ12）』弘文堂、2010年

（平成22年度以前履修登録者）2010年12月より、教科書が改訂になりました。スクーリング時はどちらの教科書持参でも結構です。

レポート課題

1 単位め

私たちの生活環境の変化を踏まえながら、社会保障をどのように理解したらよいか。そして、現代社会において社会保障（制度）が果たしている役割について述べなさい。

2 単位め

イギリスと日本の社会保障の歩みを概観し、貧困観の変遷や社会保険と公的扶助の統合の仕方に留意しつつ、社会保障の成立過程にみられた特徴をそれぞれ述べなさい。

3 単位め

社会保障制度（例えば、年金、医療、雇用、労災、介護、生活保護など）のなかで、興味のある分野を1つ選び、その現状と課題について述べなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

4 単位め

少子高齢化の進展のなかで、わが国の社会保障制度はいかにあるべきか、社会保障の理念を踏まえながら各自の見解を述べなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月で受付を締め切りました。

アドバイス

私たちの生活にとって、社会保障はいまや欠かすことのできない基礎的な社会制度になっています。「社会保障はなぜ今のようなシステムに発展してきたのか。社会保障をめぐってどのような考え方があるのか、あったのか。そして現代社会において社会保障はどのような意義や役割をもっているのか」——社会保障論を学ぶときには、まず、このような視点が必要であると思われる。

歴史的な形成体（歴史的産物）として成立・発展してきた社会保障は、少子高齢化の進展、財政危機、国際化という荒波の中で、その枠組みを構造的に変革しようとしています。しかし、このような構造的に転換期にある社会保障であるからこそ、上述したように「社会保障は一体何なのか」からの議論が求められているのであり、それを踏まえて歴史的な形成体としての社会保障の枠組みを考察してみてください。

このように、レポート課題に取り組むに当たって、社会保障の各制度の仕組みや内容、そして各制度が抱えている課題に関しても着目する必要がありますが、「社会保障とは何か、そして生活保障のシステムのなかで社会保障はどのように位置づけられるのか」を念頭におくことも重要です。「公的扶助論」においても記述しましたが、特に社会福祉士等の国家資格を目指している受講生の皆さんは、レポート課題だけに取り組むのではなく、テキストの内容のすべてを理解することに努めてください。

いずれにしても、これから学ぼうとしている「社会保障論」は、きわめて私たちの生活にとって身近な領域といえます。したがって、レポートを作成する際には、自らの問題として引き寄せて考えると、一層取り組みやすくなるでしょう。

なお、社会保障の各制度の内容は、毎年改正されていますので、テキストの他に「最新の資料」（後述）などで補足することが必要となります。

1 単位め
解説

この課題に関しては、テキストの序章、第1章、第2章、第10章を参照してください。

私たちは、あまり意識せず「社会保障」という言葉を使っていますが、改めて社会保障とは何かを考えてみましょう。今日の私たちの生活(社会保障を取り巻く環境)は、少子・高齢化、逼迫する財政問題などを背景にして荒波の中にありますが、まずこの

ような環境の変化の中で、社会保障がどのように定義づけられるのかを整理してみてください。その上で、社会保障（社会保険と公的扶助の役割にも注意を払いながら）が現代社会の中でどのような役割（機能）を果たしているか、をまとめてください。

2単位め 解説

この課題に関しては、テキストの第1章を参照してください。

社会保障の歴史を考察する場合、どの時代まで遡るのかについては議論のあるところですが、テキストでは、イギリスが救貧法（エリザベス救貧法）、そして日本が恤救規則（それ以前の記述も若干してありますが）を出発点としています。

2単位めの課題は、イギリスと日本の社会保障の成立過程における特質を述べることです。その際、歴史を漫然と考察、略記するのではなく、項目ごとに整理するとよいでしょう。例えば、イギリスの場合でいうと、救貧法の時代から社会保険の登場、社会保険から社会保障への展開というような分類です。このような分類の下で、貧困観がどのように変遷してきたか、また社会保険と公的扶助がどのように統合されてきたかを切り口としてまとめてみてください。日本の場合は、第二次世界大戦以前と以降の分類になるかと思います。

特にまとめづらいのではないかとと思われるのは、社会保険と公的扶助の統合の切り口かもしれませんが、この点に関しては、両者が統合するとき「結びつけるもの（接着剤）」が存在したか否か（統合なのか、寄せ集めなのか）などを意識しながら考察することが肝要です。なお、この2単位めの課題については、森健一・阿部裕二著『構造的転換期の社会保障——その理論と現実』（中央法規出版、2002年〈その後増刷〉）の第6章、第7章が参考になります。

3単位め 解説

この課題に関しては、第3章、第4章、第5章、第6章、第7章を参照して作成してください。

これらの章においては社会保障の各制度、例えば年金・医療・雇用・労災・介護保険や生活保護、社会手当としての児童手当や子ども手当などが記述されています。受講生の皆さんは、これらのなかから興味のある分野を選び、自分なりに現状と問題点、課題をまとめてみてください。

その際、上述しましたように社会保障制度は、頻繁に改正（修正）されますので、絶えず新しい資料で補足することが肝要です。

なお、非常に幅広い分野から各自が選択することになりますが、受講生の皆さんは選択した分野だけを学ぶだけではなく、それ以外の分野も十分に学習、理解することが重要なことはいうまでもありません。念のために。

4単位め
解説

この課題に関しては、テキストの全体を参照して作成してください。

これまでの学習の成果として、自分なりの社会保障のあるべき姿をまとめてみてください。わが国は、少子高齢化、財政問題、ボーダレス社会などさまざまな要因の生活環境が変化してきています。生活環境の変化によって、社会保障は構造的に転換されなければなりません、変えてはならないものもあるかもしれません。

社会保障の理念を理解しつつ、この理念をどのように、これからの社会保障に活かすべきかについても考察してみてください。自分なりのあるべき社会保障像を述べるときに、このような「変えるものと変えないもの」を意識して整理してみるのもよいでしょう。

参考図書

<社会福祉士等の国家資格を目指す人のために>

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座12 社会保障』中央法規出版, 2010年
- 2) 椋野美智子・田中耕太郎『はじめての社会保障(第7版)補訂版』有斐閣アルマ, 2010年

<最新情報を知りたい人のために>

- 3) 厚生統計協会編『保険と年金の動向(2010/2011年版)』厚生統計協会, 2010年
- 4) 『社会保険のてびき』社会保険研究所, 最新版

<概論的に教科書を補足したい人のために>

- 5) 森健一・阿部裕二著『構造的転換期の社会保障——その理論と現実』中央法規出版, 2002年

※いずれの図書も、ほんの一例でしかありません。さまざまな図書を図書館や書店で探してみてもおもしろいと思います。

公的扶助論

科目コード●050108

担当教員●阿部 裕二



2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉

必修

社会教育

選択B

福祉心理

選択B

科目の内容

わが国は、「豊かな社会」といわれています。では、「貧困」は解消されたのでしょうか。確かに各種の社会保障制度が整備・充実されたことによって、公的扶助（生活保護）の受給者は、敗戦直後から比較すると格段に減少してきました。しかし、近年は景気の低迷、雇用環境の悪化などを背景にして、国民生活の不安は深化し、格差も拡大しています。その結果、生活保護の受給者も増加傾向をみせています。その意味では、「貧困」問題は国民生活の身近なところにあるといえるでしょう。このような現状を考えると、国民生活のラスト・セーフティ・ネットとして位置づけられている公的扶助は、依然として私たちの生活において重要な役割を果たしていると思います。

そこで本科目においては、このような問題意識のもと、国民生活を保障する最終的な救済手段である公的扶助（生活保護）に関して、現代社会の貧困の様相と生活保護の考え方、制度の内容、実質的な実施機関となる福祉事務所の現状と課題などを学んでいただきたいと思います。

教科書

福祉臨床シリーズ編集委員会編『低所得者に対する支援と生活保護制度（社会福祉士シリーズ16）』弘文堂、2009年

（平成20年度以前履修登録者）2009年1月より、教科書が変更になりました。スクーリング時はどちらの教科書持参でも結構です。レポート課題は変更されていませんが、このアドバイスは新教科書にもとづくものです。

レポート課題

1 単位め

貧困概念の拡大を踏まえつつ、現代社会における公的扶助（生活保護）の役割について述べなさい。

2 単位め

生活保護の仕組みや相談援助活動を理解したうえで、生活保護が抱えている諸問題について述べなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

この科目の学習内容（テキストの内容）は、「現代の貧困と公的扶助」、「公的扶助の歴史的展開」、「生活保護制度のしくみと問題点」、「生活保護の運営実施体制と他職種連携」、「生活保護の争訟制度と権利擁護」、「生活保護の相談援助活動」、「低所得対策の概要と実際」と非常に幅広い内容となっています。しかし、ここでは、単に公的扶助（生活保護）の仕組み（内容）を理解するだけでなく、このようなシステムが現代の社会においてなぜ必要なのか、どのように機能しているのか、そこでの問題は何なのかについても学ぶこととなります。特に社会福祉士・精神保健福祉士等の国家資格を目指している受講生の皆さんは、レポート課題だけを取り組むのではなく、テキストの内容のすべてを理解することに努めてください。

その際に、もちろんテキストを中心として学ぶこととなりますが、後述する他の参考文献で補足しながら学習することが肝要です。なお、皆さんはすでに理解されているとは思いますが、以下の点に注意してレポートを作成してください。

- (1) 書物の中の文章をそのまま「丸写し」することは厳禁です。評価対象外となりますので注意してください。できるだけ自分の言葉に置き換えて述べてください。
- (2) テキスト中に「……すべきである」という価値観があったとすれば、必ずしも受講生はそのことに関して賛成する必要はありません。テキストに書かれていることは、皆さんが考えるための材料と思ってください。皆さんの低所得者に対する支援と生活保護制度観を醸成していただければそれで結構です。とはいえ、単なる根拠のない感想文となっははいけません。テキスト中の内容を踏まえながら、根拠に基づいて自分の考えを述べるのが肝要です。

1 単位め
解説

この課題に関しては、テキストの第1章と第2章を参照してください。

貧困問題は、大げさに言えば人類の歴史とともに存続していて、その意味では非常に古い問題であるといえます。貧困の捉え方や表出の仕方は時代によって異なっているはずですが、このような貧困（内容・基準）が、どのように変遷してきたか、そして、今日の社会ではどのように貧困が考えられているのかについて、まず考察してください。その上で、今日的な貧困問題への対策としてとられている公的扶助（生活保護）が、いかなる役割を担っているのかを考えてみてください。もちろん公的扶助の概念

を踏まえながら。

2単位め 解説

この課題に関しては、テキストの第3章から第7章を参照してください。生活保護の仕組みと問題点は第3章から第5章にかけて考察されています。ここでは生活保護の目的や原理、原則がどのようになっているのか、それらを基にして具体的にいかなる枠組みになっているのか、という理解が重要です。また、第6章では相談援助活動の内容が、担い手のみならず利用者の視点から考察されています。さらに、第7章ではホームレスの自立支援などの低所得者対策の概要と実際が述べられています。これらは非常に多くの内容を含んでいますが、受講生の皆さんはそれらをトータルとして理解できるようにがんばって取り組んでください。

とはいえ、これらをすべて網羅して、諸問題をレポート上にまとめることは字数の制限もあり不可能です。したがって、これらの項目からいくつか関心のある部分を選び、そこでの諸問題をテキストはもちろんのこと、さまざまな参考文献・資料等を活用して論述してみてください。

参考図書

<社会福祉士・精神保健福祉士などの国家資格を目指している人のために>

- 1) 社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士講座第16巻 低所得者に対する支援と生活保護制度』中央法規出版, 2010年
- 2) 各出版社から出版されている『福祉小六法』(最新版のもの)

<生活保護の実施要領や通知通達の内容を知りたい人のために>

- 3) 全国社会福祉協議会編『生活保護手帳』全国社会福祉協議会, (最新版は毎年6月頃に発行されているようです)

<最新の統計を知りたい人のために>

- 4) 厚生統計協会編『国民の福祉の動向(2010/2011年版)』厚生統計協会, 2010年

<現代社会の貧困様相や生活保護行政の問題点を知りたい人のために>

- 5) 杉村・河合・中川・湯浅編著『現代の貧困と公的扶助行政』ミネルヴァ書房, 1997年
- 6) 湯浅誠『反貧困——「すべり台社会」からの脱出』岩波新書, 2008年
- 7) 駒林康平『大貧困社会』角川SSC新書, 2009年

※いずれの図書も、ほんの一例でしかありません。さまざまな図書を図書館や書店で探してみてもおもしろいと思います。

社会福祉法制

科目コード●050111

担当教員●志田 民吉



4 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

社会福祉法および社会福祉主要法律（児童、老人、障害者関連福祉法）についての理解を目指します。児童福祉法や老人福祉法、身体障害者福祉法等に定める福祉サービスの供給制度に共通する事項をまとめて規定する社会福祉法の理解を中心に、各種の福祉サービス法に定められているサービスの提供のしくみやサービスの内容について理解をする手順で学んでいただければよいと思います。

教科書（「精神保健福祉論Ⅲ」と共通）

志田民吉・伊藤秀一編著『社会福祉サービスと法（改訂）』建帛社，2007年（平成19年度以前履修登録者）2008年4月より，教科書が部分改訂されています。レポート課題に変更はありません。

レポート課題

1 単位め	戦後（昭和20年8月15日以降），平成12年6月に改正施行された社会福祉法に至るわが国の社会福祉関連法制度の主要な流れについてまとめなさい。
2 単位め	社会福祉法の規定する苦情解決制度の意義についてまとめなさい。
3 単位め	「特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準」とは何かについてまとめなさい。
4 単位め	児童虐待の課題について，児童福祉法および関連法律をまとめなさい。

アドバイス

1単位め 解説

テキストの歴史の部分および資料編（教材1・2）を精読してまとめてみましょう。

2単位め 解説

テキストの社会福祉法の解説の部分を読んでみましょう。特に苦情解決制度が福祉サービスの受給においてどのような役割を果たしているのか、あるいはどのような役割を果たすことを期待されているのかを考えながらまとめられるとよいと思います。

3単位め 解説

テキストの老人福祉法の解説を精読し、老人福祉施設についてまとめながら、法令集（社会福祉六法：福祉小六法＝中央法規やミネルヴァ書房などから発行されています）に載っています上記「基準」の内容を読み比べてみれば、まとめることができると思います。

4単位め 解説

テキストで児童福祉法および児童虐待防止法についての解説や法律についてまとめてみるとよいでしょう。新聞などでは児童虐待問題について特集や虐待事実の報道がされていますので、それらの記事等を引用しながら、児童虐待防止についての制度上の問題点などにも触れていただければよいと思います。

参考図書

- 1) 志田民吉編著『法学（第3版）』建帛社、2007年
- 2) 志田民吉編著『臨床に必要な人権と権利擁護』（福祉臨床シリーズ7）弘文堂、2006年（絶版）
- 3) 志田民吉共著『里親制度の国際比較研究』ミネルヴァ書房、2004年
- 4) 社会福祉六法（名称はいくつかあります）（中央法規出版、ミネルヴァ書房などから発行されています。最新年度版を用意してください）
- 5) 志田民吉共著『先進諸国の社会保障・ニュージーランド・オーストラリア』東京大学出版会 1999年

以上の他は、テキストに引用している文献を参照してください。

社会保険論

～20◆

科目コード●050112

担当教員●阿部 裕二



2 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

平成21年度以降は新規履修登録を受付いたしません。ただし、20年度までにこの科目の履修登録を行なっている場合のレポート提出・科目修了試験受験は可能です。その場合は、『レポート課題集2008』をご覧ください。

社会病理学

科目コード●050114

担当教員●武永 親雄



4 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

平成23年度は開講いたしません。22年度までの履修登録者は7月1日以降レポートを提出することはできません。『レポート課題集2010（3・4年次）』記載の課題を解答してください。4課題レポートを提出した方の科目修了試験受験は7月までのみ可能です。

平成24年度以降の開講再開時期は現時点では未定です。

国際福祉論

科目コード●050115

担当教員●生田目学文



4 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

教員海外出張のため、平成23年度は開講いたしません。22年度までの履修登録者も3月5日以降レポートを提出することはできません。4課題レポートを提出した方の科目修了試験受験は5月までのみ可能です。

平成24年度以降に新規履修登録受付やレポート提出、科目修了試験受験は再開します。

ケアマネジメント論

科目コード●050124

担当教員●高橋 誠一



4単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉

選択

社会教育

選択B

福祉心理

選択B

科目の内容

ケアマネジメントは、1950年代アメリカで生まれたと言われています。この時期、アメリカでは精神障害者が地域で暮らすようになってきましたが、適切な援助がないためにホームレスになるなど、必ずしも病院や施設より生活の質が向上したとは言えないことが明らかになってきました。その反省のもと、ケアや支援の継続性を確保するために、サービスを調整する役割が重要視されるようになりました。

60年代に入って、要介護高齢者の在宅支援の仕組みとして、ケアマネジメントが応用されるようになりました。その後、イギリスや多くの国でケアマネジメントが検討され、イギリスでは、全国的にケアマネジメントが導入されることになりました。日本でも、2000年から始まった介護保険の中でケアマネジメントが位置づけられました。また、障害の分野でもケアマネジメントは実質的に実施されています。さらに、児童虐待などの分野でも応用されています。このように、日本だけではなく世界的にさまざまな分野でケアマネジメントは注目されてきました。

ケアマネジメントは、歴史上アメリカから始まりました。しかし、ケアマネジメントという言葉は使われていませんが、日本の中では、60年代から保健・医療・福祉の連携の問題として、独自に発展してきています。また日本では、介護保険の中にケアマネジメントが位置づけられましたが、イギリスには介護保険はありません。このように、ケアマネジメントはさまざまな制度の違いにもかかわらず、いろいろな国で受け入れられてきました。

この科目では、ケアマネジメントのこのような広がりをもふまえて、ケアマネジメントとはなにか、なぜ必要とされているのか、どのように形作られ、運営されているのかを検討したいと思います。必ずしも、介護保険のケアマネジメントを解説することを目的とはしていませんが、講義の内容は高齢者のケアマネジメントが中心となります。しかし、障害の分野などのケアマネジメントと理論的には共通ですので、それらを理解するためにも役立ちます。

教科書

D.P. マクスリー著『ケースマネジメント入門』中央法規出版、1994年

レポート課題

1 単位め	ケアマネジメントはなぜ必要なのでしょうか。また、ケアマネジメントの目標と機能について論じてください。
2 単位め	ケアマネジメントにおけるアセスメントとケアプランについてそれぞれの意味、特徴、必要性、役割を説明してください。
3 単位め	ケアマネジメントにおける直接サービス機能と間接サービス機能についてそれぞれの意味、特徴、必要性、役割を説明してください。
4 単位め	ケアマネジメントにおけるモニタリング、評価についてそれぞれの意味、特徴、必要性、役割を説明してください。

アドバイス

ケアマネジメントは、対人（個別）援助技術として見ることができます。その視点からは、評価（アセスメント）と援助計画（ケアプラン）が中心的な役割を果たしますが、マネジメントとしてのプロセスを理解することが重要です。一方、システムとして、ケアマネジメントを理解することもできます。この視点からは、ケアマネジメントの制度設計が重要な問題となります。この2つの視点は、ケアマネジメントを理解する上でともに重要であり、個別支援かシステムかといった二者択一の問題ではありません。このことを念頭に置いて、ケアマネジメントを理解してください。

*テキストでは、「ケースマネジメント」となっていますが、「ケアマネジメント」と読み替えてください。

ケアマネジメントがなぜ必要になるのかを考えるには、ケアマネジメントが歴史上在宅支援の必要性から生まれたことを理解する必要があります。施設介護と在宅介護の違いは何でしょうか。いろいろな側面から検討できますが、ケアマネジメントの視点から見てみるのが重要です。ケアマネジメントは、それ自身が目的であるというよりは、手段にすぎません。それはマネジメントという言葉が示しているように、何かを達成するための仕組みと考えることができます。それでは、どのような目的、あるいは目標が考えられるのでしょうか。ケアマネジメントは2つの視点から見ることを理解していただきたいと書きましたが、実は、それぞれに応じて、利用者指向目標、システム指向目標の

2つに大きく分けることができます。これらの目標はときとして競合する場合があります。ケアマネジメントは、実践の中から生まれてきたので、現実に要求されるさまざまな目標をバランスさせる宿命を持っているといえます。特に、(社会)資源の効果的な使用の面から、ケアマネジメントは注目されてきた経緯があります。これらのことを念頭に置いて、課題を考えてください。

1単位め
解説

テキスト『ケースマネジメント入門』の第1章を参考にしてください。ここでは、特に、ケアマネジメントの機能について詳述していますので、ケアマネジメントの目標だけでなく、ケアマネジメントの機能も論じてください。第8章も参考にしてください。

2単位め
解説

テキスト『ケースマネジメント入門』の第2章アセスメント、第3章ケアプランの部分が対応します。それぞれがケアマネジメントの基本要素ですが、順番に、それぞれの意味と特徴、必要性、役割を説明してください。

3単位め
解説

テキスト『ケースマネジメント入門』の第4章直接サービス機能、第5章間接サービス機能の部分が対応します。順番に、それぞれの意味と特徴、必要性、役割を説明してください。

4単位め
解説

テキスト『ケースマネジメント入門』の第6章モニタリング、第7章評価の部分が対応します。順番に、それぞれの意味と特徴、必要性、役割を説明してください。

参考図書

- 1) D. チャリス, B. デイビス著『地域ケアにおけるケースマネジメント』光生館, 1991年
- 2) S.M. ローズ編『ケースマネジメントと社会福祉』ミネルヴァ書房, 1997年
- 3) 太田貞司・國光登志子編『対人援助職をめざす人のケアマネジメントLearning 10』みらい, 2007年

福祉施設管理論

~20◆

科目コード●050125

担当教員●高橋 誠一



4単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B~20年度以前
入学者~20年度以前
入学者

この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

※この科目の長岡でのスクーリングは小山 剛先生にご担当いただきます。

科目の内容

社会福祉法人は社会福祉の中心的な担い手として、これまで以上の役割を期待されています。日本の社会にも、近年さまざまな格差が生まれるようになり、低所得者の社会問題など、これまでの社会福祉法人の取り組みがますます必要になる状況にあります。

しかし一方で、これまで社会福祉事業を中心とした福祉分野は、利用者を中心とした福祉サービスへとその提供のあり方が大きく変わってきました。その背景には、地域生活支援・自立生活支援ニーズが高まり、従来の福祉援助の仕組みでは対応が困難になってきたことがあげられます。その結果、福祉サービスの特質に配慮しながらも、増大する福祉サービスのニーズに応えるために、特定非営利活動法人（NPO）、民間企業、医療法人などさまざまな法人が事業所を運営して福祉サービスを提供できるように規制が緩和されてきました。

この科目では、社会福祉法人の福祉サービス経営について学んでいきますが、福祉サービス提供組織の多様性も念頭に入れ、共通する内容に重点を置きます。福祉サービス提供組織の存在理由は、利用者へのサービス提供にあります。利用者を中心とした福祉サービスは、利用者のニーズを理解し、本人や家族、地域の住民と協力して提供していくことが多いので、画一的ではない柔軟なサービス提供が求められます。経営者や管理者は、小規模な事業所以外では、直接利用者にサービスを提供することは多くありませんが、生活支援や介護、相談援助を行う職員を通して利用者に貢献しています。ですから、経営者や管理者は職員が働きやすい環境を作り、人材を育成し、必要な資源や組織環境を整えることが重要な仕事になります。そのためには、利用者中心の理念を明確にし、組織的な事業経営に取り組む必要があります。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座11 福祉サービスの組織と経営』中央法規出版、2011年

(平成21年度以前履修登録者) 2010年4月より教科書が一部変更になりましたが、以前の教科書にもとづいてのレポート提出は可能です。

レポート課題

1 単位め	福祉サービスにおける社会福祉法人の特質と役割を説明せよ。
2 単位め	利用者中心の福祉サービスの提供を実現するために必要と考えられることを述べよ。
3 単位め	職員が働きやすい事業所の運営について説明せよ。
4 単位め	福祉サービスの質の改善方法について述べよ。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

(平成21年度以前履修登録者) 2010年4月より、1～4単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題でも2011年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

1単位め 解説

多様な法人が福祉サービスを提供していますが、社会福祉法人は社会福祉事業を担う特別法人として設立を認められた法人です。そのため厳しい規制を受けますが、他の法人では認められない福祉サービスの提供を行うことができます。社会福祉法を読み返して、社会福祉全体の中で、社会福祉法人の役割について考えてください。

2単位め 解説

利用者中心の福祉サービスとは何かを考えてください。利用者中心は利用者本位、利用者主体と呼ばれることもあります。利用者中心の福祉サービスを考えるために、そうではない場合、すなわち提供者中心の福祉サービスを考え、対比すると、はっきりすると思います。一般のサービスでは、消費者主権という言葉が使われますが、これは利用者中心と同じでしょうか。ここでは、直接サービスを提供する職員の立場だけでなく、福祉サービス提供組織の経営者の立場からも考えてください。どのような理念や事業経営が必要になるのでしょうか。

3単位め
解説

職員が働きやすいとはどういうことでしょうか。職員の能力を発揮できる、やりがいを持てる、必要なスキルを身につけることができる、仕事を通して自分自身が成長できるということがあるでしょう。チームの一員として自分の役割を果たせることもあるでしょう。なによりも、利用者が必要とし、役立つ支援をできることが働きやすい職場となると思います。そのためには、経営者や管理者はどのように職員を支援していけばよいでしょうか。また、賃金やキャリアアップの仕組みがはっきりしていることなども重要です。

4単位め
解説

福祉サービスの質は、「言うは易く行うは難し」といえるでしょう。外部の評価としては第三者評価や認証制度があります。事業所自身が、自己評価に取り組むこともあります。このように定期的に、サービスの質を評価し改善に取り組むこともありますが、苦情やサービスの問題を自ら認識して、それに組織的に取り組むこともあります。サービスの質は、利用者の評価にも反映されます。このように福祉サービスの質は、多面的ですが、よりよいサービスを提供することは福祉サービス提供組織の使命と言えるでしょう。

▶ 参考図書

教科書の文献欄をご覧ください。

社会福祉援助技術論Ⅲ

～20◆

(グループワーク)

科目コード●050128

担当教員●熊谷 和史



2単位 | R or SR | 3年以上



この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

人は生まれてから死ぬまで一生、好むと好まないとに関わらず、様々な大小の集団（グループ）に所属ないしは包含された中で生活をしています。例えば、家庭、学校、職場、サークル、地域活動（町内会）等々です。そして、私たちは、こうしたグループから様々な影響を受け、学習し、経験を重ねながら、個人の人格や価値観、あるいは社会的な行動を形成していきます。その意味で、善し悪しは別にして、グループは人が社会的に生きるために重要な基盤（あるいは環境）といえます。

ところで、しばしばグループワークといえば、単なる「グループ活動」や「グループ単位の作業」と捉えられる場合があります。例えば、スポーツや団体競技、あるいは工作などの共同作業やミーティングなどをイメージするかもしれません。

しかし、社会福祉援助技術としてのグループワークとは、対人援助技術の一つの体系であり、単なるグループ活動とは違います。そして、グループワークの援助方法は社会福祉のみならず、医療、臨床心理、社会教育などの分野で幅広く用いられています。さらに、グループワークが使われる場も様々で、例えば、障害を持つ児童の夏期キャンプ、児童館、福祉施設、病院、各種支援センターなど、人が集まるあらゆる場で用いられています。

そこで本科目では、グループワークとはそもそも何か、その意義と目的を学びます。そして、グループワークの展開過程から、固有の方法・技術について学びます。

履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術論Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

教科書（社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ共通）

- 1) 福祉士養成講座編集委員会編集『新版 社会福祉士養成講座 8 社会福祉援助技術論Ⅰ（第3版）』中央法規出版, 2006年
- 2) 福祉士養成講座編集委員会編集『新版 社会福祉士養成講座 9 社会福祉援助技術論Ⅱ（第4版）』中央法規出版, 2007年

※社会福祉援助技術論Ⅰと共通のため、この科目での教科書配本はありません。

レポート課題

1 単位め

グループワークの意義・目的を述べなさい。
※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

2 単位め

グループワークの展開過程を述べなさい。

アドバイス

1 単位め
解説

そもそも一般的にいわれるグループとは何かについて述べた後、グループワークの捉えるグループとは何か、その意義と目的について以下の①～⑤を中心にまとめ、最終的には、つまりグループワークとは何なのかについて簡潔に述べてください。

一般的なグループの意味については、教科書1)のpp.168-173を参照し、特に、①個人とグループの関係、②社会化と再社会化、③現代におけるグループの意義をまとめます。

グループワークの意義と目的については、教科書1)のpp.91-107, pp.149-157, pp.173-178, pp.212-227を参照し、④グループワークの定義、⑤治療教育力をまとめます。特に治療教育力は重要ですので、よくまとめてほしいと思います。

さらに学習を深めたい方は、下記の参考図書から様々なグループワーク・モデル（治療モデル、交互作用モデル、ヒューマニズムモデル、社会的諸目標モデルなど）や理論形成に至る歴史的背景などを学ばれると良いと思います。

2 単位め
解説

実際にグループワークがどのように運用されるのかを述べながら、グループワーク固有の方法・技術について学んでいきます。

グループの展開過程は、①準備期、②開始期、③作業期、④終結期があります。このことについて、教科書1)のpp.212-227, pp.238-247, 教科書2)のpp.68-

96, pp. 371-377を参考にコンパクトにまとめてください。

なぜコンパクトなのかといいますと、例えば、準備期に行われる手順、「計画」、「形成計画」、「波長あわせ」などの内容一つ一つを説明していくと大幅に規定の字数を超えてしまうからです。

規定の字数内でまとめることも学習の一つであると考え、はじめに展開過程とは何かについて簡単に説明した後、①～④それぞれについて300字～500字で「まとめ」、最後にグループワーク固有の方法・技術とは何かについて述べてほしいと思います。

さらに学習を深めたい方は、教科書1)のpp. 192-202や参考図書1)からグループワークの原則や援助媒体をおさえる。あるいは、具体的な展開過程などは教科書2)の事例などを読むことをおすすめします。

参考図書

- 1) 野村武夫『はじめて学ぶグループワーク』ミネルヴァ書房, 1999年
- 2) 黒木保博ほか『グループワークの専門技術』中央法規出版, 2001年
- 3) 大塚達夫ほか『グループワーク論』ミネルヴァ書房, 1986年

参考図書の1)は、グループワークを総体的に捉えるには良いかと思います。2)は、事例をふんだんに盛り込み、展開過程で気をつけるポイントなどが詳細に述べられていて実践的だと思います。3)は、場面別のグループワークの活用例など示唆に富みます。また、参考文献や解説、用語の索引が充実しています。

社会福祉援助技術論Ⅳ

~20◆

(コミュニティワーク)

科目コード●050129

担当教員●松田 昭裕



2単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉

選択

~20年度以前
入学者

社会教育

選択B

福祉心理

選択B

~20年度以前
入学者

この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

地域において住民が何らかの要因で困難や問題が起こったときに、さまざまな社会資源を組織化し、かつ活用しながら問題解決に導いていくのが、地域援助技術（コミュニティワーク）です。近年、地域福祉の時代や在宅福祉の時代と言われるなか、地域で解決すべき課題が山積し、ますますコミュニティワークが果たす役割は大きくなっています。

地域援助技術は、地域社会の福祉ニーズや福祉問題、福祉運営の課題に対応して、直接援助技術が展開しやすいように環境を整える働きをする技術であるため、地域の歴史や特性、環境の違いを念頭に入れて展開されるものといえます。

この科目では、社会福祉援助技術を把握した上で、地域援助技術の対象・主体・組織・方法など体系と理論およびワーカーの役割について学びます。

教科書（社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ共通）

- 1) 福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 8 社会福祉援助技術論Ⅰ（第3版）』中央法規出版、2006年
- 2) 福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座 9 社会福祉援助技術論Ⅱ（第4版）』中央法規出版、2007年

※社会福祉援助技術論Ⅰと共通のため、この科目での教科書配本はありません。

履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術論Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

レポート課題

1 単位め

日本におけるコミュニティワークの沿革を述べ、コミュニティワーカーの役割について論説しなさい。

2 単位め

あなたの身近な事例（架空の事例も可）、またはテキストの事例を織り込みながら、地域援助技術の展開過程のプロセスを参考にまとめ、あなたの考えを述べなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より、1～2単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題でも2011年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

地域援助技術は、自分の住んでいる地域のことを想定しながら読み進めていくと、より深く理解が進むと思います。

また実際に地域援助に携わっている方は、ご自身の仕事の内容と実際の業務とを比較しながら読み込んでいくと、理解の幅がぐっと広がっていくと思います。

自分自身の問題、つまり当事者意識でこの科目を学修されることをお勧めいたします。

1単位め
解説

国政的には、コミュニティワークの前身はCOS（慈善組織協会）の活動やツルメント活動などであるが、ここでは、日本の沿革を学んでください。さらに、ワーカーとしての役割についても、しっかりと学んでください。

2単位め
解説

事例研究としての課題です。その事例もあなたが決めてください。あなたの身近にある事例、架空の事例、または、テキストにある事例を取り上げ、地域援助技術の展開過程の「活動の発端」から「ステップ4」にもとづいてまとめ、あなたの考えを記してください。なお、展開過程は、「活動の発端」は必ず必要ですが、「ステップ1～4」は、必ずしもその順序になるとは限りません。

参考図書

- 1) 杉本敏夫・斉藤千鶴編『改訂 コミュニティワーク入門』中央法規出版、2003年
- 2) 高森敬久ほか著『地域福祉援助技術論』相川書房、2003年
- 3) M.E.リッチモンド著『ソーシャル・ケース・ワークとは何か』中央法規出版、1991年

- 4) 濱野一郎ほか編『コミュニティワークの理論と実践を学ぶ』みらい, 2004年
- 5) R.ハドレイ・M.クーパー・P.デール・G.ステイシー共著『コミュニティ・ソーシャルワークハンドブック：地域福祉を進める技術』川島書店, 1993年
- 6) Z.T.ブトゥリム著『ソーシャルワークとは何か その機能と本質』川島書店, 1986年

社会福祉援助技術演習Ⅱ

～20◆

科目コード●050131

担当教員●関川伸哉・三浦 剛・渡辺憲介
佐々木裕彦・小山 剛・川口正義
佐藤博彦 ほか

2 単位

SR

3 年以上



この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

「社会福祉援助技術演習B」 p. 119参照。

スクーリング講義概要

「社会福祉援助技術演習B」スクーリング講義概要 p. 119参照。

教科書 (いずれも「社会福祉援助技術演習Ⅰ」と共通)

- 1) 白澤政和・福山和女・石川久展編集『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版、2009年
 - 2) 必要に応じて他の書籍・資料を配布します。
- (平成21年度以前履修登録者) 2010年4月より教科書が変更になりました。今後は必ず新しい教科書にもとづいてレポート課題やスクーリングに取り組んでください。

なお、平成21年度(一部平成20年度)の「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」履修登録者で、「演習Ⅱ」の単位未修得で、同年度学費納入済みの方には上記教科書を平成22年3月中旬にお送りしております。また、上記以外の「演習Ⅰ」「演習Ⅱ」履修登録者でまだ新しい教科書がお手元にない方は、4月30日までに任意の用紙にてお申込みください。締切日以降の申込みは、すべて有料となりますのでご注意ください。

履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術演習Ⅰ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をするのみが履修登録できます。

レポート課題

1 単位め

相談援助実践における記録の意義と具体的記述方法をまとめてください。また、ソーシャルワーカーにとって地域社会資源の活用や開発の①意義や必要性②その留意点について述べるとともに、同じく相談援助におけるスーパービジョンの目的、機能、あり方についてまとめてください。

(担当：佐藤博彦)

2 単位め

平成18年に改正、平成19年に公布された「社会福祉士および介護福祉士法」の一部改正に伴う、今後の社会福祉士の役割と課題についてまとめてください。

(担当：関川伸哉)

アドバイス

1単位め 解説

ソーシャルワーク実践における記録の意義とはなんでしょうか。まず、何故ソーシャルワーク実践において記録が必要なのか考えてみましょう。サービス提供者の情報共有のためでもあるでしょうし、また、サービス提供実施の証明のためでもあるでしょう。何のために必要であるのかをまとめてください。次に、スーパービジョンについてです。スーパービジョンは、ソーシャルワーク実践に関して、知識・技術・倫理等が十分備わっていないワーカーに対してもなされるものですが、経験豊かなワーカーにもその必要性があります。ソーシャルワーク実践において、実践に携わるすべてのワーカーに対して、何故スーパービジョンが必要なのでしょう。そのスーパービジョンの目的、機能、あり方についてまとめてみましょう。また、記録とスーパービジョンの関係性も併せて考察してみましょう。

また、現在、相談援助技法の一つと考えられているケアマネジメントは、利用者のニーズと社会資源を結びつけることがその中心的な概念です。そこで地域の社会資源活用やそれらが十分とは言えない場合、また使いにくい場合の開発の考え方や方法は、ケアマネジメントの学習を通しておこなうのがよいと思います。p. 121の参考図書を参考にしてください。

2単位め 解説

はじめに、今回の法改正にいたる背景について整理してください。その後、本改正のポイントを考慮し、課題について客観的にまとめてください。その際に、事実と各自の考察（考え）をしっかりと分けて作成するように心掛けてください。

※レポート末尾に本文中で使用した参考・引用文献を必ず5つ以上明示してください。

レポートの提出方法

- ・1単位につき1冊のレポート用紙を使用してください。
 - ・各レポートの字数は2,000字程度ですが、手書きの場合p.16まで使用し最長4,000字程度まで記入していただいても可です（パソコン印字の場合、左右40字×30行×4枚まで）。
 - ・各レポート用紙表紙には、「レポート課題」記載の担当教員名を記入してください。
1単位めは、スクーリング受講前にp.123～124の提出期限までに提出してください。
2単位めは、スクーリング受講後に提出してください。
- ※レポート作成に当たっては、ご自身の経験だけでなく、教科書をよく読んだうえで取り組んでください。2単位めは5冊以上の文献にあたってください。ただし、教科書の丸写しは避けてください。
- ※今年度履修登録はするが、スクーリングを受講しない方は、レポートの提出はご遠慮ください。

スクーリング受講上の注意

- ※この科目はスクーリング受講が必ず必要です。
- ※受講条件や申込方法の詳細は、下記「演習Ⅱ スクーリング受講条件」「演習Ⅱ スクーリング申込手続・レポート提出締切」をご覧ください。
- ※スクーリングの際には、自己紹介、学生同士の話し合いや発表・ロールプレイングなどへの参加が求められます。

演習Ⅱ スクーリング受講条件

- 下記(1)～(3)を満たしていることが必要です。
- (1) 3年生以上の方、または10月生は9/15の時点で、4月生は3/15の時点で2年生の方。
 - (2) スクーリング申込締切日（9月15日・11月末・3月15日の年3回）までに社会福祉士・指定科目のなかから、6科目分すべてのレポートの提出。
 - (3) 受講判定日（9月15日・9月末日・10月15日・11月末日・3月15日・3月末日・4月15日）までに、下記の①②の条件を達成していること。
 - ① 「社会福祉援助技術論Ⅰ」「社会福祉援助技術演習Ⅰ」の単位の修得。
 - ② 「社会福祉援助技術演習Ⅱ」の1単位めレポートの提出。
- ※9月15日時点で上記①②の条件を満たしていないと、10月のスクーリングは原則として受講できません。

※11月末（申込締切・受講判定日）申込みは、9月15日締切で申込みを行い、受講条件が満たされなかった方のみが受講可能となります（p.124、注4）参照。

※平成24年度に受講を希望する方は、平成24年3月15日・9月15日が申込締切となります。詳細は『レポート課題集2012（3・4年次）』でご案内する予定です。

※条件を満たすための単位修得方法は下記のとおりです。

●9月申込希望者の単位修得方法について

平成23年9月申込時点で単位修得の条件を満たそうと思う科目については、どんなに遅くとも下記の期日までに学習を終えてください。

・レポート 社会福祉士・指定科目のうち6科目は9月15日必着で提出。

※なお、申込締切時に単位修得が必要な「社会福祉援助技術論Ⅰ」および「社会福祉援助技術演習Ⅰ」は、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。

※9月1日以降に再提出で返却されたレポートは10月12日まで提出可。

「演習Ⅱ」1単位めレポートは遅くとも受講判定日（10/15）までの提出で可。ただし、9月15日までに提出しないと、10月のスクーリングは原則として受講できません。

・科目修了試験 9月までの科目修了試験を受験して合格していること。

・スクーリング 各判定日3日前までのスクーリングを受講して合格していること。

●3月申込希望者の単位修得方法について

基本的に9月申込希望者のものに準じますが、レポートは3月15日必着（再提出レポートは4月10日まで可）、科目修了試験は2月下旬までの受験が必要になります。

ただし、「演習Ⅱ」1単位めレポートは遅くとも受講判定日（4/15）までの提出で可。

※社会福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目履修の流れについては、『学習の手引き』3章（3年次編入学者は2章も参照）もご覧ください。

▶演習Ⅱ スクーリング申込手続・レポート提出締切

「社会福祉援助技術演習B」p.123～124参照。ただし「演習B」は「演習Ⅱ」と、「2・3単位め（事後）レポート」は「2単位め（事後）レポート」と読みかえてください。

※5～7月のスクーリングを受講し、社会福祉援助技術現場実習の申込みを8月末日締切で行う場合は、2単位め（事後）レポートを7月末日までに提出してください。2単位め（事後）レポートの最終締切は平成24年1月20日です。

受講許可通知発送

「社会福祉援助技術演習B」 p. 124～125参照。

単位認定

スクーリング時間内において、ソーシャルワーク実践に関する基本的な視点や態度をどの程度身につけることができたかについて確認をしていただきます。その確認内容が、本スクーリングで学んだことと著しく相違していると思われる内容である場合には、本科目は再履修となる場合もあります。スクーリング結果は、受講後1カ月以内に送付します。

1 単位めレポート（事前課題）＋スクーリング（積極的討議参加・確認内容結果等）＋2 単位めレポート（事後課題）により単位の認定を行います。

この科目単位を修得できなかった方で再受講をする場合、スクーリングの申込みをあらためて行う必要があります。

昨年度までは、再受講する場合はレポートもあらためて提出していただいておりますが、今年度より合格済のレポート（再提出の場合を除く）については、あらためてのレポート提出は行わなくてもよいことにいたします。

また、2 単位めレポートを1月20日までに提出しないと、スクーリング受講は無効となります。その場合も次年度以降に再度スクーリング受講は必要となりますが、合格済のレポートの提出は必要ありません。

社会福祉援助技術現場実習指導

~20◆

科目コード●050132

 担当教員●阿部 一彦・高橋 誠一・田中 治和・三浦 剛
 山川 敏久・君島 昌志・中里 仁・柿沼 利弘
 竹之内章代・千葉喜久也・佐藤 博彦ほか

2 単位

SR

4 年

社会福祉

選 択

 ~20年度以前
 入学者

この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

これまで学修してきた社会福祉学の専門知識を深化させるとともに、各自の援助能力の開発・今後の課題の明確化・自己理解を深める場であり、あわせて福祉専門職としての倫理観を理解する機会となります。

① 実習事前指導

実習計画の作成と事前準備（実習の心構え、対人援助・援助過程等の確認、記録作成）。

② 実習事後指導

実習体験の意識化・客観化・内面化の作業、抽象化・体系化できる能力の涵養^{かんよう}に努める。

教科書

- 1) 『社会福祉援助技術実習の手引き（第1分冊）』東北福祉大学(演習Ⅰ・Ⅱ受講者に配布)
- 2) 『社会福祉援助技術実習の手引き（第2分冊）』東北福祉大学(実習申込者に配布)
- 3) 『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』東北福祉大学(実習申込者に配布)
- 4) 白澤政和・米本秀仁編『社会福祉士相談援助実習』中央法規出版、2009年

※22年度から教科書4)が変更になりました。21年度以前の履修登録者には実習申込受理段階で配本します。

レポート課題

課題 1	<p>事前指導スクーリング受講前の課題</p> <ol style="list-style-type: none">① 「実習計画案」を作成する（鉛筆書き）＝コピー1部を事前指導スクーリング3週間前必着で通信教育部まで送付してください。必ず90円切手貼付・返信先住所記入の返信封筒を同封してください。封筒を第4種郵便で送付したい方は、『学習の手引き』6章記載の要領で送付してください。② 『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』（鉛筆書き）の「事前訪問までの準備」の部分をすべて完成させる（「事前訪問の主な課題」の部分は記入できる範囲で記入する）＝スクーリング時に持参ください。完成していない場合、または内容不十分な場合は、当日、事前指導を受講できないことがありますので注意してください。
課題 2	<p>事前指導スクーリング受講後の課題</p> <ol style="list-style-type: none">① 「実習計画書（清書用）」を完成させる＝コピー2部を実習開始日の1カ月前必着で通信教育部まで送付してください。② 実習先への事前訪問後、『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』の「事前訪問学習の主な課題」の部分ほかすべてを完成させる＝実習先に持参し活用したうえで事後指導スクーリング時に提出してください。
課題 3	<p>実習後、事後指導スクーリング受講前の課題</p> <ol style="list-style-type: none">① 実習事後レポート：4,000字程度＝事後指導スクーリング3週間前必着で通信教育部まで送付してください。② 『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』完成させたもの＝事後指導スクーリングの際に持参してください。③ 実習記録＝実習先から大学に返送されます。

アドバイス

主体的に取り組んでください。また、教科書は必ず熟読してください。実習に関する上記「課題学習」の内容や流れの詳細は、下記、および実習係から配布される書類やスクーリング時の指示に従ってください。

受講条件

社会福祉援助技術現場実習の申込締切（8月末または11月末）までに下記の条件を満たした上で、「社会福祉援助技術実習希望届」「学習計画書」「体験学習記録（または合格済みの実績報告書）」の提出により申込みを行ってください。実習審査会における審査に合格すれば実習受講が認められます。

- (1) 実習を希望する年度の初めに、「社会福祉援助技術現場実習指導」および「社会福祉援助技術現場実習」の履修登録を行っていること。履修登録を行っていない場合は受講できません。

(2) 実習申込締切日（8月末または11月末）の時点で下記の申込受理条件を満たすこと。ただし11月末申込者については2月20日の受講判定日までに条件を満たせば可。

・ 8月末締切実習申込者の申込受理条件：

- ① 社会福祉士・指定科目18科目のうち、「社会福祉援助技術現場実習指導」「社会福祉援助技術現場実習」を除く18科目中12科目の単位修得済みであること。また、「社会福祉援助技術演習Ⅱ」は必ず単位修得していること。
- ② 8月末の時点で、卒業が見込まれること。1年次入学者は90単位以上、2年次編入学者は60単位以上、3年次編入学者は28単位以上修得済みであること。※2・3年次編入学時の一括認定単位数は除きます。

・ 11月末締切実習申込者の申込受理条件：

- ① おそくとも1月20日までに社会福祉援助技術演習Ⅱのスクーリングを受講済みで、社会福祉援助技術演習Ⅱのレポートを提出していること。
- ② 11月末日までに「演習Ⅱ」を含む指定科目8科目の単位修得。
- ③ ②が達成できなかった方→12月20日までに「演習Ⅱ」を含む9科目の単位修得。
- ④ ③が達成できなかった方→1月20日までに「演習Ⅱ」を含む10科目の単位修得。
- ⑤ ④が達成できなかった方→2月20日までに「演習Ⅱ」を含む12科目の単位修得。
- ⑥ 自身が条件を達成する受講判定日において、80単位以上を修得していること。
- ⑦ 体験学習（3日間）を実施し、合格していること。
- ⑧ 社会福祉分野の業務に携わる意志を強く持っており、社会福祉の学習および実習に対して熱意と意欲をもっていること。また、社会的なルールが守れること。

(3) 福祉施設等での勤務経験がない方は対象施設での「体験学習」（3日間）を行い、「体験学習記録」を完成させ提出すること。なお、社会福祉援助技術実習対象施設での勤務経験のある方は、「実績報告書」（「体験学習・次年度実習ガイダンス」において配付される『社会福祉援助技術実習の手引き』の様式）を提出し、合格していること。

(4) スクーリング受講3週間前の指定期日までに、1単位め（事前課題）レポートの「実習計画案」を提出すること。

(5) カリキュラム変更（実習申込期限および実習設定期間等）に伴い、平成21年度以降に当該ガイダンスを受講した場合は、向こう2年間（4回の申込み）を実習申込みの有効期間とします。

ガイダンス受講希望者は、本冊子巻末の「体験学習・次年度実習ガイダンス申込用紙」にて各演習申込期日までにお申込みください。

◆実習申込希望者の単位修得方法

(8月末申込希望者の単位修得方法)

- 1) レポート 7月末日まで(必着)に提出。ただし、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。
※7月15日以降に再提出で返却されたレポートは8月25日まで提出可。
- 2) 科目修了試験 7月下旬(第3回科目修了試験)までの科目修了試験を受験して合格していること。第3回科目修了試験を受験する方は、平成23年7月14日がレポート提出締切日(必着)です。
- 3) スクーリング 8月下旬までのスクーリングを受講して、8月末までに合格していること。

(11月末申込希望者の単位修得方法)

- 1) レポート 受講判定日(11月末、12/20、1/20、2/20)の1カ月前までに提出し、判定日までに合格していることが必要です。不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。なお、11月末に判定を受ける場合の「演習Ⅱ」のレポート提出は特例で11月20日までとします。
なお、1/5以降に再提出で返却されたレポートは2/15まで提出が可能です。
- 2) 科目修了試験 11月末および12/20が判定日の場合は第5回(10月)を、1/20が判定日の場合は第6回(12月)を、2/20が判定日の場合は第7回(1月)科目修了試験までを受験して合格していることが必要です。
- 3) スクーリング 各判定日の3日前までのスクーリングを受講して合格していることが必要になります。

▶平成23年度スクーリング開講予定

■2011年2月1日～7月10日に実習を希望する方の事後指導スクーリング

開講日	時間	会場	申込締切	事後課題提出期限
(1)6月12日(日)	10:00~15:10	仙台	4月8日(金)	4月30日(土)必着
(2)9月3日(土)	10:50~17:30			7月15日(金)必着

■2011年6月27日～12月25日に実習を希望する方の事前指導スクーリング

開講日	時間	会場	申込締切	実習計画案提出期限
(1) 4月16日(土)	10:50～17:30	仙台	4月1日(金)	3月25日(金)必着
(2) 5月3日(火)	10:50～17:30			4月11日(月)必着
(3) 5月14日(土)	10:50～17:30			4月22日(金)必着
(4) 5月21日(土)	10:50～17:30			4月28日(木)必着
(5) 6月25日(土)	10:00～16:40			6月3日(金)必着

■2011年6月27日～12月25日に実習を希望する方の事後指導スクーリング

開講日	時間	開催地	申込締切	事後課題提出期限
(1) 9月3日(土)	10:50～17:30	仙台	7月15日(金)	8月17日(木)必着
(2) 10月22日(土)	10:50～17:30			9月30日(金)必着
(3) 11月19日(土)	10:50～17:30			10月28日(金)必着
(4) 11月26日(土)	10:00～16:40	川口	9月30日(金)	11月4日(金)必着
(5) 11月26日(土)	11:20～18:00	札幌		
(6) 11月26日(土)	10:00～16:40	盛岡		
(7) 11月26日(土)	10:00～16:40	新潟		
(8) 平成24年1月7日(土)	10:00～15:10	仙台		12月22日(木)必着

■2012年2月1日～7月10日に実習を希望する方の事前指導スクーリング

開講日	時間	開催地	申込締切	実習計画案提出期限
(1) 11月5日(土)	10:00～16:40	仙台	9月16日(金)	10月14日(金)必着
(2) 12月17日(土)	10:00～16:40			11月25日(金)必着

▶ スクーリング受講上の注意

実習事前指導のスクーリングを欠席された方は、社会福祉援助技術現場実習は履修できません。

また実習事後のスクーリングを欠席された方は、社会福祉士国家試験受験資格を取得できません。

▶ 単位認定通知

①事前指導スクーリング、②実習計画案、③実習、④『社会福祉援助技術現場実習・課題ノート』、⑤実習記録、⑥事後レポート、⑦事後指導スクーリングの評価を総合して行

います。単位認定通知は、事後スクーリング受講から1カ月程度で書面で通知します。

参考図書

- 1) 早坂聡久・増田公香・福祉臨床シリーズ編集委員会編『相談援助実習・相談援助実習指導——ソーシャルワーク現場実習・ソーシャルワーク実習指導』弘文堂, 2009年
- 2) 川廷宗之・藤林慶子・高橋流里子著『相談援助実習（MINERVA社会福祉士養成テキストブック）』ミネルヴァ書房, 2009年
- 3) 日本社会福祉士会編『改訂 社会福祉士の倫理——倫理綱領実践ガイドブック』中央法規出版, 2009年
- 4) 岡田まりほか編『ソーシャルワーク実習』有斐閣, 2002年
- 5) 福山和女・米本秀仁編著『社会福祉援助技術現場実習指導・現場実習』ミネルヴァ書房, 2001年
- 6) 宮本和明ほか編『五訂 社会福祉実習』中央法規出版, 2007年
- 7) 岡本榮一ほか編『三訂 福祉実習ハンドブック』中央法規出版, 2002年
- 8) 小木曾宏ほか編著『よくわかる社会福祉現場実習』明石書店, 2005年
- 9) 吉澤英子ほか編著『社会福祉施設の理解を深めるために』樹村房, 2006年
- 10) 各社発行の福祉小六法・社会福祉辞典
- 11) 東北福祉大学通信教育部『社会福祉援助技術実習の手引き【第2分冊】』中記載の各参考文献

社会福祉援助技術現場実習

~20◆

科目コード●050901

 担当教員●阿部 一彦・高橋 誠一・田中 治和・三浦 剛
 山川 敏久・君島 昌志・中里 仁・柿沼 利弘
 竹之内章代・千葉喜久也・佐藤 博彦ほか

4 単位

実習科目

4 年

社会福祉

選 択

 ~20年度以前
 入学者

この科目は、平成20年度以前入学者に対して開設されている科目です。平成21年度以降に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

指定施設において、23日間以上かつ180時間以上の現場実習を行うものです。

実習を通し、社会福祉士としての価値や倫理、技術を十分に自分のものとしていくことが望まれます。

詳細は『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』に記載の内容と実習係から配布される書類、ならびに前年度の次年度実習ガイダンス、および事前指導スクーリング時に指示されます。

教科書

「社会福祉援助技術現場実習指導」 p. 59参照。

アドバイス

実習計画案作成にあたっては、健康管理を含め無理のない日程になるよう十分配慮してください。

主体的に取り組んでください。また、教科書は必ず熟読してください。実習に関する「課題学習」の内容や流れの詳細は実習係から配布される書類の指示に従ってください。

実習期間・時期

◆実習期間

- (1) 23日間以上、かつ180時間以上（両方の条件を満たすことが必要）
- (2) 分割的に実習を行うことも、受け入れ先の了解、および実習内容等について、社会福祉援助技術現場実習指導教員および通信教育部実習係の了解が得られれば可能です。ただし、原則として1週間（5日間以上）×4回を最も細かい分割とします。

- (3) 実習先の指導により、宿泊しながらの実習となる場合もあります。夜勤の実習は午前0時で区切って、1日の実習時間が原則8時間となるようにします。
- (4) 実習時間の決定などにあたっては、健康管理を含め無理のない日程になるように十分配慮してください。例えば、勤務等をしている方で、実習を6日間実施し、実習の休みの日に自身の職場で勤務すること等は認めていません。

◆実習時期

2月1日～7月10日 → 前年8月末申込みで実習の受講が認められた方
(実習の流れ)

- ① 8月末までに実習申込み → ② 11月～12月いずれかの事前指導受講
→ ③ 2月1日～7月10日の期間に実習
→ ④ 6～9月いずれかの事後指導受講 → ⑤ 9月卒業

6月第4週～12月25日 → 前年11月末申込みで実習の受講が認められた方
(実習の流れ)

- ① 11月末までに実習申込み → ② 4月～6月いずれかの事前指導受講
→ ③ 6月第4週～12月25日の期間に実習
→ ④ 9月～翌年1月いずれかの事後指導受講 → ⑤ 3月卒業

(10月生は実習を6月第4週から8月上旬までに実習を終え、9月の事後指導を受講すれば9月卒業が可能)

受 講 条 件

実習に出るためには下記の受講条件を満たすことが必要です。

- (1) 卒業後、社会福祉分野の業務に携わる意志を強く持っており、社会福祉の学習および実習に対して熱意と意欲をもっていること。
- (2) 社会福祉士の国家資格の取得を強く希望し、国家試験の受験をする意欲があること。
- (3) 「社会福祉援助技術現場実習事前指導」のスクーリングを受講していること。
- (4) 「個人記録」、「健康診断書」、「誓約書」、「社会福祉援助技術現場実習課題ノート」、「実習計画案(下書き用)」、「実習先への交通手段」を事前指導スクーリング時に提出していること。
- (5) 実習開始日の1カ月前までに完成した「実習計画書(清書用)」のコピー2部を通信教育部に提出していること。
- (6) 実習開始日の2カ月前までに指定科目40単位以上を修得していること。

- (7) ルールが守れない方（スクーリングやガイダンスに遅刻する、許可なく自家用車で本学に来校する、事前・事後レポートの提出期限や入金期限が守れないなど）は、実習先に迷惑をかけるおそれがあるとされ、実習受講が許可できなくなります。

単位認定通知

原則として、「社会福祉援助技術現場実習指導」単位認定通知といっしょに、事後スクーリング受講から1カ月程度で書面で通知します。

実習費

実習費（80,000円）と、事前事後指導スクーリング受講料（10,000円）をそれぞれ請求させていただきます。期限（5月10日または10月25日）までにコンビニエンス・ストアで納入してください。原則として、一旦納入した実習費は、返却できませんのでご注意ください。

実習費には、実習保険加入費、実習委託費（謝礼）、実習巡回費、諸手続き費などが含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも、その部分を実習生に返金することはできません。ご了承ください。

また、2施設で実習を行う場合は追加実習費30,000円が必要となります。

新型インフルエンザ，はしかなどの感染症対策について

『社会福祉援助技術実習の手引き』【第1分冊】（「体験学習・次年度実習ガイダンス」受講時に配付）、および本冊子 p. 200～201 参照。

精神保健福祉論Ⅲ

科目コード●050135

担当教員●菅原 好秀



2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉

選択

社会教育

選択B

福祉心理

選択B

科目の内容

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」いわゆる「精神保健福祉法」を中心に学びます。精神障害者の福祉は障害者福祉の大枠で理解することも大切です。また、障害者基本法、身体障害者福祉法、知的障害者福祉法との関連や各種の人権宣言や条約、国連原則なども合わせて理解することを目標にしています。

教科書（「社会福祉法制」と共通）

志田民吉・伊藤秀一編著『社会福祉サービスと法（改訂）』建帛社、2007年（平成19年度以前履修登録者）2008年4月より教科書が部分改訂されています。レポート課題に変更はありません。スクーリング受講時は以前の教科書でも結構です。

レポート課題

1 単位め

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」（略称は「精神保健福祉法」）の制定趣旨についてまとめなさい。

2 単位め

精神障害者の人権について、考えるところをまとめなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

1単位め
解説

テキストの解説を精読することと、さらに障害者基本法やテキスト資料編（教材1・2）に掲げる精神障害者の国連原則等も合わせて読みながらまとめられるとよいでしょう。

2単位め
解説

単に私見を述べるのではなく、テキストや各種の人権規定（憲法や国際的な条約、宣言など）などを合わせ読みながら、人が精神障害を抱えながら社会の中で生活を営む際に、その人と社会との関係の有り様を意識しながら、まとめ

てみるとよいでしょう。また、関連する新聞記事などにも配慮しながら考えてみるとよいのではないかと思います。

▶ 参考図書

- 1) 渡辺信英著『福祉のための法学』南窓社, 2011年
- 2) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社, 2010年

精神科リハビリテーション学

科目コード●050139

担当教員●八巻 幹夫



4 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉

選 択

社会教育

選 択 B

福祉心理

選 択 B

科目の内容

わが国における精神障害者の処遇と障害者施策の概要を学ぶことを通して、精神障害を構成する要因や「社会復帰（リハビリテーション）」の意味とその目標について理解を深めるようにしたいと思います。また、精神障害領域での社会福祉の視点は「生活障害を回復し社会生活を維持する」にあります。また、「生活機能」と「生活障害」の内容およびその回復への援助過程についても理解を深めるようにしましょう。

教科書

日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座 3 精神科リハビリテーション学』中央法規出版、2009年

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より上記教科書に変更されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め	障害者リハビリテーションと精神科リハビリテーションの概念を述べ、相違点について述べなさい。
2 単位め	上田敏・蜂矢英彦・ICF（2001年版）の障害概念について述べなさい。
3 単位め	我々の生活に占める「働くこと」の意義を述べ、現状の障害者に対する職業リハビリテーション施策法と就労支援の際の留意点を述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題
4 単位め	生活の構造とその機能を述べ、「生活障害」の内容について述べなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

(平成21年度以前履修登録者) 2009年4月にレポート課題が変更されました。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月に、受付を締め切りました。

アドバイス

『学習の手引き』6章などに記載しているレポートの書き方（自分の文章と引用部分の明確な区別、出典の明示など）は必ずお守りください。

1単位め 解説

リハビリテーションの焦点は障害の改善にあります。専門家は対象者のリハビリテーション過程にいかに関与するかが大きな鍵になります。その際の基本的視点または原則についても考察してください（第1章を参照）。

2単位め 解説

障害者リハビリテーションは対象者との協働作業です。その為の動機づけや目標設定において、障害構造の理解は不可欠なものです。そして、他の障害領域と精神障害領域との違いをきちんと理解してください。参考図書（『障害構造論入門』『ICF（国際生活機能分類）の理解と活用』）も参考にしてください。なお、精神保健福祉論1のテキスト『第4巻 精神保健福祉論』第2章第1～2節も参考になります。

また、蜂矢英彦については、次の論文が参考になります。蜂矢英彦「精神障害論試論」（『臨床精神医学』10巻12号，p. 1653～1661）。ただし、一般書店での入手が困難ですので、図書館の文献複写取り寄せ（有料）などをご利用ください（『図書館ハンドブック』参照）。

3単位め 解説

私たちは働いて得る収入によって様々な欲求を満ちし生活しています。それだけ、働くこと（就労）は重要な要素ですが、生活課題の全てを解決するものではない。この視点で働く意義を考察してください。また、現在の障害者就労支援施策については、第6章第2節あるいは職業安定所にて配布されているパンフレットなどを参考にしてください。

4単位め 解説

生活（暮らし）における「生活の障害、生活のしづらさ」は、精神保健福祉士にとっては重要な視点です。その「生活」を構成する要素と機能の理解が不十分では生活の支援さえもできないことになります。生活障害の構造と機能について課題をまとめてください。第5章第2節を参照するだけでは不十分ですので、参考図書（『人と作業・作業活動 第2版』）も参考にしてください。

参考図書

- 1) 八木剛平・田辺英著『日本精神病治療史』金原出版，2002年
- 2) 佐藤久夫著『障害構造論入門』青木書店，1992年
- 3) 上田敏著『ICF（国際生活機能分類）の理解と活用』きょうされん，2005年
- 4) 清水正徳著『働くことの意味』岩波新書，1982年
- 5) 山根寛ほか著『人と作業・作業活動 第2版』三輪書店，2005年

精神医学

科目コード●050140

担当教員●松江 克彦



4 単位

R

3 年以上

社会福祉

選択

社会教育

選択B

福祉心理

選択B

科目の内容

精神障害は紀元前の古くから知られていましたが、科学的な近代精神医学が確立されたのは約一世紀前のことです。そして約50年前に向精神薬が発見されて以来、精神障害の治療は著しく進展し、ここ四半世紀は、精神障害の主座としての脳に関する検査法や研究においてもめざましい発展を示してきました。本科目では、精神医学、精神医療の成り立ちから説明し、精神医学関連の基礎知識、診断の手順、各種精神障害とその治療法について理解することを目的とします。さらに、病院精神医療や地域精神医療についても理解を深めます。現代は心の時代ともいわれますが、精神医学の方法や精神障害についての学習を通して、疾患としての精神障害の理解はもちろんのこと、心を科学的に考える方法も身につけるように心掛けましょう。

教科書

日本精神保健福祉士養成校協会編集『新・精神保健福祉士養成講座1 精神医学』中央法規出版、2009年

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『改訂 精神保健福祉士養成講座1 精神医学』にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め

精神科診断はどのような方法に基づいて、どのような診察の手順で行われるかを説明し、さらに診断をより確実にするための種々の検査法を挙げて説明せよ。

2 単位め	【説明型レポート】 下記について各300字以上500字以内で簡潔に説明してください。 ①統合失調症の症状および経過と予後について ②うつ病エピソードの症状と予後について ③アルコール依存症の診断と離脱症状について ④多動性障害の症状と予後について
3 単位め	神経症性障害，ストレス関連障害および身体表現性障害において，各障害を分類して説明を加え，これらの障害の原因について考察せよ。
4 単位め	精神科治療における薬物療法について使用薬物を分類し，その効果と副作用について説明せよ。

アドバイス

諸君が精神医学を学ぶにあたってまず想定されるのは，専門用語が多いこともあって理解するのが容易ではないだろうということです。そのような場合は，教科書だけでなく，末尾に挙げた参考図書や，市販の精神医学用語辞典なども参考にするとよいと思います。また，現代は心の時代といわれるほどなので，精神疾患についての科学番組や新聞記事も随分増えています。精神医学や脳科学に関するテレビの番組や新聞の記事なども見るようにして知識を増やすよう努力してください。そのような積み重ねが，精神医学を身近なものにし，理解を助けてくれます。

さて，レポート課題に取り組むにあたって考えておいて欲しいのは，レポート課題を教科書で調べ，それを要求される字数で書き写せばよいというような態度ではいけないということです。課題は4つだけですが，レポート課題にないから重要でないというわけではありませんので，その他の部分もよく理解するようにしておきましょう。課題に答える前に，最初に述べたアドバイスも参考に精神医学を理解しようという努力が必要であり，精神医学全体に対する理解が大切だということを強調しておきたいのです。以上のような点を考慮して，レポートの評価においても，そのレポートが，教科書をよく読み，かつ，教科書以外の方法で得られた知識も駆使して作成されているかどうか，という点を加えて評価します。また，レポートの最後に参考文献（教科書を含む）を必ず記すようにしてください。

精神医学の理解は決して容易なものではありませんが，今ほど精神障害に対する知識が必要とされる時代もないでしょう。正しい知識を持つことによって，精神障害にたいする誤解や偏見などについても考え直すきっかけにできるようにしてください。

(注)「統合失調症」は2002年以前に発行された文献では「精神分裂病」と表記されていることが多くあります。「精神分裂病」という呼び名にはマイナスのイメージがあり，差別や偏見を生み出しているのを是正するために，現在では「統合失調症」と呼び名が変更されています。

1単位め 解説

この課題は教科書の第4章全体にわたって書かれています。精神障害は身体障害と異なって形のないものの障害なので、それだけ曖昧だったり困難だったりします。したがって、患者さんを診断する場合、どのような考え方で、どのような診察の手順で進めていくのか、そしてその診断をより確実なものにしていくためにどのような検査を用いて何を調べようとするのか、よく理解するようにしてまとめてください。

2単位め 解説

ここでは、知っておきたい精神疾患のキーポイントの理解を目指しています。全て指定のテキストの第5章に解説されています。①は第5章の第3節、②は第4節、③は第2節、④は第10節にわかりやすい解説を見いだすことができます。全ての疾患で症状を中心としていますが、精神疾患はその精神症状の把握によって診断されるので、自ずと精神疾患の理解へとつながると思います。

3単位め 解説

これらの障害については第5章第5節に記載されています。これらは、一般に「ノイローゼ」と呼ばれてきた精神疾患を多く含みます。今日において特に注目されている疾患にも注意をはらいましょう。原因については、器質性精神障害や統合失調症とも異なるもので、第3章第3節やその他の参考図書なども用いてよく理解するようにしましょう。原因（成因）別による精神障害の理解は、精神障害全体を理解するうえで非常に役に立ちます。

4単位め 解説

現在における精神障害の治療の多くは、向精神薬と呼ばれる薬物を用いて行われています。教科書では、第6章第1節に書かれています。薬物治療によって多くの精神障害者が社会復帰できるようになったのですが、そのような理解があまりなされていない場合もあります。また、一般に副作用について危惧されているように思われます。その辺の事情も充分理解してまとめるようにしましょう。

参考図書

- 1) 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編『改訂第3版増補 精神医学』へるす出版, 2008年
- 2) 大熊輝雄著『現代臨床精神医学 第10版』金原出版, 2005年
- 3) 大月三郎ほか著『精神医学 第5版』文光堂, 2003年
- 4) その他精神医学関係の図書

精神保健福祉援助演習

科目コード ● 050141

担当教員 ● 阿部 正孝・大和田誠子
志村 祐子・八巻 幹夫

2 単位

SR

3 年以上

社会福祉
選択

科目の内容

精神保健福祉士は、精神障害者の社会的復権と福祉を実現するための福祉サービスの提供と、生活を支援することを主たる業務とする専門職です。疾病と生活のしづらさという障害をあわせもつ精神障害者が、ひとりの人間として社会で生活していくうえで、人としての権利が保障され、自らの生活課題に自ら取り組んでいけるよう援助していくことが望まれます。

精神保健福祉援助演習においては、そうした専門職者として必要な援助技術を事例研究やロールプレイ、グループ討議等を通して学習すると同時に、援助者としての自己理解、適性なども見つけていくことを目的としています。したがって、主体的に参加し、学ぶことが大切な要件となります。

教科書

日本精神保健福祉士養成校協会編集『新・精神保健福祉士養成講座 7 精神保健福祉援助演習』中央法規出版、2009年

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より上記教科書に改訂されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め

スクーリング事前課題 (遅くともスクーリング受講判定日 (4/15 or 10/15) までに送付)
精神障害の「障害」とは何かについて述べなさい。

2 単位め

スクーリング事後課題 (スクーリング後の指定期日までに送付)
スクーリング時に指示する課題について論じなさい。

アドバイス

1単位め 解説

精神障害は疾病と障害の共存といわれ、「生活の障害」「関係性の障害」とも言われます。障害を抱えている人の生活のしづらさなども合わせて考えることにより、適切な精神障害の「障害」を理解できると思います。

2単位め 解説

スクーリングでは、具体的ななかかわり技法や事例の検討を通し、人と人のかかわりのなかで、自分を見つめる機会にもなります。さまざまなことをたくさん吸収してください。その上で出された課題について論じてください。

レポートの提出方法

この科目は、1単位につき1冊のレポート用紙を使用してください。1単位のレポートの字数は2,000字程度ですが、p.16まで使用し最長4,000字程度まで記入していただいても結構です。

ワープロ印字による提出を希望する場合は、所定の方法（『レポート課題集2011（1・2年次）』冒頭「レポート提出上の注意」参照）にて2,000～4,000字で作成してください（左右40字×30行×4枚まで可）。

1単位めは、スクーリング受講前にp.78記載の提出期限までに提出してください。なお、1単位めレポート表紙の担当教員名は記載しないでください。

2単位めは、スクーリング受講後に提出してください。レポート用紙の表紙科目名記入欄の右側には担当教員名を、課題記入欄にはスクーリング時に指示される課題を記入してください。

レポート作成に当たっては、ご自身の経験だけでなく、教科書をよく読んだうえで取り組んでください。ただし、教科書の丸写しは避けてください。また、レポート作成後は、数回の読み直しの後、提出してください。

今年度履修登録はするが、スクーリングを受講できない方は、レポートの提出はご遠慮ください。

スクーリング受講上の注意

この科目はスクーリング受講が必ず必要です。演習は、1クラス20名程度を定員とするため、開講日ごとに1～2クラスに分けて開講します。スクーリング受講希望者は、3月15日（判定日4月15日）、または9月15日（判定日10月15日）必着でお申込みください。申込方法や受講条件の詳細は次項以下をご覧ください。

演習のスクーリングにおいては、自己紹介、学生同士の話し合いや発表・ロールプレイングなどへの参加が求められます。

4月入学の3年次編入学者が最短の2年間で受験資格取得・卒業を目指される場合は、入学初年度の9/15に精神保健福祉援助演習を申込みよう計画的に学習を進めてください。同様に10月入学の3年次編入学者の場合は3/15の申込みを目指してください。

特記事項

平成23・24年の2年間は、入学年度・入学期にかかわらず8月末と11月末のいずれの実習申込みも可能となりました。平成25年度からは8月末実習申込み（実習期間：2/1～7/10）が廃止され11月末実習申込み（実習期間7/1～12/25）のみとなる予定です。

なお平成23年度より実習申込受理条件ならびに実習開始条件が変更されています。詳しくはp. 86～91を参照ください。

演習受講希望者の履修登録上の注意

演習受講希望者は、申込み時点で演習を履修登録している必要があります。4月生・10月生とも、それぞれの演習申込締切日（3/15・9/15）までに当年度の履修登録を済ませてください。

精神保健福祉援助演習 スクーリング受講条件

- (1) 申込締切日の3/15または9/15に対する各受講判定日（4/15または10/15）までに、次頁表の条件を満たしていること。

指定科目	条 件
①福祉法学 ^{注1} ②精神保健 ③精神保健福祉論Ⅰ ④精神保健福祉論Ⅱ ⑤精神保健福祉援助技術総論 ⑥精神保健福祉援助技術各論	a) 申込締切日（3/15または9/15）までに①～⑥の6科目のレポートを提出していること。 b) 受講判定日（4/15または10/15）までに、6科目中4科目の単位を修得していること。

注1 平成20年度以前の入学者は「福祉心理学」または「福祉社会学」でも可

- (2) 各受講判定日（4/15または10/15）までに、「演習」1単位め（事前課題）レポートを提出していること。

● 「演習」の受講条件を満たすための単位修得方法

- 1) レポート 受講の前提となる6科目のレポートは申込締切日（3/15・9/15）必着で提出してください。ただし、単位修得すべき4科目については不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。また、

「演習」1単位めレポートは最終受講判定日（4/15・10/15）までの提出が必要です。ただし、3/15・9/15までに提出した方が希望の日程で受講できる可能性が高くなります。

なお、9/1、3/1以降に再提出として返却されたレポートはそれぞれ10/10、4/10まで提出が可能です。

2) 科目修了試験 単位修得すべき4科目を科目修了試験受験する場合は、遅くとも3/15申込みの場合2月・9/15申込みの場合9月までの科目修了試験を受験して合格していることが必要になります。

3) スクーリング 単位修得すべき4科目をスクーリング受講する場合は、最終受講判定日の3日前までのスクーリングを受講して合格していることが必要になります。

精神保健福祉援助演習 スクーリング申込手続

この科目はスクーリングの受講が必ず必要になります。平成23年度は下記の日程で開講します（①～④いずれかの連続する2日間7コマの演習を受講のこと）。

演習は1クラス20人程度の少人数で開講します。受講条件を満たす3年生以上の方で、スクーリング受講希望者は、本冊子巻末の「精神保健福祉援助演習 登録カード」に希望日程や必要事項を記入し、3/15または9/15必着でお申込みください。

●開講日程

①～④いずれかの連続する2日間7コマの演習を受講してください。

開講日程	開催地	申込締切日	1 単位めレポート 提出期限	2 単位めレポート 提出期限
① 5/14(土)・15(日)	仙台	3/15(火)	4/15(金)	H24. 1/20(金) ※3・4・5参照
② 7/9(土)・10(日)				
③ 10/29(土)・30(日)		9/15(木)	10/15(土)	
④ 11/5(土)・6(日)				

※1 開講時間

1日目 10:50～17:30 (16:10～17:30「体験学習・次年度実習ガイダンス」)

2日目 9:30～14:40 (10/30のみ9:00～14:10)

※2 ③10/29・30の受講生は10/30に仙台で開催される科目修了試験(14:45集合、15:00～18:00)の受験が可能です。希望者は機関誌『With』にて所定の申込み手続きを行ってください。

※3 事後レポートが再提出になった場合は、結果返送後1カ月以内に再提出をしてください。

※4 2011年8月末で「実習」を申込みの方は、2単位め(事後課題)レポートを7月末日までに提出し、8月末時点で合格していることが必要です。

※5 2011年11月末の実習申込受理条件の達成を目指す方は、2単位め(事後課題)レポートを11月20日(日)までに提出し、11月末時点で合格していることが必要です。

※6 11月末の実習申込みを行う方は、申込時点で「演習」を合格している必要はありません(2/20までの合格で可)。ただし8月末の実習申込みを行う方は8月末時点(受講判定期日)において、「演習」を合格している必要があります。

クラス分けは無作為に行いますので、演習受講にあたって、教員を指定することはできません。申込後の希望日程の変更は一切受け付けません。希望する日程の通りにならない場合もありますので予めご了承ください。

また、スクーリング終了時間前の退席も一切認められません。余裕を持って帰路の計画を立てて受講に臨んでください。

●受講許可通知発送

3月15日の申込締切後、受講条件を満たした方には3月25日に、4月15日の受講判定後条件を満たした方には4月25日に受講許可通知を発送いたします(9月15日申込者は、それぞれ9月25日および10月20日に発送予定)。クラス調整の結果、必ずしも第1希望での受講ができない場合があります。特に勤務における休暇取得調整が必要な方は、開催日程①、②または③、④のいずれの受講になっても良いよう、休暇取得についてご準備ください。受講料納入依頼書は受講許可通知と別途送付します。3月申込者の納入期限は5月10日(9月申込者は受講日により10月25日または11月5日)です。この科目の授業料は、演習科目ですので1単位10,000円となります。

▶ 単位認定

1 単位めレポート(事前課題) + 演習スクーリング(試験は実施しません) + 2 単位めレポート(事後課題) で単位認定いたします。

2 単位めレポート(事後課題) を1月20日までに提出しない場合は、スクーリングの受講は無効となります。また、事後課題が再提出の場合は結果到着後1カ月以内に再提出を行わないとスクーリングの受講は無効になります。

この科目の最終スクーリング結果通知は、1月20日の事後課題レポート提出締切後2月中旬～2月末に行います(2011年8月末で実習を申込み、事後課題レポートを7月末までに提出した方へは、9月15日頃までに結果を通知します)。スクーリングを受講しても受講年度の所定の期日までに事後課題を提出しない場合は単位未修得となり、次年度以降に再度スクーリングを受講する必要があります。

スクーリングを欠席・不合格の場合、1単位め合格済みレポートについても無効となります。次回以降演習を申込み際、所定の期日までに再度1単位めのレポートを提出し直していただく必要があります。

体験学習

体験学習とは、(1)「精神保健福祉援助実習対象施設」(本冊子 p. 96 「精神保健福祉援助実習対象施設」参照) または(2)精神障害者の利用する作業所において、2日間以上(1日ずつ2カ所でも可)行っていただく短期実習です(※作業所は精神保健福祉援助実習の実習先種別としては認められませんが、体験学習先としては可となります)。

次年度の精神保健福祉援助実習へ向けて、精神保健福祉の実践の場を体験し、広い視野を養うとともに、利用者や職員とのコミュニケーションを通して、自己の適性について考えることを目的としています。

具体的内容としては、(1)職員からの講話、(2)見学学習、(3)初歩的な業務の補助を通しての利用者との交流(環境整備等)、(4)行事等の補助などがあります。

※種別が異なる2カ所以上で体験学習を行えば、次年度の本実習の希望種別を検討するうえで有効です。ただし、提出書類(演習受講時に配付する『精神保健福祉援助実習の手引き』巻末の所定の様式)および『体験学習記録』は2カ所分必要になります。提出書類(同所定の様式)は各自でコピーし、『体験学習記録』は本学実習係宛に追加配付を申し出てください。

●受講方法

体験学習先へは受講生自身で依頼していただきます。その手順については「精神保健福祉援助演習」スクーリング時間内に実施予定の「体験学習・次年度実習ガイダンス」でくわしく解説されます(演習1日目16:10~17:30を予定)。

「演習」受講者は必ずこのガイダンスを受講していただきますので、申込みは不要です。

●体験学習先の選定

お住まいの地域にどのような精神保健福祉施設・病院があるか調べてみたい方は、お近くの保健所・精神保健福祉センター・社会福祉協議会に足を運ぶと施設一覧のような冊子があったり、職員が情報を教えてくれたりします。都道府県や市町村の保健福祉関係の窓口やホームページでも情報は得られるかと思えます。

インターネットで検索する場合は、病院・診療所はWAM NET(独立行政法人 福祉医療機構)のホームページ(<http://www.wam.go.jp/>)の「医療」の部分で検索ができます。仙台市の場合は、「はあとページ」(<http://www.city.sendai.jp/kenkou/shougai/heartpage/>)が便利です。

本学就職部の資料コーナー(1号館 地下1階)には、本学OBのいる施設情報や施設の

パンフレットなどを閲覧することができます。利用方法は、窓口職員にお尋ねください。

なお、ご自身で情報収集等の努力をしたうえで、体験学習先が見つからないなどの場合は、通信教育部・実習係までご相談ください。

●体験学習免除の可能性のある方

精神保健福祉援助実習対象施設または作業所に1年以上の勤務経験のある方、またはあった方は、「実績報告書」（演習受講者に配布する『精神保健福祉援助実習の手引き』の様式）を提出して合格になれば、体験学習は免除になります。ただし、「体験学習・次年度実習ガイダンス」は必ず受講してください。なお、「実績報告書」が不合格になった場合には、体験学習を行っていただきます。

●体験学習時の心得

- (1) 指定された時間に必ず伺うこと。
- (2) 服装や持ち物に注意してください。体験学習先から指定された場合は従ってください。
- (3) 体験学習時の持ち物は、指定されなくとも次のようなものは持っていきましょう。
 - ◆筆記用具、ノート、上履き、タオル、簡単な着替え、簡単な救急セットなど
- (4) 体験学習初日、訪問した時には利用者の方々にあいさつをしてください。さらに、施設長やお世話になる職員の方々にあいさつを忘れないようにしてください。
- (5) あいさつがすんだら指示を仰いでください。メモをとることを忘れず、難しいことや大切なことは繰り返し確かめてください。
- (6) 学習先では必ず担当の方（職員）の指示に従ってください。決して自己判断では行動せず、不明な点や疑問点は必ず職員の方に相談しましょう。
- (7) まず、行動を見守る（観察する）こと。そこから「学び」の一步が始まります。
 - ◆利用者の方は？ 職員の方は？ どんなサービスがある？
- (8) 守秘義務（利用者や家族のプライバシー）を厳守してください。
- (9) 体験学習先の利用者・患者の方との“交流の持ち方等”については、必ず事前に受入先の指導者の指導・確認を受けてください。

●体験学習の流れ（必ず「体験学習ガイダンス」受講後に行ってください）

- (1) 体験学習先を探す。
 - ↓
- (2) 体験学習先へ受入れについて、願いのする（基本的には電話でのお願い）。内諾を得たら、後日大学から文書を送付する旨を説明する。

↓

- (3) 内諾を得た学習先について、学習先名、種別、住所、電話番号、学習期間、学習中の連絡先等の必要事項を「体験学習先内諾報告書」に記入し、「体験学習個人記録」「体験学習誓約書」と一緒に、本学実習係宛に郵送（「体験学習先内諾報告書」のみファックス、Eメール可）する。

※2カ所での体験実習を希望する場合は、各様式をコピーして2カ所分提出する。また「体験学習記録」の追加配付を本学実習係宛に申し出ること。

↓

- (4) 大学から送付されてきた「体験学習依頼文書」のコピーを確認し、学習先へ連絡し、詳細について指示を受ける。

↓

- (5) 体験学習実施

↓

- (6) 体験学習終了後、御礼状（封書）を書き、体験学習先へ送付する。

↓

- (7) 「体験学習記録」をまとめる。次年度実習を希望する場合は、「実習希望届」、「学習計画書」と一緒に所定の申込期日までに提出する（実習申込みについては p. 86～89 「精神保健福祉援助実習 申込受理条件」参照）。

※上記の各様式は演習受講者に配付される『精神保健福祉援助実習の手引き』にあります。「体験学習記録」は「体験学習・次年度実習ガイダンス」受講時に配付します。

- 演習を受講した年度を越えて体験学習を行う場合は、「賠償責任保険」の保険期間外になります。「体験学習」は演習受講年度内に行うか、年度を越える場合は「体験学習先内諾報告書」の提出時に必ず本学実習係まで申し出てください（再度保険加入の手続きを行います）。
- 体験学習は「演習」の単位認定には無関係ですが、実施し合格しないと、実習受理条件は達成できません。

精神保健福祉援助実習

科目コード ● 050902

担当教員 ● 阿部正孝・大和田誠子
志村祐子・八巻幹夫 ほか

6 単位 | SR+実習科目 | 4 年

社会福祉

選択

科目の内容

本科目は、①実習事前指導、②実習（24日間以上かつ180時間以上）、③実習事後指導から成り立っています。実習を通し、皆さん自身が、専門職である援助者として、ふさわしい自分であるかどうかを見つめていただくことが重要となります。そのための事前学習がかなり大切となります。大学から与えられた課題のみではなく、体験学習や業務実績を通して得た課題をさらに深め、確認していけるよう、皆さん自身が、積極的に学ばれることが必要です。実習を通し、精神保健福祉士としての価値や倫理、技術を十分にご自分のものとしていくことが望まれます。

事後指導では、実習において、それぞれが、自分の課題をいかに達成できたか、あるいは何が達成できなかったか等の振り返り、これまで学んできた援助技術がどれくらい身についたか等を検討していきます。

教科書

- 1) 『精神保健福祉援助実習の手引き』東北福祉大学（演習受講者に配付）
- 2) 『精神保健福祉援助実習課題ノート』東北福祉大学（実習申込者に配付）
- 3) 日本精神保健福祉士養成校協会編 『新・精神保健福祉士養成講座 8 精神保健福祉援助実習』中央法規出版、2009年

（平成20年度以前履修登録者）2009年4月より上記教科書に改訂されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

<p>課題 1</p>	<p>事前指導スクーリング受講前の課題</p> <p>① 「実習計画案」を作成する（鉛筆書き）＝事前指導スクーリング5週間前（p.91「実習計画案提出期限」参照）必着で通信教育部まで送付してください。</p> <p>② 『精神保健福祉援助実習課題ノート』の「Ⅲ 事前訪問までの準備」のp.15まで1～6の課題をすべて完成させる（「Ⅳ 事前訪問の主な課題」の部分は記入できる範囲で記入する）＝スクーリング時に持参ください。</p>
<p>課題 2</p>	<p>事前指導スクーリング受講後の課題</p> <p>① 「実習計画書（清書用）」を完成させる＝コピー2部を実習開始日の1カ月前必着で通信教育部まで送付してください。</p> <p>② 実習先への事前訪問後、『精神保健福祉援助実習課題ノート』の「Ⅳ 事前訪問の主な課題」をすべて完成させる。</p> <p>③ 実習先への依頼状＝実習1カ月前頃に個人でお願いの気持ちを込めて実習先へ依頼状（封書）を出してください。</p>
<p>課題 3</p>	<p>実習後、事後指導スクーリング受講前の課題＝事後学習は現場実習での自己の振り返りを行い、自己評価とあらたな課題設定に向けて、一定の整理を行うものです。下記に沿い課題にあたってください。</p> <p>① 実習先への御礼状＝実習終了後1週間以内に封書にて実習先にお出しください。</p> <p>② 「実習事後レポート」：4,000字程度＝事後指導スクーリングごとの指定の期日（p.92～93「事後レポート提出期限」参照）必着で通信教育部まで送付してください。1）実習を終えての全体的感想，2）実習前と実習後の精神保健福祉現場についての印象の変化，3）設定した課題の評価や自分のあらたな課題，また，4）実習を通して知りえた自分自身の評価も含めながら現場実習の成果と評価をまとめてください。実習で学んだことを分析考察するものを望んでいます。単なる感想にならないように留意ください。</p> <p>③ 『精神保健福祉援助実習課題ノート』のすべての課題を完成させる＝事後指導スクーリングの際に持参してください。</p> <p>④ 実習記録＝実習先に提出し，実習先から大学へ返送されます。事後レポート作成のため，自分用のコピーをとっておいてください。</p>

【注意】 2カ所で実習を行う場合は、「実習計画案」『精神保健福祉援助実習課題ノート』は各2部ずつ、「実習事後レポート」は、それぞれ2カ所分の内容での提出（表紙1部にレポート2カ所分を貼付して提出）が必要になります。「実習計画案」については、『精神保健福祉援助実習の手引き』の所定の様式を各自コピーして使用し、『精神保健福祉援助課題ノート』については配布時に実習係宛に追加配付を申し出てください。

『精神保健福祉援助実習課題ノート』はすべて手書き（鉛筆）で完成させてください（ワープロ・パソコン印字やコピー貼付不可 表・グラフの資料を用いる場合も手書きで筆写す

る)。

アドバイス

実習に関する「課題学習」の内容や流れの詳細は、実習係から配付される書類やスクーリング時の指示に従ってください。

課題1・2 解説

(1) 『精神保健福祉援助実習課題ノート』に示す事前学習課題は、実習生として少なくとも踏まえておかなければならないものです。事前訪問までの準備」の部分は、『精神保健福祉援助実習の手引き』の参考文献に基づいて、施設機関等の依拠する法律、施設機関の組織や機能、社会資源の関連法規等について学び、事前指導スクーリングまでに整理してください。十分な準備によってまとめられた資料は、必ず実習期間中に役立つものとなります。

(2) それぞれの関心領域に基づき積極的に学ぼうとする姿勢が実習には重要です。「実習計画案」の作成は学び方を客観的にまとめる作業ですので、何を学びたいのか、そのためにどう取り組みたいのかという視点で立案してください。その際、実習指導者が決まっている場合、指導者と相談しながら計画を練ることもとても有効です。

(3) 「実習計画案」は事前に送付してある実習計画書に鉛筆書きで作成し、封書で通信教育部実習係まで送付してください。必ず切手貼付・返信先住所記入の返信封筒（A4判用紙が入るサイズ）を同封してください。封書を第4種郵便で送付したい方は、『学習の手引き』6章記載の要領で送付してください。

(4) 実習の受入機関は多忙な業務を割いて指導して下さることを忘れないでください。それに応えられるだけの成果を得るような事前の準備を心がけてください。

課題3 解説

(1) 実習後、事後指導スクーリング前の課題は、実習体験やご自身の専門職としての適性を含めた十分な振り返りを行い、レポートにまとめてください。特に、専門職としての適性については慎重にご自身を見つめ直してください。実習の目標課題の達成度を含め、実習で得た内容を、自分の実習計画に即しながらまとめてください。

(2) 実習事後レポートは、A4判用紙にまとめ（ワープロ・パソコン可 字数4,000字程度）、事前指導時に配付する「事後レポート提出用表紙」に貼り付けて、受講を希望する各事後指導スクーリングの事後レポート提出期限（p.92～93参照）までに提出してください。

実習期間

8月末申込みは平成24年度までのみ

- ◆11月末申込みで実習の受講が認められた方 実習期間：7月1日～12月25日
(実習の流れ)

①5月～7月の事前指導受講 → ②7月1日～12月25日の期間に実習
→ ③9月または12月、2月に事後指導受講 → ④9月または3月卒業

※卒業には、規定年限以上在学（1年次入学者は4年間、2・3年次編入学者は、それぞれ3年・2年間在学）していることや、その他の卒業要件を満たすことも必要です。

※11月末時点で学年が3年生の10月生は実習の申込みができません。学年が4年生になった年度の11月末にお申込みください。

- ◆8月末申込みで実習の受講が認められた方 実習期間：2月1日～7月10日
(実習の流れ)

①11月または12月の事前指導受講 → ②2月1日～7月10日の期間に実習
→ ③7～9月に事後指導受講 → ④9月卒業

※本冊子「精神保健福祉援助演習」p.77「スクーリング受講上の注意」の 特記事項 参照。

※8月末時点で学年が3年生の4月生は実習の申込みができません。学年が4年生になった年度の8月末にお申込みください。

受講に際しての注意事項

実習受講にあたり、次頁のとおり段階的に所定の条件を満たしていくことが必要となります。詳細については、以降の各条件をご確認ください。

- (1) 精神保健福祉援助実習申込受理条件（次項参照）
- (2) 精神保健福祉援助実習事前指導スクーリング受講条件（p.90参照）
- (3) 精神保健福祉援助実習開始条件（p.91参照）
- (4) 精神保健福祉援助実習事後指導スクーリング受講条件（p.91～92参照）

精神保健福祉援助実習 申込受理条件

精神保健福祉援助実習の申込締切日までに下記の各入学年度別（平成20年度以前および平成21年度以降）および入学年度共通の条件を満たした上で、「精神保健福祉援助実習希望届」「学習計画書」「体験学習記録（または実績報告の合格による免除）」「実習課題レポート」の提出により申込みを行ってください（各様式は「演習」受講時に配付される『精神保健福祉援助実習の手引き』の巻末にあります）。実習審査会における審査に合格すれば

実習受講が認められます。

●11月末申込実習希望者対象

(1) 「実習」申込締切日：11月末

実習希望者は下記の申込受理条件の達成にかかわらず、全員11月末までに申込みを行うこと。

(2) 11月末申込受理条件

①と⑥および②～⑤のいずれかの条件を満たすこと。

- ① 精神保健福祉援助演習のスクーリングを受講済みで、かつ精神保健福祉援助演習の2単位めのレポートを提出（最終提出期日：1/20）し、各判定日までに合格していること。

ただし、下記②の11月末に実習申込受理条件の達成※を目指す方は、11月20日までに精神保健福祉援助演習の2単位めのレポートを提出して合格することが必要。

- ② 11月末日までに指定科目8科目の単位修得（「精神保健福祉援助演習」＋「専門科目^{注1}」4科目を含む）。
- ③ 上記②が達成できなかった方→12月20日までに指定科目9科目の単位修得（「精神保健福祉援助演習」＋「専門科目」5科目を含む）。
- ④ 上記③が達成できなかった方→1月20日までに指定科目10科目の単位修得（「精神保健福祉援助演習」＋「専門科目」6科目を含む）。
- ⑤ 上記④が達成できなかった方→2月20日までに指定科目11科目の単位修得（「精神保健福祉援助演習」＋「専門科目」6科目を含む）。
- ⑥ 受講判定日において、卒業見込み要件80単位以上を修得していること（認定単位を含む）。

注1：専門科目：「精神保健福祉論Ⅰ」「精神保健福祉論Ⅱ」「精神保健福祉論Ⅲ」

「精神保健」「精神医学」「精神保健福祉援助技術総論」「精神保健福祉援助技術各論」「精神科リハビリテーション学」「精神保健福祉援助演習」「精神保健福祉援助実習」の10科目（以下、同様）

※申込受理条件の達成について（解説）

11月末の申込みで、8科目の条件が達成できなかった場合、12月20日までに指定科目9科目の修得、これもまた達成できなかった場合は1月20日までに指定科目10科目の単位修得といったように、12/20、1/20、2/20の最終判定期日と順次条件の達成が後になるほど、条件となる修得単位数も加算されていきます。また、いずれの場合も各判定日までに80単位以上の卒業要件単位の修得や体験学習の合格が必要となります。

- (3) 2月20日までに条件を満たせなかった方は、翌8月末または11月末に再度実習申込みが可能です（ただし8月末実習申込みは平成25年度以降は廃止予定）。8月末または2月20日までに条件を満たせば、「精神保健福祉援助実習」の申込みが受理されます。

●8月末申込実習希望者対象（平成24年度までのみ・25年度以降廃止）

(1) 実習申込締切日：8月末

(2) 8月末申込受理条件

- ① 実習希望者は実習申込締切日の時点で、「精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目」のうち、「精神保健福祉援助実習」を除く17科目の中から11科目（「精神保健福祉援助演習」＋「専門科目^{注2}」4科目を含む）の単位を修得済みのこと。実習申込み条件を満たすためのレポート提出等の期限については次項「実習申込希望者の単位修得方法」参照。
- ② 実習申込締切日の時点で、卒業見込み要件80単位以上を修得していること（認定単位を含む）。
- ③ 「体験学習記録」の提出または「実績報告書」の認定による免除。

注2：専門科目＝前頁注1の10科目。

※8月末に条件を満たせなかった方は、それぞれ次期の11月末または8月末に再度「精神保健福祉援助実習」申込みが可能です。申込後それぞれ2月20日（最終受講判定日）または8月末までに受講条件を満たせば申込みが受理されます。

●11月末・8月末実習申込希望者共通

- (1) 実習を希望する年度の初めに「精神保健福祉援助実習」の履修登録を行っていること。
- (2) 精神保健福祉施設・病院での勤務経験がない方は、演習受講後、「体験学習」（2日間以上、1日ずつ2カ所以上でも可）を終えて「体験学習記録」を提出し、判定日までに合格していること。また精神保健福祉施設・病院での勤務経験がある方は、演習受講後1カ月以内に「実績報告書」を提出し、判定日までに「体験学習」の免除が認められていること。
- (3) 実習申込みにあたり、「実習課題レポート」（課題内容は演習受講時に配布する『精神保健福祉援助実習の手引き』巻末の様式14に記載）を提出し合格すること。
- (4) 卒業後、精神保健福祉分野の業務に携わる意思を強く持っており、精神福祉の学習および実習に対して熱意と意欲を持っていること。
- (5) 精神保健福祉士の国家資格の取得を強く希望し、国家試験を受験する意欲があること。
- (6) ルールが守れない方（スクーリングやガイダンスに遅刻する、許可なく自家用車で

本学に来校する、「事前・事後レポート」の提出期限や入金期限を守れない、その他自身の行動や感情をコントロールできない等）は、実習先に迷惑をかけるおそれがあるとされ、実習受講が不許可または取消しとなる。

※10月生または4月生の在籍延長者で9月末の卒業を希望する方は、7月～8月第2週の期間に実習を終え、9月10・11日の実習事後指導を受講し合格しなければなりません。ただし卒業には規定年限以上在学している必要があります。

●実習申込希望者の単位修得方法

◆11月末申込希望者が実習申込受理条件を達成するための単位修得方法

- 1) レポート 受講判定日（11月末、12/20、1/20、2/20）の1カ月前までに提出し、判定日までに合格していることが必要です。不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。
なお、1/5以降に再提出として返却されたレポートは2/15まで提出が可能です。
- 2) 科目修了試験 11月末および12/20が判定日の場合は第5回（10月）を、1/20が判定日の場合は第6回（12月）を、2/20が判定日の場合は第7回（1月）科目修了試験までを受験して合格していることが必要です。第7回（1月）科目修了試験を受験する方は1/5がレポート提出締切日となります。
- 3) スクーリング 各判定日の3日前までのスクーリングを受講して合格していることが必要になります。
- 4) 「精神保健福祉援助演習」事後課題レポート 11月末に受理条件の達成を目指す場合の「演習」の事後レポート提出締切日は11月20日です。

◆8月末申込希望者が実習申込受理条件を達成するための単位修得方法

- 1) レポート 7月末日必着までに提出。ただし、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。
なお、7/14以降に再提出として返却されたレポートは8/25まで提出が可能です。
- 2) 科目修了試験 第3回（7月）科目修了試験までの試験を受験して合格していること。第3回（7月）科目修了試験を受験する方は、7/14がレポート提出締切日となります。
- 3) スクーリング 8月下旬までのスクーリングを受講して、8月末までに合格していること。ただしレポート提出は上記1)の期日まで。
- 4) 「精神保健福祉援助演習」事後課題レポート 事後課題レポートを7月末日までに提出し、8月末時点で合格していることが必要（本冊子p.79「単位認定」の項参照）。

精神保健福祉援助実習事前指導スクーリング受講条件

「精神保健福祉援助実習」の事前指導ではスクーリング（1日間・3コマ）が課されま
す。受講するための条件は下記のとおりです。

- (1) 上記の「精神保健福祉援助実習の申込受理条件」を満たしていること。
- (2) 事前指導スクーリング受講前の課題を終えていること（p. 84課題①参照）。
 - ① 実習受入の内諾確定後（p. 95「実習先の選定」参照）、各事前指導スクーリング
ごとの指定の期日までに、事前課題1単位めの「実習計画案」（「体験学習・次年度
実習ガイダンス」において配付される『精神保健福祉援助実習の手引き』の様式）
を提出し、2回以上の添削指導を受けていること。
 - ② 『精神保健福祉援助実習課題ノート』の「Ⅲ 事前訪問までの準備」の1～6の
課題をすべて完成させていること。
- (3) 指定の期日までに、精神保健福祉援助実習の受講料を納入していること。

精神保健福祉援助実習事前指導スクーリング申込手続

この科目のスクーリングは、下記の日程で行います。「事前指導スクーリング受講条件」
を満たした方で、下記期間に実習を受講する方は、本冊子巻末の「事前指導スクーリング
受講申込カード」に必要な事項を記入して、期限までに事前指導スクーリングの申込みを
行ってください。

（注）7月からの実習を希望する方は、必ず次頁開講日程表①5/22に開講される事前
指導を受講してください。

●開講日程

実習前にいずれか1日（3コマ+ガイダンス）を受講してください。開講地は仙台、開講
時間は10：00～16：40（15：20～16：40「実習直前ガイダンス」）です（次項表参照）。

●欠席・遅刻について

当日の飛行機欠航・高速バス遅延など公共交通機関が原因でも、遅刻・欠席をすると実習
が受講できなくなりますので、余裕をもってご来校ください。ただし、当日開始1時間15分
前までに仙台駅に着く東北新幹線ほかJR列車の30分以上の遅延については、何らかの配慮を
いたします。

スクーリング終了時間前の退席は一切認められません。余裕を持って帰路の計画を立て
て受講に臨んでください。

■2011年7～12月期に実習を希望する方の事前指導スクーリング

①～③のいずれかの1日（3コマ+ガイダンス）を受講してください。ただし、7月からの実習を希望する方は①5/22の受講のみとなります。

開講日	会場	申込締切	実習計画案提出期限
① 5月22日(日)	仙台	4月1日(金)	4月18日(月)必着
② 6月5日(日)			5月2日(月)必着
③ 7月3日(日)			5月30日(月)必着

※開講時間 10:00～16:40（15:20～16:40「実習直前ガイダンス」）を予定

■2012年2～7月期に実習を希望する方の事前指導スクーリング

①～②のいずれか1日（3コマ+ガイダンス）を受講してください。

開講日	会場	申込締切	実習計画案提出期限
①11月20日(日)	仙台	9月16日(金)	10月17日(月)必着
②12月18日(日)			12月5日(月)必着

※開講時間 10:00～16:40（15:20～16:40「実習直前ガイダンス」）を予定

●受講許可通知発送

受講希望者で条件を満たしている方は、原則として希望の日程で受講が可能ですが、受講人数に偏りが出た場合は、第2希望での受講となりますことを予めご了承ください。

上記申込締切後2週間程度で、クラス分け後、受講許可通知と受講料納入依頼書を発送します。この科目のスクーリング単位は、事後指導受講分と合わせて1単位が修得できません。受講料は、事後指導受講分と合わせて10,000円を、事前指導申込者に請求させていただきます（事後指導申込時は受講料の納入は不要です）。

▶実習開始条件（平成23年度入学者以前のすべての学生に対して適用）

すべての実習受講生は実習開始日の1カ月前には実習を除く指定17科目（旧カリキュラム）、または19科目（2009年度以降カリキュラム）の単位修得済みであることが望ましい。ただし下記の最低条件を達成していれば可とします。

実習開始日の2カ月前までに、①指定科目の中から40単位の単位修得、②実習を除くすべての「専門科目」^{注3}のレポートを提出済みであること。

注3：専門科目＝p.87注1の10科目。

▶精神保健福祉援助実習事後指導スクーリング受講条件

実習受講後に、事後指導スクーリングを受講する必要があります。スクーリングを受講するための条件は次頁のとおりです。

- (1) 指定された日数・時間の実習を終了していること。
- (2) 受講を希望する開催日ごとに定められた期日までに事後レポートを提出していること。
- (3) 『精神保健福祉援助実習課題ノート』を完成させていること（事後指導スクーリング受講の際に持参して提出）。

精神保健福祉援助実習事後指導スクーリング申込手続

2011年2～7月期および2011年7～12月期の実習受講の方は、次項表中の期日までに本冊子巻末の「事後指導スクーリング申込カード」にて事後指導スクーリングの申込みを行ってください。

ただし、2011年7月1日～8月第2週の間の実習を受講し、規定年限以上の在学、その他の卒業要件を満たした上で2011年9月に卒業を希望する方＝9/10・11のスクーリング受講希望者は、2011年2～7月期に実習をする方と同様4月8日(金)までに本冊子巻末の申込カードにて申込みを行ってください。

●開講日程

いずれか2日間（5コマ）を受講してください。開講地は仙台、開講時間は1日目12：40～17：00、2日目9：30～12：20です。当日の遅刻・欠席の扱いについてはp.90の事前指導スクーリングに同じです。

■2011年2～7月期に実習する方の事後指導スクーリング

①～②いずれか2日間（5コマ）を受講してください。

開講日	会場	申込締切	事後レポート提出期限
① 7月9日(土)・10日(日)	仙台	4月8日(金)	6月20日(月)必着
② 9月10日(土)・11日(日)			8月22日(月)必着

※1 開講時間1日目12：40～17：00 2日目9：30～12：20を予定

開講日が限定されているため予め日程調整・健康管理にご注意ください。9月末卒業予定者が欠席された場合、病気等やむを得ない事情であっても9月末の卒業はできません。

■2011年7～12月期に実習する方の事後指導スクーリング

①～③いずれか2日間（5コマ）を受講してください。

開講日	会場	申込締切	事後レポート提出期限
① 9月10日(土)・11日(日)	仙台	4月8日(金)	8月22日(月)必着
② 12月3日(土)・4日(日)		9月30日(金)	11月14日(月)必着
③ 2月4日(土)・5日(日)			1月16日(月)必着

※1 開講時間 1日目12:40～17:00 2日目9:30～12:20を予定

※2 2011年7～12月期の実習生で2011年9月末に卒業を希望する方は規定年限以上の在学・他の卒業要件を満たし、8月第2週までに実習を終え、上表の指定の期日までに事後レポートを提出し9月10日(土)・11日(日)の事後指導を受講し、実習単位を修得すれば卒業することができます。

※3 ①9/10・11は2011年2～7月期実習生を対象にした事後指導スクーリングと同じです。ただし上記※2に該当する方のみが対象となります。

開講日が限定されているため予め日程調整・健康管理にご注意ください。3月末卒業予定者が欠席された場合病気等やむを得ない事情であっても3月末の卒業はできません。

▶精神保健福祉援助実習について

「精神保健福祉援助実習」は、p.96「精神保健福祉援助実習対象施設」において、24日間以上、かつ180時間以上の実習を行うものです。

「実習」前に「実習事前指導スクーリング」を受講する必要があります。また、「実習」後には「実習事後指導スクーリング」を受講する必要があります。

実習希望者は、下記の要件を満たしている必要があります。

- (1) 卒業後、精神保健福祉分野の業務に携わる意志を強く持っており、精神保健福祉の学習および実習に対して熱意と意欲をもっていること。
- (2) 精神保健福祉士の国家資格の取得を強く希望し、国家試験を受験する意欲があること。
- (3) 「精神保健福祉援助実習 事前指導」のスクーリングを受講していること。
- (4) 原則として「実習計画案」の添削指導を受け、必要提出書類の「個人記録（実習用）」「健康診断書」「誓約書」等、および「実習課題ノート」の所定の範囲を完成させ事前指導スクーリング時に提出していること。
- (5) すべての実習受講生は実習開始日の1カ月前には実習を除く指定17科目（旧カリキュラム）または19科目（2009年度以降カリキュラム）を単位修得済みであることが望ましい。

ただし下記の最低条件①②の両方を満たしていれば可とします。

実習開始の2カ月前までに、①指定科目の中から40単位の単位修得、②実習を除く

9科目すべての「専門科目」^{注4}のレポートを提出済みであること。

注4：専門科目＝p. 87注1の10科目。

実習申込時に「実習希望届」等と一緒に提出する「学習計画書」で無理のない計画を立てて実行してください。

- (6) 実習開始日の1カ月前までに完成させた「実習計画書（清書用）」のコピー2部を通信教育部に提出していること（原本1部は自身で所持）。
- (7) ルールが守れない方（スクーリングやガイダンスに遅刻する、許可なく自家用車で本学に来校する、「事前・事後レポート」の提出期限や入金期限が守れない、その他自身の行動や感情をコントロールできないなど）は、実習先に迷惑をかけるおそれがあるとされ、実習受講が許可できなくなります。
- (8) **社会福祉士の実習との同時受講を希望の方**

①先に社会福祉士の実習を終え（6月第4週～8月第2週の期間に23日間）、9月上旬の社会福祉士の実習事後指導を受講した後、精神保健福祉士の実習を秋から冬（10/1～12/25の期間に24日間）に行うか、②先に精神保健福祉士の実習を終え（7月1日～8月第2週の期間に24日間）、9月中旬の精神保健福祉士の実習事後指導を受講した後、社会福祉士の実習を秋（9月下旬から10月第2週の期間に23日間）に行う、のいずれかとなります。社会福祉士の実習を後半に行う②では、十分な実習期間の確保が困難となるため、①による受講を強くお勧めします。

●実習日数・時間

- (1) 24日間以上、かつ180時間以上（厳守）
- (2) 実習先の了解、および実習内容等について、精神保健福祉援助実習担当教員の了解が得られれば1つの実習先で期間を分割して実習することが可能です（原則として2分割まで）。
- (3) 病院と施設あるいは同種別の組み合わせ等、実習先を2カ所にして実習を行うことが可能です。

ただし実習受入調整の際、受入先の都合・方針等により実習先が2カ所にならないと確保が難しい場合があります（12日間しか受入れられない等）。このような場合は、学生の方からその都度、確認をとりながら調整を進めてまいります。

学生の方の承諾を得て2カ所実習となった場合は、巡回指導費を1カ所分追加した実習費（20,000円）が請求されます（p. 95実習費参照）。

- (4) 実習先の指導により、宿泊しながらの実習となる場合もあります。夜勤の実習は午前0時で区切って、1日の実習時間が原則8時間、または5時間以上となるようにします。実習期間中に実習指導者へ規定の日数及び総時間数が足りるかどうかの確認を行っ

てください。

- (5) 実習時間の決定などにあたっては、健康管理を含め無理のない日程になるように十分配慮してください。

●実習期間 p. 86の「実習期間」参照。

●実習先の選定

実習先への正式依頼の手順は下記のとおりとなります。詳細については「精神保健福祉援助演習」受講時に配布される『精神保健福祉援助実習の手引き』も参照してください。

- (1) 「精神保健福祉援助実習希望届」に、実習希望先を実習生本人が記入して通信教育部実習係あて送付してください。
- (2) **大学から**、第1希望の施設へ受け入れについて伺いの電話をします。
 - ◆内諾 可 → 大学から伺いの文書を施設へ送付します。学生の方へは実習希望先からの「実習受入内諾回答書」の写しの送付をもって通知いたします。
 - ◆内諾 不可 → 第2希望の施設へ依頼の電話をします。第2・第3希望の施設も不可だった場合は、再度希望先をあげていただきます。なかなか受入先が見つからず調整が難航する場合、本学でも受け入れ施設の調整を行います。希望の地域・時期・種別では見つからないことも予想されますので、ご了承ください。
- (3) 実習の正式依頼については、大学側と実習先側の契約になりますので、すべて大学で行います。ただし、以前から親交のある施設等に対して、自分で内諾を得ることは可です。その場合、「実習希望届」に内諾を得ている旨記入してください。
- (4) 現在、実習該当施設に勤務している方は、勤務先での実習も可です。ただし、勤務先所属長の了解をとり、有給休暇扱いで「精神保健福祉援助実習」にふさわしい内容が必要です（受入内諾後であっても「実習計画案」をもとに再審査する場合があります）。

●実習費

実習費（85,000円）と、事前事後指導スクーリング受講料（10,000円）をそれぞれ請求させていただきます。期限までにコンビニエンス・ストアでお支払いください。原則として、一旦納入した実習費は、返却できませんのでご注意ください。

実習費には、実習保険加入費、実習委託費（謝礼）、実習巡回費、諸手続き費などが含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも、その部分を実習生に返金することはできません。ご了承ください。

2カ所の異なる実習機関において実習を行う場合は追加実習費20,000円が必要となります。また「実習計画案」等の提出課題、提出書類も2カ所分必要となります。

●実習準備事前・事後課題

実習の事前事後課題については、p.84をご確認ください。また、大学から配付される書類やスクーリング時の指示に従ってください。実習申込時に配付される『実習課題ノート』は、事前学習ならびに実習中に十分に活用し、完成させてください。

精神保健福祉援助実習対象施設

精神保健福祉援助実習の実習先種別は下記のとおりです。

※平成10年厚生省告示第10号（改正平成12年厚告211・538，平成18年厚告573号）

精神保健福祉士短期養成施設等及び精神保健福祉士一般養成施設等指定規則第五条第一号カの規定に基づき、厚生労働大臣が別に定める施設

- (1) 精神科病院
- (2) 病院又は診療所（精神病床を有するもの又は精神科若しくは心療内科を広告しているものに限る。）
- (3) 保健所
- (4) 地域保健法（昭和22年法律第101号）に規定する市町村保健センター
- (5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）に規定する精神保健福祉センター、障害者自立支援法（平成17年法律123号）附則第46条の規定による改正前の精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（以下この号において「旧法」という。）に規定する精神障害者生活訓練施設、精神障害者授産施設、精神障害者福祉工場及び精神障害者地域生活支援センター並びに障害者自立支援法附則第48条の規定によりなお従前の例により運営することができることとされた同条に規定する精神障害者社会復帰施設（旧法に規定する精神障害者生活訓練施設、精神障害者授産施設及び精神障害者福祉工場に限る。）
- (6) 障害者自立支援法に規定する障害福祉サービス事業（生活介護、共同生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援又は共同生活援助を行うものに限る。）又は相談支援事業を行う施設、障害者支援施設及び地域活動支援センター（主として精神障害者〔同法第4条第1項に規定する精神障害者をいう。〕が利用するものに限る。）

※(2)の診療所については、本学の実習指導方針に則り、精神科デイケアを併設している診療所とする（診療のみの場合は認められない）。

※障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスにかかわる規定の施設に伴い、精神障害者社会復帰施設にかかわる規定はすべて削除され、2006（平成18）年10月1日の時点で現存する精神障害者社会復帰施設については、精神障害者地域生活支援センターを除き、経過措置として2012（平成24）年3月31日の前日までは、従来どおり運営することができるかとされています。

単位認定通知

①事前指導スクーリング、②「実習計画案」、③実習、④『精神保健福祉援助実習課題

ノート』、⑤実習記録、⑥「実習事後レポート」、⑦事後指導スクーリングの評価を総合して行います。単位認定通知は、事後スクーリング受講から1カ月程度で書面にて通知します。

▶ 参考図書

- 1) 精神保健福祉士養成講座編集委員会編『改訂 精神保健福祉士養成講座7 精神保健福祉援助演習』中央法規出版, 2008年
- 2) 日本精神保健福祉士養成校協会編集『新・精神保健福祉士養成講座7 精神保健福祉援助演習』中央法規出版, 2009年
- 3) 『精神保健福祉援助実習の手引き』『精神保健福祉援助実習課題ノート』（「精神保健福祉援助演習」受講時に配付）の「参考図書」を参照

▶ 「麻疹（はしか）」「インフルエンザ」などの感染症対策

「麻疹（はしか）」にかかったことがなく、「麻疹（はしか）」の予防接種を受けていない方（母子手帳に記載されています）は、医療機関にて「抗体検査」を受けていただく必要があります。また、「インフルエンザ」の対策については、p. 200～201を読んで、念入りに行うようにしてください。

卒業研究

科目コード●050991

担当教員●本学専任教員

8単位

卒業研究

4年

社会福祉
選択

社会教育
選択A

福祉心理
選択A

科目の内容

卒業研究は、在学中における学習成果をもとに、各自が研究テーマを設定し、担当教員の指導助言を受けながら、論文を作成するものです。

必修科目ではありませんが、学生時代に学問的な創造性を発揮し得る絶好の機会です。自分がはたして大学で何を学び身につけることができたのかを確認することもできます。時間的な余裕のある学生は履修することをお勧めします。

教科書

各自で研究テーマに応じて準備。福祉心理学科の方は『福祉心理学科スタディガイド』VI章は必読。

卒業研究の流れ

① 研究テーマの決定

(1) 問題意識の具体化・明確化

一般に論文を書く場合、まず第1に、テーマをどのようなものにするかが問題となります。テーマは、かなり漠然とした興味や関心から出発することが多いものです。また、講義や実習・実験の中で、こういうことを研究したいという、ある程度具体的な問題意識を持つ場合もあるでしょう。しかし、いざ自分の研究として進めていこうとすると、どこから手をつけてよいか、方向づけに迷いがちなものです。したがって、研究を進めていく第一歩は、問題をできるだけ明確にし、一定期間内でまとめあげられるように絞り込んでいくことです。そのためにはまず、自分の興味・関心に関連のある文献を読むことが必要です。また、この段階で可能ならば通信教育部事務室を通して然るべき先生に相談し、指導を仰ぐことも、問題意識を深める上で非常に役立つはずですが、さらに、順序は逆になりますが、はっきりした問題意識の方向がなかなか定まらない場合に、文献を読むことによって、おもしろそうな問題を発見することもあると思われます。

(2) 関連文献を調べること

問題意識がある程度具体化してきたら、関連のある文献を読み始めます。文献とは、単行本だけではなく、オリジナルな論文（専門誌・学会誌や紀要など＝『学習の手引き』9章参照）も含まれます。文献は、まず、最も新しいものを読み、それからさかのぼって読んでいくのがいいと思いますが、1つの論文を読むと、それに関連した文献が、参考文献（references）の欄に挙げられていますから、その文献を次々に読んでいくのが効率的です。

関連論文が見つかったら、自分なりの文献目録を作ります。そうすると、後で本格的に文献を整理する時に効果的です。

(3) 仮テーマ（仮題）の決定＝卒業研究の受講申込み

＝通信教育部への提出（3月卒業希望者）4月5日必着／（9月卒業希望者）10月5日必着

(1), (2)により、ある程度問題意識が明確になったら、その問題の方向に従って、仮テーマを決定し、本冊子巻末の「平成23年度 卒業研究 申込用紙」に必要事項を記入して、大学に提出していただきます。各自の提出したテーマを検討し、大学で指導教員を決定します。

この段階で p. 101～102の「卒業研究の受講条件」を満たしていることが必要です。また、テーマや主旨が明確でない方は、卒業研究の受講ができない場合もありますので、ご了承ください。

(4) 指導教員の決定

＝通信教育部から書面で連絡 5月6日／11月1日までに発送予定。なお、指導教員が決まったら、できるだけ早く面接指導でも通信指導でもよいので、初回の指導を受けてください。

(5) テーマ（論題）の最終決定

指導教員が決定したら、その指導、助言のもとに、具体的なテーマを決定します。テーマは、研究の具体的な内容が理解できるように、できるだけ具体的かつ簡潔なものであることが望まれます。また、やや抽象的なメインテーマに、具体的なサブテーマをつける方法もよく使われています。

② 研究を進める

研究を進めるプロセスとしては、①文献研究、②データ・資料の収集・分析、③執筆などが考えられますが、指導教員の指導を十分に受けてください。研究・執筆の過程で、最低限2回の面接指導、3回の通信指導を受けることが必要です。ただし面接指導の回数が2回より多くなる場合は、通信指導はその分減らすことができます。

なお、口頭で構いませんので指導教員から、執筆の前には卒業研究執筆許可を、提出

の前には卒業研究提出許可をもらうようにしてください。

また、調査やインタビューなどを実施する前には、必ず指導教員の了承を得る必要があります。福祉心理学科の場合は、指導教員の了承を得たうえで、調査に協力をいただく機関ないし個人に「調査依頼状」を提出してください。「調査依頼状」の書式見本は、『福祉心理学科 スタディガイド』第1版p.135、第2版p.165に掲載されています。ご自身で作成した「調査依頼状」に指導教員の署名・捺印をいただいたうえで、

ご自身で調査依頼先に提出してもらいます。なお、書式フォーマットを希望される方は通信教育部卒業研究担当までご連絡ください。

(1) 通信指導

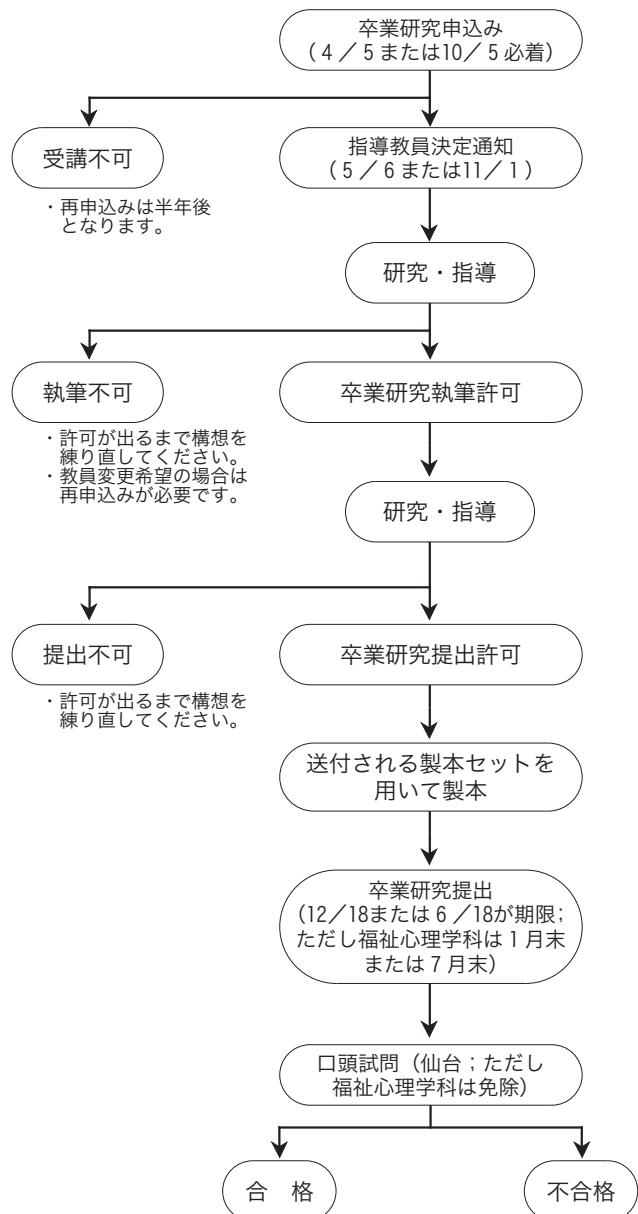
通信指導は、卒業研究の進行状況に応じたレジュメ（要旨・要約）などを作成・提出することにより指導教員に指導を受けるものです。指導は、一般的には通信教育部事務室経由で郵送で行っていただきますが、指導教員によっては学生－教員間で直接やりとりを行っていただきます。

(2) 面接指導

面接指導は、担当教員と直接会い、指導を受けるものです。原則として、本学の演習室か教員研究室で行います。面接指導には、事前の申込みが必要です。申込みは、(1)通信教育部事務室経由で行う場合、(2)指導教員と直接相談して決めていただく場合があります。

通信教育部事務室経由で行

——申込以降の流れ——



う場合は、本冊子巻末の「卒業研究ガイダンス・面接指導申込書」の「面接指導」欄と「相談・質問内容」欄に必要事項を記入して、FAXまたは郵送でお申込みください。同様の内容を記入していただき、電子メールでの申込みも可能です。

提出の方法

- (1) 400字詰原稿用紙で50枚以上100枚以内の分量が必要です。もちろん卒業研究としてふさわしい論文の内容でないと合格することはできません。
- (2) パソコンの場合は、下記のスタイルに統一してください。
 - ・ A 4判の用紙ヨコ書 左右40字×天地30行 マージン上下左右各30mm
 - ・ 文字サイズは本文10.5ポイントを原則としてください。見出しは、適宜大きいポイントにしたり、太字にしてください。
- (3) ページ数を頁下部に記入または印字してください。
- (4) 本文以外に、論文のスタイルにそって①目次や②注または引用・参考文献などをつける必要があります。
- (5) 3月卒業希望者の論文提出締切は12月18日（ただし福祉心理学科は1月末）、9月卒業希望者の論文提出締切は6月18日（ただし福祉心理学科は7月末）前後となり、1～2月、7～8月の口頭試問に合格することが必要です（福祉心理学科は口頭試問なし）。提出の際の「製本」仕様については受講者にご案内します。なお、論文は正副あわせて2部提出していただきます。
- (6) 論文は本学通信教育部事務室などで公開されます。プライバシー侵害などのないようし、個人情報の記載は行わないでください。

卒業研究の受講条件

- (1) 正科生・4年生以上で、受講申込締切日（4/5 or 10/5）までに、卒業見込となる単位数（1年次入学者は90単位以上、2年次編入学者は60単位以上、3年次編入学者は28単位以上）を修得済みであること。
- (2) 自身で研究したいテーマがあり、論文の構想が申込み時に作成できていること。指導教員は、希望する研究テーマにもとづき大学側で決定されます。
- (3) 執筆の過程で、最低2回以上の面接指導、3回以上の通信指導を受けられること。
- (4) 福祉心理学科で「卒業研究」を受講するためには、下記の条件が必要です。
 - ① 受講申込締切日までに「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」の単位が修得済みであること。平成24年度以降の申込みでは「統計情報を見る眼」も単位修得済み原則とする。
 - ② 実験・研究法・特講科目・S科目を除く福祉心理学科 専門必修科目・専門選択

科目A群の16科目のうち10科目以上の単位を修得しているか、学習を終了（レポート提出済、かつ科目修了試験受験済orスクーリング受講済）していること。

③ 「卒業研究第2回めガイダンス（事前個別相談）」を受講していること。

福祉心理学科・卒業研究ガイダンス

福祉心理学科で卒業研究の受講を考えている方を対象に、事前に2回の「卒業研究ガイダンス」を行っています。なお、以下のガイダンスに出席したから必ず「卒業研究」に取り組まなければいけないということはありません。

(1) 卒業研究第1回めガイダンス

卒業研究の概要について説明されるものです。この内容は、「オンデマンド授業」視聴の要領で自宅のパソコンで視聴することができます（科目名「福祉心理学科・卒業研究ガイダンス」）。また、「心理学研究法Ⅱ」スクーリング開講日1日目講義終了後などにビデオ視聴することができます。第1回めガイダンスの受講申込みは不要です。

(2) 卒業研究第2回めガイダンス（事前個別相談）

3年生以上の方が、希望するテーマをもとに教員と個別、または少人数のグループで相談するものです。

第2回めガイダンス（事前個別相談）は、毎年「心理学研究法Ⅱ」のスクーリング前後（3・8月を予定）および12月ごろに実施します。平成23年度はp.103の日程で行います。第2回めガイダンスは、申込みが必要です。

(3) 卒業研究第2回めガイダンス（事前個別相談）の申込み方法

卒業研究第2回めガイダンスは、本冊子巻末の「卒業研究ガイダンス・面接指導申込書」の「ガイダンス」欄と「相談・質問内容」欄に必要事項を記入して、FAX（FAXで返信可の場合のみ）または郵送でお申込みください。同様の下記の内容を記入していただいて、卒業研究係あての電子メールでの申込みも可能です（電子メールアドレス ugr@tsukyo.tfu.ac.jp）。

メールの件名 卒業研究2回めガイダンス申込み

メール本文 下記①～⑩を箇条書きに記入してください。

- ① 卒業研究2回めガイダンス申込み
- ② 氏名
- ③ 学籍番号
- ④ 住所
- ⑤ 連絡先電話番号・FAX・携帯番号
- ⑥ 電子メール アドレス

- ⑦ 卒業研究で取り組んでみたいテーマ（簡単で可）
- ⑧ 希望日時（期間内でできるだけ多くの候補をあげてください）
- ⑨ 希望教員の有無（ない場合はなしで可。ある場合は第1希望・第2希望）
- ⑩ （あれば）質問

(4) 卒業研究第2回めガイダンス（事前個別相談）の実施期間および申込締切日

申込締切日	連絡予定日	第2回めガイダンス期間
2011年7月1日(金)必着	7月19日(火)	7月29日(金)～8月20日(土)
2011年11月4日(金)必着	11月21日(月)	12月6日(火)～25日(日)
2012年2月3日(金)必着	2月21日(火)	3月1日(木)～24日(土)

社会福祉学科・社会教育学科 卒業研究ガイダンス

社会福祉学科・社会教育学科の方のための全体ガイダンスもオンデマンド型授業の方法（科目名「福祉心理学科・卒業研究ガイダンス」の2回め講義欄）で視聴が可能です。

社会福祉学科・社会教育学科の方、および上記2回めガイダンスにどうしても参加が難しい福祉心理学科の方で、取り組んでみたいテーマはあるが研究方法がわからないなどご質問・ご相談のある方は、(1)学籍番号、(2)氏名、(3)卒業研究テーマ、(4)質問内容を記入し、郵送・FAX・電子メールなどの書面で通信教育部までお問い合わせください（電子メールアドレス ugr@tsukyo.tfu.ac.jp）。

諸注意

卒業研究を途中で断念する場合は、通信教育部または指導教員まで文書にて（様式自由）ご連絡ください。

卒業研究は1年で終えなくても結構です。

卒業研究を「科目等履修生」として履修することはできません。

参考図書

1) 論文執筆全般に関するもの

吉田健正著『大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方（第2版）』ナカニシヤ出版、2004年

新堀聡著『評価される博士・修士・卒業論文の書き方・考え方』同文館出版、2002年

斉藤孝著『増補 学術論文の技法』日本エディタースクール出版部、1977年

保坂弘司著『レポート・小論文・卒論の書き方』講談社学術文庫、1978年

U.エコ著『論文作法』而立書房、1991年

木下是雄著『レポートの組み立て方』ちくま学芸文庫, 1994年
慶應義塾大学通信教育部編『卒業論文の手引<新版>』慶應義塾大学出版会, 2003年

白井利明・高橋一郎著『よくわかる卒論の書き方』ミネルヴァ書房, 2008年
奥田統巳ほか著『読みやすく考えて調べて書く(第2版)』学術図書, 2003年

2) 社会福祉学関連

川村匡由著『福祉系学生のためのレポート&卒論の書き方』中央法規出版, 2002年
久田則夫著『ノリさんの楽々レポート作成術』大揚社, 1995年
平山尚ほか著『ソーシャルワーカーのための社会福祉調査法』ミネルヴァ書房, 2003年

斎藤嘉孝著『社会福祉調査 ワードマップ』新曜社, 2010年
立石宏昭著『社会福祉調査のすすめ』ミネルヴァ書房, 2005年
畠中宗一・木村直子著『社会福祉調査入門』ミネルヴァ書房, 2004年
岩田正美ほか編『社会福祉研究法』有斐閣, 2006年
鈴木庄亮ほか著『保健・医療・福祉のための論文のまとめ方と書き方[改訂第2版]』南江堂, 2006年

3) 歴史学関連

歴史科学協議会編『卒業論文を書く』山川出版社, 1997年

4) 心理学関連

「福祉心理学科 卒業研究の手引き」の文献欄参照(『福祉心理学科スタディ・ガイド』所収)

新しいものとしては, 下記の書籍がある。

松井豊著『心理学論文の書き方(改訂新版)』河出書房新社, 2010年
都筑学著『心理学論文の書き方』有斐閣アルマ, 2006年
杉本敏夫著『心理学のためのレポート・卒業論文の書き方』サイエンス社, 2005年

※統計の基礎を学ぶものとしては, 下記の書籍がお勧めです。

櫻井広幸・神宮英夫著『使える統計 Excelで学ぶ実践心理統計』ナカニシヤ出版, 2003年

吉田寿夫著『本当にわかりやすいすぐ大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』北大路書房, 1998年

B.フインドレイ著『心理学 実験・研究レポートの書き方 学生のための初歩から卒論まで』北大路書房, 1996年

岩淵千明編著『あなたもできるデータの処理と解析』福村出版, 1997年

浦上昌則・脇田貴文著『調査系論文の読み方』東京図書, 2008年

レクリエーション実技

科目コード●050281

担当教員●未定

2 単位 | SR | 3 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

この科目は23年度10月より開講する予定で準備を進めています。科目の内容は『With』で7月ごろご案内予定、履修登録は8月から開始する予定です。

レクリエーション事業

科目コード●050282

担当教員●未定

1 単位 | 実習科目 | 3 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

この科目は23年度10月より開講する予定で準備を進めています。科目の内容は『With』で7月ごろご案内予定、履修登録は8月から開始する予定です。

社会福祉学科 新カリキュラム関連科目

※カリキュラム改正にともない、21年度以降入学者向けに開設された科目です。20年度以前入学者はp.116の「就労支援サービス論」を除き、履修できません。

社会福祉学科新カリキュラム関連専門科目掲載ページ

(特講科目・心理系科目・特別支援学校免許状関連科目は除く)

科目コード	科目名	単位数	掲載ページ	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目
050063	福祉法学 (2単位)	2	1・2年次	●	◎
050064	高齢者福祉論 (2単位)	2	1・2年次	●	
050065	介護概論 (2単位)	2	1・2年次	●	
050066	児童・家庭福祉論	4	1・2年次	●	
050069	更生保護制度論	1	1・2年次	●	
050070	社会福祉援助技術総論	4	1・2年次	●	
050071	社会福祉援助技術論A	2	1・2年次	●	
050072	社会福祉援助技術論B	2	1・2年次	●	
050073	社会調査の基礎	2	p. 110	●	
050074	福祉経営論	2	p. 111	●	
050075	保健医療サービス論	2	p. 113	●	◎
050076	就労支援サービス論	1	p. 116	●	
050079	医学一般 (2単位)	2	1・2年次	●	◎
050080	福祉行財政と福祉計画	2	p. 117	●	◎
050082	社会福祉援助技術演習A	3	1・2年次	●	
050083	社会福祉援助技術演習B	3	p. 119	●	
050084	社会福祉援助技術演習C	3	p. 126	●	
050101	福祉社会学	4	1・2年次	●	◎
050103	福祉心理学	2	1・2年次	●	◎
050104	社会福祉原論(職業指導を含む)	4	1・2年次	●	◎
050105	地域福祉論	4	1・2年次	●	◎
050107	社会保障論	4	p. 32	●	◎
050108	公的扶助論	2	p. 36	●	◎
050118	障害者福祉論	4	1・2年次	●	
050190	社会福祉援助技術実習指導A	1	p. 134	●	
050191	社会福祉援助技術実習指導B	2	p. 138	●	
050907	社会福祉援助技術実習	4	p. 143	●	
050133	精神保健福祉論Ⅰ	2	1・2年次		◎
050134	精神保健福祉論Ⅱ	2	1・2年次		◎
050135	精神保健福祉論Ⅲ	2	p. 68		◎
050136	精神保健	4	1・2年次		◎
050137	精神保健福祉援助技術総論	4	1・2年次		◎
050138	精神保健福祉援助技術各論	4	1・2年次		◎
050139	精神科リハビリテーション学	4	p. 70		◎

科目コード	科目名	単位数	掲載ページ	社会福祉士 指定科目	精神保健福祉士 指定科目
050140	精神医学	4	p. 72		◎
050141	精神保健福祉援助演習	2	p. 75		◎
050902	精神保健福祉援助実習	6	p. 83		◎
050109	福祉思想論	2	1・2年次		
050110	公衆衛生学	4	1・2年次		
050111	社会福祉法制	4	p. 39		
050113	NPO論	2	1・2年次		
050114	社会病理学	4	p. 41		
050115	国際福祉論	4	p. 41		
050119	知的障害者福祉論	2	1・2年次		
050121	福祉機器論	4	1・2年次		
050122	リハビリテーション論	2	1・2年次		
050124	ケアマネジメント論	4	p. 42		
050142	福祉ボランティア活動	1	1・2年次		
050143	福祉リスクマネジメント	4	1・2年次		
050144	家族法	4	1・2年次		
050145	基礎演習	1	1・2年次		
050146	統計情報を見る眼	2	1・2年次		
050193	介護技術	2	p. 146		
050194	生活行動と人体	2	1・2年次		
050195	障害の理解	1	1・2年次		

平成21年度以降入学者が履修できない科目		新カリキュラムにおける対応科目
050102	福祉法学（4単位）	福祉法学（2単位）＋更生保護制度論
050106	医学一般（4単位）	医学一般（2単位）＋保健医療サービス論
050116	児童福祉論	児童・家庭福祉論
050117	高齢者福祉論（4単位）	高齢者福祉論（2単位）
050120	介護概論（4単位）	介護概論（2単位）
050123	福祉計画法	福祉行財政と福祉計画
050125	福祉施設管理論	福祉経営論
050126	社会福祉援助技術論Ⅰ	履修できません
050127	社会福祉援助技術論Ⅱ	社会調査の基礎
050128	社会福祉援助技術論Ⅲ	履修できません
050129	社会福祉援助技術論Ⅳ	履修できません
050130	社会福祉援助技術演習Ⅰ	社会福祉援助技術演習A
050131	社会福祉援助技術演習Ⅱ	社会福祉援助技術演習B
050132	社会福祉援助技術現場実習指導	社会福祉援助技術実習指導A・B
050901	社会福祉援助技術現場実習	社会福祉援助技術実習

社会調査の基礎

科目コード●050073

担当教員●都築 光一



2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉

選 択

21年度以降
入学者

福祉心理

選 択 B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、履修することはできません。

※この科目は「社会福祉援助技術論Ⅱ」と同時開講いたします。内容やレポート課題については、『レポート課題集2010（1・2年次）』p.122をご覧ください。

福祉経営論

科目コード●050074

担当教員●高橋 誠一



2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉

選択

21年度以降
入学者

福祉心理

選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、履修することはできません。

※この科目の長岡でのスクーリングは小山 剛先生にご担当いただきます。

科目の内容

これまで社会福祉事業を中心とした福祉分野は、利用者を中心とした福祉サービスへとその提供のあり方が大きく変わってきました。その背景には、地域生活支援・自立生活支援ニーズが高まり、従来の福祉援助の仕組みでは対応が困難になってきたことがあげられます。その結果、福祉サービスの特質に配慮しながらも、増大する福祉サービスのニーズに応えるために、これまでの社会福祉法人を中心とした制度から、特定非営利活動法人（NPO）、民間企業、医療法人などさまざまな法人が事業所を運営して福祉サービスを提供できるように規制が緩和されてきました。

このように、多様な法人によって福祉サービス提供組織が運営されていますが、基本的な福祉サービスは、補助金や社会的保険によって費用のほとんどがまかなわれ、サービス内容が決められています。そこで、利用者と事業者の間の契約を基本としつつも、一般の市場と区別して、福祉サービスは準市場と呼ばれることがあります。したがって、民間企業であっても、福祉サービスの特質を理解して事業を経営する必要があります。また、社会福祉法人では、これまで以上に利用者のニーズに即した事業経営が求められます。

この科目では、福祉サービス提供組織の多様性を理解し、共通して必要となる福祉サービス提供組織の経営について学んでいきます。福祉サービス提供組織の存在理由は、利用者へのサービス提供にあります。利用者を中心とした福祉サービスは、利用者のニーズを理解し、本人や家族、地域の住民と協力して提供していくことが多いので、画一的ではない柔軟なサービス提供が求められます。経営者や管理者は、小規模な事業所以外では、直接利用者にサービスを提供することは多くありませんが、生活支援や介護、相談援助を行う職員を通して利用者に貢献しています。ですから、経営者や管理者は職員が働きやすい環境を作り、人材を育成し、必要な資源や組織環境を整えることが重要な仕事になります。

す。そのためには、利用者中心の理念を明確にし、組織的な事業経営に取り組む必要があります。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座11 福祉サービスの組織と経営』中央法規出版、2011年

レポート課題

1 単位め

利用者中心の福祉サービスの提供を実現するために必要と考えられることを述べよ。

2 単位め

職員が働きやすい事業所の運営について説明せよ。
※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

1単位め
解説

利用者中心の福祉サービスとは何かを考えてください。利用者中心は利用者本位、利用者主体と呼ばれることもあります。利用者中心の福祉サービスを考えるために、そうではない場合、すなわち提供者中心の福祉サービスを考え、対比すると、はっきりすると思います。一般のサービスでは、消費者主権という言葉が使われますが、これは利用者中心と同じでしょうか。ここでは、直接サービスを提供する職員の立場だけでなく、福祉サービス提供組織の経営者の立場からも考えてください。どのような理念や事業経営が必要になるのでしょうか。

2単位め
解説

職員が働きやすいとはどういうことでしょうか。職員の能力を発揮できる、やりがいがある、必要なスキルを身につけることができる、仕事を通して自分自身が成長できるということがあるでしょう。チームの一員として自分の役割を果たせることもあるでしょう。なによりも、利用者が必要とし、役立つ支援をできることが働きやすい職場となると思います。そのためには、経営者や管理者はどのように職員を支援していけばいいのでしょうか。また、賃金やキャリアアップの仕組みがはっきりしていることなども重要です。

参考図書

教科書の「文献」欄参照

保健医療サービス論

科目コード●050075

担当教員●山本 邦男



2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

「保健医療サービス論」は、社会福祉士受験科目「医学一般」を新たに再編したものです。したがって、本科目は、少子高齢化、疾病構造の変化等に伴う各種制度の改変とニーズの多様化に合わせ、改めて社会福祉士に必要な学習領域を示したものと理解できます。

本講義では「保健医療サービス」の基礎的知識とソーシャルワークの歴史やケースワークの技術、価値、他職種との連携等について学びます。主として、①保健医療サービスのシステム、②専門職の役割、③社会資源との連携、④保健医療分野のケースワーク理論等です。スクーリングでは、医療ソーシャルワーク、ケアマネジメントの実務事例にふれながら、わかりやすく解説します。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座17 保健医療サービス（第2版）』中央法規出版、2010年

レポート課題

1 単位め

医療ソーシャルワーカーの業務内容についてミクロ、メゾ、マクロの各レベルにおける支援の必要性和MSWの留意点についてまとめなさい。

2 単位め

下記の用語について、1つ500字以上700字以内で解説してください。

①クリティカルパス ②インフォームド・コンセント ③ネットワーク

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

高齢社会をキーワードとして、保健医療サービスは激しく変化をしています。中でも社

会福祉専門職（医療ソーシャルワーカー；以下MSW）への役割期待は、医療連携、ネットワークによる退院支援の重要性など年々高まりつつあります。その背景には、少子高齢社会や生活習慣病などにみられる疾病構造と社会福祉の構造改革による制度の変化などがあげられます。また、難病やターミナルケア、在宅医療など、従来の医療機関スタッフのみでは解決できない多様な問題の出現があります。

したがってMSWには医療から在宅、地域関係機関など、地域連携への関わりによる業務への対応が必要となっています。その背景については、教科書（p. 19～31）をよく読み、理解を深めてください。

参考図書として『実践的医療ソーシャルワーク論』（改訂第2版）を推薦します。より詳細な医療福祉制度の流れとMSW業務の関連を学習してください。

1 単位めは診療報酬改訂や介護保険制度創設に代表されるように、病院から在宅への医療政策によって、MSWの働く場と業務内容に大きな変化がみられます。教科書では、MSW業務の各レベルにおける支援の必要性をミクロ、メゾ、マクロに分け具体的事例によって解説しています。事例を参考にしながら、業務の展開について学習してください。

2 単位めは、そのようなMSWの業務領域のキーワードについて学習してください。教科書の中には、「保健医療サービス」に関連する多くの専門用語が掲載されています。特に医療福祉制度改変により、在宅支援の重要性が増し、ネットワークや地域連携のキーワード共有化は日常の業務においても重要となります。いずれの課題も教科書をしっかり読み、その概念と意味を把握してください。教科書のみでは理解ができない用語については、他の参考書等で独自に学習してください。

1 単位め 解説

MSWの業務は受診、受療援助から退院支援、地域連携等によるサービスシステムの構築まで、広範囲に及ぶようになっていきます。教科書第3章（p. 72～107）ではミクロ、メゾ、マクロにおけるMSWの業務を具体的事例通して解説しています。その内容は「医療ソーシャルワークの業務指針」（p. 76～79）の6つの業務範囲を各レベルに分けて、病院から地域へのMSWの支援展開をわかりやすくまとめたものです。教科書第3章2節（p. 81～90）では、ミクロレベルで経済的支援から受診・受療までの各支援業務について、同様に第3節（p. 91～100）でメゾレベル、第4節（p. 101～107）マクロレベルで各支援について触れています。

各レベルにおける支援の意味を体系的に理解してください。そして、これらの支援が何故必要とされるのか、そしてMSWが留意しなければならない姿勢、取り組み課題についてまとめてください。制限字数は2,000字ですので、簡潔に要点を述べてください。

**2単位め
解説**

クリティカルパス（p. 183～）は地域医療連携の一つとして、多くの病院で採用され実践されています。インフォームド・コンセント（p. 124～）も生活習慣病における、主体的治療継続の重要性から注目されています。また、ネットワーク（p. 194～）は地域社会資源の活用と構築において重要なキーワードです。教科書で不明な点は独自で調べてみてください。

参考図書

日本医療ソーシャルワーク研究会監修 村上須賀子・大垣京子編集『実践的医療ソーシャルワーク論（改訂第2版）——保健医療サービスを学ぶ』金原出版，2009年

就労支援サービス論

科目コード●050076

担当教員●三浦 剛



1 単位

S

3 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

※この科目は、全学生に対して開設されている科目です。

※この科目は、「スクーリング8コマ受講・合格」で単位修得となります。レポート提出の必要はありません。

科目の内容

就労支援サービス論は、2007（平成19）年の「社会福祉士及び介護福祉士法」の改正で新たな科目として加えられました。これまで障害者や生活保護受給者への就労支援という課題を、トータルな社会福祉援助論としての就労支援という視点からまとめたものです。

したがって、労働基準法を中心とした労働者の権利を保障する制度を出発点に、社会福祉の枠組みからの支援の現状を知り、どのような支援がどのような方法で行なわれるべきかを考えていくことが学習のねらいです。

また、就労を考えることは、これから就職していく学生のみならず、あるいは現在就労しながら学んでいるみなさんにとっても大きな課題です。自らのこととして問題を捉えていく姿勢も合わせて学んでください。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座18 就労支援サービス（第2版）』中央法規出版、2010年

参考図書

松為信雄・菊池恵美子編著『職業リハビリテーション学 改訂第2版』協同医書出版、2006年

福祉行財政と福祉計画

科目コード●050080

担当教員●都築 光一



2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は、履修することはできません。

科目の内容

社会福祉の展開は、福祉制度を利用する地域住民に最も近い市町村の福祉行政窓口で展開されますので、その最前線の福祉行政の運営上の仕組みと、それを支える財政の仕組みを一つのシステムとして理解していきます。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座10 福祉行財政と福祉計画(第2版)』中央法規出版、2010年

レポート課題

1 単位め

福祉行財政について、市町村行政を例に、以下の①②両方に答えなさい。

- ①戦後の社会福祉制度の発展に伴って、社会福祉サービスの利用方式の転換により、福祉行政の役割がどのように変化したのか述べなさい。
- ②民生費と社会福祉関係の特別会計の関係について、介護保険制度を中心に述べなさい。

2 単位め

市町村の地域福祉計画と、地方公共団体の基本構想および他の福祉計画の関係について、根拠法令及びそれぞれの計画の基本事項に触れながら説明しなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

アドバイス

1単位め 解説

戦後の日本の国づくりの中で、福祉の課題は変化してきましたが、その変化に併せて制度が作られ、行政の仕組みも変わってきています。その流れをとらえましょう。

そうした流れの中で、新たな潮流として登場してきたのが介護保険制度です。行政の仕組みと財政の仕組みがセットになっていることを理解しましょう。

2単位め 解説

行政運営の進め方は、近年計画しながらすすめていく「計画行政」へと転換しています。その計画は、さまざまな種類があり、性質もかなり違いがあります。計画の種類や性質などを理解しましょう。

参考図書

- 1) 山本 隆『福祉行財政論 国と地方からみた福祉の制度・政策』中央法規出版、2002年
指定したテキスト以外では、最も推奨すべき書籍です。
- 2) 大森 彌『地域福祉と自治体行政』ぎょうせい、2002年

社会福祉援助技術演習B

科目コード ● 050083

担当教員 ● 関川伸哉・三浦 剛・渡辺憲介
佐々木裕彦・小山 剛・川口正義
佐藤博彦

3 単位

SR

3 年以上

社会福祉

選 択

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方、福祉心理学科の方は、履修することはできません。

科目の内容

社会福祉士として求められる専門的資質、専門知識、専門技術の習得を図ることを目的とします。社会福祉士に必要とされる専門知識、専門技術の習得や専門職として求められる相談援助の一連の過程について、具体的な事例研究等を通してその内容を熟知します。また、支援計画立案に関する基本的な知識・技術の習得を図ることに焦点をあてながら、併せて社会資源の活用や、利用者理解、そして社会生活上の課題に対する理解を深めていくことを目的とします。

スクーリング講義概要

1. 相談援助場面及び援助過程を想定した実技指導
 - ① インテーク・アセスメントを中心に
 - ② プランニング・支援展開を中心に
 - ③ モニタリング・効果測定を中心に
 - ④ 終結・アフターケアを中心に
2. 社会福祉士に求められる相談援助に関する知識・技術を中心に
3. アウトリーチ・チームアプローチを中心に
4. 社会資源の活用（調整・開発含む）サービス評価を中心に
5. まとめ

教科書

白澤政和・福山和女・石川久展編集『社会福祉士相談援助演習』中央法規出版、2009年

履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術演習A」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

レポート課題

1 単位め	(スクーリング事前課題=遅くともスクーリングの各受講判定日(10/15 or 11/30 or 4/15)までに送付) 相談援助実践における記録の意義と具体的記述方法をまとめてください。また、同じく相談援助におけるスーパービジョンの目的、機能、あり方についてまとめてください。(担当:佐藤博彦)
2 単位め	(スクーリング受講前の提出を希望=遅くとも受講後p.123~124の提出期限までに送付) 社会福祉実践において、またソーシャルワーカーにとって地域社会資源の活用や開発の①意義や必要性和②その留意点について述べなさい。(担当:三浦剛)
3 単位め	(スクーリング事後課題=スクーリング受講後p.123~124の提出期限までに送付) 平成18年に改正、平成19年に公布された「社会福祉士および介護福祉士法」の一部改正に伴う、今後の社会福祉士の役割と課題についてまとめてください。(担当:関川伸哉)

アドバイス

1単位め 解説

ソーシャルワーク実践における記録の意義とはなんでしょうか。まず、何故ソーシャルワーク実践において記録が必要なのか考えてみましょう。サービス提供者の情報共有のためでもあるでしょうし、また、サービス提供実施の証明のためでもあるでしょう。何のために必要であるのかをまとめてください。次に、スーパービジョンについてです。スーパービジョンは、ソーシャルワーク実践に関して、知識・技術・倫理等が十分備わっていないワーカーに対してもなされるものですが、経験豊かなワーカーにもその必要性があります。ソーシャルワーク実践において、実践に携わるすべてのワーカーに対して、何故スーパービジョンが必要なのでしょう。そのスーパービジョンの目的、機能、あり方についてまとめてみましょう。また、記録とスーパービジョンの関係性も併せて考察してみましょう。

2単位め
解説

現在、相談援助技法の一つと考えられているケアマネジメントは、利用者のニーズと社会資源を結びつけることがその中心的な概念です。そこで地域の社会資源活用やそれらが十分とは言えない場合、また使いにくい場合の開発の考え方や方法は、ケアマネジメントの学習を通しておこなうのがよいと思います。以下の文献を参考にしてください。

3単位め
解説

はじめに、今回の改正法にいたる背景について整理してください。その後、課題について客観的にまとめてください。その際に、事実と各自の考察（考え）をしっかりと分けて作成するように心掛けて下さい。

※レポート末尾に本文中で使用した参考・引用文献を必ず5つ以上明示してください。

参考図書

1 単位め

- 1) 福山和女編著『ソーシャルワークのスーパービジョン』(MINERVA福祉専門職セミナー14)、ミネルヴァ書房、2005年
- 2) 副田あけみ・小嶋章吾編著『ソーシャルワーク記録——理論と技法』誠信書房、2006年

2 単位め

- 1) 日本社会福祉士会編『障害者ケアマネジメントのための社会資源開発』中央法規出版、2001年
- 2) 障害者相談支援従事者初任者研修テキスト編集委員会編『改訂障害者相談支援従事者初任者研修テキスト』中央法規出版、2007年（※1-1 障害者の地域生活支援 など）

レポートの提出方法・期限

- ・ 1単位につき1冊のレポート用紙を使用してください。
- ・ 各レポートの字数は2,000字程度ですが、手書きの場合p.16まで使用し最長4,000字程度まで記入していただいても可です（パソコン印字の場合、左右40字×30行×4枚まで）。
- ・ 各レポート表紙には、p.120「レポート課題」記載の担当教員名を記入してください。
 - 1 単位めレポートは、スクーリング受講判定日までに提出。
 - 2 単位めレポートは、スクーリング受講許可後（担当教員決定通知の後）から受講後1/20までに提出。
 - 3 単位めレポートは、スクーリング受講後1/20までに提出。

※レポート作成に当たっては、ご自身の経験だけでなく、教科書をよく読んだうえで取り組んでください。3単位めは5冊以上の文献にあたってください。ただし、教科書の丸写しは避けてください。

※今年度履修登録はするが、スクーリングを受講しない方は、レポートの提出はご遠慮ください。

スクーリング受講上の注意

※この科目はスクーリング受講が必ず必要です。

※受講条件や申込方法の詳細は、下記「演習Bスクーリング受講条件」、「演習Bスクーリング申込手続・レポート提出締切」をご覧ください。

※スクーリングの際には、自己紹介、学生同士の話し合いや発表・ロールプレイングなどへの参加が求められます。

演習B スクーリング受講条件

下記(1)~(3)を満たしていることが必要です。

(1) 3年生以上の方、または10月生は9/15の時点で、4月生は3/15の時点で2年生の方。

(2) スクーリング申込締切日（9月15日・11月末・3月15日の年3回）までに、社会福祉士・指定科目のなかから、6科目分すべてのレポートの提出。

(3) 受講判定日（9月15日・9月末日・10月15日・11月末日・3月15日・3月末日・4月15日）までに、下記の①、②の条件を達成していること。

① 「社会福祉援助技術総論」「社会福祉援助技術演習A」の単位の修得。

② 受講判定日までに「社会福祉援助技術演習B」の1単位めのレポートの提出。

※9月15日時点で条件を満たさないと、10月のスクーリングは原則として受講できません。

※11月末（申込締切・受講判定日）申込みは、9月15日締切で申込みを行い、受講条件が満たされなかった方のみが受講可能となります（p.124、注4）参照）。

※平成24年度に受講を希望する方は、平成24年3月15日・9月15日締切となります。詳細は、『レポート課題集2012（3・4年）』でご案内する予定です。

※条件を満たすための単位修得方法は下記のとおりです。

●9月申込希望者の単位修得方法について

9月申込時点で単位修得の条件を満たそうと思う科目については、どんなに遅くとも下記の期日までに学習を終えてください。

- ・レポート 社会福祉士・指定科目のうち6科目は9月15日必着で提出。
 ※申込締切時に単位修得が必要な「社会福祉援助技術総論」および「社会福祉援助技術演習A」は、不合格になった場合は再提出の機会がないこともあるので、早めに提出してください。
 ※9月1日以降に再提出で返却されたレポートは10月12日まで提出可
 「演習B」1単位めレポートは遅くとも受講判定日(10/15)までの提出で可。ただし、9月15日までに提出しないと10月のスクーリングは原則として受講できません。
- ・科目修了試験 9月までの科目修了試験を受験して合格していること。
- ・スクーリング 各判定日3日前までのスクーリングを受講して合格していること。

●3月申込希望者の単位修得方法について

基本的に9月申込希望者のものに準じますが、レポートは3月15日必着(再提出レポートは4月10日まで可)、科目修了試験は2月下旬までの受験が必要になります。ただし、「演習B」1単位めレポートは遅くとも受講判定日(4/15)までの提出で可。
 ※社会福祉士国家試験受験資格取得のための指定科目履修の流れについては『学習の手引き』3章(3年次編入学者は2章も参照)もご覧ください。

演習B スクーリング申込手続・レポート提出締切

平成23年度は下記の日程で仙台・札幌・盛岡・関東・長岡で開講予定です。
 受講希望者は、本冊子巻末の「社会福祉援助技術演習B 登録カード」に希望日程や必要事項を記入し、3月15日・9月15日必着でお申込ください。
 受講希望日・会場は、第1希望・第2希望を必ず記入してください。申込後の希望日程の変更は一切受け付けません。

◆スクーリング開講日程・レポート課題締切

いずれかの連続する2日間(8コマ)の演習を受講してください。

日 程	開講地	開講時間 <small>注2)</small>	1単位め(事前)レポート 提出期限(必着)	2・3単位め(事後)レポート 提出期限(必着) <small>注1)</small>
5/21(土)・22(日)	仙台	A	3月15日 ^{注3)} (or 3月末or 4月15日)	平成24年1月20日
6/11(土)・12(日)	仙台	A		できるだけ平成23年7月末日までに提出してください

日 程	開講地	開講時間 注2)	1 単位め(事前)レポート 提出期限(必着)	2・3 単位め(事後)レポート 提出期限(必着) 注1)
10/15(土)・16(日)	仙台	A	9月15日注3) (or 9月末or10月15日)	平成24年1月20日 11月末実習申込者では できるだけ11月20日まで に提出してください
10/22(土)・23(日)	札幌	D		
	盛岡	B		
	関東	B		
	長岡	B		
10/29(土)・30(日)	仙台	C		
11/5(土)・6(日)	東京	B		
11/12(土)・13(日)	仙台	A	11月30日	
注4)12/17(土)・18(日)	仙台	A		

注1) 事後レポートが再提出の場合は、結果返送後1カ月以内に再提出してください。

注2) A：1日目 10：50～17：30 2日目 9：20～16：00
 B：1日目 10：00～16：40 2日目 9：20～16：00
 C：1日目 9：20～17：30 2日目 9：00～14：10
 D：1日目 11：20～18：00 2日目 9：20～16：00

注3) 3/15, 9/15に提出した方が希望の会場・日時で受講できる可能性は高くなります。

注4) 9月15日までに申込みを行い10月15日(最終判定日)までに条件を満たせなかった方のみを対象に救済として、12/17・18に仙台でスクーリングを開講します。

希望者は11月末日までに再度巻末の「登録カード」を提出し、再申込みを行ってください。「登録カード」の受講希望日時を書く欄の下側余白には、「11月末再申込み・12/17・18仙台受講希望」と記載してください。

〈受講日・受講地・クラス分け決定手続き〉

クラス分けは無作為に行いますので、受講にあたって、教員を指定することはできません。

3月15日・9月15日(初回判定日)の時点で受講条件を満たした方は、原則として希望の会場・日時で受講できるように配慮いたします。そのため、1単位め(事前)レポートも3月15日、9月15日に提出した方が希望の会場・日時で受講できる可能性は高くなります。それ以降に条件を満たした方で、希望の会場・日時がオーバーする場合は、下記のように決定いたします。

- (1) 今回開講されない都道府県の方の希望を優先します。また、札幌・盛岡・長岡開催の場合は開催県在住、または近隣の方の希望を優先いたします。なお、北海道・岩手・新潟で実習を希望する学生は、できるだけその地域で受講してください。
- (2) これまでに、スクーリング受講料納入の遅延のある方、スクーリングに事前の届出なしに欠席されたことのある方、「登録カード」に第2希望まで書かれていない方、

その他ルールが守れない方の優先順位は下がります。

▶ 受講許可通知発送

受講条件を満たしている方には、受講日・受講地・クラス分けの決定後、受講許可通知と受講料納入依頼書（受講料10,000円）を発送します。3/15・3/31・4/15, 9/15・9/30・10/15・11/30の各受講判定日時点での受講条件達成者に対して、それぞれ3/25・4/10・4/25, 9/25・10/10・10/25・12/10までに通知します。

※クラス分け決定後の受講日・受講地の変更は一切できません。

▶ 単位認定

スクーリング時間内において、ソーシャルワーク実践に関する基本的な視点や態度をどの程度身につけることができたかについて確認をしていただきます。その確認内容が、本スクーリングで学んだことと著しく相違していると思われる内容である場合には、本科目は再履修となる場合もあります。スクーリング結果は、受講後1カ月以内に送付します。

1 単位めレポート（事前課題）＋スクーリング（積極的討議参加・確認内容結果等）＋2 単位めレポート（事前・事後課題）＋3 単位めレポート（事後課題）により単位の認定を行います。

この科目単位を修得できなかった方で再受講をする場合、スクーリングの申込みをあらためて行う必要があります。

昨年度までは、再受講する場合はレポートもあらためて提出していただいておりますが、今年度より合格済みのレポート（再提出の場合を除く）については、あらためてのレポート提出は行わなくてもよいことにいたします。

また、2・3 単位めのレポートを1月20日までに提出しないと、スクーリング受講は無効となります。その場合も次年度以降に再度スクーリング受講は必要となりますが、合格済みのレポートの提出は必要ありません。

社会福祉援助技術演習C

科目コード●050084

担当教員●阿部 一彦・高橋 誠一・田中 治和・三浦 剛・山川 敏久
君島 昌志・関川 伸哉・渡辺 憲介・佐々木裕彦・千葉喜久也
川口 正義・小山 剛・竹之内章代・佐藤 博彦

3 単位

SR

4 年以上

社会福祉

選 択

21年度以降
入学者

この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方、福祉心理学科の方は、履修することはできません。

またこの科目は、「演習C-1」「演習C-2」に分割されており、両方のスクーリングを同一年度内に受講しなければなりません。同一年度内に受講ができなかった場合は、「演習C-1」からあらためての受講になります。

実習受講者は「社会福祉援助技術演習C-1」は「社会福祉援助技術実習指導B-1」と、「社会福祉援助技術演習C-2」は「社会福祉援助技術実習指導B-3」と2日間連続での受講をしていただきます。

※「実習免除」の方、または科目等履修生として実習指導・実習を受講希望の正科生の方は、①「社会福祉援助技術演習C-1」と「演習C-2」を1日ずつ分割して受講するか、②2日間連続の「演習C」を受講する必要があります。

科目の内容

社会福祉士として必要である、社会福祉援助技術（相談援助）に係る知識と技術の習得を目指します。個別的な体験を一般化しながら、なおかつ実践的な知識と技術の習得を図ることを目的とします。また、集団指導ならびに個別指導による実技指導を行うとともに、具体的事例（社会的排除、児童問題、高齢者問題、家庭内問題、低所得者、ホームレス等）を通して、実際の社会資源を活用も含め、社会福祉援助技術の知識・技術の習得を図ることとします。

スクーリング講義概要

スクーリングにおいては、事例に基づく総合的・包括的援助の実践の習得として、児童虐待・家庭内暴力・高齢者虐待・低所得者・ホームレス等の事例をとりあげ、実際の支援を考察、検討していきます。また、相談援助に必要な知識として地域福祉の理論や方法および地域福祉の基盤整備と開発事例についても実技指導を通しながら学んでいきます。

教科書 「演習A」と共通（この科目での教科書配本はありません）

白澤政和・福山和女・石川久展編集『社会福祉士 相談援助演習』中央法規出版、2009年

履修登録条件

この科目は、「社会福祉援助技術演習A・B」の単位を修得済み、または履修登録済みの方が履修登録できます。

レポート課題

1 単位め	<p>（スクーリング事前課題）</p> <p>社会的問題とされている福祉問題（「虐待」、「介護放棄」等その他のでもよい）に関して、あなたの考えを述べてください。また、そのことに関連させ、あなたが、社会福祉士としてその課題に対して、今後どのような支援を展開していくのか。社会資源の活用を考慮しながら論じてください。（担当：高橋誠一）</p>
2 単位め	<p>（スクーリング事前課題）</p> <p>あなたの住んでいる市町村で展開されている社会福祉サービスとしての地域支援システム（子育て支援システム等）について調べ、まとめてください。（担当：三浦剛）</p>
3 単位め	<p>利用者の権利擁護の重要性について、あなた自身の考えを、実習を行う前と実習終了後と比較しながら、具体的に述べてください。（担当：佐藤博彦）</p>
3 単位め (実習免除対象者)	<p>実習免除に該当する相談援助業務の経験から、利用者の権利擁護の重要性について、実践例を具体的にとりあげ、あなた自身の考えを具体的に述べてください。（担当：佐藤博彦）</p>
3 単位め (科目等履修生として実習を受講する予定の方)	<p>利用者の権利擁護を支援した事例を探し、その事例内容を説明、考察し、その支援に対するあなた自身の考えを具体的に述べてください。（担当：佐藤博彦）</p>

アドバイス

1 単位め 解説

最初に、具体的にとりあげた問題がどのような意味で社会的問題なのかを考えてください。そのためには、個人的問題と社会的問題の違いを考えることが大切です。本人にとって何が問題か、家族にとって何が問題か、そして、地域、社会、自治体にとって何が問題なのかをそれぞれの立場から考えてください。つぎに、問題を解決するために、どのような社会資源を活用できるのかを考えてください。そ

のときに、問題解決とは何かをしっかりと理解しておくことが大切です。危機的な介入が必要なこともあります。支援の長期的視点がないためにその場しのぎの解決・支援になってしまう可能性はないでしょうか。問題にとらわれて、本人のニーズを見失うことはないでしょうか。以上の点も含めて、フォーマル、インフォーマルな社会資源、本人や地域の強さに着目しながら、ソーシャルワーカーとしての支援を考えてください。

2単位め 解説

地域支援システムに関する情報については、市町村のホームページを閲覧したり、パンフレットを見たりすることで、おおよその仕組みを知ることができると思います。つぎに、利用者の立場に立って見たときに、どのような相談や支援が受けられるのか考えてみてください。たとえば、複数のニーズを抱えたときに一箇所に対応できる仕組みになっているのでしょうか。このような情報はホームページやパンフレットだけではわからないかも知れません。実際に、窓口に行って話を伺うことができると思います。相手への配慮を忘れないでください。場合によっては、関連する事業報告書があるかもしれません。

3単位め 解説

実習の前に、実習先に関わる法律上の権利擁護、権利擁護事業、権利擁護機関について調べておくことが大切です。実習中に、実際にどのように行われているのか、課題はないのかなど、実習担当者などから聞いて理解を深めてください。また、利用者の日常生活上の権利擁護もあります。介護や生活支援において、本人の意見が反映されているか、サービスの利用において不適切な扱いや不利な扱いを受けていないかなど、場合によっては第三者が見過ごしてしまう権利侵害もあります。ソーシャルワーカーの視点から、見直していただくことが勉強になると思います。

3単位め 解説 (実習免除対象者)

権利擁護に関わる事例を検討するときに、さまざまな問題と絡み合って権利擁護の問題が生じることが多いと思います。問題の背景も含めて、検討するようにしてください。また、適切な権利擁護が行われたかどうかの考察も忘れないでください。権利擁護では、他の専門職や関係機関や地域との協力や協同が必要なことも多いと思いますので、その点の考察も重要です。さらに、関係者や本人の権利擁護に対する理解や啓発も重要だと思いますが、その点も自身の経験から具体的な実践方法を検討してください。

3単位め 解説 (科目等履修生として 実習受講予定の方)

権利擁護に関わる事例を検討するときに、さまざまな問題と絡み合って権利擁護の問題が生じることが多いと思います。問題の背景も含めて、検討するようにしてください。権利擁護では、他の専門職や関係機関や地域との協力や協

同が必要なことも多いと思いますので、その点の考察も重要です。さらに、関係者や本人の権利擁護に対する理解や啓発も重要だと思いますが、その点も含め検討をしてみましよう。

科目等履修生として実習指導と実習を受講する予定で正科生で演習Cを単位修得する際には、この課題を解答してください。なお、厚生労働省の省令により、科目等履修生として実習指導と実習を受講する際に、演習C・3単位めレポートについて再度実習受講者用の課題を提出していただきますので、ご了承ください。

参考図書

社会福祉士養成講座編集委員会（編集）『新・社会福祉士養成講座19 権利擁護と成年後見制度（第2版）』中央法規出版、2010年

レポート提出方法

この科目は、1単位につき1冊のレポート用紙を使用してください。1単位のレポートの字数2,000字程度ですが、p.16まで使用し最長4,000字程度まで記入していただいても結構です（パソコン印字の場合左右40字×30行×4枚まで）。レポート表紙の教員名は、レポート課題の担当教員名を記載してください。

各レポートは、p.131～132に定める期限までに提出してください。1単位めはスクーリング受講前に、2単位めはスクーリング当日まで、3単位めは、スクーリング受講後に提出してください。①実習免除の方、②科目等履修生として実習受講希望の方のレポート提出期限もp.131～132の記載のとおりです。

今年度履修登録はするが、スクーリングを受講できない方は、レポートの提出はご遠慮ください。

社会福祉援助技術演習C受講条件

(1) 実習受講者

実習指導Aスクーリングを受講していること

(2) 実習免除者・科目等履修生として実習受講希望者

- ① 社会福祉援助技術演習Bのスクーリングを受講済みで、p.130に定める演習C申込締切日までに社会福祉援助技術演習Bのレポートを提出していること。
- ② 申込締切日までに社会福祉士指定科目8科目を単位修得していること。
- ③ 申込締切日において、80単位以上を修得していること（認定単位を含む）。
- ④ 科目等履修生として実習受講希望者は体験学習（3日間）を実施し、合格していること。

- ⑤ 社会福祉分野の業務に携わる意思を強く持っており、社会福祉の学習および実習に対して熱意と意欲をもっていること。

社会福祉援助技術演習C 申込締切

(1) 実習受講者

- ・「演習C-1」 4月1日
※「実習指導B-1」とセットでお申込みください。
※申込方法は、「実習指導B-1」のページ（p.141）をご覧ください。
- ・「演習C-2」 9～10月受講者は4月1日 10～11月受講者は9月30日
※「実習指導B-3」とセットでお申込みください。
※申込方法は、「実習指導B-3」のページ（p.141）をご覧ください。

(2) 実習免除者・科目等履修生として実習受講希望者

- ・1回目締切：4月1日 ・2回目締切：7月1日 ・3回目締切：9月10日
- ・4回目締切：12月22日
※申込方法は、p.131～132をご覧ください。
※申込締切日までに1単位めレポートを提出していることも必要です。
※早めに申込みれば、希望の日時で受講できる可能性が高くなります。

社会福祉援助技術演習C スクーリング申込手続

この科目は、スクーリング受講が必ず必要です。平成23年度は以下の日程で仙台・札幌・盛岡・関東・新潟で開講予定です。

受講希望日・会場は、第1希望・第2希望を必ず記入してください。申込後の希望日程の変更は一切受け付けません。

(1) 実習受講者

下記の「演習C-1」「演習C-2」を各1日ずつ計8コマ受講する必要があります。なお、「演習C-1」は「実習指導B-1」と連続で受講してください。また、「演習C-2」は「実習指導B-3」と連続して受講してください。

◆申込方法

「社会福祉援助技術実習指導A」スクーリング時に配布された「申込カード」に必要事項を記載しp.130の締切日までに提出してください。

◆開講日程

(i) 「社会福祉援助技術演習C-1」(4コマ)

正科生の実習受講者は必ず前日土曜日(p.140参照)の「実習指導B-1」とセットで申込み、受講してください。

開講日	開催地	開講時間	1単位めレポート締切	2単位めレポート締切
4月17日(日)	仙台	9:20~16:00	4月1日(金)必着	スクーリング当日までに提出
5月4日(水)			4月8日(金)必着	
5月15日(日)				
5月22日(日)				

(ii) 「社会福祉援助技術演習C-2」(4コマ)

正科生の実習受講者は必ず前日土曜日(p.141参照)の「実習指導B-3」とセットで申込み、受講してください。

開講日	開催地	開講時間	申込締切	3単位めレポート締切
9月4日(日)	仙台	9:20~16:00	7月15日(金)	8月19日(金)必着
10月23日(日)	仙台			9月30日(金)
11月20日(日)	仙台			
11月27日(日)	札幌	9:20~16:00		
	盛岡	10:00~16:40		
	川口 新潟			

(2) 実習免除者・科目等履修生として実習受講希望の正科生=巻末の「演習C」申込用紙使用

◆受講形態

- ① 2分割型(日曜日に2回受講) 上記「演習C-1」を4~5月に仙台で、上記「演習C-2」を9~11月に仙台または札幌・盛岡・関東・新潟で受講。
- ② 2日間連続型 「演習C-1」「演習C-2」を2日間連続で受講するものです。仙台でのみ開催されます。

◆申込方法

- ①実習免除者や②科目等履修生として「実習指導A」・「実習指導B」・「実習」の3科目を受講する予定の正科生の方は、卒業前に、p.130に定める締切までに巻末の

「演習C」申込カードにてお申込ください。

「社会福祉援助技術演習C-1」(4コマ) + 「社会福祉援助技術演習C-2」(4コマ)
2日間連続型

開講日	開催地	開講時間	1・2単位め レポート締切	3単位め レポート締切
7月30日(土) ～31日(日)	仙台	1日目 12:40～18:30	7月1日(金)必着	8月31日(水)必着
		2日目 9:20～16:00		
平成24年 2月4日(土) ～5日(日)		1日目 10:50～17:30	12月22日(木)必着	平成24年 1月10日(火)必着
		2日目 9:20～16:00		

※1単位めレポートは申込締切日までに提出していることが必要です。

受講許可通知発送

受講希望者で条件を満たしている方には、受講日・受験地を決定し、クラス分け後受講許可通知を発送します。この科目の受講料は、演習科目ですので1単位10,000円となります。受講料納入依頼書は、「演習C-2」の受講日が確定した段階で発行いたします。7・9月受講者は7月初・中旬、10・11月受講者は10月初旬、2月受講者は12月下旬にご請求します。

クラス分け決定後の受講日・受講地の変更は一切できません。

スクーリング受講上の注意

「演習C」のスクーリングの際には、自己紹介、学生同士の話し合いや発表・ロールプレイングなどへの参加が求められます。

単位認定

スクーリング時間内において、ソーシャルワーク実践に関する知識の確認テストを実施します。この確認テストは、ソーシャルワーク実践に関する知識の確認になります。この確認テストにおいて合格点に達しない場合は、本科目は再履修となります。(再試験・再レポート等一切ありません。)スクーリング結果は、スクーリング受講後1カ月以内に通知いたします。

レポート(3単位分) + スクーリング(積極的討議参加・試験結果等)により単位の認定を行います。

この科目単位を修得できなかった方で再受講をする場合、スクーリングの申込みをあらためて行う必要があります。ただし、合格済みのレポート(再提出の場合を除く)について

は、あらためての提出は必要ありません。

また、3単位めのレポートを各レポート締切日までに提出しないと、スクーリング受講は無効となります。その場合も次年度以降に再度スクーリング受講は必要となりますが、合格済のレポートの提出は必要ありません。

社会福祉援助技術実習指導A

科目コード●050190

担当教員●

阿部 一彦・三浦 剛・高橋 誠一・田中 治和
中里 仁・柿沼 利弘・渡辺 憲介・佐々木裕彦
千葉 喜久也・川口 正義・小山 剛
佐藤 博彦

1 単位

SR

3 年以上

社会福祉

選択

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方、福祉心理学科の方は、履修することはできません。

科目の内容

社会福祉士として必要な具体的かつ実践的な専門技術等の習得を図ることを目的とします。また、併せて社会福祉援助技術実習の意義について理解をするとともに、児童・高齢者等、実際に実習を行う実習分野（利用者理解を含む）と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関する基本的な理解をすることを目的とします。

また、次年度の相談援助実習に向けて、実習計画書の意義と策定方法を学びます。そして、これまで学修してきた社会福祉学の専門知識を深化させるとともに、各自の援助能力の開発・今後の課題の明確化・自己理解を深める場とし、相談援助専門職としての倫理観を理解する機会とします。

スクーリング講義概要

本講義においては、①実際に実習を行う実習分野（児童・障害者・高齢者等）においての利用者理解について、②各実習分野に関連する施設・事業者・団体・地域社会等に関して、③実際に実習機関において行われている関連業務（例えば、介護や保育等）について、④実習を行う際に極めて重要な存在となる「実習計画案」の作成の意義と方法について理解を深めていきます。以上を本講義の統一内容とし、それらを踏まえて担当教員がより個別的な内容の講義を行います。

教科書

- 1) 『社会福祉援助技術実習の手引き（第1分冊）』東北福祉大学（「演習A」時に配布済み）
- 2) 『社会福祉援助技術実習の手引き（第2分冊）』東北福祉大学（「実習指導A」申込者に配布）

- 3) 『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』東北福祉大学（「実習指導A」申込者に配布）
- 4) 白澤政和・米本秀仁編『社会福祉士相談援助実習』中央法規出版，2009年

レポート課題

課題1～3ともすべて事前指導スクーリング受講前の決められた期限までに提出してください。

課題1	現場実習前段階で行った体験学習の報告（体験学習記録）を提出してください（体験学習免除希望者は，上記記録の代わりに「実績報告書」を11月末までに提出してください）。
課題2	『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』（鉛筆書き）のp. 6～p. 12をすべて完成させてください。あらゆる資料を活用して完成させてください。残りの箇所は，「社会福祉援助技術実習指導B」での課題となります。
課題3	あなたはなぜ「社会福祉援助技術実習」を希望しましたか。また，実習で学びたいことは何ですか。目標や希望を具体的に述べてください。

各課題提出期限

課題1：「体験学習記録」できれば11月末日遅くとも2月20日必着
「実績報告書」11月末日必着

課題2：「社会福祉援助技術実習指導A」スクーリング受講日提出

※スクーリングでは，「社会福祉援助技術現場実習課題ノート」を使用して講義を行いますので，必ず持参するようにしてください。忘れた場合もしくは記載内容が不十分な場合（空白箇所がある等）は，スクーリング受講ができませんのでご注意ください。

課題3：実習受講年の3月末日必着（科目等履修生の方は4月1日必着）

※通常のレポート用紙で提出してください。手書き用・パソコン用どちらでも可。

実習および実習指導Aスクーリング申込締切日

実習受講前年度11月末日（①休学中の4月生で翌年度復学して実習受講希望者の締切や，②正科生として演習Cを含む指定科目を履修し，「実習指導A」・「実習指導B」・「実習」の3科目のみを科目等履修生で受講予定の方の締切も11月末）

実習申込受理条件

- ① 「社会福祉援助技術演習B」のスクーリングを受講済みで、11月末日（または1月20日）までに「社会福祉援助技術演習B」のレポートを提出していること。
- ② 11月末日までに実習申込みを行い、2月20日までの実習受講判定日に「演習B」を含む12科目の単位修得（特例で11月末日〔判定日〕までに「演習B」を含む指定科目8科目の単位修得などでも可）。
- ③ 受講判定日において、80単位以上を修得していること。
- ④ 体験学習（3日間）を実施し、合格していること。
- ⑤ 社会福祉分野の業務に携わる意思を強く持っており、社会福祉の学習および実習に対して熱意と意欲をもっていること。

実習申込受理条件達成のための単位修得方法

『学習の手引き2011』3章参照

スクーリング申込方法

本冊子巻末の「実習指導Aスクーリング受講申込」ハガキにて11月30日（必着）までお申し込みください。

平成24年実習受講者向けスクーリング開講予定

平成24年6月以降に実習を開始する方向けの「実習指導A」スクーリングです。スクーリング受講前に実習先が決定しており、課題1～3について十分な時間をとって準備・事前に提出していただく必要があります。

実習受講判定が遅れたり、実習先が決まらないなどの理由により、希望の日程・会場でスクーリングが受講できないことがありますので、ご了承ください。

開講日程	開催地	開講時間	申し込み締切
平成24年3月3日(土)	仙台	10:00~16:40	11月30日(木)
	盛岡		
平成24年3月4日(日)	新潟		
平成24年3月10日(土)	関東		
平成24年3月17日(土)	仙台 札幌		
平成24年4月1日(日)	仙台		2月20日(月)

やむをえない事情により開講日時が変更される場合があります。ご了承ください。

(注1) 4月1日の実習指導Aは、①4月1日付復学者、②実習指導A・B・実習の3科目のみを科目等履修生で受講する方向けに開講するものです。

(注2) ①4月1日付復学者、②実習指導A・B・実習の3科目のみを科目等履修生で受講する方が3月の実習指導Aを受講することはできません。

スクーリング受講上の注意

「社会福祉援助技術実習指導A」のスクーリングを欠席された方は、「社会福祉援助技術実習指導B」および「社会福祉援助技術実習」は履修できません。

単位認定通知

スクーリング、レポート課題（1～3課題）の評価を総合して行います。

参考図書

- 1) 早坂聡久・増田公香・福祉臨床シリーズ編集委員会編『相談援助実習・相談援助実習指導——ソーシャルワーク現場実習・ソーシャルワーク実習指導』弘文堂，2009年
- 2) 川廷宗之・藤林慶子・高橋流里子著『相談援助実習（MINERVA社会福祉士養成テキストブック）』ミネルヴァ書房，2009年
- 3) 日本社会福祉士会編『改訂 社会福祉士の倫理——倫理綱領実践ガイドブック』中央法規出版，2009年
- 4) 岡田まりほか編『ソーシャルワーク実習』有斐閣，2002年
- 5) 福山和女・米本秀仁編著『社会福祉援助技術現場実習指導・現場実習』ミネルヴァ書房，2001年
- 6) 宮本和明ほか編『五訂 社会福祉実習』中央法規出版，2007年
- 7) 岡本榮一ほか編『三訂 福祉実習ハンドブック』中央法規出版，2002年
- 8) 小木曾宏ほか編著『よくわかる社会福祉現場実習』明石書店，2005年
- 9) 吉澤英子ほか編著『社会福祉施設の理解を深めるために』樹村房，2006年
- 10) 各社発行の福祉小六法・社会福祉辞典
- 11) 東北福祉大学通信教育部『社会福祉援助技術実習の手引き【第2分冊】』中記載の各参考文献

社会福祉援助技術実習指導B

科目コード●050191

担当教員●阿部一彦・高橋誠一・田中治和・三浦 剛・山川敏久・君島昌志
中里 仁・柿沼 利弘・渡辺 憲介・佐々木 裕彦・千葉 喜久也
川口正義・小山 剛・竹之内章代・佐藤博彦 ほか多数

2 単位

SR

4 年以上



この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方、福祉心理学科の方は、履修することはできません。

またこの科目は、「指導B-1」「指導B-2」「指導B-3」に分割されており、すべてのスクーリングを同一年度内に受講しなければなりません。同一年度内に受講ができなかった場合は、「指導B-1」からあらためての受講になります。

「社会福祉援助技術実習指導B-1」は「社会福祉援助技術演習C-1」と、「社会福祉援助技術実習指導B-3」は「社会福祉援助技術演習C-2」と2日間連続でのスクーリング受講が必要です。

科目の内容

社会福祉援助技術（相談援助）実習の意義について理解し、具体的かつ実践的な技術等を体得することを目的としています。

相談援助実習にかかわる個別指導ならびに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について、事例等を通じて具体的かつ実際に理解し、かつ実践的な技術等を学修します。社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得します。

具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を併せて修得することを目的とします。

スクーリング講義内容

- (1) 「指導B-1」（仙台開催のみ：4コマ）
 - ① 相談援助に係る知識と技術に関する理解
 - ② プライバシー保護と守秘義務の理解
 - ③ 実習記録の記録内容及び記録方法に関する理解
 - ④ 実習計画書の作成指導①、実習直前ガイダンス

(2) 「指導B-2」(地域別開催：2コマ)

- ① 実習計画書の作成指導②
- ② 実習施設関連の基本的理解，社会資源の把握

(3) 「指導B-3」(地域別開催：4コマ)

- ① 実習課題の整理① ② 実習課題の整理②
- ③ 全体総括① ④ 全体総括②

以上を本講義の統一内容とし，それらを踏まえて担当教員がより個別的な内容の講義を行います。

教科書 「実習指導A」と共通（この科目での教科書配本はありません）

「社会福祉援助技術実習指導A」と同じ（p.134～135参照）

レポート課題

課題1	<p>実習計画書作成① 実習機関に対応した実習計画書を作成してください。その場合，実習のねらい（この実習で学びたいこと，この実習先・種別を選んだ理由・動機，将来に向けての希望等を明確にすること。また，実習課題を明確にすること。（これまで実習指導Aで学んだ利用者，業務，専門性などに関する課題）</p> <p>※1 『社会福祉援助技術実習の手引き』【第1分冊】巻末の「様式6-1～6-4」を使用すること。</p> <p>※2 必ず鉛筆書きで作成しコピーしたものを大学へ提出すること。原本は保管しておくこと。</p> <p>※3 返信用封筒を同封すること（定型なら90円切手貼付）。</p>
課題2	<p>実習計画書作成② 「課題1」をより具体化させて，計画書を作成してください。その場合，実習を通して学びたいこと，学ぶための具体的な方法等を詳細に記載すること。</p> <p>※4 課題1で使用した鉛筆書きの原本を利用して作成すること。その際，課題1での教員の添削内容を参照し作成すること。</p>
課題3	<p>実習終了後に，実習で学んだ内容を分析・考察してください。単なる感想にならないよう注意してください。内容には，実習施設の概要，実習内容，実習課題の達成状況，今後の課題，全体のまとめは必ず記載してください。その他の項目を追加しても構いませんが，上記の項目は必ず含めるようにしてください。</p> <p>※5 「実習直前ガイダンス」（事前指導スクーリング時開催：参加必須）に配布される提出用レポート表紙を使用して提出してください。</p>
課題4	<p>完成させた『社会福祉援助技術現場実習 課題ノート』を提出してください。</p>

社会福祉学科
新カリキュラム関連科目

課題5
(科目等履修生として
実習受講者用追加課題)

利用者の権利擁護の重要性について、あなた自身の考えを、実習を行う前と実習終了後と比較しながら、具体的に述べてください。
(この課題は実習後に「演習C」を受講しない、科目等履修生として実習を受講する方のみが提出する課題です) (担当：佐藤博彦)

アドバイス

主体的に取り組んでください。また、教科書は必ず熟読してください。課題1・課題2については、『社会福祉援助技術実習の手引き（第2分冊）』を参考にしてください。ただし、計画案の丸写しは絶対しないでください（再提出になります）。

受講条件

「社会福祉援助技術実習指導A」を受講済みであること。

平成23年度スクーリング開講予定

「社会福祉援助技術実習指導B-1」10：50～17：30（会場：すべて本学）

正科生の実習受講者は必ず翌日日曜日（p.131参照）の「演習C-1」とセットで申込み、受講してください。

開講日	申込締切	課題1提出期限	課題2提出期限
4月16日(土)	4月1日(金)	3月25日(金)	スクーリング 当日提出
5月3日(火)		4月11日(月)	
5月14日(土)		4月22日(金)	
5月21日(土)		4月28日(木)	

「社会福祉援助技術実習指導B-2」

開講日	会場	時間	申込締切
6月4日(土)	仙台	13：50～16：40	4月1日(金)必着
6月12日(日)	仙台		
6月18日(土)	青森	9：30～12：20	
	郡山		
	水戸		
6月19日(日)	札幌	13：10～16：00	
	盛岡	13：50～16：40	
	秋田		
	山形		
	東京		
6月25日(土)	仙台		

「社会福祉援助技術実習指導B-3」

正科生の実習受講者は必ず翌日日曜日（p.131参照）の「演習C-2」とセットで申込み、受講してください。

開催日	会場	時間	申込締切	課題3・4・5 提出期限
9月3日(土)	仙台	10:50~17:30	7月15日(金)	8月17日(水)
10月22日(土)				9月30日(金)
11月19日(土)				10月28日(金)
11月26日(土)	札幌	11:20~18:00	9月30日(金)	11月4日(金)
	盛岡	10:00~16:40		
	新潟			
	川口			

申込方法

「社会福祉援助技術実習指導B-1」・「社会福祉援助技術実習指導B-2」・「社会福祉援助技術実習指導B-3」とも、受講希望者は、「社会福祉援助技術実習指導A」スクーリング時に配布された「申込カード」に必要事項を記入しそれぞれの締切日までに提出してください（「演習C-1」、「演習C-2」も合わせての申込みになります）。

実習指導A・Bスクーリング受講料

「実習指導A・Bスクーリング受講料」は合計2万円となります。「実習指導B-1」許可時に請求予定です。納入期限は実習費（8万円）とともに5月10日です。

スクーリング受講上の注意

「社会福祉援助技術実習指導B-1、B-2」のスクーリングを欠席された方は、「社会福祉援助技術実習」は履修できません。

平成23年度帰校指導日の設定予定と申込み

実習中、1週間に1回巡回指導または帰校指導を受講することが必要です（4週間の実習期間中4回）。

帰校指導日の開講要領や留意点は、以下のとおりです。

- 1) 上記の予定日において2名以上受講希望者がいた場合に帰校指導を実施します。実施時間は80分以内。原則として、10:30~11:50で行います（予定日の午前に科目修了試験が実施される場合は13:30~14:50になります）。会場は未定です。
- 2) 受講希望者が1名の会場は本学負担の巡回指導に変更する場合があります。
- 3) 福島または郡山、宇都宮または水戸、新潟または長岡は同一週では一会場でのみ実施予定です。

受講者数の分布でどちらで何回開講するかを決定します。

- 4) 7/30・31・9/10・11はその地域の科目修了試験日に実施予定です。
- 5) 帰校指導においては、守秘義務の範囲内で担当教員および他の受講生の前で各自の実習内容の報告を行っていただく予定です。
- 6) 実習期間中、2週めに巡回指導が入れば、1週め、3週め、4週めの土曜日（または日曜日）に帰校指導を受けていただきます（巡回指導が入らない週の週末に帰校指導）。
- 7) 帰校指導費は無料です。
- 8) 帰校指導を受講できない場合は、毎週1回巡回指導を実施しますが、1回につき15,000円の巡回指導費が必要になります（実習期間終了後にまとめて請求します；実習終了後1カ月以内に納入ください）。
- 9) 帰校指導受講希望調査票は、実習指導Aスクーリングの際にお渡ししますので、4/15までに提出してください。

●平成23年度 新カリキュラム実習生帰校指導予定日・予定会場

帰校指導予定日 実習期間 6/27～10/14	開 講 予 定 都 市									
	仙台	札幌	青森	盛岡	秋田	山形	福島 or郡山	宇都宮 or水戸	東京 or川口	新潟 or長岡
7/2(土)										
7/9(土)										
7/16(土)										
7/23(土)										
7/30(土) or 7/31(日)										
8/6(土)										
8/13(土)		/	/	/	/	/	/	/	/	/
8/20(土)										
8/27(土)										
9/3(土)										
9/10(土) or 9/11(日)										
9/17(土)										
9/23(金) or 9/24(土)										
10/1(土)										
10/8(土)										

▶ 単位認定通知

①レポート課題（1～4）、②実習指導スクーリング（B-1、B-2、B-3）、③実習、④実習記録の評価を総合して行います。単位認定通知は、実習指導スクーリング（B-3）受講から1カ月程度で書面にて通知します。

▶ 参考図書

p. 137 「参考図書」 参照。

社会福祉援助技術実習

科目コード●050907

担当教員●阿部一彦・高橋誠一・田中治和・三浦 剛・山川敏久・君島昌志
中里 仁・柿沼 利弘・渡辺 憲介・佐々木 裕彦・千葉 喜久也
川口正義・小山 剛・竹之内章代・佐藤博彦 ほか多数

4 単位 | 実習科目 | 4 年以上

社会福祉
選 択

21年度以降
入学者

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方、福祉心理学科の方は、履修することはできません。

科目の内容

指定施設において、23日間以上かつ180時間以上の現場実習を行うものです。

社会福祉士の実践現場を理解し、総合的に対応できる能力を習得することを目的とします。また、利用者および関係者との円滑な人間関係形成・利用者理解とその需要の把握・利用者理解と支援計画の作成・利用者および関係者との援助関係の形成・利用者および関係者への権利擁護・利用者および関係者への支援（エンパワメント）・利用者および関係者への支援評価・多職種連携の意義と方法・チームアプローチの実際・実習機関での社会福祉士の役割について、経営サービス、管理運営の実際等を学びます。

教科書

「社会福祉援助技術実習指導A・B」に同じ

アドバイス

実習計画案作成にあたっては、健康管理を含め無理のない日程になるように十分配慮してください。そして主体的に取り組んでください。また、教科書は必ず熟読してください。

実習期間・時期

◆実習期間

- (1) 23日間以上かつ180時間以上（両方の条件を満たすことが必要）
- (2) 分割的に実習を行うことも、受入れ先の了解、および実習内容等について、社会福祉援助実習指導教員および通信教育部実習係の了解が得られれば可能です。ただし、原則として1週間（5日間以上）×4回を最も細かい分割とします。
- (3) 実習先の指導により、宿泊しながらの実習となる場合もあります。夜勤の実習は午

前0時で区切って、1日の実習時間が原則8時間となるようにします。

- (4) 実習時間の決定などにあたっては、健康管理を含め無理のない日程になるように十分配慮してください。例えば、勤務等をしている方で、実習を6日間実施し、実習の休みの日に自身の職場で勤務すること等は認めていません。

◆実習時期

6月第4週～10月第2週（前年11月末締切申込みで実習受講が認められた方）

◆実習対象施設

- ・平成24年4月以降の実習については、実習先の実習指導者が「社会福祉士の資格取得後3年以上相談援助業務に従事した経験のある者で、かつ厚生労働大臣が基準を定める実習指導者講習会を修了した者」などという省令による要件が課される予定です。
- ・平成23年4月以降入学者→東海・北陸・近畿地方以西の実習については要件に適合した実習先を各自で確保する必要があります。
- ・法令で定められた実習先の種別は『学習の手引き』3章のとおりです。ただし、対象施設・事業であっても法令要件等により実習が認められない場合もありますのでご了承ください。

卒業までの実習の流れ

①11月末までに実習申込み → ②2月～3月いずれかの「実習指導A」受講 → ③5月いずれかの「実習指導B-1」および「演習C-1」受講 → ④6月～7月いずれかの「実習指導B-2」受講 → ⑤6月第4週～10月第2週の期間に実習 → ⑥9月～12月いずれかの「実習指導B-3」および「演習C-2」受講 → ⑦3月卒業
(4年以上在籍者〔3年次編入学者は2年以上〕は、実習を6月第4週～8月上旬までに終え、9月の「実習指導B-3」および「演習C-2」を受講し、合格すれば9月卒業が可能)

受講条件

実習に出るためには下記の受講条件を満たすことが必要です。

- (1) 卒業後、社会福祉分野の業務に携わる意思を強く持っており、社会福祉の学習および実習に対して熱意と意欲をもっていること。
- (2) 社会福祉士の国家資格の取得を強く希望し、国家試験の受験をする意欲があること。
- (3) 「社会福祉援助技術実習指導B-1・B-2」および「社会福祉援助技術演習C-1」のスクーリングを受講していること。

- (4) 「個人記録」「健康診断書」「誓約書」「社会福祉援助技術現場実習課題ノート」を「実習指導B-1」スクーリング時に必ず提出していること。
- (5) 実習開始日の1カ月前までに完成した「実習計画書（清書用）」のコピー2部を通信教育部に提出していること。
- (6) 実習開始日の2カ月前までに指定科目40単位以上を修得していること。
- (7) ルールが守れない方（スクーリングやガイダンスに遅刻する、許可なく自家用車で本学に来校する、レポートの提出期限や入金期限が守れないなど）は、実習先に迷惑をかけるおそれがあるとされ、実習受講が許可できなくなります。

▶ 単位認定通知

原則として、「社会福祉援助技術実習指導B」単位認定通知とあわせて、実習指導スクーリング（B-3）受講から1カ月程度で書面で通知します。

▶ 実習費

実習費（80,000円）は実習受講年の4月中旬に請求いたします。期限（5月10日）までにコンビニエンスストアでお支払いください。原則として、一旦納入した実習費は、返却できませんのでご注意ください。

実習費には、実習保険加入費、実習委託費（謝礼）、実習巡回指導費（1回分、下記も参照）、帰校指導費、諸手続き費などが含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも、その部分を実習生に返金することはできません。ご了承ください。

▶ 巡回指導および帰校指導について

法令において実習中1週間に1回（4週間で4回）の巡回指導が定められています。本学では、約4週間の実習期間内で1回の巡回指導と3回の帰校指導の受講が必要になります。帰校指導は、仙台、札幌、青森、盛岡、秋田、山形、福島、北関東、南関東、新潟を予定しています（p.141～142参照）。帰校指導が困難な場合は、巡回指導を行います。その場合は、実習費（80,000円）とは別に、追加巡回指導費として、1回につき15,000円が必要になります。

▶ インフルエンザ、麻疹（はしか）などの感染症対策について

『社会福祉援助技術実習の手引き』【第1分冊】（「社会福祉援助技術演習A」受講者に配付）、および本冊子p.200～201参照。

介護技術

21～★

科目コード●050193

担当教員●後藤美恵子

2 単位

SR

3 年以上

社会福祉
選択

21年度以降
入学者

福祉心理
選択B

※この科目は、平成21年度以降入学者に対して開設されている科目です。平成20年度以前に入学した方は履修することはできません。

※高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望者は、原則として平成23年度以降入学者が履修可能です。平成22年度以前履修登録者は「介護実習事前事後指導」(050701 スクーリング12コマ)となります。

※高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望者でこの科目を履修する方は、必ず「介護実習事前事後指導」のスクーリングと3日間連続で受講してください。

※福祉科免許状取得希望者以外の方は、スクーリングが定員制のため受講ができない場合があることを了承の上、履修登録やスクーリング申込みを行ってください。

科目の内容

個人の尊厳を保持しながら主体的に生活できるように、介護実践の目的に基づいた生活支援を展開するための知識や実践理論の習得を通して専門技能を体得すると共に、介護理念、専門性を構築します。(1)介護実践技術の基本目標、介護観についての理解、(2)生活支援の展開における基本介護の意義、目的の理論的背景に基づいた介護技術の習得、(3)生活機能アセスメント方法の理解、(4)個々に応じたケアスキルの展開方法の理解について、学習します。

教科書

社会福祉士養成講座編集委員会編『新・社会福祉士養成講座13 高齢者に対する支援と介護保険制度（第2版）』中央法規出版、2010年（第2版でなくても可）

※「★高齢者福祉論」「★介護概論」と共通のため、この科目での教科書配本はありません。

履修登録条件

この科目は、原則として「高齢者福祉論」および「介護概論」を履修登録している方が履修登録できます（この科目では教科書が配本されません）。

レポート課題

1 単位め

要介護者の生活支援を展開する上での基本的な生活支援技術をまとめなさい。その上で、要介護者がその人らしく生活することの意義を考え、それを可能にするために専門職としてあり方について具体的に論述しなさい。

2 単位め

認知症高齢者の状態像についてまとめ、中核症状を踏まえた上でBPSD（周辺症状）への対応方法を含め、専門職に求められる認知症介護のあり方について論述しなさい。

アドバイス

1単位め
解説

専門職として、生活支援（介護）を展開する上での基本的な専門技術について、テキスト第13・14章を参考に理論的根拠を踏まえた上で介護技術の内容について簡潔にまとめてください。テキストでは、間接技術の一つであるコミュニケーションが網羅されておられませんので、他の文献を参考にしてください。専門職としての生活支援のあり方も介護保険導入と共に変化しています。介護保険の基本理念である「利用者本位」「自立支援」を具現化する上でその人らしい生活の意義について自身の考えを述べ、基本的な専門技術の個別展開のあり方についてまとめてください。

2単位め
解説


高齢社会と共に認知症高齢者が増加し、認知症介護についてはゴールドプラン21に基づいて国レベルで取り組まれております。これまで「問題行動」と言われてきた周辺症状も近年では「BPSD」と新たな概念で呼ばれるようになりました。ここでは、新たな介護の専門性を押さえる意味で、テキスト第14章第1節を中心に「認知症高齢者とは」といった状態像をまとめ、認知症高齢者に対する適切な生活支援を展開する上での介護のあり方について、BPSDの対応方法を含めて自分の考えを具体的に述べてください。

参考図書

- 1) 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座 6 生活支援技術Ⅰ（第2版）』中央法規出版、2011年
- 2) 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ（第2版）』中央法規出版、2009年
- 3) 介護福祉士養成講座編集委員会編『新・介護福祉士養成講座12 認知症の理解』中央法規出版、2009年

スクーリング申込方法

- 1) 高等学校教諭一種免許状(福祉)取得希望の方 巻末の「介護実習事前事後指導 介護技術」登録カードにて申込（申込締切 7月受講希望者：6月23日，1月受講希望者：12月12日）。p. 191～192記載の「介護実習事前指導」スクーリング受講条件を満たしていれば受講が可能です。
- 2) 上記以外の方 7月受講希望者：6月23日，1月受講希望者：12月12日締切で『With』の案内に従ってお申込みください。介護実習室の定員に限りがあるため，希望者多数の場合は受講は，①レポートを2単位とも提出している方優先，②同条件の場合は無作為抽選となります。



福祉心理学科関連 専門科目

認知心理学

科目コード●050510

担当教員●西林 克彦



4単位 | R or SR | 3年以上

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

日常用語としての「認知」という言葉は、「認める」とか「知る」といった意味です。心理学では、それにくわえて推理・思考などの高次精神機能をへて「知る」ということも入ってきます。とにかく「認知」とは広い意味で「知る」ことだと思ってください。

ですから、「認知心理学」は「どのようにして知るのか」の学問といっていいいでしょう。ただ、「認知心理学」には著しい特徴があります。それは、人は（動物も基本的に同じですが）その時々において、すでに枠組みを持っているのを認めることです。意識することは少ないのですが、私たちは自分の持っている枠組みで外の世界に注意を向けます。ですから、その枠組みに関係する情報は引っかけやすくて簡単に取り入れられるのです。それに対して枠組み・知識のない分野の情報は、取り込むのに大変苦労したりします。偏った考えを持った人が、そのアンテナに掛かる情報ばかり取り入れ、ますます偏ってしまうことにもなったりするわけです。旧来の条件づけ的な心理学ではこのような事態は説明できませんが、認知心理学では可能になります。

さて、この講座では、広範囲にわたる認知心理学領域全体を浅くカバーするのではなく、学習、理解、学習指導、文章の理解といったことを中心に、この学問ならではのアプローチの面白さを実感していただこうと思います。そこで獲得した見方・考え方は、認知心理学の広範な他領域の学習や、日常的な場面への適用をも容易にしてくれるでしょう。

教科書

- 1) 西林克彦『間違いだらけの学習論——なぜ勉強が身につかないか』新曜社、1994年
- 2) 西林克彦『わかったつもり——読解力がつかない本当の原因』光文社、2005年
(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月より教科書、レポート課題、担当教員が変更されました。以前の教科書にもとづいて課題に取り組むことは『レポート課題集2010(3・4年次)』p. 146～を参照すれば2012年9月まで可能です。なお、スクーリング受講時には以前の教科書所持でも大丈夫です。

レポート課題

1 単位め	<p>有意味学習と機械的暗記では学習の様態がずいぶん違います。なぜそうなるのか、そのことは学び方や教え方にどんな違いをもたらすのか、について述べてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>
2 単位め	<p>文脈、スキーマ、活性化などの用語を使いながら、読みのメカニズムについて整理してください。また、それと以前の自分の読みに対する考えと対比させて述べてください。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>
3 単位め	<p>理解の構造、応用のためにはなぜ理解が必要なのか、について考えを整理して述べてください。</p>
4 単位め	<p>読みの過程で「わかったつもり」がどのように生じ、それがどのようにより深い読みを妨げるかについて整理してください。また、認識の深まりということからすれば、このようなことは読みに限られるわけではないでしょう。他の分野でどのようなことがあるか考えてみてください。</p>

アドバイス

レポートを書くという作業は、教科書を読んでその内容をまとめることではありません。知識は、自分の頭の中を通過していない限り借り物ですし、自分のものになった言葉で書かない限り人に訴える力を持ちません。認知心理学的に言えば、自分の枠組み・認知構造が情報獲得に関与していなければなりませんし、関与していなければ「わかる」ということにもならないのです。また、自分の枠組み・認知構造が獲得した知識・情報によって、再構成すなわち変化させられていなければ、これまた、「わかって使える」ということにはならないのです。

ですから、レポートを書いている途中でわからないことや調べたいことが出てくれば、情報がだいぶ咀嚼されて自分のものになりつつあると考えてください。「わかったふり」をするのは厳禁です。そもそもそれでは自分の勉強になりません。新しく学んだ知識を整理し、わからない点や不整合な点を見つけ出し、具体的に適用するとどうなるのかといった疑問を抱き、それらに自分なりの回答を考えるといったレポートを期待しています。

1 単位め 解説

教科書1)の1, 2, 5章が主として関係するところです。世の中では勉強法という機械的暗記すなわち無意味材料に関するものがほとんどです。認知心理学で考えた有意味学習の有利さについて、またなぜ世の中では有意味学習が推奨されることが少ないのかについても考えてみてください。

2単位め 解説

教科書2)の1, 2章が主として関係するところです。私たちは、読むときに意識しませんが、こんなにも積極的に複雑なことを、しかも瞬時に行っているのです。その巧緻なメカニズムを理解すれば、それがうまく働かないとき、うまく読めないときの理由や対応も考えることができるようになります。

3単位め 解説

教科書1)の3, 4, 5章が主として関係するところです。「理解の構造」は、少し歯ごたえがあるかと思いますが、ここが理解できれば、「応用」は比較的楽に了解できると思います。

4単位め 解説

教科書2)の3, 4, 5章が主として関係するところです。「わかったつもり」は、ひとつの「わかった」状態ですから、わからないところがなく、次の行動がとれないので、読みが深まらないのです。「わからない」だけが次に進めない理由だ、とよく思われがちですが、ある程度読める人には「わかったつもり」の方が、じつはよほど問題なのです。

参考図書

- 1) 箱田裕司・都築誉史・川畑秀明・萩原 滋著『認知心理学』 有斐閣, 2010年
- 2) リンゼイ, P.H.・ノーマン, D.A. 著 中溝幸夫ほか訳『情報処理心理学入門』(1-3巻) サイエンス社, 1985年

学習心理学

科目コード●050512

担当教員●村井 則子



2 単位

R

3 年以上

社会教育
選択B福祉心理
選択A

科目の内容

心理学では、「学習とは、経験によって生じる比較的永続的な（行動・知識などの）変化」を指しています。日常語のいわゆる学習（勉強）も含まれますが、それよりもっと広い意味で使われています。

学習心理学には、それぞれ異なった歴史を持つ3分野が含まれています。第1は、条件づけで、1920年代から60年代までのパブロフやスキナーなど行動主義心理学の中心的テーマでした。第2は、記憶で、エビングハウス以来の伝統があり、言語や思考とともに認知心理学の中心的テーマであります。第3は、技能学習です。

半期2単位の学習心理学入門用教科書では、第1と第2、場合によっては第1のみを取りあげる傾向があります。しかし、学習心理学の全体を眺めるという意味で第2と第3も含む教科書にしました。1章：学習心理学の領域、2章：古典的条件づけ、3章：オペラント条件づけから5章：条件づけの制約までを中心に勉強してください。そして6～10章の記憶と忘却についても8章から10章を中心に勉強してください。

心理学では、実験や調査の研究結果を図表で示すことが普通に行われているので、教科書の図表もよく見て図表を読みとる能力をつけてください。

教科書

篠原彰一著『学習心理学への招待——学習・記憶のしくみを探る（改訂版）』サイエンス社、2008年

（平成19年度以前履修登録者）2008年4月より教科書が変更されました。また、2009年4月より教科書は改訂されています。

レポート課題

1 単位め

まず、無条件反応、無条件刺激、条件反応、条件刺激などという条件づけの専門用語の意味をそれぞれ説明しなさい。次に、「古典的条件づけ」と「オペラント条件づけ」とは何かを述べなさい。そして、「条件づけ」の「一般原則」とその生物学的制約について例をあげて考察しなさい。

2 単位め

学習心理学の知識を応用してください。
持込み不可の試験に合格したい時に効果的な記憶力を高める方法と忘却を防ぐ方法とを具体的に述べなさい。

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月に、レポート課題が一部変更されました。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月に受付を締め切りました。

アドバイス

1単位め 解説

まず、1章を読んで、「学習とは何か」を頭に入れてください。そして、「第2章 古典的条件づけ」と「第3章 オペラント条件づけ」を精読してください（5章と図表もお忘れなく）。

学習とくに条件づけには、半分日常用語になっている言葉もありますが、多くの特殊な専門用語が使われています。それらの言葉を具体的な実験的現象と結びつけて理解することから始めてください。こまごまとした用語の解説など煩わしいでしょうが、たとえば英語の単語や文法と同じで一通り知らないと前に進めませんので頑張ってください。本当は、すべての言葉を解説して覚えていくのが望ましいのですが、レポートの字数の関係で、とくにパブコフ以来の伝統を持つ古典的条件づけに関係した用語を重点的に解説してください。

次に、古典的条件づけとオペラント条件づけとは何かについてそれぞれ前に定義した用語を使って記述してください。

条件づけの生物学的制約については第5章を参照してください。

2単位め 解説

まず、第6章以下の章を一応目を通すつもりで読んでみてください。とくに「第8章 長期記憶への取り入れ」を精読してください。そして、教科書に書かれている学習の原則や現象を自分なりに応用するように工夫してみてください。第8章がとくに参考になると思いますが、第9章や第10章にも関係することが書いてあります。

参考図書

1) J.E.メイザー著 磯博行・坂上貴之・川合伸幸(訳)『メイザーの学習と行動 日本

- 語版第3版』二瓶社, 2008年 ※アメリカで定評のある学習心理学の入門書。
- 2) 実森正子・中島定彦著『学習の心理 行動のメカニズムを探る』サイエンス社, 2000年 ※条件づけの情動的側面と適応的意味を強調。
- 3) 山内光哉・春木豊編著『グラフィック学習心理学 行動と認知』サイエンス社, 2001年

児童青年心理学

科目コード●050516

担当教員●西野美佐子(左)
中村修(右)



4単位 | R or SR | 3年以上

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

児童青年心理学は、人間の児童期と青年期における発達の姿と特徴、発達にかかわる要因の分析やそのメカニズム等を明らかにすることを中心におく発達心理学の一分野です。児童は狭義には学童期をさしますが、広義には、人間の誕生から、胎児期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期までの青年にいたる前の発達期をすべて包含します。そして、学童期に続く青年期にある個人の心理・行動を研究するのが青年心理学です。したがって、児童青年心理学で扱う対象は、児童期・青年期としておきます。

児童期・青年期の示す種々の行動や状態について一般的傾向を把握するばかりでなく、そのような発達をもたらす要因や条件の分析、発達の制御や発達過程を明確にするための理論の構築と検証、そして理論の適用へと児童青年心理学の課題は進展してきています。

それらを解明するためには、単に児童や青年を対象とする心理学だけではなく、心理学の他の領域——家族心理学、教育心理学、臨床心理学、コミュニティ心理学——はもちろんのこと、近接領域の科学——社会学、経済学、生物学、文化人類学——などとも、ますます密接に関係をもつ必要性がでてきています。児童・青年の理解とその行動科学のために、基礎的な知識と理論を学んで欲しいと思います。

教科書

- 1) 心理科学研究会編『小学生の生活とこころの発達』福村出版、2009年（1・2単位め）
 - 2) 菊池武剋監修 沼山博編集『トピックス 思春期・青年期と向き合う人のための心理学』中央法規出版、2004年（3・4単位め）
- (平成18・21年度以前履修登録者) 2007年4月より、2)の教科書が変更になり、2010年4月より、1)の教科書が変更になりました。スクーリング受講時は、1) 2)の教科書持参がのぞましいでしょう。

レポート課題

※2007年度よりこの課題は2名の教員で担当しています。1・2単位め（児童の部分）＝西野美佐子先生、3・4単位め（青年の部分）＝中村修先生。再提出になった場合は、1・2単位めと3・4単位めは、それぞれ別々のレポート用紙を利用して提出してください。

1 単位め	<p>幼児期から児童期に移行すると、経験を通して自己の広がりや深まりがますます増す。児童期の発達の特徴を、知的機能と社会性の発達の両面から述べなさい。</p>
2 単位め	<p>児童期から思春期にかけての社会化の問題について、発達のつまずきの問題などから適応の問題を論じなさい。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>
3 単位め	<p>以下の3つの概念をそれぞれ解説しなさい。 ①心理的離乳 ②早期完了型アイデンティティ ③ライフキャリア</p>
4 単位め	<p>青年期にて行われる職業的選択プロセスの中でのアルバイト経験の活かし方について考えなさい。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>

（平成20年度以前履修登録者）2009年4月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月に受付を締め切りました。

アドバイス

各課題について、テキストならびに関連参考書を読んで、丸写しにするのではなく、自分の言葉で、理解された内容をまとめるように心がけてください。その際、自分が大人になっていく道筋を振り返り素材とするのもいいでしょう。経験科学である心理学を学ぶことは、自分を含めて周囲の人や出来事を科学化することと考えることもできます。

1単位め 解説

児童期は比較的安定した発達を遂げる時期だといわれてきました。しかし、現代では子どもの育つ環境が急激に変化し、それに伴って子どもの生活様式が目覚しく影響を受けています。児童期における知的操作の発達は、ピアジェの認知発達にならうと、自己中心性を脱して具体的操作へ、そしてさらに形式的操作へと移行していきます。また、子どもの社会性の発達においては、遊び時間・仲間・遊び場の減少などにより、同性の仲間が群れて遊ぶギャングエイジが喪失したと言われます。児童期の発達について、健全育成の面からどのような手立てが必要か考えてみましょう。

2単位め 解説

人間の発達の様態を見ると、児童期は比較的緩慢な成長を示しますが、児童期後期以降急激に成長する時期がきます。これは第2次成長期と言われ、子どもから大人への移行の開始を表すものです。今日の子どもは、メディア環境の急激な変化にさらされています。また、現代では子どもにおける身体発育の早熟化や早期完了化が進んでいることが指摘され「発達加速現象」と言われています。一方、情報化や少子化のなかで、子どもたちの心身のアンバランスな発達が社会問題となっています。この時期に見られる一過性の不適応状態である情緒障害にはどんなものがあるか、実証的に論じてください。

3単位め 解説

単に辞書的な定義を書くだけではなく、用語解説としてわかりやすいものとなるように気をつけてください。①については、「青年期の親子関係の変化」の概略について触れる必要があるでしょう。②では、「〇〇型」という以前に、「アイデンティティとは何か」ということに触れる必要があるでしょう。③は、青年期に留まらず、人の生涯を理解する際に有用な概念です。ライフキャリアの定義だけではなく、この概念を用いることで「人の生涯に対してどのような見方が可能となるのか」ということに触れる必要があるでしょう。なお、①～③とも、テキストの特定のトピック、特定のページだけに着目するのではなく、他のトピック・ページでの事項も踏まえ、参考文献他からの情報も取り入れて、自分なりの整理をしてください。

4単位め 解説

青年期の終わりには「その後の人生で自分は何をして生きていくのか」に対する答えを出さなければなりません。たとえそれがその後修正されたりまったく別のものになったりするとしても、とにかく「一つの答えをだして」社会人・成人としての一步を踏み出さなければなりません。その意味で、青年期は答えを出すまでの「探索」期として捉えることができるでしょう。

この答えは一人でじっと悩むことによって得られるわけではなく、実際に「社会と関わってみた経験」に基づいて考えることが有用となります。学校で行われる職場見学や短期職業体験、インターンシップは、学校が学生・生徒にそのような経験をつむことを求めて設定されているわけです。もちろん、漫然とただ経験し「楽しかった」「大変だった」というおおまかな感想をもつだけでは、「自分の選択に生かせる経験」にはならないでしょう。生きた経験にするためには、経験のなかからどのようなことを理解することが必要になるのでしょうか。

そして、学校などが用意してくれた経験だけが「選択に生かせる何か」を理解する経験ではありません。日常生活の中で青年が職業に触れる経験、特にアルバイト経験も、単にお金を稼ぐ手段としてだけではなく、何かを理解する経験へとその意義を変えることが

できるでしょう。

課題に答えるにあたっては、まずはエリクソンの心理社会的発達段階説とスーパーの職業的発達段階説から、「探索期としての青年期のありよう」についてまとめてください。次に探索する中で、どのようなことを理解し発見することが、一つの答えに絞ること・選択することにつながっていくのか、明確にしてください。そして、そのために必要な体験の一つとして、アルバイト経験の活かし方について考えてください。なお、「アルバイト賛美」をすることを求めているわけではないことに注意してください。

参考図書

- 1) 心理科学研究会編『心理科学への招待』有斐閣, 2004年
- 2) J.コールマン・L.ヘンドリー著 白井利明ほか訳『青年期の本質』ミネルヴァ書房, 2003年
- 3) 浦上昌則・三宅章介・横山明子著『就職活動をはじめの前に読む本』北大路書房, 2004年
- 4) 遠藤由美著『青年の心理 ゆれ動く時代を生きる』サイエンス社, 2000年
- 5) 斉藤誠一編『青年期の間関係』培風館, 1996年
- 6) 白井利明・都筑学・森陽子著『やさしい青年心理学』有斐閣, 2002年
- 7) 白井利明著『大人へのなりかた——青年心理学の視点から』新日本出版社, 2003年
- 8) 徳田安俊著『青年心理学入門——発達の課題とその理解』川島書店, 1982年

*生涯発達心理学の教科書・参考文献も「使える」はずです。

老年心理学

科目コード●050517

担当教員●吉川 悠貴



4単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択A

福祉心理
選択A

科目の内容

これまで老年期（高齢期）は一般的に否定的なイメージでとらえられてきました。しかし人間を生涯発達する存在として考えると、老年期は発達の最終段階にあたる時期となります。人間は加齢に伴ってさまざまな身体的変化や心理学的な変化を示しますが、それが実際にはどのように起こってくるのかを系統的に学習していくのがこの科目のねらいです。具体的には、老化の基本的考え方や知能に代表される精神機能の変化、老年期のパーソナリティと適応、人間関係、認知症の問題などについて、心理学的な理解を深めていくことがこの科目の大きな目的です。

教科書

加藤伸司編『介護福祉士養成テキストブック10 発達と老化の理解』ミネルヴァ書房、2010年

本間昭編『介護福祉士養成テキストブック11 認知症の理解』ミネルヴァ書房、2009年（平成22年度以前履修登録者）2011年4月より教科書が変更されましたが、以前の教科書にもとづいて課題に取り組むことは可能です。

レポート課題

1 単位め

高齢期（老年期）と呼ばれる時期がどのようにとらえられるかについて、「生涯発達」および「老化」という観点から、これまで示されてきた考え方や知見を整理した上であなたの考えを述べなさい。

2 単位め

高齢期における、加齢に伴う記憶および知能の変化についてまとめた上で、それらの変化を理解する上で必要な留意点をまとめなさい。

3 単位め

高齢期におけるパーソナリティ（≒人格・性格）の変化と心理的な適応がどのように生じるかについて、変化や適応に影響する具体的な要因を示しながら説明しなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

4 単位め

認知症の症状について、中核症状と周辺症状（認知症に伴う行動・心理学的症候：BPSD）という観点から整理した上で、症状の出現に影響する要因について具体的に示しなさい。

※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題

(高等学校福祉科免許状取得希望の方へ)「老年心理学」を高等学校教諭一種免許状(福祉)取得に必要な科目として使用するためには、平成23年度以降の入学で、平成23年度以降に履修登録をして上記の課題に取り組み、平成23年度以降に単位修得をする必要があります。平成22年度までに履修登録した「老年心理学」は高等学校教諭一種免許状(福祉)取得に必要な科目として使用できません。

平成22年度以前の入学で、6条別表4で免許状取得希望者など、何らかの事情でこの科目を教職科目として使用する場合は、必ず通信教育部・教職免許係まで書面(メールuk@tsukyo.tfu.ac.jp・FAX・郵送)でご相談ください。ただし、いかなる場合も平成23年度以降に履修登録を行い、上記の課題に解答して単位修得をおこなった「老年心理学」でない免許状取得の必要科目としては認められません。

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月まで提出できますが、できるだけ上記の課題で提出してください。

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月よりレポート課題が変更されています。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月で締め切りました。

アドバイス

レポート課題をまとめるにあたって考えて欲しいことは、単にテキストを見てそれを要約するのではないということです。高齢期に見られるさまざまな心理学的変化が、これまでにいわれてきた通説とどのように異なるのか、あるいはこれまで心理学という学問が高齢者のさまざまな問題をどのように明らかにしてきたのかについて理解を深めていかなければなりません。

以下に各レポート課題のまとめ方についてのアドバイスを行います。すべてのレポート課題について、各レポートの前半の部分はさまざまな研究成果などをまとめる形にしてください。後半部分ではそれらのテーマについて自分なりの意見や具体的な例を取り入れながら結論を出して行ってください。

レポートは、ただ単にテキストや参考文献をまとめただけでは評価の対象にはなりません。また自分なりの意見を述べただけでも評価の対象にはなりません。必ず課題に対する心理学的な研究成果等を踏まえ、かつ自分なりの意見や具体的な例を取り入れた形でまとめてください。またレポートの最後に参考にした文献も一覧にして載せ、レポート本文中

の引用箇所に文献番号を記載してください。

1単位め 解説

テキスト『発達と老化の理解』を主に参照してください。同書第1章第1節・第6節、第2章第1節、第4章第1節を中心によく読み、他の文献なども参考にしながら、高齢期という時期がどのように位置づけられるかについてまとめていきます。その際、「生涯発達」および「老化」という観点からテキスト等で紹介されている考え方を整理した上で、自分の考えを主張するようにしてください。

2単位め 解説

高齢期における記憶および知能について、テキスト『発達と老化の理解』の第3章第3節・第4節を中心によく読み、加齢に伴う変化がどのように生じているのかについて整理してください。また、それらの変化を理解する上で留意すべき点についてまとめてください。なお、ここでいう留意点とは、単に機能の衰退や減少という側面からのみではない理解のしかたや高齢者への対応に必要な、考慮すべき事項という意味です。

3単位め 解説

テキスト『発達と老化の理解』の第3章第5節・第6節、第4章第2節～第4節を中心によく読み、高齢期におけるパーソナリティ（≒人格・性格）の変化と心理的な適応がどのように生じるかについてまとめていきます。その際、変化や適応に影響しうる要因について、特に高齢期に生じやすい事象を具体的な例を示しながら論述してください。その意味では、影響要因については網羅的である必要はなく、特に重要と思われたもののみ取り上げて論じて構いません。

4単位め 解説

テキスト『認知症の理解』の第1章第2節・第3節・第6節を中心によく読み、同書第2章や他の文献なども参考にしながらまとめてください。課題に示したように、単に症状や影響要因を羅列するのではなく、中核症状と周辺症状という区分を理解した上で、症状に影響しうる要因が具体的にどのように作用し、どのように症状があらわれるのかを示してください。なお、かつてそのようにみなされていた、あるいは誤った考え方、という意味で用いる場合以外に、周辺症状について「問題行動」という表現を用いた場合は、評価を減じることがありますので留意してください。

参考図書

- 1) 内田伸子編著『誕生から死までのウェルビーイング 老いと死から人間の発達を考える』金子書房、2006年
- 2) 谷口幸一・佐藤眞一編著『エイジング心理学 老いについての理解と支援』培風

館, 2007年

- 3) 日本認知症ケア学会編『認知症ケアの基礎知識』ワールドプランニング, 2008年
- 4) 加藤伸司著『認知症になるとなぜ「不可解な行動」をとるのか』河出書房新社, 2005年
- 5) 下仲順子編『高齢期の心理と臨床心理学』培風館, 2007年

※「痴呆」という呼び方にはマイナスのイメージがつきまとうため, 厚生労働省の「痴呆に替わる用語に関する検討会」で検討の結果, 「認知症」という用語に呼び替えることになりました。従来 of 書籍では「痴呆性高齢者」などという表現が使われていますが, 「認知症高齢者」と読み替えてください。なお, 用語の変更の背後にある誤解や偏見の解消などという点にも配慮し, 理解を深めてください。

障害児の心理

科目コード●050518

担当教員●木村 進



4単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉

選択

社会教育

選択B

福祉心理

選択A

科目の内容

「障害」という言葉を聞いて、皆さんはどのような印象や感想を持つのでしょうか。「心身障害児」とか「障害者」とよぶ以上、そこには何か意味があるはずですが。保育や教育の場面を例にとれば、障害をもった子どもの保育・教育には、その障害の特徴に合わせた特別な配慮が必要だということの意味していると思われます。障害をもった子どもの保育・教育が的確に行われるためには、「障害」についてきちんと理解し、「障害をもつ人」の心理について基本的な認識を深める必要があります。

ここでは、障害をいくつかの種類に分け、その特徴、原因を理解するとともに、障害をもつ子どもや大人がどのような心理状態に陥りやすいかということ进行学习します。

教科書

田中農夫男・木村 進編著『ライフサイクルからよむ障害者の心理と支援』福村出版、2009年

(平成21年度以前履修登録者) 2010年4月より教科書が変更になりましたが、以前の教科書にもとづいてのレポート提出やスクーリング受講も可能です。

レポート課題

1 単位め	「心身障害児」などという場合の「障害」の意味について説明しなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題（別レポートは論述式）
2 単位め	「知的障害児」の心理的特徴と学童期の指導について説明しなさい。
3 単位め	「(軽度)発達障害」とは何かについて説明しなさい。
4 単位め	障害のある子どもをもつ家庭への支援についてまとめなさい。 ※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題（別レポートは論述式）

(平成21年度以前履修登録者) 2010年4月よりレポート課題が一部変更されています。『レポート課題集2009』記載の課題でも2011年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

レポートを書き始める前に、この課題集と教科書や参考書の該当する箇所をよく読んで理解しておくということが第一に重要です。該当する箇所は1カ所とは限りませんから、課題に取り組む前に、少なくとも教科書については精読し、内容をつかんでおいてください。

『学習の手引き』序章に「レポートの書き方」を載せてありますので、もう一度読んで、作業手順を確認してから、レポート作成にとりかかってください。

課題はすべて、基本的には教科書に書いてあることについてまとめ、それに参考文献等で肉付けをするという形で書けるはずですが、教科書をまとめるだけでは不十分ですので、必ず教科書以外の参考文献の内容も加えて書いてください。

1単位め解説

最初のレポートは、「障害」ということの定義を書きなさいという課題です。これは「序章2」の内容をまとめることが中心になりますが、「序章1」の内容や他の研究者の定義なども含めて内容を充実させることが望まれます。定義について考察することにより、「障害とは何か」ということについての理解を確立することが目標です。そして、それらを総合して、できれば、自分なりの定義としてまとめてください。他の課題も同様ですが、教科書を含めて、参考文献を明記することを忘れないでください。

2単位め解説

2単位めは「知的障害」がテーマです。教科書の内容を踏まえて、足りない分は他の文献で調べてください。内容としては、①知的障害とは何か(定義)、②知的障害をもたらす原因についてコンパクトにまとめてから、③心理的特徴について説明し、さらに、④学童期における指導について論じてください。①～③は、教科書をまとめることで書けますが、④は、教科書だけでは内容が不十分ですので、他の文献を捜してください。なお、④は、「学童期」に限定していることに留意してください。また、④の内容は、「支援」ではなくて「指導」となっています。この指導という意味は、「学習指導」と解釈してください。

「知的障害」はもっとも数の多い障害といえると思います。もし将来障害児・者関係の仕事をするとしたら、知的障害の子どもや大人を相手にする可能性が高いので、このレポートでしっかり学習してください。長い間「精神薄弱」とよばれ、その後「精神遅滞」とよばれるようになり、最近は「知的障害」が使われることが多くなりましたが、この呼称

の変遷は、「障害」ということを理解する上でも興味深いことだと思われます。

このレポートの中心はあくまで③と④であることに注意してください。

3単位め 解説

この課題は、「(軽度)発達障害」というものについての理解を深めるために設定したものです。障害児教育の歴史を見てみると、障害児（特に知的障害児）が「教育可能」「訓練可能」などと分類された時代があり、ある程度以上重い障害児は教育の対象になっていなかった時期がありました。その後、昭和54年に「**障害児の全員就学**」が実現し、重い障害の子どもにも教育の光が当たるようになりました。そして、現在は、通常学級に在籍するLD、ADHD、PDDなどの発達障害をもつ子どもたちの教育をどうするかということが課題になってきています。こういう状況を受けて、ここでは、そういう「(軽度)発達障害児」についての学習を進めることが課題です。

具体的には、上記のLD、ADHD、PDDのそれぞれについて、①定義、②そのような障害が起きる原因、③主な特徴（症状）、④基本的な教育（指導）のあり方の4点をレポートしてください。この課題は、「第7章」「第8章」「第9章」を読んでまとめるという作業になりますが、「(軽度)」というところに注目して内容を考えてください。大体的内容は教科書で間に合うはずですが、教科書以外にも手を広げて、充実した内容にしてください。

他のレポートについても同じですが、あなたがたは、レポートを書くことによってそのことについての理解を深めるということが目標なので、自分で書いたレポートの中に専門用語など、言葉としては知っていても意味の理解が不十分な単語や言い回しが出てきたら、それについて[注]をつけて解説するということをやってみてください。そうすれば、何よりも自分にとってわかりやすいレポートになります。

(注) この課題では「(軽度)発達障害」という表現を使っています。「軽度発達障害」という言葉が教育界などで一般に使用されていた時期もあったのですが、「軽度」という表現が「障害が軽い」と誤解されがちだという理由で、現在の文部科学省は「軽度」をとって「発達障害」という言葉に統一しています。しかし、本来「軽度」という言葉を付加していたのには意味があるので、ここでは(軽度)として残してあります。

4単位め 解説

この課題では、障害のある子どもをもつ家庭への支援のあり方について学習します。テーマの中心は「**支援のあり方**」ですが、適切な支援をおこなうためには、そのような家庭についての的確に理解しておく必要があります。したがって、まず、「11章」の内容から「**家族関係**」というものについての基本的な理解をして、それに基づいて「12章」前半の「**家族の心理**」を論じ、最後に「**支援のあり方**」を考えると内容になると思われます。

受講生の中には、さまざまな立場で、障害児をもつ家庭への支援に携わっている方もい

ると思われます。的確な支援を行うためには、障害の理解、発達理解と並んで、この支援のあり方について考えおよび支援のスキルが問題になります。この課題は、支援についての考えを問うものですが、他の文献も参考にして、支援スキルにまで言及することが望まれます。「支援」という言葉に含まれる意味はかなり広いと思われませんが、ここでは、家庭あるいは家族に直接支援するということを前提に内容を考えてください。つまり、あなたが、直接相談を受けるとか親を指導する立場であるとか、あるいは、育児カウンセラー的な立場であるとか、そういうことを想定してレポートをまとめてください。

参考図書

- 1) 中司利一著『障害者心理——その理解と研究法』ミネルヴァ書房, 1988年
- 2) 小池敏英・北島善夫著『知的障害の心理学——発達支援からの理解』北大路書房, 2001年
- 3) 熊谷公明著『発達障害の基礎』日本文化科学社, 1999年
- 4) 栗田広編著『広汎性発達障害』全国心身障害児福祉財団, 1998年

心理療法

科目コード●050520

担当教員●秋田 恭子



4単位 | R or SR | 3年以上

社会教育
選択B

福祉心理
選択A

科目の内容

心理療法は、今から100年前から形を成してきた学問領域です。他の科学と比べると若い学問領域ではありますが、急速に理論と実践が発展してきています。それは、物が豊かになった現代社会において緊急課題となっている親子関係、対人関係、自分らしい生き方など、いわば「心のあり方」に関する事柄にこの学問領域が応えているからでしょう。

人間の心は、複雑に機能しつつもある程度のまとまりをもって機能しています。現代のような複雑な社会において、人間が人間らしく生きていこうとするといろいろな要因により心が十分に機能しなくなることがあります。心理療法とは、深刻な悩み、症状（身体症状も含めて）、問題行動、人格機能等を心理的側面から援助する学問です。人間が複雑な心の働きをするため、その接近法である心理療法も多種多様となります。

そこでここでは、心理療法の基本的枠組みと各種心理療法の特徴等を学習することを目的とします。

教科書

水島恵一・岡堂哲雄・田畑治編著『カウンセリングを学ぶ（新版）』有斐閣、1987年

レポート課題

1 単位め

第1章より第4章まで——次の4つの課題から1つを選び、レポートしなさい。その場合、どの課題を選んだのか、レポートに明示しなさい。

- (1) フロイト、アドラー、ユングの3人が理論化した「心の構造」の共通点と相違点について論述しなさい。
- (2) クライアント中心療法とジェンドリンの体験過程の共通点と相違点について論述しなさい。
- (3) エリクソンは、フロイトの発達理論をどのように修正し、自分の発達理論を発展させていったのか、論述しなさい。
- (4) クライアントと呼ばれる人とはどのような人なのか、またカウンセラーに求められていることについて論述しなさい。

2 単位め	<p>第5章より第7章まで——クライアント中心療法とフロイトによる精神分析と行動カウンセリングの中から1つを選び、以下の観点から論述してください。その際1つずつの項目ごとに論述して下さい。</p> <p>(どのカウンセリングを選んだかを「課題欄」に明記してください)</p> <p>1. 人間観 2. 病理論 3. 性格論 4. 面接の目標 5. カウンセラーの役割 6. クライアントの役割 7. カウンセリングを行う上で重視していること</p>
3 単位め	<p>第8章より第10章まで——次の2つの課題から1つを選び、レポートしなさい。その場合、どの課題を選んだか、レポートに明示しなさい。</p> <p>(1) 第8章のグループアプローチの事例を「グループ体験が個人にどのような影響を与えるか」について、クライアント中心療法を発展させたエンカウンター・グループの視点から論述しなさい。</p> <p>(2) クライシス・インターベンションとPTSD（外傷後ストレス障害）の関連を論述しなさい。</p> <p>※スクーリング受講者専用「別レポート」対象課題</p>
4 単位め	<p>第11章より第14章まで——次の文章は、ある事例の要約です。この文章を読み、下記の課題をレポートしなさい。</p> <p>ある両親が、中2の子どもの不登校のことで来談された。家族は、祖父母、両親、長女、長男、次女、次男（本人）の家族である。父親は、一流企業の役員をしているが、祖父に頭が上がらず、家計は祖父母が管理している。したがって、嫁姑の関係は悪い。本人は、末っ子のこともあり、家族から溺愛されて育ってきた。不登校になるまでひとりで留守番することができなかった。また、2階の自分の部屋にひとりで行かれなかったので、家族の誰かがその都度ついて行った。祖父母も両親も社会的地位や名誉には敏感で、上の兄弟は一流の学校と一流の企業に就職をしている。本人は、小学校の時も不登校気味であったが、家庭教師をつけたこともあり、一流の中学校に入学したが、不登校に陥った。現在の本人は、テレビゲームを中心に昼夜逆転した生活をしており、家族とのかかわりを回避している。時々気に入らないことがあると両親に暴力を振り始めるが、風呂にも入らず、無気力な生活を送っている。祖父母は、こうなったのも両親の育て方が悪いからだと言っているが、夫婦でそのことについての話し合いはない。他の兄弟も本人のことに触れないようにしている。祖父母と両親の共通点は、本人が今の中学校を卒業して、有名高校に入学することを願っている。</p> <p>課題 発達のカウンセリングの視点も考慮に入れて、どのようにファミリー・カウンセリングをおこなっていったらよいか、論述しなさい。</p>

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月に、レポート課題が一部変更されました。『レポート課題集2008』記載の課題は2010年9月に受付を締め切りました。

アドバイス

ここで使用している教科書は、「心理療法」を初めて学ぶ人を前提に選択しました。本書では、代表的な心理療法を取り扱っていますが、各心理療法を創始した創始者の生育歴

や時代背景をとりあげ、読む側にとっては、それぞれの心理療法の形成過程と特徴について理解を深めることを容易にしています。教科書は、レポートを書く前提としての基礎的知識を習得する本として位置づけています。入門的で平易な文章であります。それぞれの文章には深い意味が込められています。この点を学んでもらいたくレポート課題を課しています。したがって、教科書のみでは、各レポート課題をまとめにくい点が多々あります。教科書の基礎的知識をもとに各レポート課題に興味ある課題を選択し、下記にとりあげた参考書等を読み砕き、レポートを作成してください。また、心理療法に興味をもったなら各参考書に載っている本・文献や各自が見つけた本等を読み進んでください。

なお、レポート作成は、教科書、参考書、インターネット情報等の「抜粋」や「切り張り」や「内容の要約」、「あらすじの説明」ではなく、教科書と参考書等を熟読し、それを学習者自身の創意にもとづいて理論的に組み立て、レポートを作成してください。また、心理療法という科目の性質上、個人的体験談等を書きたくりますが、提出されたレポートは成績をつけるものです。個人的経験談等は評価の対象にはなりません。あくまでも心理療法という学問についてレポートをしてください。

1 単位め 解説

(1) フロイト、アドラー、ユングの3人は、それぞれの独自の心理療法を創始しました。心理療法の目的は、クライアントの人格の変容です。そこでまずそれぞれの心理療法は、人格（心の構造）をどうとらえているのかを理解する必要があります。独自の心理療法の理論と技法を創始した3人は、人格をどのようにとらえているのかを理解した上で、3人の「共通点」と「相違点」を中心にレポートしてください。

なお、それぞれの理論を中心にレポートを作成すると課題である「共通点と相違点」が、書ききれなく恐れがあります。3人の理論を理解した上で、「共通点と相違点」を中心にレポートしてください。

(2) ロジャースは、クライアント中心療法を創始しました。ロジャースの弟子であるジェンドリンは、クライアント中心療法を基礎にフォーカシング（体験過程）技法を創始しました。この2人のカウンセリングの「共通点」と「相違点」を中心にレポートを作成してください。

なお、クライアント中心療法と体験過程の説明を中心としたレポートは、2人の「共通点と相違点」の課題が希薄になります。2人の理論を理解した上で、両者の「共通点と相違点」を中心にレポートを作成してください。

(3) 精神分析を創始したフロイトは、独自の発達理論を構築しました。まず、精神分析の発達理論の理解が必要です。その発達理論をもとにしながらエリクソンは、フロイトの発達理論をどの点を批判し、どのように修正を加え、そして独自の発達理論を構築して

いったかを中心にまとめてください。

フロイトとエリクソンのそれぞれの発達理論の記述がレポート課題ではなく、エリクソンがフロイトの発達理論をどのような点を批判し、それをどのように修正をして、彼独自の発達理論を構築したかがレポート課題です。

(4) クライアントと呼ばれる人は、どのような精神・身体の症状や問題行動等に悩み、苦しんでいるのか、を理解する必要があります。そのためには、発達の危機と精神医学的診断名の理解が必要です。また、このようなクライアントにカウンセリングをおこなうカウンセラーは、どのような資質や条件が求められるのか（または、どのような人は不向きなのかも含めて）、また責任性や倫理性等が求められているのかレポートしてください。

2単位め 解説

クライアント中心療法、フロイトによる精神分析、行動カウンセリングには、それぞれが考える人間観（人間とはなにか）、病理論（問題行動はどうしておこるのか）、性格論（性格とは何か、それはどのように形成されるのか）、面接の目標（なおるとは何か）、カウンセラーの役割（面接の目標の達成のためにカウンセラーは何をすべきか）、クライアントの役割（面接の目標のためにクライアントは何をすべきか）、カウンセリングを行う上で重視していることがそれぞれにあるので、療法の特徴を捉えて、記述してください。

3単位め 解説

(1) グループ体験が個人の成長にどのように影響を与えるか、クライアント中心療法を基礎としたエンカウンター・グループの視点から、グループ体験を考察してください。そのためには、クライアント中心療法の理解も必要となり、エンカウンター・グループの特徴の理解も必要となります。「個人の成長」に「エンカウンター・グループ体験」が相互にどのように影響を及ぼしているかという視点を取り入れてレポートしてください。

(2) 日本では、阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件等からPTSD（外傷後ストレス障害）が注目されるようになりました。心理療法の学問領域は、これらの事件・事故の被害者への危機介入（こころのケア）が求められています。そのためには、まずPTSDの心理的特徴の理解が必要です。そして、そのような心理状態の人にどのように危機介入したらよいか、留意点も含めて考察してください。

「クライシス・インターベンション」と「PTSD」のそれぞれの一般的説明ではなく、両者を「関連性」を中心にレポートしてください。

4単位め 解説

ひとつの事例を今まで学習してきた心理療法の知識をもとに考察してもらおう
課題です。

「発達的カウンセリング」についてですが、この事例は、中学2年の男子です。中学2年という年代は一般的には、どんな年代でしょうか？ 心の状態、親との問題、人との関係など、子どもから大人になる時期です。このことは、すでに様々な研究者が指摘しているので、それを参考にして、まずはその年代の発達の特徴を捉えてください。その上で、その特徴と比較して、この事例の中学生はどうでしょうか？ 例えば、「ひとりで留守番できない」「ひとりでは自分の部屋に行けない」など他にもこの中学生の状況について書かれた部分がありますが、そのことと一般的中学生の状態と比較してこの事例の中学生はどんな成長を遂げており、あるいは遂げていないのでしょうか？ その視点を織り交せてこの事例を考察してください。これが、発達的カウンセリングの視点ということになります。

また、このような家族に心理的援助をしていく場合、ファミリー・カウンセリングの視点がカウンセラーに求められます。なお、ファミリー・カウンセリングは、その名称からただ「家族」に行うカウンセリングと理解しがちですが、今日では「家族療法」の名称が一般的です。家族療法にもいろいろな立場があります。その中で興味ある家族療法（ファミリー・カウンセリング）の視点から、この家族にどのようにアプローチしていくか論述してください。

上記の2つの支点を織り交せて、この事例を考察してください。

なお、発達心理学の一般的説明とファミリー・カウンセリングの一般的説明で事例を考察するのは、事例に則した考察というより「一般的説明」の要約に陥ります。

事例研究は、一般論（理想論も含む）をいかに事例に即した（具体的に役立つ）理論までかみ砕く作業が求められます。そのためには、発達の視点とファミリー・カウンセリング（家族療法）の両者の具体的に組み合わせた視点のレポートが求められます。なお、具体的にしなければならぬほど、そのことを実行する上での留意点、問題点や限界点が生じてきます。その考察も大切です。

参考図書

【第1章から第4章】

- 1) R.I.エヴァンズ著 岡堂哲雄ほか訳『エリクソンとの対話』金沢文庫, 1971年
- 2) 小此木啓吾・馬場謙一編『フロイト精神分析入門』有斐閣, 1977年
- 3) 河合隼雄著『ユング心理学入門』培風館, 1967年
- 4) 河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』誠信書房, 1970年
- 5) 河合隼雄著『コンプレックス』岩波書店, 1971年

- 6) 神田久男編 飽田典子・宇田川一夫ほか著『心理臨床の基礎と実践』樹村房, 1998年
- 7) 佐治守夫著『カウンセリング入門』国土社, 1966年
- 8) 鑪幹八郎著『アイデンティティの心理学』講談社, 1990年
- 9) 田畑治・村山正治編『来談者中心療法』(講座心理療法1) 福村出版, 1977年
- 10) 村瀬孝雄著『フォーカシング事始め——こころとからだにきく方法』金子書房, 1996年
- 11) 村瀬孝雄・阿世賀浩一郎「体験過程とフォーカシング」上里一郎・鑪幹八郎・前田重治編著『臨床心理学大系 8 心理療法2』金子書房, 1999年

【第5章から第7章】

- 12) 内山喜久雄・高野清純監修『講座サイコセラピー1 カウンセリング』日本文化科学社, 1988年
- 13) 河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』誠信書房, 1970年
- 14) 佐治守夫著『カウンセリング入門』国土社, 1966年
- 15) 佐治守夫・飯喜一郎編『ロジャーズクライエント中心療法』有斐閣, 1988年
- 16) 上里一郎・鑪幹八郎・前田重治編『臨床心理学大系7 心理療法1』金子書房, 1990年

【第8章から第10章】

- 17) こころのケアセンター編『災害とトラウマ』みすず書房, 1998年
- 18) 西澤哲著『子どものトラウマ』講談社, 2003年
- 19) 村山正治著『エンカウンター グループ』上里一郎・鑪幹八郎・前田重治著『臨床心理学大系 8 心理療法2』金子書房, 1999年
- 20) 畠瀬稔著『エンカウンター グループと心理的成長』創元社, 1990年
- 21) ロジャース, C.R.著 畠瀬稔・畠瀬直子訳『エンカウンター・グループ』創元社, 1982年

【第11章から第14章】

- 22) 笠原嘉著『青年期』中央公論社, 1977年
- 23) 河合隼雄・岩井寛・福島章著『家族精神療法』金剛出版, 1984年
- 24) 団士郎著『不登校の解法 家族のシステムとは何か』文春新書, 2000年
- 25) 村山正治・山本和郎編『スクールカウンセラー——その理論と展望』ミネルヴァ書房, 1995年

心理療法各論

科目コード●050521

担当教員●日笠真理子



1 単位

R

3 年以上

福祉心理
選択A

履修方法：R レポート提出後、科目修了試験の申込み・受験を忘れずに行ってください。

科目の内容

カウンセリングにおいて、困難に直面した人を理解したいと思ったときに道しるべとなるのが理論であり、援助したいと思ったときに道具になってくれるのが技法です。現在よく知られている理論だけでも相当な数があり、それぞれに異なる人間観・治療観・技法を持っています。カウンセラーは、これら多くの理論・技法について、知っている必要があります。一つの理論では、到底理解・対応しきれないのが、生身の人間だからです。同時に、これら多くの理論・技法の中から、自分の臨床実践の背骨となる特定の理論を選び、深く学ぶことも大切です。

この科目では、「臨床心理学」「心理療法」など他の科目ではくわしくとりあげられなかった下記的人格理論、カウンセリング・心理療法技法や人間関係を円滑にする技法を学んでいただこうと思います。多種多様な理論・技法の特徴を学びながら、自分のバックボーンとなる理論や使いこなせる技法を見つけていってください。

- | | | |
|---------------------|--------------|---------|
| 1) 特性因子理論 | 2) 認知行動療法 | 3) 論理療法 |
| 4) ゲシュタルト療法 | 5) 交流分析 (TA) | 6) 家族療法 |
| 7) 実存分析 | 8) 現実療法 | 9) 短期療法 |
| 10) 森田療法 | 11) 内観法 | |
| 12) ソーシャルスキル・トレーニング | | |
| 13) アサーション・トレーニング | | |
| 14) グループ・アプローチ | | |

教科書

社団法人日本産業カウンセラー協会編『産業カウンセリング——産業カウンセラー養成講座テキスト』『同・資料編』5-3・4章

レポート課題

別紙（専用レポート用紙）の問題に解答してください。

履修登録条件

「カウンセリングI」を履修登録した方がのみが履修登録が可能です。

「心理療法」「臨床心理学」の単位修得後、履修することが望ましいものです。

アドバイス

コラムや図表を含め、教科書と別冊の資料（12. 交流分析（エゴグラム））をよく読んで、レポート課題に取り組んでください。特に、認知行動療法、交流分析、アサーション・トレーニング、グループ・アプローチは、活用されることが多いので、しっかり読んでください。各理論のパーソナリティ論・病理論・治療目標には、その理論の特徴がよく表れています。

教科書以外の参考文献を併せて読むと、教科書の内容が感覚的にもっと理解しやすくなります。「急がば回れ」で是非読んでみてください。

その際、自分自身のこと（悩み・ストレス・家族関係・学校や職場の人間関係・性格・ものの考え方・過去の経験など）を当てはめ、実際にその療法を受けるところを想像してみてください。そうすることで、血の通った理解になります。それぞれの理論は、生身の人間同士の出会いともがきの中から生まれ、育ち、そして、それに共感する大勢の人たちによって今日まで引き継がれているのだということを忘れないでください。

下記以外にも多くの文献が出版されています。またワークショップなどで実際に体験できるものもあります。将来の実践のために、興味を惹かれたものから、どんどん学習を深めていってください。

参考図書

●教科書よりももう少し詳しく知りたいとき

国分康孝編『カウンセリング辞典』誠信書房、1990年

※具体的な例が添えてあり、説明が分かりやすいです。最初に目次つきの領域別項目一覧が載っていて、辞典でありながら、体系的に学習するのにも役立ちます。

氏原寛・小川捷之・東山紘久・村瀬孝雄・山中康裕編『心理臨床大事典』培風館、1992年

※各項目がかなり詳しく説明されています。また、それぞれの項目の最後に参考文献が載せてあるため、更に知識を深めたいときにも役立ちます。

国分康孝著『カウンセリングの理論』誠信書房, 1980年

小此木啓吾・福島章・成瀬悟策編『心理療法1 (臨床心理学大系7)』金子書房, 1990年

上里一郎・前田重治・鑪幹八郎編『心理療法2 (臨床心理学大系8)』金子書房, 1990年

河合隼雄・村瀬孝雄・水島恵一編『心理療法3 (臨床心理学大系9)』金子書房, 1989年

●認知行動療法の知識をもっと深めたい, 実践してみたいとき

ベック, J.S.著 伊藤絵美・神村栄一・藤澤大介訳『認知療法実践ガイド・基礎から応用まで——ジュディス・ベックの認知療法テキスト——』星和書店, 2004年

伊藤絵美著『認知療法・認知行動療法カウンセリング初級ワークショップ』星和書店, 2005年

グリーンバーガー, D.・パデスキー, C.A.著 大野裕監訳・岩坂彰訳『うつと不安の認知療法練習帳』創元社, 2001年

※自分で悩みに取り組むことができる, 書き込み用ワークシートつき。

グリーンバーガー, D.・パデスキー, C.A.著 大野裕監訳・岩坂彰訳『うつと不安の認知療法練習帳ガイドブック』創元社, 2002年

※上記『練習帳』を効果的に治療に使うための, 治療者向けガイド。

労働法

科目コード●050691

担当教員●菅原 好秀



1 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択社会教育
選択B福祉心理
選択B

※この科目の単位修得方法は、以下のとおりです。

履修方法：R レポート課題合格+科目修了試験合格で単位修得

科目の内容

近年の労働環境は、少子化が引き起こす若年労働力の不足、ニート・フリーターの増加の問題から、過労死、過労自殺、うつ病などのメンタルヘルス問題まで、労働を取り巻く環境は複雑化・多様化しております。産業組織で働く人々が、人生の局面で前述の問題に直面したとき、問題解決へのプロセスを通して自立・自律的に生きていくためには、法律のサポートが必要となります。

そのため、産業カウンセラーは、心理学的手法を用いて、働く人たちが抱える問題を自らの力で解決できるよう援助する専門家であるため、労働者の労働に関する法律関係を理解する必要があります。

本科目では、労働基準法を中心に、産業カウンセラーとして相談援助に必要な労働に関する法律のシステムとその考え方について、具体的に下記のような内容を学んでいきます。

(1)労働法の体系 (2)労働基準法の誕生 (3)労働契約、労働条件の決定システム、試用期間 (4)労働時間法制 (5)年少者と女性労働者の保護 (6)賃金 (7)労働者の自己決定権の保障 (8)解雇 (9)就業規則 (10)付随的契約義務 (11)男女雇用機会均等法 (12)育児・介護休業法 (13)高齢者雇用安定法 (14)労働市場法制

履修登録条件

この科目は、「カウンセリングI」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方が履修登録できます。

教科書

社団法人日本産業カウンセラー協会 編 『産業カウンセリング——産業カウンセラー養成講座テキスト』12章、『同・資料編』

※カウンセリングIと共通のため、この科目での教科書配本はありません。

レポート課題

①②を専用レポート用紙にて解答してください

1 単位め

- ① 労働法の体系について論ぜよ。
- ② 別紙問題に解答せよ。

アドバイス

1 単位め
解説

人権宣言の誕生，近代市民国家の光と影，人権の社会化，人権の国際化について言及した上で，自分の考えを論じてください。

参考図書

- 1) 渡辺信英著『福祉のための法学』南窓社，2011年
- 2) 渡辺信英著『行政法の基礎』南窓社，2010年
- 3) 水町勇一郎著『労働法 第2版』有斐閣，2008年
- 4) 志田民吉編著『法学 第3版』建帛社，2007年

職場のメンタルヘルス

科目コード●050692

担当教員●鈴木 直子

1 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

※この科目の単位修得方法は、以下のとおりです。

履修方法：R レポート課題合格+科目修了試験合格で単位修得

科目の内容

- 1 労働者のこころの健康をめぐる状況
 - 1) 労働者をめぐるストレスの状況
 - 2) 自殺者数の増加と自殺予防
 - 3) 労働災害
- 2 メンタルヘルスと労働安全衛生法
 - 1) 労働安全衛生法とは何か
 - 2) 職場のメンタルヘルスに関する安衛法の改正
- 3 職場のメンタルヘルスに関する指針など
 - 1) 事業場における労働者の健康の保持増進のための指針
 - 2) 事業者が講ずべき快適な職場環境の形成のための措置に関する指針
 - 3) 事業場における労働者の心の健康づくりのための指針
 - 4) 心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き
 - 5) 労働者の心の健康の保持増進のための指針
- 4 ストレスとストレス反応
 - 1) ストレスとは何か
 - 2) ストレス要因
 - 3) ストレスへの対処

履修登録条件

この科目は、「カウンセリングⅠ」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をするのみが履修登録できます。

教科書

社団法人日本産業カウンセラー協会 編 『産業カウンセリング——産業カウンセラー養成講座テキスト』13章、『同・資料編』

※カウンセリングIと共通のため、この科目での教科書配本はありません。

レポート課題 専用レポート用紙にて解答してください

1 単位め 別紙の問題に解答してください。

アドバイス

1 単位め
解説

教科書をよく読んで、職場のメンタルヘルスの取り組みを理解しましょう。また、職場のメンタルヘルスは、社会環境や経済情勢により変化します。どのような流れで現在のメンタルヘルスケアが行われるようになったかを理解するために、「資料編」の法律や指針に目を通すようにしましょう。

ストレス理論は、労働者や管理者がストレス軽減を図ったり職場環境の改善を行うにあたり有効です。自分なりに説明ができるように整理し、内容をより深く理解するようにしましょう。

卒業研究

科目コード●050991

担当教員●本学専任教員

8 単位

卒業研究

4 年

社会福祉
選 択

社会教育
選 択 A

福祉心理
選 択 A

内容は p. 99～「卒業研究」を参照してください。なお、福祉心理学科の「卒業研究指導教員一覧」は以下のとおりです。『 』内は過去の指導論文タイトルの一例。

福祉心理学科 卒業研究指導教員一覧（五十音順）

△＝主として大学院の修士論文の指導を行う教員

指導教員名	指導分野と過去の指導論文タイトル
宇田川 一 夫△	心理療法・心理アセスメント
大 関 信 隆	発達障害・認知機能に関する実験心理学的研究 情動・ストレスに関する実験心理学的研究 『通園施設における園内活動が養育者の心理的变化に及ぼす効果に関する研究』、『音楽を媒介した知的発達障害に伴う自閉症者支援の可能性に関する研究』
菊 池 陽 子	臨床心理学 『言語表記方法変更に伴う視覚的文字イメージの差異―「がん・癌」「かせ・風邪」の2疾患による文字イメージの考察』
木 村 進△	教育心理学・発達心理学（特に乳児～青年） 障害児の心理・保育心理学（特に保育所保育との関係で） 『友だち関係による児童のストレスに関する研究―運動のすききらいとストレス対処の関係―』、『青年期におけるアイデンティティ早期完了者の親子関係』
小 松 紘△	感覚・知覚心理学（色彩や認知のメカニズム）、環境心理学、産業・労働心理学（ストレスや疲労への対処法）、芸術心理学（美を感じる心）に関する卒論の指導を行います。 『弱視者の白杖使用に伴うストレスの研究―白杖使用に関する一般通念から生じるストレス』、『経営者の価値志向性と、社会満足度の関係について―社員満足度に見るリーダーの条件』
佐 藤 俊 人	主として乳児期から青年期までを対象とし、その発達や心理に及ぼす環境の影響について調査、実験を通して検討します。 『成人のストレス対処についての研究～「癒し」の視点から～』、『冬のソナタ』と韓流ブームとの社会的な要因・背景を探る』
清 水 めぐみ	臨床心理学、深層心理学、心理療法に関する卒論の指導を行います。
白 井 秀 明	「教えること」「学ぶこと」「動機づけ」に関わる分野 『青年期における父親への抵抗の表出と心理的離乳との関係―父親の態度との関連から―』、『看護教員初年度における小児看護学実習指導に関する一考察～看護実践を学ぶためのよりよい実習過程の実

指導教員名	指導分野と過去の指導論文タイトル
白井秀明	現に向けての取り組み～』、『看護師の自我同一性及び自律性の発達と終末期患者の自己決定に対する援助傾向の認識の関係について』、『看護師が抱く看護肯定感と看護職を続けていくうえでの支えに関する調査』、『学習行動の主体性に及ぼす学習動機と内的矛盾の感性の影響』
内藤裕子	学校保健, 臨床心理学
中村修	発達心理学, 健康心理学分野 『福祉系大学1年生における福祉職の選択意思に及ぼす福祉体験の影響～大学入学前の福祉体験と入学後の実習体験を中心に～』、『脳血管障害におけるリハビリ継続行動に及ぼす心理的要因の検討』
西野美佐子	教育心理学, 発達心理学, 家族心理学分野 『「幼児における情緒発達プログラムについて」～友だち関係づくりへの働きかけと援助～』、『育児中の母親の自尊感情と育児ストレス・対処行動との関連』、『「合宿生活」による小学生児童の集団生活体験の効果～社会的スキルに焦点をあてて～』、『自尊感情とストレスコーピングについて』
皆川州正△	青年心理学, 家族心理学, 臨床心理学 (適応やパーソナリティに関する分野を含む) の領域の実証的研究 『非合理的なものへの関心と精神的健康に関する研究』、『自己受容の要因についての研究—達成動機・ソーシャルサポートとの関連を中心として—』、『秋田県の自殺率ワースト1 更新の要因を探る』、『宗教意識と生きがい感の関連—大学生と成人の比較を通して』
村井則子△	心理学 特に高齢者(加齢), ジェンダー(性役割), パーソナリティなどについて 『読書をする人に対するイメージと読書量との関係』、『親の意識と態度～子育てにおける関連性について～』、『高齢者の攻撃性についての研究』
吉田綾乃	社会心理学分野(自己, 対人行動, 集団行動など) 『成功体験の意味づけと振り返りが自己及び他者への肯定的感情に及ぼす影響—在米高校生の組織キャンプにおけるリーダー経験に基づく検討—』
渡部純夫	臨床心理学 ・病院臨床…病院における心理療法のあり方と効果 カウンセリング技法 ・学校心理学…スクールカウンセリングの枠構造 チームアプローチの効果的技法 ・芸術療法…箱庭療法, 描画療法 『心身の健康に及ぼす主観的健康統制観について』、『高校生における親に対する信頼感に関する研究—基本的信頼感及び対人的信頼感に関連して』、『集合同一化と対人ストレスの相関関係について』、『高校生の風景構成法を通じた不登校傾向』

資格科目

障害児の生理・病理

科目コード●050713

担当教員●北岡 侃



4 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択/資格

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

14~18年度
入学者

科目の内容

心身に大きなハンディキャップを有する児童生徒の教育に携わる教員にとって対象児個々の発達段階、性格行動、知的レベルの把握とともに、生理・病理に精通することが必須条件です。

しかし、この分野は、医学はもとより、教育学、心理学、哲学など多専門領域と重なるものが多く広汎にわたっています。ここでは、障害種別に従い、知的障害の概念、肢体不自由の病理や療育、リハビリテーション、さらに病虚弱児、重度心身障害児を中心に学習します。加えて視覚障害児・聴覚障害児についても若干ふれます。

教科書

黒田吉孝・小松秀茂編『発達障害児の病理と心理（改訂版）』培風館，2003年

レポート課題

1 単位め	知的障害とは何か、その診断基準はどのようなものか。また、古くから言われている遺伝説について述べよ。
2 単位め	特別支援学校肢体不自由教育部門（肢体不自由養護学校）では、昭和36年以降、ポリオからCP中心となり、重度重複化・多様化が加速した。その理由を要約せよ。CPとは何か、その型の特徴について述べよ。
3 単位め	療育とは何か、リハビリテーションとの関わりや、種々の治療法について述べよ。
4 単位め	病虚弱（病弱と虚弱に分け）それぞれの定義について述べよ。また、喘息児について事例を挙げ、その病理や心理について述べよ。

アドバイス

テキスト（教科書）および参考図書を丹念に読んでください。難しい、大変だと思わずに、「わが子ならどうする」ことを想定して読むとわりあいスムーズに内容が理解でき、身

につくと思います。可能ならボランティア活動などを通してハンディキャップを持つ子や親たちに接してみてください。特別支援学校や肢体不自由児施設の見学もおすすめします。

1単位め 解説

知的障害は、微生物の体内への侵入による伝染疾患といった単純な一つの疾患ではなく、非常に複雑な発達異常に属する疾患群ととらえるべきものであることを念頭において取り組みましょう。診断や定義については、AAMR（アメリカ精神遅滞学会）やWHOの国際疾病分類, Doll Edgar, A. (1889-1968) の定義に目を通しておいってください。

2単位め 解説

特別支援学校肢体不自由部門（肢体不自由養護学校）には、病院（肢体不自由児施設）併設と単独とがあります。ここに入学者となる児童生徒の実態を調査してみてください。学校訪問することをおすすめします。Cerebral Palsy (CP) についてその病態像や型の特徴を調べることで、さらにPoliomyelitis（ポリオ）がなぜ消滅したか、どんな疾病か文献など読んでください。

3単位め 解説

「療育の父」と言われた高木憲次（1888-1963）元東大医学部教授について文献や『心身障害辞典』（参考図書）を読んでください。リハビリテーションの定義や基本的な治療法についても学習しておきましょう。

（例）Physical Therapy (PT)

身体のある個所の基本的な動きに障害が起こった人を救うために行われる治療法

- ・関節が固くなる、あるいは変形したりする
- ・病気のため長く使わなかったので弱くなった筋肉 etc

4単位め 解説

病弱、および虚弱の定義や病例についてもおさえておきましょう。また、それぞれの一般的特徴について学習してください。あなたの身近に存在すると思われる喘息、アレルギー体質の人について簡単な事例をまとめてみてください。このことによって、症状や発作の要因（環境、親子関係、子育てなど心理状態）も見えてくると思います。

参考図書

- 1) 石部元雄ほか編『心身障害辞典』福村出版, 1981年
- 2) 松本昭子・土橋圭子編『発達障害児の医療・療育・教育』金芳堂, 2002年
- 3) 大島久直『重度重複化・多様化に対応する心身障害児の教育的処遇』萩の郷工場, 2002年（非売品）

障害児の教育課程

科目コード●050714

担当教員●阿部 芳久



2 単位

R

3 年以上

社会福祉
選択/資格

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

14~18年度
入学者

科目の内容

教育課程とは、教育目的に即して、児童生徒の発達を保障するため学校が計画的・組織的に編成した教育プログラムのことです。そこには、教育目標、教育内容、教育方法が明記されなければなりません。

特別支援教育の対象は、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病虚弱、自閉症、情緒障害、言語障害、発達障害などの障害をもつ児童生徒です。知的障害児以外の障害児に対する教育課程は、基本的には普通の教育に準じた教育課程になっています。ところが知的障害児の教育課程は、普通の教育の教育課程に基礎を置いているが、知的障害児の障害の特性および社会参加・自立を目的とした彼らの将来の生活の実現という観点から歴史的に特有の教育課程を築きあげてきました。この科目では、主として知的障害児を対象とした教育課程について学習します。

教科書

阿部芳久著『知的障害児の特別支援教育入門』日本文化科学社、2006年

レポート課題

1 単位め

知的障害児を対象とする教育課程の構造を整理しなさい。まず、知的障害児の特別支援教育の指導形態のそれぞれの指導のねらいを整理してください。次に、障害児の特別支援教育における教育課程編成の取扱いについて要約してください。

2 単位め

「領域・教科を合わせた指導」の中の「生活単元学習」と「作業学習」の展開例（事例）を各1つずつ選び、その内容を要約しなさい。

アドバイス

1単位め 解説

まずテキスト p. 1～29を読み、知的障害児の特別支援教育における教育課程の構造について理解してください。その後、課題に相当する内容を整理し、レポートを作成してください。

2単位め 解説

月刊雑誌『実践 障害児教育』、『特別支援教育研究』、および書籍などに掲載されている「生活単元学習」と「作業学習」の事例を1つずつ選び、①指導の対象となる児童生徒の実態（障害や発達レベル等）、②単元の指導目標、③指導の展開の項目に分けて、その指導事例を要約してください。

参考図書

- 1) 阿部芳久著『障害児教育 授業の設計』日本文化科学社、1997年
- 2) 月刊雑誌『特別支援教育研究』東洋館出版社
- 3) 月刊雑誌『実践障害児教育』学習研究社
- 4) 文部科学省『特別支援学校、幼稚部教育要領、小学部・中学部学習指導要領、高等部学習指導要領』海文堂出版、2009年
- 5) 文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説—総則等編』教育出版、2009年
- 6) 文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説—自立活動編』海文堂出版、2009年

上記4) 5) 6) の2009年3月告示の「特別支援学校 学習指導要領」「特別支援学校 学習指導要領 解説」は、文部科学省ホームページなどでも閲覧可能です。

介護実習事前事後指導

21・22年度入学者科目コード●050701

23年度以降入学者科目コード●050741

担当教員●広浦 幸一・後藤美恵子

1 単位

SR

3 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

社会福祉における援助展開は、個々の生活課題の解決を援助・支援するための実践活動です。介護実習は理論と実践、思考と体験とを有機的に統合化させ、福祉専門職としての実践活動の基盤を形成するものです。本科目は「介護実習」科目を包括した位置づけにおいて、施設の法的位置づけ、社会的役割と現状、対象者理解を深めるとともに、福祉専門職に求められる資質（倫理観・人間性・技能）および社会的役割についての理解を深化させます。さらには、福祉科教員として教育展開方法の考察をしていくことを目的とします。事前指導では、実習施設の概要（形態・業務内容など）理解を図るほか、社会福祉援助のための知識・技術・価値観・態度を確認します。事後指導では、実習を通して体感したことを振り返り、専門職育成の教育者として、自身の専門性の素養 資質の向上を図ります。さらに、一連の実習過程で習得したことを教育にどのように展開していくかを習得します。

※この科目のスクーリング受講にあたっては、受講条件を満たした後、巻末の「介護実習登録カード」を提出する必要があります。手続きについてはp. 191～194の「事前指導スクーリング受講条件」「事前指導スクーリング受講申込から実習受講までの流れ」をご覧ください。

※また実習にあたっては、自身で受け入れ施設をさがし、依頼をすることが必要です。p. 196～201の「介護実習」もよく読んで準備を進めてください。

教科書

介護実習事前指導スクーリング申込者に『介護実習の手引き』、スクーリング時に『介護実習事前事後指導－技術編－』等を配付。

レポート課題

＜介護実習事前レポート＝スクーリング受講10日前までに提出＞

課題 自身が実習を予定している施設について、下記の項目のレポートを作成してください。

1. 施設概要
 - ① 施設種別
 - ② 施設の法的規定と理念・趣旨
 - ③ 対象者とその具体的条件（利用要件等）
 - ④ サービスの利用方法
 - ⑤ 施設の設置基準
 - ⑥ 社会的役割と現状の課題
2. 実習実施計画
 - ① 実習目的
 - ② 実習課題と取り組み方法

※本科目指定のレポート用紙にて作成すること（事前指導スクーリング受講条件を満たした方に配付されます）。

※事前レポートが不合格の場合は実習が不許可になる場合があります。スクーリング受講後すぐに実習を実施する方は早めに提出してください。

※やむをえず実習施設の内諾を得られない状態で事前指導を受講する場合も、実習を予定する施設について作成すること。なお、予定施設と実施施設が異なった場合は、必ず各自で実施施設についてのレポートを作成すること（事前レポートの内容は、実習に必要不可欠なものなので、変更の場合においても各自でレポートを作成してください）。

※実習免除者は、実習証明書の該当施設を対象にしてレポートを作成してください。

＜介護実習事後レポート＝実習終了後1カ月以内に提出＞

課題は、事前指導スクーリングの際に提示します。

※事後レポートは、実習終了後1カ月以内に、通信教育部で使用している通常のレポート用紙にて提出してください。2,000字程度を標準としますが、4,000字まで記入しても結構です（パソコン印字の場合、左右40字×30行×4枚まで可）。

※介護実習免除者も、実習証明書の当該施設を題材にして事後レポートを書く必要があります。

アドバイス

本科目では、介護実習をするうえでの知識や、その背景にある理念、概念を習得することにより、福祉専門職としての基盤を構築することを学習の目的としています。目的を達成するためには、必要な情報を、資料や文献から検索する力やそれらをまとめて自身の課題を明確化し、課題の解決方法を構成する力も求められてきます。本課題を展開するにあたっては、介護に関する社会的動向や問題に注目したり、インターネットを利用して情報を収集するなど、常に最新の福祉情報を得よう心掛けてください。そのような過程をもとに、広い視野で学習展開をされることを期待します。

<事前レポート 解説>

1. 施設の概要調査①～⑤については関連法規を調べ、法令等の条文の中から抜粋して記述していきます。⑥については文献、資料、新聞、インターネット等の情報を簡潔にまとめて自身の考えを論述（総括考察）してください。インターネットの情報は公的サイトを活用してください。
2. 実習実施計画は、1の①～⑥を踏まえて自身の実習目的を明確にし、目的を達成させるための課題と課題達成のための取り組み方法を具体的に記述してください。

参考図書

- 1) ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法 平成22年版』ミネルヴァ書房、2010年
- 2) 社会福祉法令研究会編『社会福祉法の解説』中央法規出版、2001年
- 3) 介護福祉士養成講座編集委員会編『介護総合演習・介護実習』中央法規出版、2009年
- 4) 介護支援専門員テキスト編集委員会編『改訂 介護支援専門員基本テキスト』財団法人長寿社会開発センター、2003年

事前指導スクーリング (23年度入学者は「事前指導」+「介護技術」2科目分で下記3日間)

「事前指導スクーリング」は、仙台で開講します [いずれか1回 (連続3日間) を受講]。

開講日	スクーリング申込締切日	事前レポート提出締切日
7 / 16(土)～18(月)	6 / 23(木)	7 / 6(木)
1 / 7(土)～9(月)	12 / 12(月)	12 / 22(木)

●事前指導スクーリングの開講時間

【平成22年度以前入学者】

1 日め11：20～18：00（ただし7/16は12：40～18：30） 2 日め9：20～17：30

3 日め9：20～14：30

【平成23年度以降入学者】

上記3日間の日時に「介護実習事前事後指導」「介護技術」の2科目のスクーリングを受講していただくことになります。申込みは「介護実習 登録カード」の提出のみでOKです。

※申込みにあたって

- (1) 受講条件（下記）を達成する必要があります。
- (2) 本冊子巻末「介護実習 登録カード」を提出してください。
（「介護実習 登録カード」はスクーリングの申込みと実習先を探し始めたいという希望届も兼ねています。）
- (3) 「事前指導スクーリング」と「介護実習」は、できるだけ同一年度に受講してください。
- (4) 科目等履修生は、「介護実習」を終えた後でも、事後レポートとその評価が出ていない場合は、次年度も「介護実習事前事後指導」「介護実習」の2科目を、再度履修登録する必要があります。
- (5) 「事後指導」は事後レポートの提出のみで、スクーリングはありません。

事前指導スクーリング受講条件

1. 事前指導スクーリング申込締切日までに以下の(1)～(5)を満たしていること

- (1) 卒業後（将来）教員として就職する意思が明確な方
※単なる免許取得のための実習は認められません（施設は、利用者にとって生活の場です。プライベートな空間へ入るわけですから、しっかりとした目的意識を持ってください）。

※教職免許の取得に必要な科目の学習が認められない方は、受講できません。

※「介護実習」を受講する方は、原則として次年度「教育実習」「障害者（児）教育実習」以外の実習は受講できません。

- (2) 3年次以上の方もしくは科目等履修生
- (3) 下記①・②の2科目の全単位分のレポートを提出済
 - ① 介護概論
 - ② 実習に行く施設の分野福祉論 [高齢者福祉論 or 障害者福祉論 or 児童（・家庭）福祉論]

※ 6 条別表 4 による履修者は介護実習開始 2 週間前までに①②を単位修得すること
※ 5 条別表 1 による履修者はスクーリング申込締切日までに①②を単位修得すること
※ これら 2 科目については、他大学で修得済みであっても、本学での履修・修得が必要となります。

(4) 下記①～⑥の 6 科目のうち、教職免許の取得にあたって必要な科目を履修登録し、学習を進めていること

① 教育原理

② 教職論

③ 教育心理学

④ 福祉科の指導法

⑤⑥ 実習に行く施設以外の分野福祉論 2 科目 [高齢者福祉論 or 障害者福祉論 or 児童(・家庭)福祉論]

※ 5 条別表 1 による履修者はスクーリング申込締切日までに①～⑥を単位修得すること
(5) 卒業要件単位を 1 年次入学者は 50 単位以上、2 年次編入学者は 20 単位以上を修得していること (3 年次編入学者と科目等履修生は関係ありません)。

※ 科目等履修生の場合、「介護実習」を受講するには 18 単位以上 (実習科目を含めて可) の履修登録が必要です。

2. 事前レポート提出締切日 (p. 190 参照) までに、「事前レポート」を提出すること

事前指導スクーリング受講申込みから実習受講までの流れ

事前指導スクーリング受講条件の達成

※ p. 191～192 参照。スクーリングの申込締切日 (平成 23 年度は 6 / 23 または 12 / 12) までに。

※ 5 条別表 1 による履修者と、6 条別表 4 による履修者では条件が異なります。



「介護実習 登録カード」の提出

※ 本冊子巻末。遅くともスクーリングの申込締切日 (平成 23 年度は 6 / 23 または 12 / 12) 必着。

※ スクーリング受講条件を達成したならば、早めに提出してください (実習希望先への依頼を早く行うことができます)。



受講条件をクリアしている方に、大学から「介護実習関連書類一式」を送付

※一式には、事前レポート用紙や、実習希望先に依頼するための書類等が含まれています。



スクーリング申込締切日

(平成23年度は6/23または12/12)



受講条件を達成している方に、大学から「スクーリング受講許可証」を送付



事前レポートの提出

※ p. 189参照。

※提出締切日(平成23年度は7/6または12/22)必着。



スクーリング受講料・実習費の納入

※スクーリング受講料10,000円(ただし23年度入学者は2科目扱いになるため、20,000円)、実習費30,000円。

大学より送付される振込依頼書を使用しコンビニにて納入(実習費はスクーリング受講後でも可)。



スクーリングの受講

(平成23年度は7/16~18または1/7~9)



「介護実習」受講条件の達成



実習施設をさがす

※ p. 198参照。



実習施設から内諾を得る

※ p. 198~200参照。

- ①電話で依頼
- ②実習施設を訪問し、依頼のための書類等を提出
 - ・「依頼書」(大学から実習施設宛)
 - ・「内諾書」(実習施設から大学宛)
 - ・「白封筒」(上記2点を入れる封筒)
 - ・「青封筒」(大学への返送用封筒)
- ③実習施設から大学に「内諾書」を「青封筒」を使って送ってもらう



実習関係書類を大学に提出

※提出締切日：実習開始2週間前。

- ・「依頼書」のコピー
- ・「誓約書」
- ・「健康診断書」



1) 6条別表4による履修者は、下記2科目の単位の修得（実習開始2週間前までに）。

① 「介護概論」

② 「実習施設に行く施設の分野福祉論（高齢者福祉論 or 障害者福祉論 or 児童（・家庭）福祉論）」

2) 5条別表1による履修者は、事前指導スクーリング受講条件の達成と同時に「介護実習」受講条件も達成済です。



大学から「介護実習 受講許可証」を送付

※同時に実習施設に「正式依頼状」等を送付します（実習開始2週間前）。



実習の受講（2週間）



実習日誌・出席簿は実習先に提出

※ p. 196~201参照。



事後レポートの提出

実習日誌・出席簿・評価票が実習先から大学に到着

※ p. 189参照。

※提出締切：実習終了後1カ月以内。



単位認定通知

介護実習事前事後指導

23～

科目コード●050741

担当教員●後藤美恵子
広浦 幸一

1 単位

SR

3 年以上

社会福祉
資格23年度以降
入学者

この科目は23年度以降入学者の「介護実習事前事後指導」です。レポート2課題やアドバイスは「050701 介護実習事前事後指導」と同じです。p. 188～194を参照してください。

介護実習

科目コード●050903

担当教員●広浦 幸一
後藤美恵子

2 単位 | 実習科目 | 3 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

「介護実習事前事後指導」に準ずる（p.188参照）。

※「介護実習」をおこなうためには、介護実習事前指導スクーリングの受講が必要です。介護実習事前指導スクーリングの受講手続については、p.188～194の「介護実習事前事後指導」をご覧ください。

※科目等履修生の場合、「介護実習」を行うには18単位以上（実習科目を含めて可）の履修登録が必要です。

教科書

介護実習事前指導スクーリング申込時に『介護実習の手引き』、スクーリング受講時に『介護実習事前事後指導－技術編－』等を配付

実習期間・時期

- ・連続する2週間（実質10日間以上）
- ・1日の実習は8時間を目安とするので計80時間以上
- ・実習の時間帯は、朝から夕方を原則とするが、詳細は実習施設の方針に従うこと。
- ・実習期間の分割は、1週間を単位とした2回まで。その場合、1回目との間隔は1カ月を超えないこと
- ・実習時期については実習施設の方針に従うこと
- ・体調不良などでやむを得ず欠席した場合は、実習施設側の都合に合わせて欠席分を補い、規定の日数および時間数を満たすこと

実習施設

下記(1)～(5)のいずれかの施設で行うこと。それ以外の施設での実習は無効です。

- (1) 児童福祉法に規定する肢体不自由児施設（入所の施設に限る）、重症心身障害児施設および指定医療機関など

- (2) ①障害者自立支援法に規定する重度障害者等包括支援施設（重度の肢体不自由者を入所させてその更生に必要な治療および訓練を行うものに限る）。②障害者支援施設・自立訓練施設（重度の身体障害者で雇用されることの困難な方等を入所させて、必要な訓練を行い、かつ、職業を与え、自活させるものに限る）。
- (3) 生活保護法に規定する救護施設
- (4) 老人福祉法に規定する特別養護老人ホーム
- (5) 介護保険法に規定する介護老人保健施設

※主たる受け入れ先が上記の施設ならば、そこから「デイサービス」や「養護老人ホーム」において実習することも、一部の期間（3日以内）ならば可能です。

※決められた時期においては本学関連施設での実習も可能です。ご希望の方は、「介護実習 登録カード」に記載してください。

実習費

- ・ 30,000円
- ・ 事前指導スクーリング受講申込後に、大学から送付される振込依頼書にて納入していただきます（一旦納入した実習費は返却できませんので注意してください）。
- ・ 実習費には、実習保険加入費・実習先への実習委託費が含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも、その金額を実習生に返金することはできません。

実習取消

実習登録後は取消をしないようにしてください。特に実習施設より内諾をいただいた後に取消をしますと、実習施設に大変な迷惑をかけることになります。万一、取消の事態に陥った時はすみやかに実習施設および通信教育部に届け出てください。

介護実習免除について

「介護実習」科目は、文部科学省の学習指導要領によると「社会福祉施設等における現場実習などを通して、講義・演習・校内実習等で学んだ知識と技術を実際に活用し、高齢者や障害者への総合的な介護活動等が実践できるための基礎的な能力を習得し、介護に関する総合的な知識と技術を習得させること」を目的としています。

免除については、高等学校で実習教育にあたるための総合的な介護活動の実践能力の習得が主な課題となるため、下記1～3に該当する方のみを実習免除対象者とさせていただきます。実習免除対象者は事後レポートに合格してはじめて、「介護実習」の単位が認定されます。

1. 介護福祉士の資格を厚生労働省が指定した大学・短期大学で取得している場合。

(現場経験により資格を取得している場合は、目的に応じた実習を計画的に実施する、施設指導者よりスーパーバイズを受ける等の一連のプロセスが不足しているために対象からは除外されます。また、専修学校専門課程の場合も文部科学省の法令解釈通知により不可です。)

2. 社会福祉士の受験資格取得者で、大学・短期大学における社会福祉援助技術現場実習(平成21年度以前入学者用の新法によるものは不可)において、特別養護老人ホームなど p. 196～197に定める実習施設で実習し単位修得している場合。(この2.の免除は平成24年度までのみ有効)

3. 上記の1, 2の実習後3年以内とする。

※上記1～3に該当する方は、別途本学より送付する「実習証明書」を出身校に記入してもらった上で、提出してください。

※専修学校専門課程や実務経験などにより、「介護福祉士」を取得した方は実習の免除はありません。また、指定施設以外で実習した方も免除にはなりません。

※実習免除の方は、実習費の3万円は必要ありません。振込依頼書が届いても入金しないでください。ただし、「介護実習事前事後指導」「介護実習」の履修登録、事前指導スクーリングの受講と事前・事後レポートの提出、スクーリング受講料1万円(23年度入学者は2万円)は必要です。

実習受講までの流れ

p. 192～194参照。

実習施設のさがし方

実習施設は、各自で受け入れていただける施設をさがし、交渉し、内諾を得てください。お住まいの付近に、どのような施設があるかわからない場合は、最寄りの社会福祉協議会、または、市町村の「高齢者福祉」「障害者福祉」を担当する窓口にお問い合わせください。また、インターネットの活用も有効です。今後実習先をさがす場合、短期間でもボランティアをするなどで実習希望先と顔見知りになっておいた方が、実習受け入れや実習が円滑に進みます。

実習施設から内諾を得るための手順と諸注意

1. 実習施設へ受け入れについて、電話する。

- ・言葉遣いに注意し、失礼のないようすること。
- ・受け入れが可能なようであれば、訪問したい旨を伝え、施設の都合のよい日時を伺うこと。

- ・実習担当の方の氏名を確認すること。
- ・話の内容はメモをとること。

〔参 考〕電話による依頼の例

- ① 東北福祉大学通信教育部〇年に（もしくは科目等履修生として）在学し、高等学校福祉科教諭の免許状取得をめざしております〇〇と申しますが、お時間よろしいでしょうか。
- ② 貴施設において2週間の介護実習をさせていただきたいと思い、お電話いたしました。
- ③ つきましては、依頼状を持ってお願いにあがりたいので、訪問してよい日を指定してください。
- ④ 担当者の方のお名前を教えてください。

2. 施設へ直接訪問する。

- ・服装など身だしなみに注意すること（面接に行くようなつもりで）。
例）整髪、化粧は薄く、香水はつけない、ネクタイの結び、爪が伸びていないか等。
- ・言葉遣い・態度に注意し、明朗快活に応答すること。
- ・訪問時間には、絶対に遅れないこと。
- ・訪問は、公共の交通機関を使用すること。
- ・上履きを準備していくこと。
- ・携帯電話は電源を切ること。
- ・実習を依頼するための書類、「依頼書」「内諾書」「白封筒」「大学への送付用封筒（青）」を提出すること。
- ・「内諾書」は直接いただくか、郵送していただくようお願いすること。

注1 訪問しても必ず内諾がもらえるわけではありません。自身の実習にかかる意気込みをお話してください。実習期間は、自己の都合ではなく、実習先の都合に必ずあわせてください。

注2 この実習は、社会福祉士のための実習や、教職のための「介護等の体験」ではなく、福祉科のための「介護実習」です（概要は注3参照）。まちがえられることがあるので、きちんと説明してください。

注3 高校生に福祉・介護を教える教員を養成するための実習です。主として、福祉施設などにおける介護の実際、介護技術、社会福祉援助技術を身につけることが目的です。聞かれたら、実習の趣旨をよく説明してください。

※上記の手続きをふんだうえで、どうしても実習先が見つからない場合は、「通信教育部 介護実習係」までご連絡ください。

実習関係書類作成上の注意

「介護実習 登録カード」を提出し、事前指導スクーリングの受講条件も達成された方に送付する「介護実習関係書類一式」の記入上の注意です。

1. 実習先に提出する書類

(1) 依頼書（「介護実習の受け入れについて（ご依頼）」）

日付・宛名・本人氏名・学籍番号・学年・連絡先（電話番号）を記入の上、必ずコピーをとって、原紙を実習施設に提出してください。

(2) 内諾書（「介護実習の内諾について（回答）」）

学籍番号・学年・本人氏名を記入の上、実習施設に提出してください。

※ (1)(2)の文書は白封筒に入れて実習先に提出してください。

2. 通信教育部へ送付する書類

(1) 誓約書

学科の部分は、科目等履修生の場合、学科をペンで横線を2本引いて「科目等履修生」と記述し、宛先は、「実習先名 施設責任者の肩書 施設責任者名」を書いてください（施設責任者名がわからない場合、役職までを書く）。

(2) 健康診断書

原則として実習開始前3カ月以内のもの。実習開始前3カ月以内にすでに健康診断を受けた方は、診断した医師に本用紙に同じ内容を転記してもらってください。

施設によっては、腸内細菌検査等（区役所や公衆衛生協会で実施しています）が必要な場合がありますので、必ずご確認ください。

単位認定通知

「介護実習事前事後指導」と「介護実習」は、事後レポート提出後に届く「単位認定通知」に「優・良・可」のいずれかが記載されていれば、単位認定です。「実習日誌」が施設より返送されない等により単位認定時期が遅れる可能性があるため、実習終了後2カ月を経過しても単位認定通知が届かない場合は通信教育部介護実習係までご連絡ください。

「麻疹（はしか）」の対策について

「麻疹（はしか）」に罹患した状態で実習を行うと、実習先に多大なご迷惑をおかけすることになります。

実習を行う方は全て、医療機関にて「抗体検査」を必ず受けてください。結果が出るま

でに約1週間かかり、もしも抗体がないと判断された場合は予防接種（ワクチン接種）を受けて、約1カ月後に再び抗体検査を行う必要があります。ご自身の実習開始時期を考慮して、早めの検査をお願いします。

また、実習中に感染が疑われる症状（37.5度以上の発熱 咳・鼻水などの初期症状など）が出た場合は、実習先および通信教育部の各実習担当までご連絡のうえ、欠席をお願いします。医療機関による診察の結果、自身が「麻疹（はしか）」と判明した場合、大至急、実習先および通信教育部までご連絡ください（解熱後3日間外出禁止）。実習先に個人の罹患情報を提供する場合がありますので、ご了承ください。万一、実習先が休校・立ち入り禁止になってしまった場合も、通信教育部までご連絡ください。

「インフルエンザ」の対策について

インフルエンザの流行にともない、下記事項の遵守をお願いします。

- (1) 実習中に感染が疑われる症状（38.0度以上の発熱、鼻水・鼻づまり、咳・のどの痛みなど）が出た場合、実習先および通信教育部の各実習担当までご連絡のうえ欠席し、医療機関にて診断を受けてください。
- (2) 万一自身がインフルエンザに罹患した場合は、実習先および通信教育部の各実習担当までご連絡のうえ欠席してください。平熱になってから2日間、またはタミフル等の抗ウイルス薬を服用している期間は安静にし、実習先への出席はもちろん外出もご遠慮ください。
- (3) 発症1日前から発症1週間以内の感染者と5日以内に接触した人は、実習先および通信教育部の各実習担当までご連絡のうえ、指示を受けてください。
- (4) 実習先がインフルエンザ流行により閉鎖になった場合、至急通信教育部の実習担当までご連絡ください。
- (5) 上記(1)～(4)により実習ができなくなった場合、代替の実習日については、実習先・学生・通信教育部の三者で協議のうえ決定させていただきます（実習先と学生とのご都合がつかず、実習日が確保できない場合は、年度内の免許取得や卒業が不可能になることもありますので、ご了承ください）。
- (6) 日頃より、手洗い・うがいを励行するなどインフルエンザ感染の予防に努めるとともに、マスク着用など咳エチケットの徹底もお願いいたします。
- (7) その他実習先から別途指示のある場合は、そちらに従ってください。
- (8) 実習先に個人の罹患情報を提供する場合がありますので、ご了承ください。

総合演習

科目コード●050709

担当教員●寺下 明



2 単位

SR

3 年以上

社会福祉
資格

平成24年8月まで開講

科目の内容

今日、日本が直面している問題や人類が共通して抱える諸問題の中で、特に教育と関連する問題のなかから、興味や関心のあるものを選び、それにかかわる研究を演習形式で行います。授業は、特に教科書等を定めず、文献・新聞・雑誌・インターネット等を利用しながら、受講生が自ら問題を提起し、資料をもとに分析・考察を加え、発表してもらいます。その後、全員で議論しながら、現代社会の問題点への認識を深めていきます。

受講生には、問題やテーマについての理解にとどまらず、いかに情報や知識を収集し、分析・検討した成果を発表し、討議を進めるかといったスキルを学んでください。そして、そのことを通して、世界的視野に立った、人間性豊かで、問題解決能力・実践的指導力などの能力を養うことをねらいとします。

教科書

教科書はとくに指定しません。各自で資料をさがしてください。

レポート課題

1 単位め

- ・スクーリング前に提出（スクーリングの1週間前までに必着）
たとえば、下記のような研究テーマ（問題提起）についての概略を2,000字程度にまとめてください。
(例)・文化の伝統と教育 ・学校知の転換について ・戦争と教育
・異文化理解と教育 ・人権と教育 ・教育と福祉
・少年犯罪 ・いじめ ・不登校
・学級崩壊 ・道徳と教育 ・家庭におけるしつけ

2 単位め

- ・スクーリング後に提出
スクーリング時に研究・発表した成果をまとめてください。

※「総合演習」スクーリングは平成24年8月まで年1回開講します。平成24年度末までにこの科目の単位を修得しなかった高等学校福祉科教職免許状取得希望者は、「教職実践演習（高）」の単位修得が必要になります。

※平成22・23年度1年次入学者、平成23年度2年次編入学者は、この科目の履修は不要です。必ず「教職実践演習（高）」の単位修得が必要です。

教育実習の事前事後指導

科目コード ● 050710

担当教員 ● 吉井 宏
佐藤 暢芳

1 単位

SR

3 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

教育実習は実際に生徒を対象として、教育の理論や技術、さらにその精神的基盤までも学び、研究する場です。教育実習者は未熟な学生でありながら、同時にその学校の教育活動の一翼を担う一人の教師という側面も持ちます。この大変怖いが魅力あふれる貴重な経験を2週間行うにあたっては、どのような心構えが必要か、また専門教養は最低どの程度もって実習に臨まなくてはならないか、理論に裏付けられた技術は最低限持っているのか、学習指導案や板書は万全か、など教育現場で戸惑うことのないよう、実習前に学び、確認しておく必要があります。また終了後は教科指導、生徒指導その他の実習の成果をまとめる必要があります。

教科書

事前指導スクーリング申込み者に配付予定の『中等教育実習の手引き』（東北福祉大学）「福祉科の指導法」の教科書『福祉科指導法入門』も使用します。

レポート課題

〈実習事前（1単位め）レポート〉通信教育部で使用しているレポート用紙のp. 1～8に記入して、スクーリング受講後3週間以内に送付してください。

下記の(1)(2)の2つの問を合わせて2,000字以内でまとめなさい。

- (1) 教育実習の意義 目的について述べなさい。
- (2) 教育実習に臨むにあたってのあなたの心構えを述べなさい。

〈実習事後（2単位め）レポート〉

(1) 実習事後レポートは教育実習終了後2週間以内に、大学へ郵送すること。

(2) レポートの内容は次のとおり

- ① 教科指導上、自分が行った指導方法で、どのような問題点が起きたか。
またその問題点をどのように改善したか。

[問題点の例] ここでいう問題点とは、指導教員から指摘された点、自分で工夫が足りなかったと感じた点を指す——たとえば、導入から展開のつながら、授業のヤマのもっていき方、発問の不足、無反応の授業、チョークの使い方などがあげられる。

② 生活（生徒）指導上、自分が行った指導方法で、どのような問題点が起きたか。またその問題点をどのように改善したか。ここでの生活（生徒）指導とは部活動や委員会活動などのほかに、SHRやLHR、掃除時間など、教科指導以外すべての指導を指している。

(3) 以上の①②の2つの点について、4,000字以上書くこと。

ただし①と②は、それぞれ項目ごとに書き、ゴチャ混ぜに書かないこと。また①と②の枚数の比率は自由。

(4) レポート用紙は、手書きの場合は通信教育部指定のものでp. 1～16を使用して、4,000字以上記入すること。用紙が足りない場合は別紙を追加して提出すること。パソコン印字の場合は、所定の方法（『学習の手引き』6章参照）にて作成してください（左右40字×30行）。

事前指導スクーリング

「教育実習の事前指導」のスクーリングは、仙台で開講します。本冊子巻末のハガキを使用してお申込みください。実習前には必ず受講し、「模擬授業」なども行っていただきます。下記のいずれか1回（連続2日間）受講すれば可です。

(1) 平成23年 3月26日(土)・27日(日) 申込締切日 3月4日(金)

(2) 平成24年 3月24日(土)・25日(日) 申込締切日 3月1日(木)

平成24年度以降も3月末に開講を予定しています。

事前指導スクーリングの申込みにあたっては、受講条件が課せられています。p. 204～205をご覧ください。また、3月末のスクーリングは4月に学籍番号が変わるような学籍異動を行う方は受講できません（正科生→科目等履修生の変更など）。なお、事後指導のスクーリングはありません。

事前指導スクーリング・受講条件

「教育実習の事前指導スクーリング」受講申込締切日までに、下記の条件を満たしていることが必要です。

(1) p. 207～208「大学からの依頼状発行条件」(1)～(2)を満たしていること。

※文部科学省の指導により、はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書が必要です(p. 211参照)。

- (2) 卒業要件単位を62単位以上(一括認定単位を含む)修得していること(3年次編入
 学者・科目等履修生はこの条件は不要)。
- (3) 下記の20科目中18科目の単位を修得していること。ただし、「介護実習」は教育実
 習事前指導スクーリングの受講申込締切日までに必ず終了していること。

66条の6に定める科目

- ①法の基礎(日本国憲法を含む) ②健康科学 ③コミュニケーション英語 ④情報
 処理I

教職に関する科目

- ⑤教職論 ⑥教育原理 ⑦教育心理学 ⑧福祉科の指導法 ⑨高等学校教育課程の意
 義と編成 ⑩教育方法論(視聴覚教育等を含む) ⑪生徒指導論(進路指導を含む)

教科に関する科目

- ⑫介護概論 ⑬介護実習事前事後指導 ⑭介護実習 ⑮高齢者福祉論
 ⑯児童福祉論(21年度以降入学者は⑯児童・家庭福祉論)
 ⑰障害者福祉論 ⑱社会福祉原論(職業指導を含む)
 ⑲⑳社会福祉援助技術論I・III(21年度以降入学者は⑲社会福祉援助技術総論 ⑳福
 祉心理学, 23年度以降入学者は⑲社会福祉援助技術総論 ㉑介護技術)

※他大学で修得された単位を教職免許のための科目に使用するためには、その科目が高
 等学校教諭一種免許状の課程認定を受けていることが原則です。出身校にご確認ください
 さい。入学時に提出していただいた証明書で確認できない場合は、あらためて提出し
 ていただく場合があります。

※本学で「教育実習」を受講するためには、本学で実習前に18単位以上の単位を修得す
 る必要があります。認定単位の多い方は、ご注意ください。

また、上記の事前指導スクーリング受講条件を達成することも必要です。

- (4) 「麻疹(はしか)の抗体を有する旨の医師の文言の入った証明書」のコピー1部を本
 学提出済であること(p. 211を参照)。

(注) ただし、実習依頼のための書類は、p. 207~208のとおり①教育原理 ②教職論
 ③教育心理学 ④福祉科の指導法 ⑤高齢者福祉論 ⑥児童福祉論(21年度以降入学
 者は⑥児童・家庭福祉論) ⑦障害者福祉論 ⑧介護概論の単位を修得した後でない
 と発行できませんので、早めにこの8科目の単位を修得するようにしてください。

スクーリング受講前の準備

とくに事前の提出課題はありませんが、各自で現場で戸惑うことのないように、指導案
 や教材・教具についての予習を行っておくとよいでしょう。なお、事前指導スクーリング

申込者に送付している『中等教育実習の手引き』および「福祉科の指導法」で使用した『福祉科指導法入門』が教科書なので、事前に読んでおいてください。また、スクーリング当日必ず持参してください。

福祉科以外で実習を行う場合はその教科についての十分な事前準備が求められます。

教育実習

科目コード ● 050904

担当教員 ● 吉井 宏
佐藤 暢芳

2 単位 | 実習科目 | 3 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

大学では教職に関するさまざまな講義を聴き、理論を学びます。そして教育の重要性についての認識を深めます。しかしそこに教育の対象である現実の児童生徒がいるわけではありません。子どもたちや教員が生活を送り、使用する教育施設・設備・環境があるわけではありません。その点、教育実習は、大学だけでは到底不可能な研究を行うことができます。望ましい教育者精神や態度の習得、教育愛、教育の社会的役割を知る上でも極めて効果的な機会といえます。そして何よりも人間形成に対する教育の重要性を知ることが可能なのが教育実習です。なお、実習校には実習生を受け入れなければならない義務は一切ありません。従ってその厚意に報いる気持ちも忘れてはなりません。

教科書

事前指導スクーリング申込者に『中等教育実習の手引き』（東北福祉大学）を配付予定（なお、実習受講条件、事務手続きは通学課程のものが記載されているのでご注意ください）。

レポート課題

実習事後レポートは教育実習終了後2週間以内に、大学へ郵送すること。内容・締切は「教育実習の事前事後指導」 p. 203～204記載のとおり。

教育実習内諾のための大学からの依頼状発行条件

下記の条件を満たした方は、本冊子巻末の「教育実習 登録カード」に必要事項を記入して、通信教育部あてに送付してください。条件を確認後、「教育実習内諾のための大学から実習校への依頼状」を学生あてにお送りいたします。

- (1) 卒業後（将来）、教員として就職する意思が明確な方＝単なる免許取得のための実習ではなりません。
- (2) 健康で通常の業務に耐え、伝染性疾患のない方。

- (3) 免許状の取得にあたって本学通信教育部を卒業する方は、登録カード送付時点で、1年次入学者は50単位以上、2年次編入学者は20単位以上修得済みであること。
- (4) 依頼状発行時点で、「介護実習」を受講しているか、実習の日時が確定していること。
- (5) ①教育原理 ②教職論 ③教育心理学 ④福祉科の指導法 ⑤高齢者福祉論 ⑥児童福祉論（21年度以降入学者は⑥児童・家庭福祉論） ⑦障害者福祉論 ⑧介護概論の8科目の単位を修得していること。

※ p. 205のとおり、実習受講前に修得すべき科目が多いので、その他の科目もできるだけ前年度までに多く修得するようにしてください。

※実習前年度のできるだけ早い時期に上記の8科目の単位を修得しないと、次年度の教育実習は難しくなります。

※本学で「教育実習」を受講するためには、本学で実習前に18単位以上の単位修得を行う必要があります。認定単位や受講不要な科目のある方は、ご注意ください。

また、事前指導スクーリング受講条件を達成することも必要です。

教育実習が不要な方

- ・すでにいずれかの教科の高等学校教諭一種免許状を取得されている方は、原則として「教育実習の事前事後指導」「教育実習」の受講は不要です（教育職員免許法6条別表4）。
- ・すでに、中学校または高等学校で2週間以上の教育実習経験がある方は、「教育実習」の受講が不要となる場合があります（教育職員免許法施行規則6条備考7，13ほか）。
- ・高等学校で教員として3年以上の実務経験を有する方は、「教育実習」の受講が不要となる場合があります（教育職員免許法施行規則6条備考10）。

実習期間・時期

- ・実習は高等学校で連続2週間（10日間）行います。
- ・受入れ校の事情により、実習の時期が決まります。教育実習の大半は年1回5～6月のみの受け入れ校が多いですが、10～11月にも受け入れてもらえることがあります。
- ・あくまでも実習校側の期間に従ってください。ただし、実習開始は「介護実習」受講後および「教育実習の事前指導」スクーリングの受講後となります。

実習教科

- ・高校福祉科で行うことを原則とします。
- ・ただし、福祉科のある高等学校は全国でも数少ないものです（依頼状発行者に資料送

付)。そのため、どうしても福祉科のある高等学校で実習先を探すことが難しい場合、受け入れ校の了解があれば、福祉科以外で実習を行ってもかまいません（家庭科・公民科など）。その際には他教科を教えるための十分な事前準備が求められます。

実習校への依頼方法

- ・実習校は、福祉科のある高等学校または自分の出身校に依頼することが多くなります。ただし、卒業後年数が経過している方もいらっしゃるので卒業生でなくても受け入れてくれる学校を探し、各自で交渉し、内諾を得てください。
- ・高等学校における実習生の受け入れの実態は大変厳しいものになってきています。卒業生であっても受け入れ制限をする学校や、教員採用試験の受験を条件とする学校もあります。よって採用試験の制限以上の年齢の方は実習受け入れが難しい場合もあります。
- ・特に、3年次で実習を依頼する場合は、実習校へ3年次実習の理由（4年次において障害者（児）教育実習を行う旨）を説明しご理解をいただかなくてはなりません。
- ・以上の事由により、実習希望校へは、早めに打診し（打診後は、途中で意志を変更しないこと）実習についての情報を得てください。
- ・独自の受け入れ体制をとっている地域や事前（実習前年度まで）に教育委員会への申請が必要な地域もありますので、実習希望校または各教育委員会へ早めに確認を行ってください。
- ・上記の問い合わせ後、大学からの実習一括申請が必要な場合は、実習前年度に通信教育部教職免許係あてに①問い合わせ先教育委員会名②実習希望時期③実習希望校の候補などを明記し、書面で申し出てください。

実習校訪問の手順と諸注意

くわしくは実習登録者にお送りする「実習希望校への打診と訪問について」を参照してください（独自の受入体制の地域を除く）。

1. 実習希望校に受け入れについて問い合わせてください。
最初は電話での問い合わせになりますが、言葉遣いに注意し、失礼のないようにしてください。
2. 受け入れ可能なようであれば、訪問したい旨を伝え、学校の都合を伺います。
3. 学校から訪問してもよい日時が指定されたら必ず訪問してください。
4. 初めて希望校の先生方にお会いしますので、服装・態度・言葉遣いに注意し、明朗快活に応答してください。
5. 訪問の際、大学からの書類（実習依頼状・実習内諾書・実習生個人調査票・返信用封筒）を持参し、希望校へ提出して内諾をもらうことになります。内諾書は、実習校から

本学へ直接ご送付いただくか、またはご自身で本学へ郵送してください。

実習費

- ・「教育実習の事前事後指導」のスクーリング受講前後に納入していただきます。一旦納入した実習費（30,000円）は卒業・修了・退学するまで有効です。
- ・実習費のなかには、実習校への委託費、実習保険加入費用が含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも、その金額を実習生に返金することはできません。ご了承ください。

実習取消

- ・実習登録後は取消をしないようにしてください。特に実習校より内諾をいただいた後に取消をしますと、実習校に大変な迷惑をかけることになります。
- ・万一、取消の事態に陥った時はすみやかに実習校および本学通信教育部に届け出てください。この場合、実習校へは直接参上しておわびしていただきます。

実習後

実習後、実習校へ御礼状を送付するとともに実習事後レポートを提出する必要があります。

事後指導のスクーリングはありません。

教育実習受講条件

教育実習受講のためには、下記の条件を満たしていることが必要です。原則として、実習受講の約2カ月前までに必要書類を提出してください。実習校への正式依頼状をお送りさせていただきます。

※正式依頼状は実習開始約1カ月前をめどにお送りする予定です。

- (1) p. 207～208記載の「教育実習内諾のための大学からの依頼状発行条件」(1)～(5)の受講条件を満たしていること。また、p. 205記載の20科目中18科目の単位を修得していること。
- (2) 「教育実習の事前指導スクーリング」を受講済みであり、スクーリング受講後3週間以内に「実習事前レポート」を提出し、合格していること。
- (3) 実習校への依頼状配付時に渡される「実習生個人調査票」のコピー、ならびに事前指導スクーリング受講者に渡される「健康診断書」「誓約書」の必要事項が記載されているもの、および「はしかの抗体を有する旨の医師の文言の入った証明書」のコピー（実習事前指導スクーリング受講申込締切日までに提出済であること）が、大学

あてに提出されていること。

▶ 単位認定通知

「教育実習の事前事後指導」「教育実習」は、①事前指導スクーリングとその後の実習事前レポート（p. 203参照）、②実習、③実習日誌、④実習事後レポート（p. 203～204参照）の評価を総合して行います。単位認定通知は、事後レポート提出、および実習校からの実習日誌返却、いずれか遅いほうから1カ月程度で書面で通知します。

実習校から実習日誌が返却されない場合は単位認定ができないので、実習事後レポート提出後、2カ月以上経過しても結果が届かない場合は、通信教育部教職免許係までご連絡ください。

▶ 「麻疹（はしか）」の対策について

「麻疹（はしか）」に罹患した状態で実習を行うと、実習先に多大なご迷惑をおかけすることになります。

実習を行う方は全員、医療機関にて「抗体検査」を必ず受けてください。結果が出るまでに4、5日かかりますので、早めに受診してください。抗体を有していることを証明できるように、はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書のコピー1部を実習事前指導スクーリング受講申込締切日、遅くともスクーリング初日までに本学に提出する必要があります。「麻疹（はしか）」の抗体がないと判断された場合は、医療機関と相談の上、予防接種（ワクチン接種）を受け、再度抗体検査を受けてください。予防接種を受けたという証明書ではなく、その結果、抗体を有しているという証明書が必要となります。ご留意ください。

「はしか」の抗体を有する旨の医師の文言の入った証明書のコピーの送付方法

- 1) 事前指導スクーリング申込ハガキと同時に通信教育部に送付してください。
- 2) 同時に送付できない場合は、病院に予約などをしたうえで、申込ハガキ・オモテ面に受診〔予定〕日を記入し、証明書のコピーは事前指導スクーリング初日に持参してください。
- 3) 数値のみではなく、「はしか」の抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書のコピーを送付してください。
- 4) 原紙は必ず各自で保管し、実習校から提出を求められたら、いつでも提出できるようにしておいてください。

また、実習中に感染が疑われる症状（37.5度以上の発熱 咳・鼻水などの初期症状など）が出た場合は、実習先および通信教育部教職免許係までご連絡のうえ、欠席をお願い

します。医療機関による診察の結果、自身が「麻疹（はしか）」と判明した場合、大至急、実習先および通信教育部までご連絡ください（解熱後3日間外出禁止）。実習先に個人の罹患情報を提供する場合がありますので、ご了承ください。万一、実習先が休校・立ち入り禁止になってしまった場合も、通信教育部までご連絡ください。

▶ 「インフルエンザ」の対策について

「介護実習」 p. 201を参照し、対策を行ってください。

▶ さいごに

- ・教育実習は、たとえその学校の卒業生であっても必ず受け入れてもらえるとは限りません。高等学校にも実習生を受け入れなければならない法的根拠も義務もないからです。
- ・実習を受け入れてくれるのは将来教員になろうとしている学生に対する「厚意」です。皆さまもその厚意を裏切らないように取り組んでください。

障害児教育実習の事前・事後指導

科目コード ● 050716

担当教員 ● 荒川 圭介・庭野賀津子
阿部 芳久

1 単位

SR

3 年以上

社会福祉
資格

〈旧法対応〉

科目の内容

この科目は、新法による特別支援学校教諭一種免許状取得に関する「障害者教育実習の事前・事後指導」と同等の内容の科目です。詳細は p. 283～288 をご覧ください。

※事前指導スクーリングの受講条件は新法履修者と若干異なりますので、ご注意ください（p. 285～286参照）。

障害児教育実習

科目コード ● 050905

担当教員 ● 荒川 圭介・庭野賀津子
阿部 芳久

2 単位

実習科目

3 年以上

社会福祉
資格

〈旧法対応〉

科目の内容

この科目は、新法による特別支援学校教諭一種免許状取得に関する「障害者教育実習」と同等の内容の科目です。詳細は p. 289～295 をご覧ください。

※実習内諾依頼状の発行条件は、新法履修者と若干異なりますので、ご注意ください（p. 289～290参照）。

特講科目

特講科目はスクーリング受講のみで単位修得となる科目です。ここにあげた科目は23年度のみ開講予定です。平成24年度以降に同じ科目が開講されることは原則としてありませんので、今年度のスクーリング開講予定日に受講が可能な方のみ履修登録してください。

特講科目は、履修登録をもってその科目のスクーリングも申込んだこととみなします。受講を希望する特講科目は、年度始めの履修登録、または6・11月の追加履修登録でp.16～17に定める期限までに行ってください。別途スクーリングの申込みは不要です。

特講・社会福祉学5 (社会福祉士国家試験対策講義)

科目コード ● 050205

担当教員 ● 阿部 裕二・齋藤 征人・佐藤 博彦
柴田 邦昭・竹田 征子・田中 治和
三浦 剛

1 単位

S

4 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

平成21年度以前にこの科目を履修登録した方は、この科目のスクーリングを受講する旨の申込みが必要です。申込方法は、任意の様式でよいので書面（メールus@tsukyo.tfu.ac.jp・FAX022-233-2212・郵送・持参）のいずれかで、5月10日までに①学籍番号、②氏名、③スクーリング受講希望科目を記載して、通信教育部あてご連絡ください。5月20日までに納入依頼書が届かない場合は、至急通信教育部までご連絡をお願いいたします。

科目の内容

本講座は、2007年から国家試験受験希望者を対象に開催されていた「社会福祉士国家試験対策講座」を前身としています。ひとりでも多くの学生に受講し合格していただくために、講義科目として開設されました。

平成21年度から、社会福祉士の養成カリキュラムの改正が行われ、それに伴い国家試験の科目名称も変更になりました。通信教育部で学ぶほとんどの方は、日々仕事に従事されている方です。そのなかで、受験勉強に割ける時間も限られています。国家試験合格のためには、幅広くかつ深く学習していく必要があります。

受験科目の膨大な学習内容のすべてを理解していくことは、限られた時間の中では相当の努力を要します。確実に得点を重ねるためには、重点的に学習すべき要点を確実に抑えながら、効率よく学習を進めていくことが大切です。

本講座は、2回に分けて開催します。第1回目は、受験勉強を始めるにあたり、「何からはじめればよいかわからない」「どのように学習を進めればよいかわからない」という方を対象に具体的学習方法等をわかりやすく解説いたします。第1回目は、特講・社会福祉学6と合同開催になります。

第2回目は、科目ごとの直前対策を2日間連続で開催します。1日目は、共通科目、2日目は専門科目の傾向と対策を解説します。1日目の共通科目は、特講・社会福祉学7と合同開催になります。国家試験合格にあたっては、早め早めにかつ計画的に学習を進めることが大切です。ひとりでも多くの方が合格できますように、この講義を活用してください。

講義内容

第1回目(4コマ) = 6月11日(土)

- (1) 国家試験の傾向と対策① 阿部 裕二
- (2) 国家試験の傾向と対策②-1 齋藤 征人
- (3) 国家試験の傾向と対策②-2 齋藤 征人
- (4) 個別学習対策・相談

第2回目(8コマ)

1日目(4コマ) = 10月29日(土)

【共通科目】(順番は変更になる場合があります。)

- (1) 現代社会と福祉 田中 治和
保健医療サービス
- (2) 社会保障 阿部 裕二
低所得者に対する支援と生活保護制度
- (3) 人体の構造と機能および疾病 竹田 征子
心理学理論と心理的支援
社会理論と社会システム
- (4) 地域福祉の理論と方法 柴田 邦昭
福祉行財政と福祉計画
権利擁護と成年後見制度

2日目(4コマ) = 10月30日(日)

【専門科目】(順番は変更になる場合があります。)

- (5) 福祉サービスの組織と経営 柴田 邦昭
障害者に対する支援と障害者自立支援制度
就労支援サービス
- (6) 相談援助の基盤と専門職 佐藤 博彦
相談援助の理論と方法
高齢者に対する支援と介護保険制度
更生保護制度
- (7) 社会調査の基礎 三浦 剛
児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度
- (8) スクリーニング試験

教科書

スクーリング時に資料配布

履修登録

5月10日までに履修登録を行った方が23年度の受講対象者となります。

評価方法

出席および履修状況（第1回目、第2回目両日の出席が必須です）、スクーリング試験で評価します。

注意事項

- (1) 第1回目、第2回目とも出席が必要です（ただし、1日のみの出席でも可能とするがその場合は単位認定は行いません。スクーリング受講料の返還もいたしません）。
- (2) 遅刻は厳禁です。
- (3) 履修登録者以外の聴講はできません。
- (4) 卒業後、この講座の受講（聴講）を希望する場合は、科目等履修生などの学籍がなくても受講ができるようにいたしますので、実習係あてにお問い合わせください（受講料7,000円+テキスト代実費必要）。

スクーリング開講予定

開講地 仙台（本学）

開講日程

第1回目 平成23年6月11日(土)10:50~17:30

第2回目 1日目 平成23年10月29日(土)10:50~17:30

2日目 平成23年10月30日(日)9:20~16:00

特講・社会福祉学 6 (精神保健福祉士国家試験対策講義A)

科目コード ● 050206

担当教員 ● 阿部 裕二・齋藤 征人
佐藤眞喜人・八巻 幹夫

1 単位

S

4 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択 B

福祉心理
選択 B

平成21年度以前にこの科目を履修登録した方は、この科目のスクーリングを受講する旨の申込みが必要です。

申込方法は、任意の様式でよいので書面（メールus@tsukyo.tfu.ac.jp・FAX022-233-2212・郵送・持参）のいずれかで、5月10日までに①学籍番号、②氏名、③スクーリング受講希望科目を記載して、通信教育部あてご連絡ください。5月20日までに納入依頼書が届かない場合は、至急通信教育部までご連絡をお願いいたします。

科目の内容

本講座は特講・社会福祉学 5 の第 1 回目と 2 回目の初日を充てて開講されます。第 1 回目は試験勉強の取り組み方や最近の出題傾向の解説が中心となります。仕事や家事に従事する社会人が中心の通信教育部学生にとって、効率的かつ適切な学習ができるかどうか合否を左右します。本格的な受験勉強開始前のウォーミングアップとして是非本講座を受講されることをおすすめいたします。

2 回目の内容は、社会福祉士ならびに精神保健福祉士国家試験の共通科目となります。精神保健福祉士国家試験の専門科目の内容を扱う特講・社会福祉学 7（p. 222参照）と併せて受講されることをおすすめいたします。

講義内容

第 1 日目（4 コマ）平成23年 6 月11日(土)10：50～17：30

※受講生は10：40までに会場に集合してください。

1 コマめ	国家試験の傾向と対策①	阿部 裕二 先生	10：50～12：10
	(昼休み) 60分		
2 コマめ	国家試験の傾向と対策②- 1	齋藤 征人 先生	13：10～14：30
3 コマめ	国家試験の傾向と対策②- 2	齋藤 征人 先生	14：40～16：00
4 コマめ	個別学習対策・相談		16：10～17：30

第2日目（4コマ）平成23年6月12日(日)9：30～16：30

【専門科目】

5コマめ	精神保健福祉論①	八巻 幹夫 先生	9：30～10：50
6コマめ	精神保健福祉論②	八巻 幹夫 先生	11：00～12：20
（昼休み）60分			
7コマめ	精神科リハビリテーション学①	佐藤 眞喜人 先生	13：20～14：40
8コマめ	精神科リハビリテーション学②	佐藤 眞喜人 先生	14：50～16：10
	スクーリング試験		16：10～16：30

※進行状況により講義時間が変更される場合があります。

教科書

スクーリング時に資料配布

履修登録・スクーリング受講手続

5月10日までに履修登録を行ってください。

注意事項

- (1) 単位修得を希望される場合、第1回目、第2回目の8コマすべてに出席し、最終コマのスクーリング試験の受験が必要です（1日のみの出席も可能ですが、その場合単位修得はできず、スクーリング受講料の返金も行われません）。
- (2) 公共交通機関の遅れ等、特別な理由がない限り遅刻は厳禁とします。
- (3) 履修登録者以外の聴講はできません。ただし、既に卒業されている方のみ履修登録がなくてもスクーリング受講料（7,000円）を納入すれば、受講が可能です（9月末卒業生等で受講を希望される方は本学精神保健福祉実習係宛にお問い合わせください）。
- (4) 本科目は、既に履修され一度単位修得を行っても、国家試験再挑戦のためなどを理由に、再度のスクーリング受講を認める場合があります。希望者は書面（郵送、電子メール、FAX）でお問い合わせください。ただし、同じ科目のスクーリング単位を二重に修得することはできません。
- (5) 当該科目のテキストまたは市販の参考書等である程度予習されてから受講された方が効果的です。
- (6) 科目担当教員が変更になる場合があります。予めご了承ください。

スクーリング開講予定

開講地 仙台（本学）

開講日程

1 日目 平成23年 6 月11日(土)10：50～17：30

2 日目 平成23年 6 月12日(日)9：30～16：30

他の特講科目との組み合わせ受講のご案内

10月29日(土)・30日(日)に開講される特講・社会福祉学 7（精神保健福祉士国家試験受験対策講義B）と併せて受講されると国家試験全科目が網羅でき、より効果的です。

（ご注意）

平成23年度は、「特講・社会福祉学 5（社会福祉士国家試験対策講義）」と「特講・社会福祉学 6・7（精神保健福祉士国家試験対策講義）」は、共通の講義内容が含まれるため、同時に履修できません。

※「特講・社会福祉学 6・7（精神保健福祉士国家試験対策講義）」（6 = 6 / 11・12, 7 = 10 / 29・30）の両方、またはいずれかを履修する方は「特講・社会福祉学 5（社会福祉士国家試験対策講義）」（6 / 11・10 / 29・30）の履修はできません。

特講・社会福祉学7 (精神保健福祉士国家試験対策講義B)

科目コード ● 050207

担当教員 ● 阿部 裕二・佐藤眞喜人・柴田 邦昭
竹田 征子・田中 治和・八巻 幹夫

1 単位

S

4 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

平成21年度以前にこの科目を履修登録した方は、この科目のスクーリングを受講する旨の申込みが必要です。

申込方法は、任意の様式でよいので書面（メールus@tsukyo.tfu.ac.jp・FAX022-233-2212・郵送・持参）のいずれかで、7月7日までに①学籍番号、②氏名、③スクーリング受講希望科目を記載して、通信教育部あてご連絡ください。7月17日までに納入依頼書が届かない場合は、至急通信教育部までご連絡をお願いいたします。

科目の内容

本講座は特講・社会福祉学5の第2回目の5～8コマを第1日目に充てて開講されます。第1日目の内容は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の全共通科目（10科目）を4コマ、第2日目は精神保健福祉士の専門科目「精神医学」「精神保健学」「精神保健福祉援助技術総論」「精神保健福祉援助技術各論」の4科目4コマとなります。

試験勉強の取り組み方や最近の出題傾向の解説ならびに「精神保健福祉論」「精神科リハビリテーション学」の2科目4コマの専門科目を扱う特講・社会福祉学6（p.219参照）と併せて受講されることをおすすめいたします。

講義内容

第1日目（4コマ）平成23年10月29日(土)10：50～17：30

【共通科目】

1コマめ	現代社会と福祉 保健医療サービス	田中 治和 先生	10：50～12：10
2コマめ	社会保障 低所得者に対する支援と生活保護制度	阿部 裕二 先生	13：10～15：10
3コマめ	人体の構造と機能及び疾病 心理学理論と心理的支援 社会理論と社会システム	竹田 征子 先生	15：20～16：00
4コマめ	地域福祉の理論と方法	柴田 邦昭 先生	16：10～17：30

福祉行財政と福祉計画
権利擁護と成年後見制度

第2日目(4コマ)平成23年10月30日(日)9:30~16:30

【専門科目】

5コマめ	精神医学	佐藤 眞喜人 先生	9:30~10:50
6コマめ	精神保健学	佐藤 眞喜人 先生	11:00~12:20
7コマめ	精神保健福祉援助技術総論	八巻 幹夫 先生	13:20~14:40
8コマめ	精神保健福祉援助技術各論	八巻 幹夫 先生	14:50~16:10
	スクーリング試験		16:20~16:30

※進行状況により講義時間が変更される場合があります。

教科書

ありません。

履修登録・スクーリング受講手続

7月7日までに履修登録を行ってください。

注意事項

- (1) 単位修得を希望される場合、第1日目、第2日目の9コマすべてに出席し、最終コマのスクーリング試験の受験が必要です(1日のみの出席も可能ですが、その場合単位修得はできず、スクーリング受講料の返金も行われません)。
- (2) 公共交通機関の遅れ等、特別な理由がない限り遅刻は厳禁とします。
- (3) 履修登録者以外の聴講はできません。ただし、既に卒業されている方のみ履修登録がなくてもスクーリング受講料(7,000円)を納入すれば、受講が可能です(9月末卒業生等で受講を希望される方は本学精神保健福祉実習係宛にお問い合わせください)。
- (4) 本科目は、既に履修され一度単位修得を行っても、国家試験再挑戦のためなどを理由に、再度のスクーリング受講を認める場合があります。希望者は書面(郵送、電子メール、FAX)でお問い合わせください。ただし、同じ科目のスクーリング単位を二重に修得することはできません。
- (5) 当該科目のテキストまたは市販の参考書等である程度予習されてから受講された方が効果的です。
- (6) 科目担当教員が変更になる場合があります。予めご了承ください。

スクーリング開講予定

開講地 仙台（本学）

開講日程

1日目 平成23年10月29日(土)10：50～17：30

2日目 平成23年10月30日(日)9：30～16：30

他の特講科目との組み合わせ受講のご案内

6月11日(土)・12日(日)に開講される特講・社会福祉学6（精神保健福祉士国家試験受験対策講義A）と併せて受講されると国家試験全科目が網羅でき、より効果的です。

（ご注意）

平成23年度は、「特講・社会福祉学5（社会福祉士国家試験対策講義）」と「特講・社会福祉学6・7（精神保健福祉士国家試験対策講義）」は、共通の講義内容が含まれるため、同時に履修できません。

※「特講・社会福祉学6・7（精神保健福祉士国家試験対策講義）」（6＝6/11・12, 7＝10/29・30）の両方、またはいずれかを履修する方は「特講・社会福祉学5（社会福祉士国家試験対策講義）」（6/11・10/29・30）の履修はできません。

特別支援学校教諭 免許状関連科目

● 新法・2・3年生以上配当科目 ●

平成14～18年度入学者

資格科目

平成19年度入学者以降

社会福祉学科 専門選択科目

この部にとりあげられているものは、平成19年4月に新設された特別支援学校教諭一種免許状取得に関する新法対応科目です。2年生以上・3年生以上の科目を合わせて、科目コード順に掲載されています。

旧法対応科目の掲載ページは目次を参照してください。

【お知らせ】

平成19（2007）年4月より「特別支援教育」制度が創設されました。この部に載っている科目の参考図書などには、発行年の関係で「特別支援教育」制度に対応していなかったり、用語が古いものがあります。

文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main.htmなどで特別支援教育の理念と制度を理解したうえで、学習を進めてください。

なお、概略は下記のとおりです。

1) 平成19（2007）年4月より盲学校、聾学校および養護学校が、障害種別を超えた「特別支援学校」に一本化されました。

※従来の盲学校、聾学校および養護学校は、法律上は「特別支援学校」になりましたが、学校の名称は都道府県により検討中のため変更されていない場合もあります。

2) 小・中学校の「特殊学級」も「特別支援学級」に名称変更されました。

3) 学校教育法上の「障害」の呼び方や分類が変わります（一部H18.4施行済）

(旧) 情緒障害者

→→ (新) ① 自閉症者 ② 情緒障害者（選択性かん黙など）

※自閉症が「情緒障害」とは明確に区分されます。

(旧) 盲者 →→ (新) 視覚障害者

(旧) 聾者 →→ (新) 聴覚障害者

・さらに、LD（学習障害者）、ADHD（注意欠陥多動性障害者）、高機能自閉症者なども特別支援教育の対象となりました。

【平成21年3月告示の新・学習指導要領について】

各科目の学習にあたっては、平成21（2009）年3月告示の「特別支援学校 学習指導要領」「特別支援学校 学習指導要領 解説」も参照してください（幼稚部21年度～小学部23年度～ 中学部24年度～ 高等部22年度～実施。ただし、小・中学部においては総合的な学習の時間、道徳、特別活動及び自立活動の指導については平成21年度より、高等部においては総合的な学習の時間、道徳（知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校に限る。）、特別活動及び自立活動の指導については平成22年度より、新学習指導要領により実施）。たとえば下記のような変更点があります。

- (1) 現在の「自立活動」の5区分に「人間関係の形成」を追加し6区分26項目に改善。
- (2) 特別支援学校においてすべての幼児児童生徒に「個別的教育支援計画」を作成。
- (3) 知的障害・特別支援学校〔高等部〕の専門教科に「福祉」を新設。

障害者教育総論

科目コード●050718

担当教員●荒川 圭介



2 単位 | R or SR | 2 年以上

社会福祉
資格/選択

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

この科目では、特別支援教育の制度、障害者教育の歴史、障害者の特性、障害者教育の現状等について学習します。

障害者といっても、一人一人の障害の種類や程度、特性等による相違があります。障害者一人一人が、自立し社会参加していく資質を培うため、それぞれの障害の種類、程度、特性等に応じ、①特別支援学校、②小・中学校の特別支援学級、通級による指導、通常の学級において、きめ細やかな教育が行われています。

習得するにあたっては、実際に障害者教育の場を見学するなどして障害者および障害者教育についての理解を深めることが大切なことといえるでしょう。また、社会のノーマライゼーションの進展、障害者の自立と社会参加の充実、特別支援教育の推進等の大きな流れを把握していかなければなりません。さらに、社会の変化に応じて法律の改正、教育内容や方法の改善などがなされているので、新しい情報についても関心を示し、対応を図っていく必要があります。

教科書

佐藤泰正編『特別支援教育概説 改訂版』学芸図書、2011年

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月より教科書、レポート課題が変更されました。以前の教科書にもとづいて課題に取り組むことは可能ですが、2007年発行第2刷以前の教科書をお持ちの方は、学校教育法改正後の法規を踏まえたうえで、解答してください。

(注) 平成21年度よりこの科目のスクーリングスクーリングは6コマ、スクーリング単位=1単位に変更になりました。

そのため、障害者教育総論(2単位)の受講者で、平成20年度までの12コマのスクーリングを受講済みの方(スクーリング単位=2単位)の科目コードを050717に変更いたしますが、学生の方にご留意いただく点はありません。ご安心ください。

レポート課題

1 単位め

知的障害者の特性および教科指導と生徒指導の留意点を具体的に述べなさい。

2 単位め

注意欠陥／多動性障害（ADHD）の特性および教育上配慮しなければならないことを具体的に述べなさい。

（平成22年度以前履修登録者）2011年4月より、レポート課題が変更になりました。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

各課題について、テキストおよび参考図書等をよく読み、自分の言葉で、具体的な事例を入れてまとめるように心掛けてください。そのためには、近隣の障害者と接したり、障害者の教育がどのように行われているのか理解するために、特別支援学校あるいは特別支援学級を設置している小・中学校の学校公開や文化祭、学習発表会、運動会などの参観や見学したりすることをお勧めします。

1・2単位め
解説

テキストや参考図書を読み、知的障害者教育、注意欠陥／多動性障害（ADHD）者教育を把握した上で、レポート課題を作成することを望みます。また、できればそれぞれの障害者と直接接し、障害者の特性等を十分理解した上で課題に取り組むことを望みます。

参考図書

- (1) 文部科学省『特別支援学校学習指導要領』、『特別支援学校学習指導要領解説』国立印刷局、2009年
- (2) テキストの各章末にある「引用及び参考文献」

知的障害者の心理

科目コード●050721

担当教員●大関 信隆



2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
資格/選択

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

「知的障害」すなわち認知処理機能の障害は、それ単独で現れることもあれば、発達障害をはじめとするさまざまな疾患と併存して現れることもある、発達支援にとって基本的かつ重要な概念です。この知的障害という現象に対し、本課題では心理学的側面からのアプローチ、すなわち「脳が作り出している『心』と呼ばれる精神機能のどのような側面が知的障害の行動像に影響を与えているのか」ということを考察するなかで、その支援を模索していくことをねらいとしています。

発達支援の方略に完全な正解はありません。それが良い関わりだったのかは数年経ってみないとわからないことも多く、日々の関わりではそれぞれ試行錯誤、対象の方に対する研究（理解を深める行為）の日々です。だからこそ、自分自身の力で、よりベターな関わりを見つけていく必要があります。そのための一つの視点として、心理学というものの考え方から行動を理解し、そのなかで気持ちも理解し、関わり方を模索し、また創造することにつながればと思います。

教科書

梅谷忠勇著『図解 知的障害児の認知と学習——特性理解と援助』田研出版、2001年（平成22年度以前履修登録者）2011年4月より教科書が変更されました。以前の教科書にもとづいて課題に取り組むことは可能です。

レポート課題

1 単位め

物事を学習していくなかで、人間の言語機能はどのような役割を果たしているか、そして、そこから見えてくる「関わり方」は何か、知的障害児の学習プロセスに即して論述せよ。

2 単位め

注意と動機付けが学習に果たす役割について整理し、知的障害児がどのような困難を示すか論述せよ。あわせて、関わりの方略についても論述せよ。

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月よりレポート課題が変更されました。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題で提出してください。

アドバイス

1 単位め 解説

ここでは言語機能や言語能力というものが学習に果たす役割、そして言語を扱う力に困難さを有する知的障害のお子さんにとっての、学習プロセスの特性を理解していただくことが目的です。一般的に、私たちが学習を進める過程で言語能力は非常に重要な役割を担っています。まずこの関係について考察する必要があります。その際、「学習」とは何か、言語機能とは何か、その発達は如何なるものか、ということを事前に述べた上で両者の関係を整理していくと良いでしょう。その後、知的障害のお子さんにとっての言語機能の発達を整理すると、健常発達との違い、そして直面する問題点なども見えてきます。ここまでを踏まえて、最後に関わり方の切り口の一つを述べていただくと良いでしょう。関わり方を背後に流れるプロセスと関連させながら述べてみてください。

2 単位め 解説

注意や動機付けといった、直接的な情報処理以外の機能もまた、私たちの学習過程に大きく影響します。これらは認知活動を下支えしたり、認知活動を方向付けたりする働きです。注意と動機付け、この2つの側面について、それぞれが学習に果たす役割をまず整理してください。その後、知的障害児にとってそれらがどのように機能し難いのか、または通常と異なって機能するのか整理してください。それらをふまえて、関わりの方略を考えてみてください。

一見すると両課題とも「気持ち」という側面を直接には扱っていないように思われるかもしれませんが、世界を捉える方法の特徴を整理し考える中で、彼らの気持ちも見えてくるはずですよ。

参考図書

- ・以下の1) 2) の本は基礎的事項を押さえる上で必要になる本です。
 - 1) 田島信元・子安増生ほか編『認知発達とその支援』(シリーズ臨床発達心理学第2巻) ミネルヴァ書房, 2002年
 - 2) 熊谷公明ほか編『発達障害の基礎』日本文化科学社, 1999年
- ・各種発達障害に関する書籍も参考になります。例えば3) 4) のような本があります。
 - 3) 杉山登志郎・辻井正次編『高機能広汎性発達障害 アスペルガー症候群と高機能自

閉症』ブレーン出版, 1999年

4) 中根晃編『ADHD臨床ハンドブック』金剛出版, 2001年

- ・近年は5) 6) のような「マニュアル」的な書籍も多く出版されています。これらの内容がご自身の現場で即役立つわけではありませんが、さまざまなかわりの方略を考える際の基礎的情報としては役立ちます。

5) 杉山登志郎・大河内修ほか著『教師のための高機能広汎性発達障害・教育マニュアル』少年写真新聞社, 2005年

6) 独立行政法人国立特殊教育総合研究所 編『LD・ADHD・高機能自閉症の子どもの指導ガイド』東洋館出版社, 2005年

- ・知能検査に関して書かれている7) のような書籍も、有益な情報を提供してくれる場合があります。

7) 上野一彦・海津亜希子ほか編『軽度発達障害の心理アセスメント』日本文化科学社, 2005年

- ・意外と思われるかもしれませんが、下記の8) 9) のような心理学の基礎領域に関する書籍も時に参考になります。余力があったらご一読ください。

8) 大山正編『実験心理学』東京大学出版会, 1984年

9) 御領謙・菊地正・江草浩幸著『最新 認知心理学への招待——心の働きとしくみを探る』サイエンス社, 1993年

知的障害者の生理・病理

科目コード●050722

担当教員●金野 公一



2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/選択

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

知的障害とはどのような状態をいうのでしょうか？ この科目ではまずはそのことについて学ぶこととなります。アメリカ精神遅滞学会の定義ではその内容がかなり具体的に述べられています。そもそも知能とは何か、という考えが様々であることが知的障害の定義を複雑なものにしています。知能検査の数値だけで判断される傾向は今も強くありますが、重要なことはその人が置かれてきた養育、教育環境等によっては数値が低く出てしまうことや、数値では説明できないような能力が実生活の中で発揮されていることも多くあります。また、サポートの在り方によっても本人の状態が変わってくるなどもしっかり考えるべきだと思います。

何故知的障害という状態が起こってくるのかその原因についても学ぶこととなります。教科書等の出版物やインターネットなどではいろいろな原因を挙げていますが、それらは現在の医学で判明している原因疾患を述べているものです。その数の多さから見ると実際の医療現場でかなりの頻度で明らかにされているような印象を受けますが、実際にはごく一部が解っているだけなのです。全体の7割、8割の原因がはっきりしません。つまり原因不明なのです。健康なご両親から、しかも妊娠・出産、その後の生育経過にも何らの疾患もなく全く原因が不明でも後にその子に知的障害のあることが判明することがしばしばあります。そのことを生理的要因と説明しています。その内容についても良く勉強してみてください。

一方、いわゆる知的障害はないが発達上のアンバランスを指摘される人たちもいます。高機能自閉症や注意欠陥・多動性障害と診断される人たちのことですが、適応がうまくできないということも広い意味では知的な領域で考えることができるので学んでおくべきかと思います。

教科書

黒田吉孝・小松秀茂編『発達障害児の病理と心理（改訂版）』 培風館、2005年

レポート課題

1 単位め 知的障害とはいかなる状態をいうのでしょうか。

2 単位め 知的障害の原因について述べなさい。

アドバイス

1単位め 解説

厳密に定義しようと思えばそれなりに文章化もできますが、実際の現場においては行動観察、家族からの聞き取り、知能検査（年齢が小さければ発達検査とも言いますが）などから判断することが一般的です。書籍等の記載では18歳までにその状態が確認されることと述べていることも多いのですが、何らかの原因で成育の途中で知的障害の状態になることももちろんありますが、多くは幼児期において公的機関の健診や家族自身が発達の異常に気づいて医療機関や相談機関を訪れるということが圧倒的に多いのです。

幼児期において知的障害のあることが判明すれば医学的には、「精神発達遅滞」という言葉を使います。学齢に達しても遅れの状態がはっきりしていれば、発達という言葉は取り除かれて「精神遅滞」と言われることとなります。知的障害という言葉は医学では使いません。

つまり「診断」という行為では、遅れの有無と発達上の特徴の両面から診ているということです。「知能とは何か」という定義は、その領域の専門家の数ほどあるとも言われていて、人によってそれぞれに定義の仕方が異なるとも言われていますが、一応は文章化されています。インターネット上でもいろいろな情報を得ることができますので十分な解釈を行った上で自分なりの創意工夫された表現を試みていただきたいと思います。それによってはレポート採点の評価が高まる場合があります。

2単位め 解説

実際の現場ではすべての知的障害の原因が判明するわけではありません。むしろ圧倒的に不明なことが多いのです。

遺伝的な疾患の有無や妊娠中の状態、周産期のトラブル、生後の脳障害が関与すると推測される疾患などさまざまな観点から調べても原因を特定することができないことが、圧倒的に多いのです。したがって、書籍等に記載されている原因と称されているものは、一部の特定されたものについて述べているにすぎないと思ってください。私自身の臨床経験から言っても全体の80%は原因不明に入るのではないかと考えています。

それでも原因を知ることは大事なことです。医療現場では今の医学で治療可能なものが見出されるかどうかに関心を持っています。一部の代謝異常症やホルモン分泌異常症

などは早期発見・早期治療によって知的な障害を未然に防ぐことができるのですから。それほど遠くはない将来においては遺伝子治療、胎児治療などで知的な障害を防ぐことができるようになるものと思います。

レポートでは現在判明している原因をそれぞれ記載することでよいわけですが、それは全体から見てのほんの一部でしかないことを念頭において欲しいと思います。しかも予防や治療もできないことも多いということも事実なのです。ただ診断がつくだけ、という悲しい現実が今でも厳然としてあるという事実を再認識していただけてなくなってしましますが……。

▶ 参考図書

知的障害だけに関して定義したり原因を述べたりする書籍は少ないと思います。むしろインターネットなどから情報を引き出す方が早いかと思います。

肢体不自由者の心理、生理・病理

科目コード ● 050723

担当教員 ● 鳴海 宏司 (左)
金野 公一 (右)



2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/選択

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

この科目は、「肢体不自由者の心理」と「肢体不自由者の生理・病理」の2つの部分からなります。それぞれで教科書も担当教員も異なります。そのために、レポートは1単位め・2単位め別々のレポート用紙を使用して提出してください。

科目の内容

◆「肢体不自由者の心理」の部分

肢体不自由児は、上肢、下肢あるいは体幹に運動障害があるため、歩行や階段昇降等の移動に必要な動作や、衣服の着脱、書字、食事等の日常生活に必要な基本動作に全面的あるいは部分的に困難があります。

この科目では肢体不自由児の心理について学習を進めていきますが、まず、最初にしっかり学んでもらいたいのは、人の基本的な運動発達と認知発達についてです。このことについては、ピアジェの認知発達理論の、特に「感覚-運動期」を詳しく学んでもらいますし、さらにこの時期の運動発達全般についても学んでもらいます。

また、この学習を進めるにあたって押さえておきたいことは、運動障害がどうして起きたかということが学習内容の大きな要素になっているということです。そのためにも、その障害が先天的なものか後天的なものか、後天的だとしたらいつどのような理由でその障害を負ったのか等について知る必要があると思いますが、ここで押さえるのは、脳性まひに代表されるような中枢神経系の障害による脳性運動障害なのかそれ以外なのかということにつきます。なぜなら、近年の肢体不自由を主とする特別支援学校に在籍する児童生徒の9割近くがこうした脳性運動障害児ですし、この中には運動障害の他に様々な認知面の障害が認められる子どもも少なくないからです。

平成21年3月の学習指導要領の改訂で、自立活動の第2内容の4環境の把握(2)に「感覚や認知の特性への対応に関すること。」という項目が加わりました。LD児等の発達障害の子どもたちがこの対象として考えられていることはもちろんですが、前述した、近年の肢体不自由を主とする特別支援学校に在籍する脳性運動障害児にとってもこのことは大きな意味があります。

以上のように、運動発達と認知発達の関係、脳性運動障害児の認知の特性ということに焦点を当て学習しますが、コミュニケーションの発達や学力の問題、社会性の発達についても学習していきます。

◆「肢体不自由者の生理・病理」の部分

さまざまな原因で肢体不自由という状態が起こるわけですが、どのような不自由さがあるのかということとその原因について学ぶことにします。

肢体不自由には医学的にいろいろな診断名が付けられています。それぞれ原因も違えば状態も異なるからです。また、疾患の内容も時代によって変化してきました。どのように変化しているのかについても学びます。発生頻度がほとんどゼロになった疾患もあります。

治療にもさまざまな進歩がありました。訓練方法や外科的な治療手技、あるいは診断技術にも時代により変化・進歩があります。

教科書

◆「肢体不自由者の心理」の部分（＝「病弱者の心理」の部分と同じ）

筑波大学特別支援教育研究センター／前川久男編『特別支援教育における障害の理解』教育出版、2006年

◆「肢体不自由者の生理・病理」の部分

篠田達明監修『肢体不自由児の医療・療育・教育[改訂第2版]』金芳堂、2009年（平成20年度以前履修登録者）2009年4月より、「肢体不自由者の生理・病理」部分の教科書が変更されています。以前の教科書にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1単位めと2単位めは別々のレポート用紙で出してください。

1 単位め	◆「肢体不自由者の心理」の部分 脳性まひ児に認められることのある視知覚認知の障害について代表的なものを3つあげ、それがどのような障害であるのか述べ、対応策についての自分の考えを述べよ。
2 単位め	◆「肢体不自由者の生理・病理」の部分 (1) 肢体不自由者とはいかなる状態の人たちを言うのでしょうか。 (2) 肢体不自由の原因について述べなさい。時代による違いにも言及してください。

（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より、1単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題でも2011年9月まで提出できますが、できるだけ

け今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

1単位め 解説

ここでは、中枢神経系の障害によって運動障害を起こす脳性運動障害児の中でも、特に多い脳性まひの子どもの視知覚認知について考えてもらいます。

断るまでもないでしょうが、ここで問題にしているのは単なる視覚障害ではなく、視知覚認知の障害です。脳性まひの子どもには、屈折異常や斜視、弱視等の視覚障害が認められるものも少なくありません。でも、ここではそのことを聞いているのではありません。また、知覚には視知覚のほか聴知覚、触知覚等の感覚の種類に対応したものがあありますが、ここでは視知覚に限定して考えてもらいます。

たとえ視覚機能に問題がなくても、視覚で得られた情報を適切に統合できないと様々な混乱が起こりますし、そのことによって結果的に環境への適応が阻害されかねないことにもなります。視知覚認知とはどういうことか一例をあげると、目の前に何か物体を見たとき、それが自分から見て上方に見えたのか下方に見えたのか、また、左方に見えたのか右方に見えたのか、あるいは、目の前全体が漠然と視野に入っただけなのか、それともその視野の中に特定のものを区別して見たのかという認識上の判断ができるかどうかということです。

まず、教科書の第2章と第6章をしっかりと読んでください。

レポートについては、第6章第2節を熟読すれば容易にまとめられると思います。

ここで問題にしている視知覚認知の障害は、脳性まひの多くの子どもたちに認められる障害ですが、すべての子どもに認められるわけではありません。また、脳性まひ児の視知覚障害については、この教科書のような整理の仕方がありますが、文献によって様々な整理のされ方があります。障害の状態がよくわかるよう論述されていれば教科書以外の資料に基づいて整理されてもかまいませんので、とにかく代表的なものを3つあげてください。

課題の後段の対応策については、教科書ではほとんど触れられていません。したがって、視知覚認知の障害がどのようなものであるかを整理したら、あとは、そのことにどう対応するか自分で考えてみてください。

なお、これまでの学習障害研究の中で、運動発達は知覚の発達に先行し、知覚の発達は概念の発達に先行するということが言われてきており、このこと自体は広く受け入れられています。このことから考えられることは、視知覚認知の発達にとって運動発達がいかに重要かということです。脳性まひの子どもには当然ながら運動障害がありますが、つまりはこの運動障害にどう取り組んでいくか、そこが対応策を考える上でのポイントになるでしょう。

2単位め 解説

(1)(2)ともに以下のアドバイスと教科書を熟読のうえ解答してください。

まず、(1)について。その原因は問わず肢体不自由という状態はあるわけですが。四肢や躯幹をうまく使うことができない、つまりさまざまな程度に運動上の不自由さがあるわけです。脳性マヒであればそのマヒの状態によって片マヒや四肢マヒなどと称されます。

その不自由さはマヒではなく不随意運動による場合もあります。自分の意に反して手足が勝手に動いてしまうために目的の動作を円滑に行えない状態にあるわけです。アテトーゼタイプの脳性マヒの方々を例に考えると理解できるかもしれません。

もちろん、手足が何らかの理由で切断あるいは先天的に欠損している場合もあります。

ただし、機能的に使うことができないということですので痛みのために動かすことができないというような状態は通常肢体不自由には含まれないと考えられます。

肢体不自由という状態をどのように表現すれば、原因を問わずまた不自由さのさまざまな状態を問わず、なるほどと思われる表現になるのでしょうか。

教科書や参考書あるいはインターネットなどの情報なども参考にしながら納得できる表現を考えてみてください。

(2)については、次のようなことを参考にしてください。

肢体不自由の原因は中枢神経系の障害によるものもあり、また末梢神経系の異常によるもの、あるいは筋肉の疾患や神経と筋肉の接合部位の問題によって起こることもあります。状態としてはいずれも運動障害がありますのでいわゆる肢体不自由ということになります。

ポリオの多かった時代、先天性股関節脱臼やベルテスなどが多かった時代、そして脳性マヒが多い現在など時代による原因の変遷もあります。

きわめて特殊な疾患もありますが、その辺はあまり詳しく述べる必要はないでしょう。一応代表的なものか時代の脚光を浴びていてマスコミなどにもとりあげられているものは入れるとよいでしょう。

原因には治療可能なものもありますがそうでないものもあります。可能なものの早期発見・早期治療は重要なことですのでそういう種類の疾患については注目して欲しいと思います。

疾患頻度を%で示すことも肢体不自由の原因をわかりやすくする方法かと思います。

参考図書

- 1) M.サイム著、星三和子訳『乳幼児の考える世界——目で見えるピアジェ理論』誠信書房、1983年

- 2) 高橋純編著『脳性まひ児の発達と指導』福村出版, 1983年
- 3) 三澤義一編著『運動障害の心理と指導』日本文化科学社, 1993年
- 4) 黒田吉孝・小松秀茂編『発達障害児の病理と心理』培風館, 2005年
- 5) 全国肢体不自由養護学校長会編著『特別支援教育に向けた新たな肢体不自由教育実践講座』ジヤース教育新社, 2005年
- 6) インターネット等でもかなりの情報が得られます。

病弱者の心理, 生理・病理

科目コード●050724

担当教員●鳴海 宏司(左)
金野 公一(右)



2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/選択

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

この科目は、「病弱者の心理」と「病弱者の生理・病理」の2つの部分からなります。それぞれで教科書も担当教員も異なります。そのために、レポートは1単位め・2単位め別々のレポート用紙を使用して提出してください。

科目の内容

◆「病弱者の心理」の部分

病弱児とは、学校教育の立場からは、病気が長期にわたっているもの、あるいは長期にわたる見込みのもので、その間、継続した治療または生活規制を必要としている子どものことを言います。当然ながら、こうした子どもたちは、入院生活や闘病生活の中で絶えず痛みや不安と向き合い、場合によっては死と向き合うこともあります。したがってこうした子どもの心理や行動特性を考えると、治療や入院に伴う苦痛体験や遊びの欠如などからくるストレスと、そのことを原因とした退行行動や睡眠や食事の異常、頭痛や腹痛などの身体症状を考慮する必要があります。

ここでは、こうした子どもたちのQOL (Quality of life) を向上させるために、心理的側面からどのような支援が必要かについて、病弱児の認知スタイルとその発達的変容の可能性に視点をあてて学習します。

◆「病弱者の生理・病理」の部分

病弱とはどのような状態を言うのでしょうか。病気の状態にあるということは当然でしょうが、病名で言えばどのような疾患なのかを学びます。また、やはり肢体不自由と同じように疾患の内容にも時代とともに変化があります。小児慢性特定疾患治療研究事業に該当するような難病もあります。

今はまだ広くは認知されていませんが化学物質過敏症というものがあります。また、さまざまな脳障害によって植物状態という厳しい現実におかれている子どもたちもいます。この子どもたちについても病弱という枠内で学びたいと思います。さらに身体虚弱という言葉もありますが、どのような状態にある子どもたちなのかについても学びます。

教科書

◆「病弱者の心理」の部分（＝「肢体不自由者の心理」の部分と同じ）

筑波大学特別支援教育研究センター／前川久男編『特別支援教育における障害の理解』教育出版，2006年

◆「病弱者の生理・病理」の部分（＝「病弱教育」に同じ）

横田雅史監修・全国病弱養護学校長会編著『病弱教育Q&A（part 1）——病弱教育の道標』ジヤース教育新社，2001年

レポート課題

1 単位めと 2 単位めは別々のレポート用紙で出してください。

1 単位め	病弱児にとっての「学習性無気力(Learned Helplessness)」とはどういうことをいうのか、また、このことと「コントロール感」とはどのような関係にあるか、自分の考えを述べよ。
2 単位め	<p>◆「病弱者の生理・病理」の部分 以下の2つのことについて説明しなさい</p> <p>(1) 病弱や身体虚弱と言われている子どもたちとはどのような状態にある人たちを言うのでしょうか。</p> <p>(2) 最近ではどのような病気の子どもたちが（疾患の種別）病弱教育の対象になっていますか。</p>

（平成19年度以前履修登録者）2008年4月より課題が一部変更になり、『レポート課題集2007』記載の課題は2009年9月で受付を締め切りました。

（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より、1単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題でも2011年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

1 単位め 解説

近年の医療技術の進歩や専門性の分化に伴い、特別支援教育（病弱を主とする）が対象とする病弱児の範囲が広がっています。一方、この医療技術の進歩は、病気によってはこれまでのような長期にわたる高度の生活規制を必要としなくなるということも生み出してきました。また、社会情勢の変化に伴って病弱児のQOLを大切にす治療方針がとられるようになり、病気のため医療ケアを必要とされる時期でも、できるだけ通常に近い生活を送らせるような取り組みがなされています。その結果、例えば、かつては小児慢性特定疾患の子どもたちのほとんどは病弱を主とする特別支援学校に学んでいましたが、現在では、この子どもたちのおよそ85%は通常の小・中学校で学

んでいるといわれています。

こうした情勢の中、今、病弱を主とする特別支援教育に求められることは、単に病気の期間の教育保障だけではなく、病弱児自身にメンタルな面からの自己治癒力を促すこと、日常生活を送る上でセルフケアをしっかりと実践できるための支援を行うことであると思われる。教科書で述べられている「ヘルス・エンパワーメント＝自己効力感＋ヘルス・リテラシー」というモデルについては、このことと関連させながら読んでください。要するに、現実の健康状態の改善のためには、自己効力感に代表されるような心理・感情的側面とヘルス・リテラシーとして包括される認知的側面が必要だということですし、「学習性無気力」や「コントロール感」は、心理・感情的側面の一部をなしています。

したがってレポートを作成するに当たっては、自己効力感との関連をしっかりとおさえてまとめる必要がありますし、健康行動とか発達心理について参考文献に目を通し、その意味内容を十分に踏まえることが肝要です。

教科書の第2章と第7章をしっかりと読んでください。

このレポートをまとめるにあたっては、第7章第2節を特によく読んでください。

教科書では、「コントロール感」について“…病弱児の行動・情緒を捉える時は、健康に関する統制感（Health Locus Of Control:HLOC）が重要になるであろう。…”と述べられていますが、このことについて補足的な説明をしておきます。

まず、「健康に関する統制感」については、「主観的健康統制感」と述べられている文献もありますが、このことは、健康の統制に関して異なる二つの立場の、よりどちらに近いところに立つのかという統制の位置の評価ということができます。一つの立場とは、健康になるためには、自分自身がそのための努力をすることが大きい意味を持つと考える、いわゆる内的な統制感を持つ立場です。もう一つは、健康かどうかということは、ある種運命的なことであり、健康になるためには、医療従事者や自分を保護する立場の者の能力や努力によることが大きい意味を持つという、いわゆる外的な統制感を持つ立場です。

教科書で述べられている「内的コントロール」と「外的コントロール」については、上記のことを参考にすることでよく理解できるものと思いますし、それを基にして「学習性無気力」との関係を考えてください。

2単位め 解説

(1)(2)ともに以下のアドバイスと教科書を熟読のうえ解答してください。

まず、(1)について。学校教育年齢で言えば少なくとも定義と言われているものはあります。これこれこういう状態にある場合は特別な教育環境を与える必要がある、ということですが、それらはどのような疾患でどの程度の症状の重さなのでしょう。同じ疾患でも病状が軽ければ一般の教育環境で対応できるのですが、どの

程度の重さから対象になるのでしょうか。

病気の治療を受けながら同時に一般の子どもたちと大きな差はない教育を与えていかなければなりません。その多くは医療機関に併設ということですが、一方では病弱養護学校というものもあります。両者の間に疾患の種類や病状の程度についても違いはあるのでしょうか。

時代の流れの中でも疾患の種類が違ってきているのでしょうか。

脳性マヒなどは肢体不自由教育と病弱教育のどちらにも入っていますが、これは何故なのでしょう。

すべての疾患に共通して言えることは、何故一般の教育環境ではなく特殊な環境を用意しなければならないのか、ということです。疾患を超えた何らかの共通状態というものがあるのでしょうか。

特にその共通の状態を詳しく述べていただくと、レポートの評価が高まります。

(2)については、次のようなことを参考にしてください。

小児疾患の中の喘息や慢性腎疾患などは病弱教育の対象として以前からありますが、最近ではさまざまな特殊な疾患も含まれてきています。いわゆる難病と言われる疾患を抱えている子どもたちもいます。

化学物質過敏症というような今までであれば病気とは認められなかった子どもたちもいます。あるいは交通事故などで寝たきりの状態（いわゆる植物状態という言葉もありますが）にある子どもたちはどうでしょうか。教育可能と判断されている子どもたちだけが教育の対象になるのでしょうか。

特に最近注目されている、いわゆる軽度発達障害（私としてはあまり好ましくない表現であると思っていますが）の子どもたちは、病弱教育の対象になるのでしょうか。知的障害でもなければましてや肢体不自由でもありません。それで残った病弱に入れるのかも知れません。

参考図書

- 1) 横田雅史監修 全国病弱養護学校長会編 『病弱教育Q & A (part I) ——病弱教育の道標』 ジアース教育新社, 2001年
- 2) 横田雅史・西間三馨監修 全国病弱養護学校長会編 『病弱教育Q & A (part V)』 ジアース教育新社, 2003年
- 3) 田中農夫男他編著 『障害者の心理と支援』 福村出版, 2001年（「内部障害, 病弱・虚弱者の心理」の章）
- 4) 谷川弘治他編著 『病気の子どもの心理社会的支援入門』 ナカニシヤ出版, 2004年

- 5) 黒田吉孝・小松秀茂共編『発達障害児の病理と心理』培風館, 2005年
- 6) 中村尚樹著『脳障害を生きる人びと』草思社, 2006年
- 7) <http://www.nise.go.jp/portal/elearn/shiryou/byoujyaku/supportbooklet.html>

聴覚障害者の心理

科目コード ● 050725

担当教員 ● 庭野賀津子



2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/選択

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

本科目では、聴覚障害児・者の心理を理解し、適切な支援をしていくために必要な基礎知識を得ることを目的とします。聴覚障害には、聴力障害だけではなく耳鳴や補充現象など、さまざまなものが含まれますが、この科目では聴力障害について扱うこととします。

まず、聴覚障害がもたらす聞こえの世界がどのようなものであるのか、そしてその障害によりどのような制約が生じ得るのかを学びます。そして、その制約が、言語発達や認知発達、社会性の発達にどう影響するのか、また、社会生活上どのような支障があるのかを考えます。

聴覚障害児・者が抱える問題は、必ずしも障害の程度に起因するものだけではなく、社会システムや、周囲の人々の理解や対応方法等に起因するものもあり、それらの改善により、変化する可能性があります。そのような視点から、支援のあり方について自ら考える力を養ってほしいと思います。

教科書

中野善達・吉野公喜著『聴覚障害の心理』田研出版、1999年

レポート課題

1 単位め

課題1・2の両方について解答してください。

課題1 教科書の第1～5章を熟読し、聴覚障害児の知的発達、言語発達について1,200字以内でまとめてください。

課題2 あなたが健聴者である場合、耳栓をして難聴の擬似的状況を作り、1時間程度、住居の中で過ごしてみてください（事故防止のため、耳栓をしたままでの外出はしないでください）。そして、難聴であることの心理的影響、コミュニケーションへの影響、自分の行動面の変化等、気づいたことを書いてください。

また、あなた自身が難聴者である場合は、日常、難聴であることに起因していると思われる心理状態、コミュニケーションへの影響、行動の特徴等、気づいたことを書いてください。

いずれの場合も800字以内でまとめてください。

アドバイス

まず、レポートを書き始める前に、教科書全体を読み通してください。聴器の機能・構造に関する基礎的事項や聴覚障害については、参考図書や他の文献等も参考にして理解を深めておいてください。そして、各課題に取り組む際には、教科書の該当部分を精読するとともに、アドバイスにしたがってまとめてください。

聴覚障害者のさまざまな能力の発達や心理については、聴覚障害という障害特有の特徴も考えられる一方、基本的には健聴児・者の発達や心理がベースとなっており、両者に大きな違いや隔たりがあるわけではありません。つまり、聴覚障害児・者を理解する際には、まず、健聴児・者の発達や心理を理解しておく必要があります。聴覚障害者の心理を学ぶにあたって、発達心理学やその他の心理学全般についても興味をもち、さまざまな文献を通して学んでおいてほしいと思います。また、聴覚障害児・者と接する機会のある人は、ぜひ、積極的にかかわり、そこから多くを学んでください。

なお、レポートを作成するにあたり、指定の教科書や参考図書以外にも参考にした文献がある場合は、レポートの最後にその文献の著者名、書名、出版社、出版年を忘れずに書いてください。また、教科書やその他の文献の文章をそのままレポートに記述することは避け、自分なりの表現に直して書いてください。やむを得ずそのまま引用する際には、引用箇所をかぎ括弧で括るとともに引用文献を明記して、必ず引用であることがわかるようにしてください。

1単位め 課題1 解説

聴覚障害児の知的発達にはどのような特徴があるのでしょうか。また、聴覚障害児の知能を測定するためにはどのような検査方法があるのでしょうか。

聴覚障害児の言語発達にはどのような特徴があるのでしょうか。前言語的コミュニケーション、音声・構音の特徴、話しことばの発達、読み書き能力の発達に分けてまとめてみましょう。

1単位め 課題2 解説

実際には、耳栓をして音が小さく聞こえる状態イコール難聴の状態、というような単純なものではありません。難聴の種類にもよりますが、たとえ音が聞こえてもその音は歪んで聞こえるため、何の音なのか弁別することが難しいという問題があります。そのため、残念ながら耳栓の使用だけでは本当の意味での難聴疑似体験とはいえないということを踏まえておいてください。

心理的影響としては、たとえば、周囲の音や人の声がよく聞こえないことへの不安などが考えられるでしょう。

コミュニケーションについては、同居している家族のいる人は、その家族と会話をしてみてください。一人暮らしの人はテレビやラジオなどをつけて音声を聞いてみてください。

自分の行動の変化としては、ドアをいつもより大きな音をたてて閉めてしまう、自分の足音が聞こえないのでどの程度の足音で歩けばいいのかわからない、などがあげられるでしょう。

2単位め 解説

(1)聴覚障害児は乳幼児期には親子関係において、また、幼児期、児童期には集団生活における子ども同士の関係において、コミュニケーションの取りにくさからつまづきのあることがあります。そのような制約下において、社会性の発達にはどのような問題があるのか、また、それらはどのように克服されていくのか、教科書をよく読むとともに、自分なりに考えてみてください。

(2)聴覚障害児において、コミュニケーションの障害がパーソナリティの形成にどのような影響があるのか、教科書をよく読み、考えながらまとめてみましょう。

(3)ろう文化とアイデンティティの獲得について、まとめてください。特に、アイデンティティの獲得については、教科書だけではなく、発達心理学関連の文献も参考にしてください。

参考図書

永瀬正昭著『聴覚と言語の世界（改訂版）』東北大学出版会、2002年

聴覚障害者の生理・病理

科目コード●050726

担当教員●永瀨 正昭



2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
資格/選択

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

人間らしい生活をする上で、聴覚は視覚よりも重要です。首^{もうろうあ}聾^あ啞^あの三重苦に耐えたヘレン・ケラーは聴覚の回復を最も切望したと言われています。

聴覚は単に音の知覚だけでなく、言語にも深く関与していることは説明するまでもありません。そこで「聴覚障害」を理解するためには、聴え、音声、言葉などを含めて幅広く勉学する必要があります。ここでは音の性質、聴覚の仕組み、言語発達の条件、難聴、中枢性聴覚障害といった医学的な側面をとりあげることにします。

教科書

永瀨正昭著『聴覚と言語の世界（改訂版）』東北大学出版会、2010年（第7刷）
（平成20年度以前履修登録者）2008年に版が新しくなり一部修正が加えられていますが、以前のものも今年度の課題に対応しています。

レポート課題【説明型レポート】

1 単位め

- (1) 音の性質（約1,000字）
- (2) 難聴の原因（約1,000字）

2 単位め

- (1) 言語環境と言葉の発達（約1,000字）
- (2) 聾教育の過去と現在（約1,000字）

（平成22年度以前履修登録者）2010年4月および2011年4月に、レポート課題が変更されました。『レポート課題集2009』記載の課題は2011年9月まで、『レポート課題集2010』記載の課題は2012年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

最近の耳科学の進歩は著しく、補聴器の性能も年々向上し、さらに人工内耳の出現で先

天^{ろう}聾者も聴覚を活用することが可能になりました。その結果、特別支援（聾）学校では補聴器が役立たない児童は人工内耳を装着するようになってきました。また画像診断技術が発達して脳科学も大きく進歩したので、脳の中における聴覚と言語機能の関係が徐々に解明されてきました。それで「聴覚障害」を理解するには、聴覚の生理・病理以外に聴覚補償（補聴器、人工内耳）や聴覚障害児教育、さらには言語と関係した脳機能についても学習する必要があります。

まず教科書を一通り読んで、「聴覚」を全般的に理解すると同時に聴覚と関連する言語や脳機能についても学習してください。聴覚障害児教育に関与された方は自分の経験と併せて検討されるとよいでしょう。

1単位め 解説

(1) **音の性質**：これは教科書の p. 7～16を読んでください。音の基本的な性質として「大きさ」（強さ）と「高さ」（周波数）をまず理解し、次にその他の性質として、速さ、反射、屈折、屈曲、吸収、明瞭性などを学習してください。

(2) ①**難聴の原因**：p. 121～134を読んで、遺伝性から後天性までの難聴原因とその特徴（症状）を理解し、難聴が発現する仕組みも勉強してください。さらに難聴児の重複障害（p. 143）にも関心を持ってください。

2単位め 解説

(1) **言語環境と言葉の発達**：幼児の言語発達には「話し言葉の環境」が大事です。教科書の p. 108～116を読んでください。言語は聴覚の影響を受けて発達するので、幼児期に不良な言語環境で育つと、その後の発話は不明瞭のまま、思考言語も発達しません。この点に着目して、聴覚と言語の関係を検討してください。

(2) **聾教育の過去と現在**：教科書の p. 148～156を参考にしてください。ヨーロッパでは16世紀から聾教育が芽生えたといっていますが、日本では明治以降です。当初は手話や口話法であり、戦後は補聴器が活用されるようになり、最近では人口内耳も普及しています。

参考図書

- 1) 船坂宗太郎著『回復する聾』人間と歴史社、1996年
- 2) 日本聴覚医学会編・立木孝監『聴覚検査の実際』南山堂、1999年
- 3) 小寺一興編『補聴器の選択と評価』（図説 耳鼻咽喉科 New Approach）メジカルビュー社、1996年
- 4) 本庄巖編著『人工内耳』中山書店、1999年
- 5) 永瀧正昭著『障害者のリハビリと福祉（改訂版）』東北大学出版会、2010年

知的障害教育

科目コード●050727

担当教員●阿部 芳久



4単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
資格/選択

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

特別支援教育の対象は、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病虚弱、情緒障害、自閉性障害、言語障害、学習障害、注意欠陥多動性障害の障害をもつ児童生徒です。知的障害児以外の障害児に対する教育課程は、基本的には普通の教育に準じた教育課程になっています。ところが知的障害児の教育課程は、普通の教育の教育課程に基礎を置いています。知的障害児の障害の特性や社会参加・自立という彼らの将来の生活を実現するために歴史的に特有の教育課程となっています。この科目では、知的障害児を対象とした教育課程および指導のねらいや指導方法について学習します。

教科書

阿部芳久著『知的障害児の特別支援教育入門』日本文化科学社、2006年

レポート課題

1 単位め

知的障害者の特別支援教育における「領域・教科を合わせた指導」（「日常生活の指導」「遊びの指導」「生活単元学習」「作業学習」）のそれぞれの指導形態について指導上の留意点について述べなさい。

2 単位め

特別支援学校小学部高学年の中度知的障害児を対象として、「お好み焼きパーティーを開こう」という生活単元学習を設定した（授業時数30時間程度）。この単元の「指導目標」を示し、児童が意欲的に取り組めるような「学習活動」を設定せよ。児童の実態や活動の流れを考慮して単元全体の「学習活動」を順序よく時系列に配列せよ。

3 単位め

知的障害児の特別支援教育における国語科、算数・数学科の指導目標およびそれぞれの指導の基本的視点について述べよ。また、知的障害児の特別支援教育における自立活動の指導目標と指導内容について述べよ。

4 単位め

特別支援学校中学部の中重度知的障害生徒を対象として、「ファーストフードショップに出かけよう」という生活単元学習を設定した（授業時数30時間程度）。この単元の「指導目標」を示し、生徒が意欲的に取り組めるように国語科と数学科の指導内容を中心に「学習活動」を設定せよ。生徒の実態や活動の流れを考慮して単元全体の「学習活動」を順序よく時系列に配列せよ

（平成22年度以前履修登録者）2011年4月よりレポート課題が変更されました。『レポート課題集2010』の課題に取り組むことも2012年9月まで可能ですが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

1単位め
解説

まずテキスト p. 31～p. 102を熟読してください。「日常生活の指導」であるなら p. 50, 「遊びの指導」であるなら p. 59, 「生活単元学習」であるなら p. 73, および「作業学習」であるなら p. 96の内容を参考にしてください。

2単位め
解説

まず、児童にどのようなスキル・態度・意欲等を身につけさせたいかを考え「指導目標」を設定してください。その後、テキスト p. 64の指導例5の形式を参考にして、「学習活動」を記述してください。

3単位め
解説

テキスト p. 103～p. 163および p. 195～p. 216を熟読してください。「国語科」の指導の基本的視点については児童生徒の発達レベル（「話しことばが獲得されていない児童生徒」「話しことばによるコミュニケーションが拡大しつつある児童生徒」「話しことばで日常的なコミュニケーションが行える児童生徒」）に応じて記述してください。レポート枚数が制限されていますので、最も基本的な視点を整理して記述してください。

4単位め
解説

まず、児童にどのようなスキル・態度・意欲等を身につけさせたいかを考え「指導目標」を設定してください。その後、テキスト p. 141の指導例23の形式を参考に、「学習活動」を記述してください。

参考図書

- 月刊雑誌『実践障害児教育』学習研究社
- 月刊雑誌『特別支援教育研究』東洋館出版社
- 季刊雑誌『特別支援教育の実践情報』明治図書

文部科学省『特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 高等部学習指導要領』海文堂出版, 2009年

文部科学省『特別支援学校学習指導要領—総則等編』教育出版, 2009年

文部科学省『特別支援学校学習指導要領—自立活動編』海文堂出版, 2009年

2009年3月告示の「特別支援学校 学習指導要領」「特別支援学校 学習指導要領 解説」は、文部科学省ホームページなどにも掲載されています。

肢体不自由教育

科目コード●050719

担当教員●鳴海 宏司



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格/選択

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

この科目で学習することは、まず、肢体不自由教育の対象になる子どもたちとはどのような子どもたちであり、その子どもたちの教育的な課題は何かということです。そして、そのための教育課程はどのように編成されているか、また、教育内容・方法等の特徴としてどのようなことがあげられるかについても学習します。

中でも領域としての「自立活動」について重点的に取り組んでほしいと考えています。なぜならば、「自立活動」について学ぶことは、子どもにとって“障害とは何か”，“自立とは何か”を学ぶことになり、なによりも「自立活動」には心理的・身体的・社会的な活動性を求めるための幅広い内容が盛り込まれており、特に肢体不自由教育にあっては、教育課程の中核に位置するものと考えていいからです。「自立活動」の指導をどのように実践できるかによってこの教育についての専門性が計られると言って過言ではありません。

もう一つ重点的に取り組んでほしいのは「個別の指導計画」についてです。「個別の指導計画」は、平成11年改訂の特別支援学校学習指導要領では、重複障害者の指導と「自立活動」について作成することになっていましたが、平成21年の改訂で、在籍する児童生徒一人一人の教科・領域等について作成することとされました。「個別の指導計画」の必要性・重要性がいよいよ増してきたと思えます。したがって、ここでは、この「個別の指導計画」をどのように作成したらよいか、授業に生かすとはどういうことか等について改めてしっかり学んでほしいと考えています。

また、現在の特別支援学校が担っていかなければならない機能として、地域のセンター的役割を果たすことが挙げられます。このことは、特に肢体不自由という障害種にとらわれずに考えなければならないことですが、障害種が何かにかかわらず、今後の特別支援学校に求められ続けることですので、このことについてじっくりと学習していきます。

さらに、「個別の教育支援計画」とは何かについても学習していきます。このことも、特に肢体不自由という障害種にかかわらず取り組まなければならないことなのですが、学

校卒業後の自立や社会参加のための支援はどうあらねばならないかを考え、そのために何をどのように計画すべきか、具体的な策定方法について学習していきます。

教科書

日本肢体不自由教育研究会監修『肢体不自由教育の基本とその展開』(肢体不自由教育シリーズ1)、慶應義塾大学出版会、2007年

(平成20年度以前履修登録者) 2009年4月より上記教科書に変更になりました。以前の教科書『特別支援教育に向けた新たな肢体不自由教育実践講座』にもとづいて課題を提出することは可能です。

レポート課題

1 単位め

「自立活動」と「養護・訓練」の目標についてその違いを説明しなさい。また、現行の「自立活動」の内容の6つの区分について詳しく説明しなさい。

2 単位め

「個別の指導計画」を作成するにあたり、以下のことについて述べよ。
1 作成する意義は何か
2 書式を検討するときに留意すべきことは何か
3 指導目標を検討するときに必要な視点は何か

(平成21年度以前履修登録者) 2010年4月より、1～2単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題でも2011年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

「自立活動」とは、特別支援教育の教育課程に設けられている独特の領域です。なぜ、特別支援教育にだけ、領域としてこの「自立活動」が設けられているのかをよく考えてください。そうすればこの領域が何を目標としているか、その達成のために教師に何を求めているのか自ずと理解できるはずです。

また、この「自立活動」の前身は「養護・訓練」といわれていました(昭和46年の学習指導要領で設けられた)が、平成11年の学習指導要領の改訂で「自立活動」と変更されました。なぜ「自立活動」と変更されたのか、この点についてよく学習してください。単に名称が変更されたのではなく、「障害」の枠組み(捉えかた)が変わったことと、目指すべき自立とは何かということをしっかり押さえてほしいと思います。

「個別の指導計画」については、前述の“科目の内容”の中でも述べているとおり、現行の学習指導要領では重複障害者のみならず個々の児童生徒について、また、自立活動の

みならず各教科等にわたり作成することになっていますが、実は、このことは全国のほとんどの特別支援学校で今回の改訂を待つまでもなくすでに取り組み、活用されてきたことです。つまり、前回の改訂直後から、特別支援学校は、ますます進行する児童生徒の障害の重度・重複化、多様化に対応すべく、一人一人に応じた指導計画を作らざるを得なかったということなのです。

また、「個別の指導計画」は、児童生徒の実態を的確に把握した上で、各教科・領域等の特質を十分踏まえ、教職員全体での共通理解の下に作成されるものであり、そのためにも書式や内容を十分検討しなければなりません。ただ、そのときに忘れてほしくないことは、綿密・詳細・膨大な計画を求めるのではなく、使い勝手のいいものを作ろうということです。そのことを念頭に置いて課題に取り組んでください。

1単位め 解説

まず、最初にお詫びとおことわりをさせていただきますが、現在使用している教科書は、現行の学習指導要領（平成21年3月告示）に完全には対応できていません。したがってこの課題については教科書と一緒に、参考書、特に「特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編」（平成21年6月発行）をよく読んでください。申し訳ございませんがよろしく願いいたします。

この学習指導要領解説をお読みいただくとわかると思いますが、現行の「自立活動」の目標の一部が改められていますし、内容もこれまでの5区分22項目から6区分26項目になっています。ただし、この課題の前段については教科書第1章第4節を読むことで十分理解できます。「養護・訓練」と「自立活動」の目標のどこがどう違うか比較検討してみてください。そうすることで「自立活動」の目標をより鮮明に理解できるはずです。なお、「養護・訓練」の目標について、教科書巻末の用語解説では「……調和的な基盤を培うこと……」（p.259「養護・訓練」の下から2行目）となっていますが、「……調和的発達の基盤を培うこと……」の誤りです。

内容の6つの区分については、新しく区分として加わったものや項目として加わったものがあります。その中でも特に肢体不自由教育にとって重要なものは何かよく考えてみてください。また、単に整理されている項目を知識として覚えるだけでなく、一人一人の子どもの障害による学習上又は生活上の困難に応じて内容を選択し、組み合わせ、さらには他の指導と関連させながら指導するとはどういうことなのか、よく考えながら論述してください。

2単位め 解説

ここでは教科書の第2章第1節をよく読んでください。また、教育課程との関連も考える必要がありますので第1章第2節も読んでください。

課題の1の意義について考えるとき、これまでも教育課程に基づいた指導計

画は編成されていましたが、今なぜあえて「個別の指導計画」が求められるのか、そのことをまず考えてください。そして、子どもたち一人一人の指導計画を立てることで何がどのように改善されるのか併せて考えてください。そうして整理されたことが意義に他ならないと思います。

課題の2の書式については、学習指導要領等で具体的に示されているわけではなく、実際にはそれぞれの学校で検討され作成されています。この書式の検討でまず最初に考えてほしいことは、実際の授業実践に必要な情報を、的確にコンパクトに記載するための書式はどうあるべきかということです。さらに、入学から卒業までの継続した指導を展開するために必要な項目は何かということであり、次期の指導に引き継ぐべきポイントをどう伝えるかということです。

課題の3の指導目標の検討とは、収集した実態の情報をどう読み解いて指導目標の設定に至るのかということです。子どもたちの実態は多様で、いろいろな側面から様々な課題が見えてくるものと思われそうですが、そのときに、当面の課題として押さえておくべきことは何か、今優先して取り組むべき課題は何か等を整理検討し目標化していくこととなります。そのときに必要な視点としてどんなことがあげられるでしょうか。そのことを論述してください。

参考図書

- 1) 全国肢体不自由養護学校長会編著『特別支援教育に向けた新たな肢体不自由教育実践講座』 ジアース教育新社, 2005年
- 2) 成瀬悟策著『臨床動作学基礎』学苑社, 1995年
- 3) 文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説—総則等編—』教育出版, 2009年
- 4) 文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説—自立活動編—』海文堂出版, 2009年
- 5) 村田茂著『動作訓練入門』学苑社, 1993年
- 6) 坂本竜生他編著『新・感覚統合法の理論と実際』学習研究社, 1997年
- 7) 文部科学省編『肢体不自由児のコミュニケーションの指導』日本肢体不自由協会, 1994年
- 8) 国立特殊教育総合研究所編著『肢体不自由のある子どもの自立活動ガイドブック』ジアース教育新社, 2006年

病弱教育

科目コード●050729

担当教員●鳴海 宏司



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格/選択

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

病弱を主とする特別支援学校や学級では、慢性疾患、悪性新生物等により継続して治療や生活規制が必要な子どもたち、重度重複障害の子どもたち、また、身体虚弱の状態が持続するため生活の管理を必要としている子どもたちが学んでいます。

こうした子どもたちの教育にあたっては、子ども一人一人をよく見つけ、子ども個々のその時々健康状態、治療等の状況、これまでの学習への取り組みの状況、心理的な安定度等に十分配慮しながら進めることが肝要です。また、自主性、積極性、社会性を培うこともこの教育の大きな役割になりますが、なによりも大事なことは、子ども個々の年齢や発達段階に応じて病気を正しく理解させ、治療に前向き取り組めるような気持ちを作り上げることにあります。

ここでは、そのための教育課程がどのように編成されているか、教科、自立活動等の領域を具体的にどのように展開すべきか、また、重度重複障害児の教育内容・方法がどうあるべきかについて学びます。併せて、病弱教育にとって特に大事である教育と医療の連携について、その必要性、具体的なあり方等についても学習します。これについては現在、病弱を主とする特別支援学校・学級が果たしている具体的内容を手がかりにして学習しますが、医療との連携ばかりでなく、行政や福祉等との連携の在り方を含め、今後の特別支援教育の中で、病弱を主とする特別支援学校・学級に何が求められているかについても学んでいきます。

履修登録上の注意

この科目を履修する方は、原則として「病弱者の心理、生理・病理」はセットで履修することが望ましいものです。また、この科目と「病弱者の心理、生理・病理」を履修する方は、原則として「病弱教育総論」を履修することはできません。

教科書

横田雅史監修，全国病弱養護学校長会編著『病弱教育Q & A（Part I）——病弱教育の道標』ジヤース教育新社，2001年

レポート課題

1 単位め

通常の小学校から，病弱を主とする特別支援学校に転入してくる児童の指導について，以下のことに解答しなさい。

- 1 転校時，受け入れるにあたって留意すべきことについて述べよ。
- 2 体験活動や実技を伴う教科の指導で工夫すべきことは何か。理科，図工，体育，音楽，家庭科の中から2つの教科を選び，工夫する内容を具体的に述べよ。

2 単位め

次の課題1と課題2のいずれかを解答しなさい

課題1 重度重複障害教育における児童生徒の実態把握の重要性について述べよ。また，実態把握の内容，方法，配慮事項等について述べよ。

課題2 慢性腎疾患の児童生徒と気管支喘息の児童生徒の自立活動の指導にあたって，それぞれについての目標と指導内容をどのように設定したらよいか，考えを述べよ。

（平成19年度以前履修登録者）2008年4月より課題が一部変更になり、『レポート課題集2007』記載の課題は2009年9月で受付を締め切りました。

（平成21年度以前履修登録者）2010年4月より，1～2単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題でも2011年9月までは提出できますが，できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

それぞれの課題をまとめるにあたって，対象とする児童生徒の障害の状態や学部・学年を具体的に想定して取り組んでみてください。

1単位めは，通常の小学校から転入する児童ですから，いわゆる準ずる教育課程での対応が可能な児童として考えてください。病弱を主とする特別支援学校のほとんどは医療機関に併設されていたり隣接していたりします。したがってその医療機関への入退院に応じて学校への転出入が生じますが，年度当初に多いことはもちろん，学期の途中でも少なからずあります。課題1は，こうした病弱を主とする特別支援学校が避けて通れない転出入にかかわる課題です。また，こうした児童は当然ながら入院治療という目的がありますので，なんらかの生活規制・行動規制があると考えなければなりません。課題2はそうした状況にある児童の教科の指導についての課題です。

2単位めの課題1は，障害が重く，病弱のほかにも障害があり，主として自立活動の内

容による教育課程での対応が必要な児童生徒として考えてください。その場合、重複する障害がどのようなものであるかによって実態把握の内容や方法が変わってくることもあり得ます。したがって、病弱のほかに何らかの任意の障害を想定し、それに応じて内容、方法、配慮事項等をまとめてもいいと思います。むしろその方がより実践的かつ具体的なまとめ方ができるかもしれません。

課題2は、学部・学年とか、どの教育課程で指導しているかというようなことは特定していませんが、疾患を特定しています。ただし、課題をまとめるにあたっては、準ずる課程の児童生徒を想定するとまとめやすいと思われます。ここでは児童生徒の実態については触れていませんので、病気の状態や生活規制の程度等について任意で想定し、それに応じた目標と指導内容を考えてください。任意で考えるといろいろな状況を想定し、それに応じて様々な目標が考えられるのですが、ここでは目標を1つか2つに絞り、それに対応した指導内容をいくつか考えるということでもまとめてください。

1単位の解説

教科書の第Ⅱ章1, 2を中心によく読んでください。

少し無理な注文かもしれませんが、課題1についてまとめる前に、もし、自分がこのような状況になったとしたら、どんなことが不安で、学校に望むことはどんなことだろうか想像してみてください。その上で、学校として、担当教師として何をしなければならないか考えてほしいと思います。

教科書では触れていませんが、現在の特別支援教育においては、子ども一人一人のニーズを把握して、関係者・機関の連携による適切な教育的支援を効果的に行うため、教育上の指導や支援を内容とする「個別の教育支援計画」の策定、実施、評価（「Plan-Do-See」のプロセス）が重視されています。このため通常の小・中学校にも特別支援教育コーディネーターが置かれており、そのコーディネーターが中心となり校内、保護者、校外関係諸機関等との連絡調整役を果たしています。ここで対象になっている児童の前籍校で「個別の教育支援計画」が作成されているかどうかは別にしても、「個別の教育支援計画」が基本的にどのように作成されているかを知ることで、課題1のまとめの役に立つと思われます。参考書等をあたってみてください。

課題2については、体験的な活動や実技を伴う指導の工夫について詳しく述べられているページがありますので特によく目を通すことが必要です。

この課題2をまとめるにあたって最初に留意してほしいことは、対象になる児童の病類がどのようなものであるかということです。ここでは病類を特定していませんので、このような病類にはこのような配慮・工夫を、というようにいくつかの病類をあげて整理すると具体的でわかりやすいレポートになると思われます。

また、学習環境についても考えてください。病弱を主とする特別支援学校の学年ごとの

在籍数は決して多くないのが普通ですし、病状によって厳しい生活規制を必要とする場合もあるでしょう。教科の特質や指導内容によっては、あまりに小さな集団だと学習効果があがらないこともありますので、そういった場合の学習環境の整え方についても考える必要があるでしょう。

教科書には一般論が述べられています。丁寧に読んで上でよく考えてください。そして自分なりの工夫点を論述してください。

2単位め 解説

ここでも教科書の第Ⅱ章をよく読んでください。特に第Ⅱ章の5と7を詳しく読んでください。

課題1は、実態把握について聞いています。指導計画を立てる場合、誰もが、疑いもなく、まず最初に実態把握に取り組みます。でも、それはなぜでしょう。この課題1で求めているのは、この、なぜ実態把握が必要なのかという根本的なことをしっかり考えてもらうところにあります。教科書では、このことだけについて焦点をあてて述べているところはありませんが、教科書ばかりに頼らず、自分なりによく考えて論述してください。その上で方法、内容を考えると、なぜそのような方法が必要なのか、内容としておさえるべきことは何かについて整理できると思います。なお、教科書だけでなく他の参考書にも目を通し、発達診断などを含め具体的な方法、内容を検討することで配慮事項も見えてくると思います。

課題2については、自立活動の「個別の指導計画」の作成の手順に沿って考えてほしいと思います。特に第Ⅱ章5にはこのことについて詳しく述べられておりますし、病気の種類別の課題例や実践例も載せられています。ただ、この課題に取り上げている慢性腎疾患と気管支喘息については他の参考図書にもあたり、学校生活上の配慮についてもう少し詳しく調べてみてください。そのことによって指導内容として考えるべきことがもっと見えてくるものと思います。

なお、教科書に掲載されている「自立活動の内容」(99ページ)は、平成21年3月の改訂版ではありません。改訂された中身については新しい学習指導要領で確かめていただきたいと思いますし、インターネットでも知ることができます。

参考図書

- 1) 横田雅史監修、全国病弱養護学校長会編『病弱教育Q&A PARTⅢ』ジヤース教育新社、2004年
- 2) 横田雅史、西間三馨監修、全国病弱養護学校長会編『病弱教育Q&A PARTⅤ』ジヤース教育新社、2003年
- 3) 文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説—総則等編—』教育出版、2009年

- 4) 文部科学省 『特別支援学校学習指導要領解説—自立活動編—』 海文堂出版, 2009年
- 5) 川村秀忠他著 『発達の気がかかりな乳幼児の早期発達診断』 川島書店, 1982年
- 6) <http://www.nise.go.jp/portal/elearn/shiryou/byoujyaku/supportbooklet.html>

聴覚障害教育

科目コード●050730

担当教員●菅井 邦明



4単位 | R or SR | 2年以上

社会福祉
資格/選択

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

聴覚障害者教育を学ぶには、聴覚障害に関する生物学的、音声学・音響学的条件と障害補償についての知識、また幼児段階ではコミュニケーション・言語発達、保育・養育環境条件に関する知識を学ぶ必要があります。さらに学校教育段階では教育内容と指導に関する知識・技術、そして学習指導要領の学習が重要になります。

特別支援教育では、児童のニーズの把握の上で「個別的教育支援計画」を作成し指導を展開することになります。現実の教育実践の中では、ニーズ把握・計画・指導・評価が一連の過程として、瞬間瞬間、一時限内、学期内、年間で繰り返されます。その過程では、知識・指導技術等に関し、新しく工夫・開発する必要もでてきます。この科目では、1単位めでは、児童のニーズや実態把握に必要な聴覚面の知識を、2単位めでは主にコミュニケーション・言語発達と療育、教育について、3単位めと4単位めでは、個別教育指導計画に関連する条件と指導技術について学習します。

教科書

- 1) 篠田達明監修，今野正良ほか編『視覚・聴覚・言語障害児の医療・療育・教育（改訂2版）』金芳堂，2011年
- 2) 菅井邦明著『早期教育における聴覚障害児・家族・専門家のコミュニケーションに関する省察』『発達・療育研究（京都社会福祉センター紀要）』10，1994年（コピーで配付）

（平成22年度以前履修登録者）2011年4月より教科書1）が改訂されました。以前の教科書にもとづいて課題に取り組むことは可能です。

レポート課題

1 単位め	下記の1) 2) 合計7つの項目について約300字程度で説明しなさい。 1) ①オーディオグラムの目的・測定方法・表記の仕方 ②人間の可聴範囲（周波数で） ③一般に普通の会話は何デシベル程度、不快な大声は？ ④手話とは ⑤難聴とは 2) ①外耳から聴覚中枢までの音の伝達経路を簡略に説明しなさい。 ②難聴児療育・教育の目的を簡略に説明しなさい。
2 単位め	個別指導計画を立てる時に考慮されるべき条件を書きなさい。
3 単位め	聴覚障害教育の指導技術の特徴を説明しなさい。
4 単位め	平均聴力レベル（難聴の程度）とコミュニケーション手段の関係を説明しなさい。

（平成22年度以前履修登録者）2011年4月よりレポート課題が変更されています。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

まず教科書2つを熟読してください。また実際に自分の指で耳を塞ぎ聞こえにくい状態を作ったり、理解不可能な外国語を20分間聞いてみたりして、聴覚障害の聞こえにくい状況を少しでも体験してください。また可能な限り聴覚障害児・者や高齢者で耳が遠いといわれる方に接してみてください。実際に聴覚障害児・者に接している受講者はその人を想定してレポートに取り組んでください。

1単位め 解説

教科書1) を熟読し、音声が脳へ伝わる経路・言語音認知過程とその障害を簡略に整理してください。

2単位め 解説

教科書1), 2) を熟読し、聴覚障害によって起こるコミュニケーション・言語学習および発達課題を知り、条件を記述してください。

3単位め
解説

教科書1), 2)を熟読し, いわゆる健常児(健聴児)には必要としないと思われる指導技術を考え, 特徴を整理してください。

4単位め
解説

教科書1), 2)を読んで, 難聴の程度と学習可能性の高いコミュニケーション手段を整理してください。

参考図書

- 1) 原田泰・生田目美紀著『ゆびもじ練習あいうえお』小学館, 2004年(CD-ROM教材)
- 2) 米内山明宏監修『はじめての手話入門』ナツメ社, 2005年(DVD付き)
- 3) 原田恵子・広瀬千恵子著『二人の難聴児を育てて——わが子に学んだ日々』聴覚障害児と共に歩む会・トライアングル, 1996年
- 4) 岩立志津夫・小椋たみ子編著『よくわかる言語発達』ミネルヴァ書房, 2005年
- 5) ドナルド・F・ムーアズ デヴィッド・S・マーティン編 松藤みどり, 長南浩人, 中山哲志訳『聴覚障害児の学力を伸ばす教育』明石書店, 2010年

病弱教育総論

科目コード●050731

担当教員●鳴海 宏司



2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/選択14～18年度
入学者19年度以降
入学者

科目の内容

学齢期にある子どもが病気になった場合、ごく普通に考えれば、まずは病気の治療が優先され、とりあえず学校を欠席して治療に専念し、回復・治癒したらまた登校するという形をとるでしょう。しかし、罹った病気が特に急激・重篤ではないけれども、長期間の治療を要する疾患だったとしたら、この子どもの学校生活はどうしたらいいでしょう。

たしかに、まずなによりも病気を治すことが大事です。でも、だからといって生活のすべてをそのことだけに費やし、学校を長期間欠席することになれば、学校生活で身につけるべき多くのことが滞ってしまいますし、なによりも生活の質（QOL）そのものが低下してしまい、この子どもの生涯を通してみるとりかえしのつかないマイナスになることでしょう。

こうした状況を解消し、病気であっても生活の質の維持・向上を図ることは、子どもとその家族にとって共通した願いですし、そのためにこそ病弱教育があるのです。

ここでは、病弱教育の対象となる子どもとは具体的にはどのような子どもなのか、また、このような子どもたちが学んでいる特別支援学校や特別支援学級では、どのような教育が行われているのか、さらに、なによりも大事な医療と教育の連携はどのようになされているのか等について学習します。

履修登録上の注意

この科目を履修する方は、「病弱者の心理、生理・病理」「病弱教育」の2科目を履修することはできません。

教科書

横田雅史監修、全国病弱養護学校長会編著『病弱教育Q & A（Part I）——病弱教育の道標』ジヤース教育新社、2001年

レポート課題

1 単位め

下に掲げた病名は、主として病弱を対象とする特別支援学校の児童生徒にみられる病気のいくつかです。

この中から2つ選び、その病気を治療中の子どもの、学校生活上で配慮すべきことについてまとめなさい。

筋ジストロフィー、急性白血病、慢性腎炎、小児気管支喘息、
若年型糖尿病、ベルテス病、血友病

2 単位め

長期にわたる病気治療が必要な児童生徒にとって、病弱教育を主とする特別支援学校が果たすべき役割とは何かについて、視点を7つ挙げ、それぞれについて具体的にのべなさい。

(平成21年度以前履修登録者) 2010年4月より、1～4単位めのレポート課題が変更になりました。『レポート課題集2009』記載の課題でも2011年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

近年の病弱を主とする特別支援学校に学ぶ児童生徒の疾患は、多様化してきました。また、医学の進歩とか社会のニーズの多様化に応じて、入院しながら治療をしなければならない期間が短くなってきています。

1単位めも2単位めも、それぞれの課題にとりくむにあたり、病弱を主とする特別支援学校で学ぶ子どもの疾患が、この20年来、どのように変遷してきたか、また、それはどうしてなのかについても調べてみてください。このことから、病弱を主とする特別支援学校に求められる役割も少しずつ変遷してきたことがわかりますし、さらには、現在の果たすべき役割についてもよくわかります。

1単位め 解説

ここをまとめるためには、教科書の第1章をよく読んでください。また、参考書にも目を通してください。

ここで求めている答えは、その病気がどんな病気かということではなく、その病気の子どもが学校生活を送るとすれば、そのために学校や教師はどんな配慮をしなければならないのかということです。もちろん、そのためには、病理についての基礎的な知識・理解は必要ですが、病気自体が問題なのではなく、あくまでも病気の子どもが問題なのだということを忘れないでください。

2単位め
解説

ここでは教科書の第Ⅱ章をよく読んでください。ここで聞かれていることはきわめて基本的なことですが、それだけにきわめて大事なことでもあります。

病弱を主とする特別支援学校が、病弱養護学校といわれていた時代を含め、この20年来、どのような変遷をたどったか、よく調べてください。たしかに、対象とする子どもたちの病類が変化してきたことは事実ですが、その中で、病気の子どもに何を伝え、何を身につけさせなければならないのか、ということについても変わってきています。また、一方、この20年来どころか、もっと以前から、いささかもゆるがずに果たしてきた役割もあります。

そういった役割を、大まかに7つにまとめてください。そうすることで、今、病弱を主とする特別支援学校に求められていることが何なのか、おのずと理解できます。

参考図書

- 1) 横田雅史監修，全国病弱養護学校長会編『病弱教育Q&A PARTⅢ』ジヤース教育新社，2004年
- 2) 横田雅史，西間三馨監修，全国病弱養護学校長会編『病弱教育Q&A PARTⅤ』ジヤース教育新社，2003年
- 3) 筑波大学特別支援教育研究センター／前川久男編『特別支援教育における障害の理解』教育出版，2006年
- 4) 筑波大学特別支援教育研究センター／安藤隆男編『特別支援教育の指導法』教育出版，2006年
- 5) 文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説—総則等編—』教育出版，2009年
- 6) 文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説—自立活動編—』海文堂出版，2009年
- 7) <http://www.nise.go.jp/portal/elearn/shiryoku/byoujyaku/supportbooklet.html>

重複障害教育総論

科目コード●050732

担当教員●前田 泰弘



2単位 | R or SR | 3年以上

社会福祉
資格/選択

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

本科目では、重複障害をもつ児童・生徒（以下、重複障害児とします）が、ライフコース※において、より豊かな生活を実現するための、教育的配慮のあり方を考えることを学習のねらいとしています。

※ライフコース＝個人が一生の間にたどる道筋

教科書

飯野順子，授業づくり研究会I&M編著『障害の重い子どもの授業づくり』ジヤース教育新社，2005年

レポート課題

1 単位め

重複障害児・者のライフコース※の中で、重複障害児教育が担うべき役割とは何かを考え、論述してください。

2 単位め

重複障害児の教育目標を設定する上での配慮事項と、教育計画を策定する上での指導・アセスメントの視点について説明してください。

アドバイス

重複障害児は、医療的ケアや社会福祉サービスを受けながら生活を保障されることがあり、教育的配慮を考える上では、それらについても理解されていることが望めます。今回、教科書として指定した文献は、重複障害児の特性と教育実践の具体的な内容の理解を進めるために適当なものを選んでありますが、重複障害児・者（医療・福祉的には重症心身障害児に該当する）の特性を考慮すれば、そのライフコースと発達・生活の実際を理解したうえで、教育の果たす役割と方針について考察していただくことが重要です。適宜、他の資料を用いながら、教科書を読み解いていただくことが、本科目の最初の課題となる

でしょう。レポート課題は、教科書と参考書を併用して得られたライフコースの概観をもとに、受講者の皆様それぞれのお立場で、広い視点から解釈していただき、論述いただければと考えております。レポートを作成するための具体的な内容の理解については、後掲の参考書等をご活用ください。また、参考図書には、主に教育学関係のものを挙げてございますが、レポート課題では、これに限らず、より広い視点からの資料の活用、考察をしていただけることを期待しております。

1単位め 解説

この課題のねらいは、重複障害児・者のQOL（生活の質）と、その向上に寄与できる教育のあり方を考えていただくことにあります。そのためには、まず、重複障害児・者がどのような特性をもち、どのような生活を送っているかということを理解する必要があります。また、どのようなライフコースをたどるのか、ライフステージにおいて、どのような課題が出てくるのかを、広い視野から包括的に理解した上で、教育の果たす役割について考えていただければと思います。参考資料の一部として、参考図書の1)～4)をあげておきます。

2単位め 解説

ここでは、重複障害児に対する「個別の教育支援計画」の作成について理解していただくことが、ねらいの中心になります。1単位めで学習したことを踏まえ、教育目標の設定、教育計画の作成をする上で、どのような視点が必要になるかを考察してください。また、これを実際に授業で展開していく上で必要な、児童・生徒の評価や指導の方法、その他の配慮事項についても、考察なさってください。参考資料の一部として、参考図書5)～8)をあげておきます。

参考図書

- 1) 永淵正昭著『障害者のリハビリと福祉』東北大学出版会，2004年（改訂）
- 2) 福祉士養成講座編集委員会編『障害者福祉論 第5版』（社会福祉士養成講座3 新版）中央法規出版，2007年
- 3) 世界保健機構編『ICF 国際生活機能分類——国際障害分類改定版』中央法規出版，2002年
- 4) 兵庫重症心身障害児教育研究集会実行委員会編『重症児教育』クリエイツかもがわ，2004年
- 5) 大沼直樹著『重度・重複障害児の興味の開発法——四つの感覚と四つの興味』明治図書出版，2002年
- 6) 大沼直樹著『重度・重複障害児の自立活動と個別の指導計画』明治図書出版，2003年

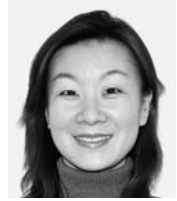
- 7) 清水貞夫・相澤雅文著 『「個別の教育支援計画」と障害ケア』 クリエイツかもがわ, 2006年
- 8) ヴィゴツキー著, 土井捷三・神谷栄司訳 『「発達の最近接領域」の理論』 三学出版, 2003年

注) 関係法令の改正に伴い, 教科書および参考図書中に使用される語句, 解釈等が変更されていることがあります。これについては, ご自身でお調べいただくか, スクリーニングの際に解説いたします。

(軽度) 発達障害者の心理

科目コード ● 050733

担当教員 ● 黄 淵熙



2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
選 択社会教育
選 択 B福祉心理
選 択 B

科目の内容

この科目では、発達障害のある児童生徒の認知的特徴からくる心理的問題を理解し、それに対する対応について学習します。1 単位めの課題においては、発達障害の定義および学習障害 (LD)・注意欠陥/多動性障害 (ADHD)・高機能自閉症 (HFPDD) の特徴に関して理解します。2 単位めの課題においては、発達障害のある児童生徒が学校や社会で直面する心理上の問題に関して理解し、適切な対応法に関して学習していきます。

教科書 「(軽度) 発達障害教育総論」と同じ

上野一彦・花熊暁編『軽度発達障害の教育——LD・ADHD・高機能PDD等への特別支援』日本文化科学社, 2006年

レポート課題

1 単位め

発達障害児の特徴を障害種別 (LD・ADHD・高機能PDD) に要約し、その特性上起こりうる心理的問題について述べなさい。

2 単位め

「A君は小学校3年生で、読み書きがとても苦手です。特に、漢字が苦手です。どうしても覚えられなく、国語の時間にみんなの前で本を読むと笑われたりしないかすごく気になります。また、不注意なところがあって、テストではケアレスミスが多く、プリントやノートなどをなくすこともしばしばあります。家でもよく叱られているし、先生からは「できるはずなのにしない」と思われています。

この事例に対して、心理的なサポートを含め、学校や家庭でどのような対応が必要であるのかを述べなさい。

(注) 2 単位めレポート用紙の課題記載欄は、下線部のみでよい。

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月よりレポート課題が変更されました。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月まで提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

各課題について、テキストおよび参考文献などをよく読み、自分の言葉でまとめるようにしてください。参考図書の中の『軽度発達障害児を育てる——ママと心理臨床家の4000日』には発達障害児の事例が多数掲載されているので、それらを読んで発達障害児の特徴を具体的に描いてください。

1単位め 解説

教科書の第2章（「軽度発達障害のある子どもたちとは」）および参考図書1）「発達障害の子どもの心がわかる本」の第1章を熟読し、発達障害の概念や発達障害のある児童生徒が抱える困難についてよく理解した上でレポートを作成してください。心理的問題に関してはp. 24～25の「擬似体験」をし、その感想を踏まえてまとめてください。

2単位め 解説

事例の心理的困難について自分の考えを述べ、参考図書1）の『発達障害の子どもの心がわかる本』の第4章および教科書の指導編を参考にして適切な対応について考察してください。

参考図書

- 1) 主婦の友編 『発達障害の子どもの心がわかる本』 主婦の友社, 2010年
- 2) 齋藤万比古著 『発達障害が引き起こす二次障害へのケアとサポート』 学習研究社, 2009年
- 3) 五十嵐一枝著 『軽度発達障害児を育てる——ママと心理臨床家の4000日』 北大路書房, 2010年

(軽度) 発達障害教育総論

科目コード ● 050734

担当教員 ● 後藤 紗織



2 単位 | R or SR | 3 年以上

社会福祉
資格/選択14~18年度
入学者19年度以降
入学者

科目の内容

発達障害の定義について学び、その特性から生じる問題を理解します。また、その問題に対応するための教育的支援を学習してください。1 単位めの課題では、発達障害の定義、および学習障害 (LD)・注意欠陥多動性障害 (ADHD)・高機能自閉症 (HFPDD) の特徴と問題点を理解してください。2 単位めでは、発達障害児に対してどのような教育的支援・配慮が考えられるのかを学習してください。

教科書「(軽度) 発達障害者の心理」と同じ

上野一彦・花熊暁編『軽度発達障害の教育——LD・ADHD・高機能PDD等への特別支援』日本文化科学社, 2006年

レポート課題

1 単位め

LD・ADHD・高機能自閉症の定義をまとめなさい。また、早期発見につながるような、それぞれの障害における乳幼児期の発達の特徴を述べなさい。

2 単位め

LD・ADHD・高機能自閉症のいずれかを選び、学校生活で生じると考えられる問題を述べなさい。また、その問題についての支援策や指導内容をまとめなさい。

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月より、レポート課題が変更になりました。『レポート課題集2010』記載の課題でも2012年9月までは提出できますが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

教科書や参考図書、関連すると思われる文献を探し、よく読んで理解したうえで書くようにしてください。本の丸写しにならないように、自分の中で消化してからまとめてくだ

さい。

発達障害のお子さんや特別支援教育に関することは、新聞または例えばテレビのドキュメンタリー番組でも度々取り上げられています。日頃から注意を向けて関心を深めていくと、レポートも書きやすいのではないかと思います。

1単位め 解説

教科書の第二章などを読んで、障害の定義をまとめてください。その内容を理解した上で、参考図書をよく読んで、それぞれの乳幼児期の発達の特徴をまとめてください。発達障害にはそれぞれ、乳幼児期に特徴的な発達の遅れがみられます。(例えば、自閉症の乳児は親への後追いをしない、など)それを理解するには健常児の発達段階もふまえながら、比較して考えてみると理解しやすいと思います。

2単位め 解説

LD・ADHD・高機能自閉症のいずれかを選び、子どもがその特性のために学校生活で生じやすいであろう問題を具体的に考え、述べてください。(例えば、ADHDなので授業中に集中しづらく学習が遅れる、など)また、その特性の子どもがどうしたらその問題を克服できるのか、支援者としてどのような指導や配慮が必要であるのかをまとめてください。

参考図書

上野一彦・海津亜希子・服部美佳子編『軽度発達障害の心理アセスメント——WISC-IIIの上手な利用と事例』日本文化化学社、2005年

横山浩之著『AD/HD, LD, 高機能自閉症 軽度発達障害の臨床』診断と治療社、2005年

小枝達也編著『ADHD, LD, HFPDD, 軽度MR児 保健指導マニュアル』診断と治療社、2002年

自閉症教育総論

科目コード●050735

担当教員●阿部 芳久



2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/選択

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

わが国で、自閉性障害のある児童生徒に学校教育が行われてから約30年の年月が経過している。彼らの障害の程度に応じて、通常学級や特別支援学級、あるいは特別支援学校で多様な教育が行われてきた。しかし、未だなお、彼らに効果的であると実証された指導方法は確立されていない。そのことは自閉性障害のある児童生徒の教育がいかに困難であることを物語っている。

本科目では、自閉性障害のある児童生徒を対象とする、社会的自立を目指し、発達をうながす指導内容として、どのような内容を設定したらよいかを考える。

教科書

阿部芳久著 『知的障害を伴う自閉児の特別支援教育』 日本文化科学社、2010年

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月より教科書、レポート課題が変更されました。以前の教科書にもとづいて課題に取り組むことは『レポート課題集2010(3・4年次)』p. 261～を参照すれば2012年9月まで可能ですが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

レポート課題

1 単位め

テキストに掲載されている事例を参考にして、自閉児に対して行われる、対人的相互反応のさまざまな課題(例 「一緒にいて楽しいという情動共有の遊び・活動」、「やりとりによる対人的相互反応を高める遊び・活動」等)の指導例を作成してみよう。「①遊び・活動の指導例」、「②その遊び・活動によって学習される意欲・態度」の2つ項目を立てて整理してください。作成する課題は一つだけでなく、レポート用紙の枚数制限内で複数でも結構です。

2 単位め

学校生活や家庭生活の場面において、毎日繰り返される活動を利用して、自閉児に対してコミュニケーションの機能を高める指導の指導例を作成してください。「①指導例」、「②その指導によって学習される意欲・態度」の2つ項目を立てて整理してください。作成する課題は一つだけでなく、レポート用紙の枚数制限内で複数でも結構です。

(注) レポート用紙の課題記載欄は下線部のみでよい。

アドバイス

1単位め 解説

テキストの55ページから95ページを熟読してください。学校生活において、教師と児童、および児童間の関わりのある活動から「対人的相互反応の機能を高める課題」に発展する可能性のある遊びや活動がないか探ってみましょう。その遊びや活動をベースにして「対人的相互反応の機能を高める課題」を作成してみましょう。

「②その遊び・活動によって学習される意欲・態度」についてはテキストに掲載されている「期待される指導効果」に示されている内容を参考にしてください。

2単位め 解説

テキストの96ページから159ページを熟読してください。そこに示されている指導例を参考にしてください。まず、指導に利用できる生活場面を探ってみましょう。その後、活動の流れにおいて、どのような言葉を習得させたいかを考えてみます。「指導展開例」には指導場面、習得させたい言葉、働きかけを明示してください。

「②その指導によって学習される意欲・態度」についてはテキストに掲載されている「期待される指導効果」に示されている内容を参考にしてください。

以上の2つの課題について、なかなか、指導場面が思いつかない方は、下記の参考図書およびその他の著書に掲載されている「対人的相互反応の機能を高める事例」「コミュニケーション指導の事例」参考にそれを整理してレポートにしてもかまいません。

参考図書

月刊雑誌『実践障害児教育』学習研究社

月刊雑誌『特別支援教育研究』東洋館出版社

コミュニケーション障害教育

科目コード ● 050736

担当教員 ● 庭野賀津子



2 単位

R

3 年以上

社会福祉
資格/選択

14~18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

コミュニケーション障害をともなう障害は多岐にわたります。その中で、当科目においては自閉症、知的障害、特異的言語発達障害、脳性まひ・重症心身障害、難聴、構音障害、学習障害、それぞれの障害の理解と適切な対応の仕方、そしてコミュニケーション力を促進する指導方法について学びます。また、聴覚障害について、心理、生理・病理、指導法、教育課程について学びます。

特別支援教育において、コミュニケーション障害を抱える障害児・者が、コミュニケーション障害を克服あるいは改善して、生活の質を高められるような支援を展開するにはどうしたらよいか、自分で考えて実践する力を養ってほしいと思います。

教科書

- 1) 西村辨作編『ことばの障害入門』大修館書店、2001年
- 2) 中野善達・根本匡文編著『聴覚障害教育の基本と実際（改訂版）』田研出版、2008年（平成20年度以前履修登録者）2009年4月より上記教科書に変更されています。できるだけ今年度の教科書にもとづいて学習を進めてください。

レポート課題

1 単位め

教科書「ことばの障害入門」の全体を読んだ上で、次の課題1・2の両方について解答してください。

課題1. 第6章を熟読して、「脳性まひ・重症心身障害」におけるコミュニケーション障害の特徴をまとめてください。

課題2. 第9章を熟読して、「学習障害」における言語の問題をまとめてください。

2 単位め

教科書「聴覚障害教育の基本と実際」の全体を読んだ上で、次の課題1・2の両方について解答してください。

課題1. 第2章を熟読して、「聴覚障害と言語コミュニケーション」「言語指導の方法」「手話と日本語」「コミュニケーション手段」についてまとめてください。

課題2. 第5章を熟読して、特別支援学校（聴覚障害）*の幼稚部、小学部、中学部、高等部・専攻科それぞれにおける教育の内容と方法について、まとめてください。

*教科書には「聾学校」と表記されています。

（平成20年度以前履修登録者）2009年4月よりレポート課題が変更されています。必ず今年度の課題で解答してください。

アドバイス

レポート課題の該当箇所だけではなく、必ず教科書全体を読んでください。各章は他の章と相互に関連していますし、科目修了試験においては他の章も出題範囲となります。また、必要に応じて参考図書も読むことをお勧めします。参考図書1)は教科書1)と類似した内容となっており、両方を併せて読むことにより、より理解が深まることと思います。障害児へコミュニケーションの指導にあたる際には、まず、健常児のコミュニケーション発達についてよく理解しておく必要があります。そのためには、参考図書2)が参考となります。具体的にコミュニケーション障害を評価したり、指導法を考えたりする際には参考図書3)が参考となるでしょう。さらに、言語発達やコミュニケーション障害に関する他の文献を各自探して読んでみることを勧めます。脳科学や神経心理学・認知心理学の視点から言語発達や障害について書かれてある文献も興味深いと思います。また、言語獲得段階にある乳幼児や、コミュニケーション障害のある障害児・者と接する機会のある人は、ぜひ積極的にかかわってください。きっと多くのことを学び、感じることでしょう。

なお、レポートを作成するにあたり、指定の教科書や参考図書以外にも参考にした文献がある場合は、レポートの最後にその文献の書名、著者名、出版社、出版年を忘れずに書いてください（指定の教科書や参考図書から引用・要約した場合はそちらも記載してください）。教科書やその他の文献の文章をそのままレポートに転記することは避け、自分のことばを用い、自分なりの表現に直して書いてください。やむを得ず原文のまま引用する際には、引用箇所をかぎ括弧で括るとともに、その直後に括弧で著者名や引用文献を明記して、必ずその箇所が引用文であることがわかるようにしてください。

1 単位め
解説

課題1. 「脳性まひ・重症心身障害」

脳性まひ児の言語発達障害要因にはどのようなものがあるか、また、言語発達障害の諸症状にはどのようなものがあるかとまとめてみましょう。また、摂食機能と口腔運動機能の関連についても、まとめてください。

課題2. 「学習障害」

学習障害の概念をまとめた上で、学習障害児の言語の問題を整理してみましょう。

また、課題には取り上げていませんが、次の各障害についても、以下のポイントを押さえて、よく理解しておいてください。

(1) 知的障害

知的障害児は言語の発達が遅れる傾向にあります。知的障害により、言語発達の基盤となる認知発達、特に象徴機能の発達が遅れるためと考えられます。また、言語発達の遅れは語彙の問題だけではなく、構音や統語の問題としても現れます。

(2) 自閉症

自閉症は、ことばの発達に遅れがあるだけではなく、獲得した言語をコミュニケーション手段として有効に活用できない、他者の心の理解が困難である、という質的な障害をもっています。また、言語コミュニケーションだけではなく非言語コミュニケーションにおいても、表出が少ない、理解ができないなどの問題があります。ですから、自閉症のコミュニケーション障害は表出される音声言語の問題だけではない点を理解してください。

(3) 難聴

難聴児がことばを獲得する際、どのような問題が生じるのか、また、難聴児のことばの獲得を促進する際にはどのような点に気をつけたらよいのかを考えながらまとめておきましょう。コミュニケーションの発達を促す上で、乳幼児期に難聴を早期発見し、早期指導することは重要なことです。また、難聴の程度が重度である場合には、聴覚活用と口話法だけではなく、手話も重要なコミュニケーション手段として使用する必要があります。

(4) 構音障害

構音障害には、機能的構音障害、器質性構音障害、運動性構音障害があります。それぞれの構音障害の特徴についてまとめておきましょう。

2単位め
解説

課題1. 次のポイントをふまえてレポートをまとめましょう。

(1) 「聴覚障害と言語コミュニケーション」

まず、聴覚機構と障害について理解してください。そして、聴覚障害児の言葉の獲得にはどのような特徴があるかまとめてください。

(2) 「言語指導の方法」

構成法的アプローチと自然法的アプローチの違いと、それぞれの特徴についてまとめてください。

(3) 「手話と日本語」

手話には、日本語対应手話、日本手話、中間型手話の3種類があります。それぞれの特徴、および指文字についてまとめてください。

(4) 「コミュニケーション手段」

聴覚障害教育におけるコミュニケーション指導の方法として、聴覚口話法、トータルコミュニケーション、二言語二文化教育があります。それぞれの特徴についてまとめてください。また、自立活動や教科指導における言語指導についてもまとめてください。

課題2.

特別支援学校（聴覚障害）の各学部における教育では、それぞれ発達段階や障害の特性に応じた工夫が施されています。その特徴の要点を整理してまとめてください。

参考図書

- 1) 笹沼澄子監修『子どものコミュニケーション障害』大修館書店、1998年
- 2) 秦野悦子編『ことばの発達入門』大修館書店、2001年
- 3) 大石敬子編『ことばの障害の評価と指導』大修館書店、2001年

2009年3月告示の「特別支援学校 学習指導要領」「特別支援学校 学習指導要領 解説」（文部科学省ホームページなど）も参照してください。

視覚障害教育総論

科目コード●050737

担当教員●猪平 眞理



2 単位

R

2 年以上

社会福祉
資格/選択

14～18年度
入学者

19年度以降
入学者

科目の内容

人間の最も効率のよい情報収集感覚である視覚に障害があると、人は行動の制限や視覚的情報および模倣に不足を生じ、生活や学習に多くの支障を受けることになります。

ここではまず、視覚機能と眼疾患について学び、視覚障害教育の現状と明治期以降の制度的変遷を考えます。盲児には点字の使用を、弱視児には文字の拡大などの手段を講じる視覚障害児の学習には、各教科の学習において触覚や聴覚を活用するさまざまな工夫と指導法や種々の教材教具があり、こうした具体的な方法から視覚障害教育の理解を深めます。

また、視覚障害が発達に及ぼす特性と早期支援の方法や知的障害などとの重複障害児の教育法についても学んでいきます。

教科書

香川邦生編著 共同執筆 猪平眞理・大内進・牟田口辰巳『四訂版 視覚障害教育に携わる方のために』慶應義塾大学出版会、2010年

(平成22年度以前履修登録者) 2011年4月より教科書が改訂されました。以前の「三訂版」教科書にもとづいて課題に取り組むことは可能です。参照する章も同じです。

レポート課題【説明型レポート】

1 単位め

下記の用語について、1つ150字以上300字以内で簡潔に解説してください。

- ①視覚障害と盲児、弱視児の区分
- ②視機能検査
- ③京都盲啞院と楽善会訓盲院
- ④盲学校及聾啞学校令と盲学校の義務制
- ⑤弱視（特別支援）学級
- ⑥視覚特別支援学校における職業教育
- ⑦地域の視覚障害教育センター

2 単位め

下記について各300字以上500字以内で簡潔に解説してください。

- ①視覚障害児の乳幼児期における支援の配慮事項について
- ②点字の特質と学習上の配慮点について
- ③弱視児に対する学習指導の配慮について
- ④視覚障害のある児童生徒の教育指導における教材教具について

(平成22年度以前履修登録者)2011年4月よりレポート課題が一部修正されました。以前の課題も2012年9月までは提出が可能ですが、できるだけ今年度の課題に取り組んでください。

アドバイス

教科書『四訂版 視覚障害教育に携わる方のために』の第1章～第9章を熟読し、参考図書にもあたりながら課題に取り組んでください。

対象となる視覚障害者は他の障害種別に比べると少数ですが、視覚障害教育は130年を遡る歴史があり、各教科の指導法や教材教具、乳幼児支援、職業教育などの各分野に明確な専門性が存在します。種別の異なる障害教育とも比較してみると理解を深めることができます。また、視覚障害教育の視覚を補うさまざまな工夫や多様な手段は障害の有無にかかわらず教育指導を豊かにすることのできる手法ともなることに気づいて欲しいと思います。

1単位め 解説

教科書の第1章～第4章、および第9章をよく読み、視覚障害の概要や視機能、視覚障害教育の変遷と制度、視覚障害者の職業を理解して参考図書や文部科学省の特別支援教育に関する資料等も参照しながら用語の解説をしてください。

2単位め 解説

教科書の第5章「教育課程と指導法」、第6章「自立活動の基本と指導」、第7章「視覚障害児のための教材・教具」、第8章「乳幼児期における支援」をよく読み、実際の視覚障害教育における具体的な方法や配慮事項について理解を深めて欲しいと思います。その上で4つの課題について説明してください。

参考図書

- 1) 香川邦生・平田耕基編著『小・中学校における視力の弱い子どもの学習支援』教育出版, 2009年
- 2) 全国盲学校長会編『視覚障害教育入門Q & A』ジアース教育新社, 2000年
- 3) 障害児就学相談研究会編集『新しい就学基準とこれからの障害児教育』中央法規出版, 2003年

障害者教育実習の事前・事後指導

科目コード ● 050740

担当教員 ● 荒川 圭介・庭野賀津子
阿部 芳久

1 単位

SR

3 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

特別支援学校における教育実習は、特別支援学校教諭免許状取得のための学習の一部です。しかし、別の面からすれば、これまで大学において履修してきた障害者教育に関する理論や技術等を、実際の中で、生かし、確かめ、深める機会です。

学生の身分としての実習ではありますが、現実には特別支援学校の一教員と同様の勤務を行うものであり、教育者としての責任ある言動をもって、実習に臨まなければなりません。

実習にあたっては、現場で戸惑うことのないように、事前に、障害者への接し方や学習指導案の作成のしかた等の最小限の必要事項を学び、確認しておく必要があります。また、終了後は、実習の成果を、“理論と実践”の統合の視点からまとめる必要があります。

教科書

事前指導スクーリング申込み者に配付の『障害者教育実習の手引き』（東北福祉大学）

レポート課題

1 単位め

事前指導スクーリング受講後の課題

『障害者教育実習の手引き・改訂』（第30版 p. 221～224, 第31版 未定）の作成資料に基づき、指導案を作成しなさい。

2 単位め

事後指導の課題＝実習終了後 2 週間以内に提出

本冊子 p. 284～285に従い、実習報告レポートをまとめなさい。

アドバイス

1 単位め
解説

スクーリング時の講義と『障害者教育実習の手引き・改訂』（第30版 p. 221～224, 第31版 未定）を合わせて、自分なりの指導案を作成してください。

実習校で、「研究授業」実施にあたってはさらに指導案を作成することになるとはいますが、実際に授業を行うつもりになって作成してください。

提出締切 3月スクーリング受講者 4/18 (ただし5月実習開始者は4/6)

7月スクーリング受講者 8/16

2012. 3月スクーリング受講者 4/10 (ただし5月実習開始者は4/3)

- ・ A4判の用紙使用 横書き パソコン打ち出し可。下部にページ数をつける。ピンクの表紙(事前指導スクーリング申込者に配付)に貼り付けて提出(貼り付け方は『レポート課題集(1・2年次)』p.16参照)。手書きの場合、A4判(縦長・横書き)の原稿用紙使用。
- ・ 万一レポートが再提出になったら、評価指導票の裏面に、再提出になった評価指導票を貼付してください。
- ・ 事前指導スクーリング受講者は、スクーリング受講時に話された注意点をふまえて作成してください。
- ・ 事前指導スクーリング免除者は、別途配付される注意点をふまえて作成してください。

2単位め 解説

・ 下記の内容にそって、実習終了後に実習報告レポートを作成してください。

1 実習校名(障害種別)

2 実習校の概要

- ・ 規模(小, 中, 高, 訪問等)
- ・ 立地条件(田園地帯, 住宅街, 林の中等)
(交通の利便性, 公共交通機関バス停から〇分等)
(通学制, 寄宿者制等)

3 実習の概要

- ・ 担当学級(学年, 人数, 単一障害か重複障害か, 障害の程度等)
- ・ 講義, 参観授業の内容等
- ・ 主担当としての指導回数(指導形態, 時数等)

4 研究授業

- ・ 指導形態
- ・ 題材, 目標, 内容, 方法(工夫したこと, 自作教材等)
- ・ 授業検討会で指導を受けたこと, 褒められたこと等

5 感想

- ・ 心に残ったこと

※研究授業の指導案(コピー)も合わせて提出してください。

※実習報告レポートは、実習終了後2週間以内に、大学へ郵送してください。

※レポートはA4判用紙にまとめてください（ワープロ・パソコン可 枚数自由）。
事前指導スクーリング時に配付する「英語型レポート用紙表紙（ピンク色）」（ワープロ・パソコン印字用レポート用紙とは異なります）に貼り付けて提出してください（貼り付け方『レポート課題集（1・2年次）』p.16参照）。

事前指導スクーリング

「事前指導スクーリング」は、仙台で開講します。本冊子巻末のハガキを使用して、お申込みください。下記のいずれか1回連続2日間受講すれば可です。

事前指導スクーリング 申込締切	事前指導スクーリング 開講日 開講時間 1日め 11:00~18:20 2日め 9:00~15:40	4科目の試験受験・ スクーリング受講期限	実習開始時期
H23. 7 / 6 H24. 3 / 1	H23. 7 / 30・31 H24. 3 / 24・25	H23. 8 / 7 H24. 3 / 30	H23. 10月以降 H24. 5月以降

平成24年度以降も3月末と8月に開講を予定しています。

なお、事前指導スクーリングの申込みにあたっては、受講条件が課せられています。下記をご覧ください。また、毎年3月末のスクーリングは3月卒業者や4月に学籍番号が変わるような学籍異動を行う方は受講できません（正科生一科目等履修生の変更など）。

事前指導スクーリング・受講条件

「事前指導スクーリング」申込締切日までに、下記の条件を満たすことが必要です。

- (1) 本冊子 p. 289～290 「障害者教育実習内諾依頼状の発行条件」(1)～(2)の受講条件を満たしていること。
- (2) 基礎となる幼・小・中・高いずれかの教職免許状を所持しているか、基礎免許状取得のための「教育実習」を終了していること。
- (3) 特別支援学校教諭一種免許状の科目の中から、「障害者教育総論」「知的障害教育」および実習に行く特別支援学校が主たる対象とする領域の教育の科目（例えば、肢体不自由者を主たる対象とする特別支援学校で実習を希望する場合は「肢体不自由教育」）を含む6科目のレポートを提出していること。また、上記6科目中4科目は、単位修得済み、ないし単位修得が見込める状態であること。

(注) 「障害児教育実習の事前・事後指導」を受講する旧法履修者は、①「障害児教育Ⅰ」、②「障害児教育Ⅱ」、③「障害児の指導法」、④「障害児の心理」または「障害児の生理・病理」の4科目のレポートを提出し、単位修得済み、ないし単位修得が見込める状態であること。

※単位修得が見込める状態には、以下のものを含みます（p. 285表の「4科目の試験受験・スクーリング受講期限」も参照してください）。

- ・7月受講者：7月の科目修了試験受験予定・8月7日までのスクーリング受講予定（ただし科目修了試験受験予定とは、事前指導スクーリングの申込締切日までに、7月科目修了試験申込ハガキが本学に届いていること）
- ・3月受講者：2月の科目修了試験受験予定・3月30日までのスクーリング受講予定

(4)「麻疹（はしか）の抗体を有する旨の医師の文言が入っている証明書」のコピー1部を本学に提出済みであること（p. 294を参照）。

なおp. 290(5)のとおり、実習内諾依頼状の発行条件は、特別支援教育に関する科目のうち任意の4科目（旧法履修者は①「障害児教育Ⅰ」、②「障害児教育Ⅱ」、③「障害児の指導法」の3科目）の単位を修得した後でないと発行できませんので、早めにこれらの単位を修得するようにしてください。

事前指導スクーリング免除について（新法履修者のみ対象）

特別支援学校の教員として3カ月以上良好な成績で勤務した方を対象に事前指導スクーリングの受講を免除します。

※特別支援学校において、細案による指導案を作成した経験のない方は、事前指導スクーリングの免除はできません。

※「視覚障害者に関する教育の領域」の課程認定を受けていないため、盲学校（視覚障害者を主たる対象とする特別支援学校）でのみの勤務は対象外です。

※「特別支援学級の教員」や「特別支援教育支援員」「寄宿舍指導員」などの方は対象外です。

スクーリング受講免除希望の方は、本冊子巻末の「事前指導スクーリング受講免除 希望届」を提出し、①実務に関する証明書（校長印必要）と②スクーリング免除のためのレポートの提出により、大学でスクーリング受講免除の可否を判定します。

事前指導スクーリング受講免除希望届提出期限	スクーリング免除申請書類（証明書・レポート）提出期限	事前指導スクーリング受講申込締切	事前指導スクーリング開講日	実習開始時期
申込終了 H23. 5 / 27 H23. 12 / 24	H23. 2 / 4 H23. 6 / 22 H24. 2 / 1	H23. 3 / 4 H23. 7 / 6 H24. 3 / 1	H23. 3 / 26・27 H23. 7 / 30・31 H24. 3 / 24・25	H23. 5月以降 H23. 10月以降 H24. 5月以降

※事前指導スクーリングの受講が免除になるだけで、「障害者教育実習の事前・事後指導」の履修登録、p. 283～284記載の事前・事後レポートの提出、単位修得や「障害者教育

実習」の履修登録・受講・単位修得は必要です。

※事前指導スクーリングの受講が免除になっても、事前指導スクーリング申込締切日までに、「事前指導スクーリング・受講条件」（p. 285～286参照）をクリアする必要があります。

なお、教員との対面授業による最新の知識・技能の習得、さまざまな領域の特別支援学校における教育方法や児童・生徒理解、教育実習に向けての意識高揚の観点からスクーリングの受講を推奨いたします。

実習許可までの流れ

※事前指導スクーリング受講免除対象者 : 1・2・3・6・7・8 の順

※事前指導スクーリング受講者 : 3・4・5・6・7・8 の順

1 事前指導スクーリング受講免除希望届の提出

本冊子巻末「事前指導スクーリング受講免除 希望届」を提出。その後、必要書類が届きます。



2 スクーリング受講免除申請の書類を提出

①実務に関する証明書（校長印必要）と②スクーリング免除のためのレポートを該当する期限（p. 286）までに提出。本学到着後、2週間程度で免除の可否について結果送付します。



3 事前指導スクーリング受講条件の達成

事前指導スクーリングの申込締切日までに事前指導スクーリングの受講条件（p. 285～286）を満たし、かつ、「はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入っている証明書」のコピー1部を本学に提出してください。



4 事前指導スクーリングの申込み

巻末のハガキで、締切までに必着で申し込んでいただきます。



5 事前指導スクーリングの受講

平成23年度は、(1)7/30・31, (2)H24. 3/24・25に仙台で開講予定。いずれか1回(2日間連続)を受講することが必要です(1日め11:00~18:20 2日め9:00~15:40を予定)。



6 受講後のレポート提出・合格

「障害者教育実習の事前・事後指導」1単位めレポートを提出。

提出期限 7月スクーリング受講者・免除者 8/16

H24. 3月スクーリング受講者・免除者

4/10(ただし5月実習開始者は4/3)



7 実習のための必要書類の提出

実習開始約2カ月前までに、(1)「個人調査票」のコピー、(2)誓約書、(3)健康診断書を本学に提出。



8 実習許可

大学より学生に実習許可通知を発送します。同時に、実習校へは大学より正式依頼状を発送します。

※正式依頼状は実習開始約1カ月前をめどにお送りする予定です。

なお、上記の流れとは別に実習校に受け入れの内諾を得るための手続きが必要となります。詳しくはp. 289~290をご覧ください。

障害者教育実習

科目コード ● 050906

担当教員 ● 荒川 圭介・庭野賀津子
阿部 芳久

2 単位 | 実習科目 | 3 年以上

社会福祉
資格

科目の内容

障害者教育実習は、これまで学んできた理論や方法を、特別支援学校という実際の場で活用し、より理解を深め、教師としての素地を養うものです。

特別支援学校での実習は、基本的には、中学校や高等学校での実習と変わりませんが、特別支援学校教諭免許取得の場合、さらに必修としているのは、それぞれの学校における教育対象や教育方法が、普通教育と著しい差異を有するからです。

特別支援学校は、名称は一つですが、知的障害者、肢体不自由者、病弱者（身体虚弱者を含む）、聴覚障害者、視覚障害者を教育対象にしており、しかも、障害の程度は重く、病状はまことに多種多様です。したがって、障害者教育実習も、教育対象によって極めて複雑な色彩をおびます。

実習者は、こうした特別支援学校の複雑な性格をよくわきまえて、障害者教育実習という同一の呼び名であっても、自分の行くべき学校の教育対象や実態と、対象児に関する一般的知識を学習した上で臨む必要があります。

特別支援学校の現場にとっては、単なる単位取得のための実習は迷惑であって、将来、特別支援学校教員としてやる気十分な学生を歓迎しており、そのためにも、児童生徒、実習校に対し理解を深め、少しでも役立つことを念頭において臨むことが必要です。

教科書

事前指導スクーリング申込み者に配付の『障害者教育実習の手引き・改訂第30版（31版未定）』（東北福祉大学）

障害者教育実習内諾依頼状の発行条件

下記の条件を満たした方は、本冊子巻末の「障害者教育実習 登録カード（新法）」（旧法履修者は「障害児教育実習 登録カード（旧法）」）に必要事項を記入して、通信教育部あてに送付してください。条件を満たしたことを確認した後、「障害者教育実習内諾依頼状」（東北福祉大学から実習校へ依頼する内容のもの）を学生あてにお送りいたします。

- (1) 卒業後（将来）、教員として就職する意思が明確な方
 - (2) 健康で通常の業務に耐え、伝染性疾患のない方
※文部科学省の指導により、はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書が必要です（p. 294参照）。
 - (3) 免許状の取得にあたって本学通信教育部を卒業する方は、受講する前年度末（3月末または9月末）または登録カード送付時の時点のいずれか遅い方で、卒業見込であること（1年次入学者は90単位、2年次編入学者は60単位、3年次編入学者は28単位修得済みであること）。
 - (4) 依頼状発行時点で、幼・小・中・高いずれかの教職免許状を所持していること。ただし、本学で高等学校教諭一種免許状（福祉）を取得する場合は、「教育実習」を受講しているか、実習の日時が確定していること。他大学で基礎となる免許状の実習を受講する場合は、「教育実習」を受講済み（単位修得済み）であること。なお、平成19年4月以降の入学者より、ご入学時点で四年制大学を既卒の方を除き、他大学在学中の実習受講はできません。
 - (5) 本学通信教育部で特別支援教育に関する科目のうち任意の4科目の単位を修得していること。
 - (6) （平成23年度以降入学者より）「障害者教育実習」の受講は入学時四年制大学既卒でない方は4年次となります。
- (注) 「障害児教育実習」を受講する旧法履修者の場合は、本学通信教育部で①「障害児教育Ⅰ」、②「障害児教育Ⅱ」、③「障害児の指導法」の3科目の単位を修得していること。

※3年生の方で現時点で上記の条件を満たしていない場合は、できるだけ早く(5)に記載の科目の単位修得、ならびに本学卒業が必要な方は卒業見込の条件を満たすように努力してください。早めに単位を修得すれば、早めに実習校に依頼をすることができます。

※ご自身の責任において、大学からの依頼状入手前に実習を希望する特別支援学校への依頼や情報収集を始めていただいても結構です。

実習校への依頼方法

上記の「障害者教育実習内諾依頼状」を持って、お住まいの近くまたはその他ご都合のよい特別支援学校に各自で依頼していただくことになります。実習を希望する特別支援学校の種別（知的障害・肢体不自由・病弱・聴覚障害）や幼・小・中・高等部のいずれを有する学校かは確認したうえで依頼を行ってください。

独自の受け入れ体制をとっている地域や事前（実習前年度まで）に教育委員会への申請

が必要な地域もありますので、実習希望校または各教育委員会へ早めに確認を行ってください。以下の地域で次年度に実習を希望する場合は、実習前年度に通信教育部教職免許係あてに①問い合わせ先教育委員会名②実習希望時期③実習希望校の候補などを書面でお申し出ください。3年次編入学者や科目等履修生は、入学後すぐに確認を行い、前年度の実習受け入れ申請が必要な地域の方は早急に申し出てください（各申請先への申請期間に間に合わない場合は、次年度の実習はできません）。

<2010年度実績>

伊勢崎・川西・神戸・北九州市立の学校 広島県立の学校	実習申込みは教育委員会で受付け、実習校を指定される。
-------------------------------	----------------------------

※これ以外にも独自の受け入れ体制をとっている地域・学校があると思われるので、各自で確認してください。

▶実習校訪問の手順と諸注意

くわしくは実習登録者にお送りする「実習希望校への打診と訪問について」を参照してください（独自の受け入れ体制の地域を除く）。

1. 実習希望校に受け入れについて問い合わせてください。
最初は電話での問い合わせになりますが、言葉遣いに注意し、失礼のないようにしてください。
2. 受け入れ可能なようであれば、訪問したい旨を伝え、学校の都合を伺います。
3. 学校から訪問してもよい日時が指定されたら必ず訪問してください。
4. 初めて希望校の先生方にお会いしますので、服装・態度・言葉遣いに注意し、明朗快活に応答してください。
5. 訪問の際、大学からの書類（実習依頼状・実習内諾書・実習生個人調査票・返信用封筒）を持参し、希望校へ提出して内諾書をもらうこととなります。または郵送してもらいます。

お近くの特別支援学校が不明な場合は、下記のホームページなども参考に実習先の候補をさがしてください。

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所の「特別支援教育関連団体リンク集」を参照してください。

<http://www.nise.go.jp/blog/sitemap.html>

障害者教育実習受講条件

障害者教育実習受講のためには、以下の条件を満たしていることが必要です。原則として、実習受講の約2カ月前までに大学へ必要書類を提出してください。受講条件が整いましたら、実習校へ正式依頼状をお送りいたします。

※実習校への正式依頼状は実習開始約1カ月前をめどにお送りする予定です。

- (1) 「障害者教育実習内諾依頼状」の発行条件(1)～(5)を満たしていること。
- (2) 「障害者教育実習の事前・事後指導」スクーリングを受講済みであり、スクーリング受講後3週間以内に「指導案」を提出し合格していること。
- (3) 「実習生個人調査票」（「障害者教育実習内諾依頼状」とともに配付）のコピー、ならびに「健康診断書」「誓約書」（事前指導スクーリング受講者に配付）「はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書」のコピーが大学あてに提出されていること。いずれの書類も必要事項を記入すること。

※なお、本学で「障害者教育実習」を受講するためには、本学で実習前に実習科目の受講条件となる科目を実習科目も含めて18単位以上の履修登録（事前指導受講条件のクリアも含む）を行う必要があります。認定単位や受講不要な科目のある方は、ご注意ください。

実習校・期間

特別支援学校で連続2週間（10日間）行います。祝日が入るなどの場合9日間までは可です。いかなる理由があっても8日間以下は不可となります。実習校の指示により実習3週間の場合もありますが、実習校の指示に従ってください。

実習校は「特別支援学校」に限ります。——特別支援学校以外の「特別支援学級」「通級指導教室」での実習は認められません。勤務校実習もできません。

(1)知的障害、(2)肢体不自由、(3)病弱、(4)聴覚障害のいずれを主たる対象にしている特別支援学校なのかによって、実習内容も変化してきますので、実習校選択の際にはご留意ください。

特別支援学校の幼・小・中・高等部のいずれに配属されるかはわからず、教科もすべての教育活動にわたって担当することが多くなることを十分承知しておいてください。

※本学で高等学校福祉科免許状と同時に特別支援学校免許状取得を希望する方の実習は「教育実習」後となります。ある年度に「教育実習」を受講する方は、原則として次年度の「障害者教育実習」受講となります。ただし、同一年度中に両免許状取得、および卒業のためのすべての学習を終えられる方は、特例で同一年度（9～2月）に「障害者教育実習」を受講することもできます。

実習費

「障害者（児）教育実習の事前・事後指導」のスクーリング受講前後に納入していただきます。一旦納入した実習費（30,000円）は卒業・修了・退学するまで有効です。

実習費のなかには、実習校への委託費、実習保険加入費用が含まれています。実習先が委託費の受取を辞退した場合でも、その金額を実習生に返金することはできません。ご了承ください。

実習取消

実習登録後は取消をしないようにしてください。特に実習校より内諾をいただいた後に取消をしますと、実習校に大変な迷惑をかけることになります。

万一、取消の事態に陥った時はすみやかに実習校および大学の通信教育部に届け出てください。この場合、実習校へは直接参上しておわびしていただきます。

実習後

実習後、実習校へ御礼状を送付するとともに事後レポートを提出する必要があります。事後指導のスクーリングはありません。

単位認定通知

「障害者教育実習の事前・事後指導」「障害者教育実習」は、①事前指導スクーリングとその後の実習事前レポート、②実習、③実習日誌・実習事後レポート（本冊子 p. 283～285参照）の評価を総合して行います。単位認定通知は、事後レポート提出、および実習校からの実習日誌返却、いずれか遅いほうから1カ月程度で書面で通知します。実習校から実習日誌が返却されない場合は単位認定ができないので、事後レポート提出後、2カ月以上経過しても結果が届かない場合は、通信教育部教職免許係までご連絡ください。

「特別支援学校教諭免許状」授与の申請

- ・免許状は、各自で都道府県教育委員会に申請していただきます。
- ・申請に必要な「学力に関する証明書」は、免許申請に必要な単位がすべて修得できたら、『学習の手引き』11章の案内にそって、巻末の「様式8」使用でお申込みください。[複数の学籍にまたがって単位を修得した場合は、その学籍の数の証明書が必要となります。（例）2つの学籍→2通の証明書]

※科目等履修生の方・本学通信教育部を卒業しない方

→→学力に関する証明書（教員免許申請用）特別支援学校 1通600円

基礎資格証明書は卒業した大学から取り寄せてください。

※本学通信教育部を卒業の方

→学力に関する証明書（教員免許申請用）特別支援学校 1通600円
（基礎資格証明書もこの中に含まれています）

- ・その他の必要な書類や申請の方法について、各自で申請する都道府県にお問い合わせください（東京都・京都府など規定の用紙に単位修得証明を行う都道府県もありますので、ご注意ください）。採用が決まっている場合はその都道府県へ免許申請を行うほうが望ましいようです。
- ・4月からの採用が決まっていないなど特別の理由がない場合は、12～3月中は個人による免許申請を受け付けられない場合もありますが、各自で都道府県教育委員会に確認してください。
- ・別の大学を卒業している方（本学通信教育部を卒業していない方）は、「基礎資格証明書」は本学では発行できませんので、卒業した大学へ申請してください。本学では「教職免許申請用の学力に関する証明書」のみ発行します。

「麻疹（はしか）」の対策について

「麻疹（はしか）」に罹患した状態で実習を行うと、実習先に多大なご迷惑をおかけすることになります。

実習を行う方は全て、医療機関にて「抗体検査」を必ず受けてください。結果が出るまでに4、5日かかりますので、早めに受診してください。抗体を有していることを証明できるよう、はしかの抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書を取得してください。そのコピー1部を実習事前指導スクーリング申込み締切日までに、遅くともスクーリング初日までに本学に提出する必要があります。

「麻疹（はしか）」の抗体がないと判断された場合は、医療機関と相談の上、予防接種（ワクチン接種）を受ける等の対策を行ってください。その後、再度抗体検査を受けてください。予防接種を受けたという証明書ではなく、その結果、抗体を有しているという証明書が必要となります。ご注意ください。

「はしか」の抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書のコピーの送付方法

- 1) 事前指導スクーリング申込みハガキと同時に通信教育部に送付してください。
- 2) 同時に送付できない場合は、病院に予約などをしたうえで、申込ハガキ・オモテ面に受診（予定）日を記入し、証明書は事前指導スクーリング初日に持参してください。
- 3) 数値のみではなく、「はしか」の抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書を送付してください。
- 4) 原紙は必ず各自で保管し、実習校から提出を求められたら、いつでも提出できるよ

うにしておいてください。

また、実習中に感染が疑われる症状（37.5度以上の発熱 咳・鼻水などの初期症状など）が出た場合は、実習先および通信教育部教職免許係までご連絡のうえ、欠席をお願いします。医療機関による診察の結果、自身が「麻疹（はしか）」と判明した場合、大至急、実習先および通信教育部までご連絡ください（解熱後3日間外出禁止）。実習先に個人の罹患情報を提供する場合がありますので、ご了承ください。万一、実習先が休校・立ち入り禁止になってしまった場合も、通信教育部までご連絡ください。

▶ 「インフルエンザ」の対策について

p. 201をお読みいただき、対策を行ってください。

特別支援教育支援員概論

科目コード●050771

担当教員●庭野賀津子(左)
鳴海 宏司(右)



2 単位

SR

2 年以上

社会福祉
選択

社会教育
選択B

福祉心理
選択B

科目の内容

特別支援教育支援員を目指している方、あるいはすでに現職にある方に、特別支援教育支援員の業務を遂行する上で必要な基礎知識を学んでいただくための科目です。特別支援教育支援員の心構え、業務内容、特別支援教育、学校現場、各障害の特性等の基礎的事項と支援技術を習得することをねらいとしています。特別支援教育支援員のみならず、教師、保育士、一般の方々にも役立つ内容となっています。

教科書

庭野賀津子編『特別支援教育支援員ハンドブック』日本文化科学社、2010年

レポート課題

1 単位め

教科書第1章をよく読み、特別支援教育支援員に求められる役割と心構えについて、あなたの考えも含めてまとめなさい。

2 単位め

教科書第3章で解説されている8つの障害の中から、特にあなたが興味を持っている障害2つを取り上げ、参考文献も参考にしながら、①障害の特性、②支援をする上で配慮する事項について、まとめなさい。

アドバイス

1 単位め
解説

特別支援教育支援員は教育現場である幼稚園や学校で直接幼児児童生徒の支援に当たる職ですが、教員とは違う役割が求められます。教科書をよく読んで役割や心構えについて知るとともに、自分が特別支援教育支援員になった場合、どのような点について気をつけていきたいかを考えてレポートをまとめてください。すでに現職にある方は自身の経験もふまえながらまとめてみてください。

**2単位め
解説**

教育現場で幼児児童生徒に対して適切な支援を展開していくためには、まずは対象児の障害の特性を知り、支援ニーズに応じた的確な支援方法を考えなければなりません。そのためにも、教科書に記載されてあることをベースとして、さらに参考文献によってより障害についての理解を深めておきましょう。参考文献については第3章の各項の末に挙げられていますが、それ以外の参考図書を用いてもかまいません。なお、レポートの最後には、必ず、参考とした図書名をあげてください。

参考図書

教科書の各章、項の最後に参考図書があげられていますので、それらを参照してください。

通信教育で学ぶことを決意されたみなさまは、多くの本を読み、知識として得たこと、自ら考えたことを「レポート」という形にまとめていくことが、これからの学習活動の中心になります。

この『レポート課題集』は、一般の大学の授業と同じ働きをするものです。その科目で何を学んでほしいかの「科目の内容」、レポート課題に取り組むにあたっての「アドバイス」などには、担当の先生方からみなさまへのメッセージが込められています。

今後学習を進めていくなかで、時には本の内容がまったく頭に入らなかったり、レポート用紙を前に何を書けばよいかととまどったりすることがあるかもしれません。そんなときは、ちょっと一休みしたあと、この『レポート課題集』のなかにある担当の先生方からのアドバイスをもう一度読んで、取り組みやすそうな課題から再び学習を始めてください。

学問とは難しそうに感じることもありますが、人間が考えたことです。必ず理解できるはずです。どうしてもわからないときは、「質問票」を使って担当の先生に質問をすることもできます。

みなさまがこの『レポート課題集』を存分に活用し、学習を順調に進めていかれることを願っています。

レポート課題集

3・4年次配当科目
〔平成23年度版〕

2011年2月20日 初版発行

発行 東北福祉大学通信教育部
〒981-8522 (〒) 仙台市青葉区国見1-8-1
電話 022-233-2211 <http://www.tfu.ac.jp>
印刷・製本 今野印刷株式会社

©Tohoku Fukushi University 2011 Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で複製複製（コピー）することは、著作権法上の例外を除き、禁じられています。

教材購入申込書

注意 新入生は購入の必要はありません。履修登録をすれば新しい教科書が配本されます。

下記教材を購入したく、合計金額の定額小為替 _____ 円を添えて、申込みます。

住 所 〒 _____

氏 名 _____

学籍番号

T

様

コピーして宛名にしますので、消さないでください

希望する教科書の「申込欄」に○を付け、合計金額の定額小為替を同封してください。

科目名	科目コード	書名	出版社名	販売価格	申込欄
法の基礎 (日本国憲法を含む)	050007	福祉のための法学	南窓社	未定	○
医学一般	050079★ 050106◆	新・社会福祉士養成講座1 人体の構造と機能及び疾病 第2版	中央法規出版	2,000円	○
社会保障論	050107	社会保障 第2版 (社会福祉士シリーズ12)	弘文堂	2,300円	○
情報処理 I	050332	学生のためのOffice 2010&情報モラル	noa出版	1,100円	○
臨床心理学	050503	心理臨床の基礎と実践—現代社会の人間理解	樹村房	2,000円	○
認知心理学	050510	間違いだらけの学習論 —なぜ勉強が身につかないか	新曜社	1,700円	○
		わかったつもり —読解力がつかない本当の原因	光文社	700円	○
老年心理学	050517	介護福祉士養成テキストブック10 発達と老化の理解	ミネルヴァ書房	2,600円	○
		介護福祉士養成テキストブック11 認知症の理解	ミネルヴァ書房	2,400円	○
障害者教育総論	050718	特別支援教育概説 改訂版	学芸図書	2,000円	○
知的障害者の心理	050721	図解 知的障害児の認知と学習 —特性理解と援助	田研出版	1,900円	○
聴覚障害教育	050730	視覚・聴覚・言語障害児の医療・療育・教育 改訂2版	金芳堂	2,800円	○
自閉症教育総論	050735	知的障害を伴う自閉児の特別支援教育	日本文化科学社	2,600円	○
視覚障害教育総論	050737	四訂版 視覚障害教育に携わる方のために	慶應義塾大学 出版会	2,800円	○
			合計		円

★印：平成21年度以降入学者のみ履修可
◆印：平成20年度以前入学者のみ履修可

- ・教科書が変わった科目についても、昨年度までの教科書にもとづいて学習することができます。
- ・新教科書の購入の義務はありません。

受付	入金	教材発送

平成 年 月 日

東北福祉大学

学 長 萩野 浩基 殿

学籍番号

		T				
--	--	---	--	--	--	--

氏 名

印

学生の現住所・勤務先 保証人の住所等変更届

今般、下記のとおり 月 日付で住所等（現住所・勤務先・保証人住所）を変更しましたのでお届けいたします。

記

1. 現住所・連絡先変更

新住所（変更のあった箇所のみ記入）			
〒	-	電 話	() -
		F A X	() -
		携帯電話	() -
旧住所			

2. 勤務先変更

新勤務先（変更のあった箇所のみ記入）			
名 称			
住 所	〒	-	電 話 () -

3. 本籍地（都道府県のみ）変更 _____ 都道府県

4. 保証人住所変更

新住所			
ふりがな			
氏 名			
住 所	〒	-	電 話 () -

受 付	学籍簿	O C	返送物

一度折り曲げてから切り離してください

平成23年度 体験学習・次年度実習ガイダンスのみ 申込書 (旧カリキュラム受講者)

※提出締切：各ガイダンス受講日の2週間前までに提出

私は、すでに社会福祉援助技術演習Ⅱを受講し、平成21年3月以前に「体験学習・次年度実習ガイダンス」を受講しました。平成23年度・平成24年度（8月または11月）に実習申込みを希望するため、下記の日程でガイダンス受講を希望します。

学籍番号	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> T </div>	生年月日	昭和 平成	年	月	日	男・女
フリガナ氏名							
住所							
電話番号							

●実習希望届提出予定 (○をつけてください) →平成23年8月末・平成23年11月末・平成24年8月末

社会福祉援助技術演習Ⅰ 開講時のガイダンス			
開講日時	開催地	希望	
7 / 3 (日)	14 : 50 ~ 16 : 10	盛岡	<input type="checkbox"/>
7 / 10 (日)	14 : 40 ~ 16 : 00	仙台	<input type="checkbox"/>
7 / 17 (日)	14 : 50 ~ 16 : 10	郡山	<input type="checkbox"/>
7 / 31 (日)	14 : 40 ~ 16 : 00	仙台	<input type="checkbox"/>
	14 : 40 ~ 16 : 00	札幌	<input type="checkbox"/>
8 / 14 (日)	14 : 50 ~ 16 : 10	川口	<input type="checkbox"/>
8 / 25 (木)	14 : 40 ~ 16 : 00	仙台	<input type="checkbox"/>

社会福祉援助技術演習Ⅰ 開講時のガイダンス			
開講日時	開催地	希望	
12 / 4 (日)	15 : 20 ~ 16 : 40	新潟	<input type="checkbox"/>
H24 1 / 29 (日)	14 : 50 ~ 16 : 10	盛岡	<input type="checkbox"/>
	14 : 50 ~ 16 : 10	東京	<input type="checkbox"/>
H24 2 / 5 (日)	14 : 40 ~ 16 : 00	仙台	<input type="checkbox"/>

社会福祉援助技術演習Ⅱ 開講時のガイダンス			
開講日時	開催地	希望	
11月13日(日)	16 : 10 ~ 17 : 30	仙台	<input type="checkbox"/>

※上記のガイダンスは、すべて同様の内容ですので、いずれか1回お申込みください。

※実習希望届を平成23年8月末に提出する予定の方は、必ず8月末日までのガイダンスを受講してください。

一度折り曲げてから切り離してください

卒業研究ガイダンス・面接指導 申込書

FAX・電子メール可（郵送・FAXの場合はコピーして使用してください）

フリガナ氏名		学籍番号	T
現住所	〒 —	電話	
		FAX	
		携帯	
		Eメール	

■事前相談・2回めガイダンス（指導教員決定前）

取り組んでみたいテーマ（簡単で可）				
第1希望	月	日（ ）	時間	： ～ ：
第2希望	月	日（ ）	時間	： ～ ：
第3希望	月	日（ ）	時間	： ～ ：
指導希望教員（あれば）	先生			

■面接指導（指導教員決定後）

指導教員	先生			
第1希望	月	日（ ）	時間	： ～ ：
第2希望	月	日（ ）	時間	： ～ ：

■連絡事項／相談・質問内容

（記入しないで下さい）	決 定 日		教 員	教員連絡	学生連絡	備 考
	／	／				

一度折り曲げてから切り離してください

【新カリキュラム実習免除者・来年度以降科目等履修生を希望する者用】

「★社会福祉援助技術演習C」スクーリング申込カード

提出日 平成23年 月 日

学 籍 番 号	氏 名
<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px; height: 20px;"></div> <div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px; height: 20px;"></div> T <div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px; height: 20px;"></div> <div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px; height: 20px;"></div> <div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px; height: 20px;"></div>	

※「★社会福祉援助技術演習C-1」と「★社会福祉援助技術演習C-2」をセットでお申込みください

- ① 2分割型希望の方は、1. 「★社会福祉援助技術演習C-1」と2. 「★社会福祉援助技術演習C-2」をそれぞれ選択してお申込みください（4/1申込締切）。
- ② 2日間連続型希望の方は、3 「★社会福祉援助技術演習C-1」「★社会福祉援助技術演習C-2」連続受講の欄に○をつけてください（4/1 or 7/1 or 9/10 or 12/22申込締切）。

①-1. 「★社会福祉援助技術演習C-1」 4コマ

申込締切：平成23年4月1日(金)必着

※開講日を2つまで選択し、第1・2希望のいずれかに必ず○を付けてください。

開 講 日	開 講 地	第1希望	第2希望
4/17(日)	仙 台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5/4(水)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5/15(日)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5/22(日)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

①-2. 「★社会福祉援助技術演習C-2」 4コマ

※開講日を2つまで選択し、第1・2希望のいずれかに必ず○を付けてください。

開 講 日	開 講 地	第1希望	第2希望
9/4(日)	仙 台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10/23(日)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11/20(日)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11/27(日)	札 幌	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	盛 岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	川 口	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	新 潟	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

②-3. 「★社会福祉援助技術演習C-1」「★社会福祉援助技術演習C-2」連続受講 8コマ

申込締切：1回目：平成23年4月1日(金)必着 2回目：7月1日(金)必着 3回目：9月10日(土)必着
4回目：12月22日(木)必着

開 講 日	開 講 地	連続受講希望
7/30(土)・31(日)	仙 台	<input type="radio"/>
平成24年2/4(土)・5(日)		<input type="radio"/>

一度折り曲げてから切り離してください

平成23年度 社会福祉援助技術演習Ⅱ 登録カード

※提出締切①：平成23年3月15日(火) ②：平成23年9月15日(木) 郵送 (FAX不可)・三ツ折可

フリガナ氏名	学籍番号		T		生年月日	昭和 平成	年	月	日	男女																																							
現住所	〒					電話																																											
						FAX																																											
						携帯																																											
勤務先	名称					Eメール																																											
	〒					電話																																											
社会福祉士を取得する理由						受講条件を満たす見込みなので、「社会福祉援助技術演習Ⅱ」スクーリング受講を申込みます。																																											
健康状態	補装具等 無・有 ()					<table border="1"> <thead> <tr> <th>受講日</th> <th>受講地</th> <th>第1希望</th> <th>第2希望</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/21・22</td> <td rowspan="3">仙台</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>6/11・12</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>10/15・16</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">10/22・23</td> <td>札幌</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>盛岡</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>長岡</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>10/29・30</td> <td>仙台</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>11/5・6</td> <td>東京</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>11/12・13</td> <td>仙台</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> </tbody> </table>					受講日	受講地	第1希望	第2希望	5/21・22	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6/11・12	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10/15・16	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10/22・23	札幌	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	盛岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	関東	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	長岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10/29・30	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	11/5・6	東京	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	11/12・13	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
受講日	受講地	第1希望	第2希望																																														
5/21・22	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																														
6/11・12		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																														
10/15・16		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																														
10/22・23	札幌	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																														
	盛岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																														
	関東	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																														
	長岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																														
10/29・30	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																														
11/5・6	東京	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																														
11/12・13	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																														
所持している資格(福祉・教育関連で)						<p>※必ず第2希望までご記入ください。</p> <p>※10月のスクーリングは9/15までに受講条件を満たさないと受講できません。</p>																																											
福祉関係の実践の場の経験について(○をつけてください)	<ol style="list-style-type: none"> 福祉施設に勤務している(していた) 福祉施設に訪問や見学を行った経験がある 福祉施設でボランティア、実習等の経験がある 福祉施設に訪問や希望実習の経験はない 																																																
※経験のある方は、具体的にその施設の種別・内容・期間等をご記入ください。																																																	
◆実習希望先について (○をつけてください)					2 現時点では、施設のあてはない																																												
1 実習受け入れ先を自分で確保できる見込みがある(具体名があげられる方はご記入ください)					希望する場所： 都道県 市周辺																																												
施設名：					希望する施設種別：																																												
施設種別：					3 本学関連施設での実習を希望する																																												
					◆実習希望時期 年 月 ごろ																																												
(記入しないです)	履修登録	学年	履修条件	入金	事前課題	出席	事後課題	総合評価	取消																																								
			可 不可	/	/		/																																										

平成23年度 社会福祉援助技術演習B 登録カード

※提出締切①：平成23年3月15日(火) ②：平成23年9月15日(木) 郵送 (FAX不可)・三ツ折可

フリガナ氏名	学籍番号		生年月日		昭和 平成	年	月	日	男女																																							
現住所	〒 -		電話																																													
			FAX																																													
			携帯																																													
勤務先	名称		Eメール																																													
	〒 -		電話																																													
社会福祉士を 取得する理由			受講判定日までに受講条件を満たす見込みなので、「社会福祉援助技術演習B」スクーリング受講を申込みます。																																													
健康状態	補装具等 無・有 ()		<table border="1"> <thead> <tr> <th>受講日</th> <th>受講地</th> <th>第1希望</th> <th>第2希望</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/21・22</td> <td rowspan="3">仙台</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>6/11・12</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>10/15・16</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">10/22・23</td> <td>札幌</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>盛岡</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>関東</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>長岡</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>10/29・30</td> <td>仙台</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>11/5・6</td> <td>東京</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>11/12・13</td> <td>仙台</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> </tbody> </table>							受講日	受講地	第1希望	第2希望	5/21・22	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6/11・12	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10/15・16	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10/22・23	札幌	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	盛岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	関東	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	長岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10/29・30	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	11/5・6	東京	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	11/12・13	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
受講日	受講地	第1希望	第2希望																																													
5/21・22	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																													
6/11・12		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																													
10/15・16		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																													
10/22・23	札幌	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																													
	盛岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																													
	関東	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																													
	長岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																													
10/29・30	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																													
11/5・6	東京	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																													
11/12・13	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																																													
所持している資格 (福祉・教育関連で)																																																
福祉関係の 実践の場 の経験について (○をつけてください)	1. 福祉施設に勤務している (していた) 2. 福祉施設に訪問や見学を 行った経験がある 3. 福祉施設でボランティア、 実習等の経験がある 4. 福祉施設に訪問や希望実習 の経験はない		※必ず第2希望までご記入ください。 ※10月のスクーリングは9/15までに受講条件を満たさないと受講できません。																																													
※経験のある方は、具体的にその施設の種別・内容・期間等をご記入ください。			◆社会福祉援助技術実習の免除対象者の方は 右欄に○をつけてください。 <input type="checkbox"/>																																													
(実習希望者は、下記をご記入ください) ◆実習希望先について (○をつけてください) 1 実習受け入れ先を自分で確保できる見込みがある (具体名があげられる方はご記入ください) 施設名： 施設種別：			2 現時点では、施設のあてはない 希望する場所： 都道県 市周辺 希望する施設種別： 3 本学関連施設での実習を希望する ◆実習希望時期 年 月ごろ																																													
(記入し ないで 下さい)	履修登録	学年	履修条件	入金	事前課題	出席	事後課題	総合評価	取消																																							
			可 不可	/	/	/																																										

平成23年度 精神保健福祉援助演習 登録カード

※提出締切①：平成23年3月15日(火) ②：平成23年9月15日(木) 郵送 (FAX不可)・三ツ折可

フリガナ氏名		学籍番号	[][] T [][][][]	生年月日	昭和 平成	年 月 日	男女																	
現住所	〒 —			電話																				
				FAX																				
				携帯																				
勤務先	名称			Eメール																				
	〒 —			電話																				
精神保健福祉士を取得する理由 (具体的に)				下記のとおり受講条件を満たしているので、「精神保健福祉援助演習」スクーリング受講を申込みます。期日までにスクーリング事前課題を必ず提出します。																				
健康状態	補装具等 無・有 ()			<table border="1"> <thead> <tr> <th>開講日</th> <th>開催地</th> <th>第1希望</th> <th>第2希望</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/14・15</td> <td rowspan="4">仙台</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>7/9・10</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>10/29・30</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> <tr> <td>11/5・6</td> <td><input type="radio"/></td> <td><input type="radio"/></td> </tr> </tbody> </table>				開講日	開催地	第1希望	第2希望	5/14・15	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7/9・10	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10/29・30	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	11/5・6	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
開講日	開催地	第1希望	第2希望																					
5/14・15	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																					
7/9・10		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																					
10/29・30		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																					
11/5・6		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>																					
所持している資格 (福祉・教育関連で)				※開講日を2つ選択し、第1・2希望のいずれかに必ず○をつけること。																				
精神保健福祉関係の実践の場の経験について (○をつけてください)	1. 施設・病院に勤務している (していた) 2. 施設・病院に訪問や見学を行った経験がある 3. 施設・病院でボランティア、実習等の経験がある 4. 施設・病院に訪問や希望実習の経験はない			◆実習希望先について (○をつけてください) 1 実習受け入れ先を自分で確保できる見込みがある (具体名があげられる方はご記入ください) 実習希望先： 施設種別： 2 現時点では、施設のあてはない 希望する場所： 都道県 市周辺 ◆実習希望時期 年 月 日 ころ																				
※経験のある方は、具体的にその施設の種別・内容・期間等をご記入ください。																								
◆これまでに単位修得した科目に○、現在学習を終え成績通知待ちの科目に△、これから単位修得する予定の科目に×をつけてください (共通科目は①または②を選択)。																								
共通科目 ①新カリキュラム (平成21年度以降入学者)：最低8科目、最大10科目 () 医学一般 () 福祉心理学 () 福祉社会学 ← 3科目中1科目選択可 () 社会福祉原論 () 地域福祉論 () 社会保障論 () 公的扶助論 () 福祉行財政と福祉計画 () 保健医療サービス論 () 福祉法学 ②旧カリキュラム (平成20年度以前入学者)：8科目 () 医学一般 () 福祉心理学 () 福祉社会学 () 社会福祉原論 () 地域福祉論 () 社会保障論 () 公的扶助論 () 福祉法学 専門科目：8科目 (演習・実習科目を除く) () 精神医学 () 精神保健 () 精神科リハビリテーション学 () 精神保健福祉論Ⅰ () 精神保健福祉論Ⅱ () 精神保健福祉論Ⅲ () 精神保健福祉援助技術総論 () 精神保健福祉援助技術各論																								

一度折り曲げてから切り離してください

平成23年度 介護実習 登録カード

郵送 (FAX不可) ・三ツ折可

平成23年度に「介護実習事前事後指導」(23年度入学者は合わせて「介護技術」も)のスクーリング受講を下記のとおり希望します。

7/16~18



2012年1/7~9



平成24年度受講予定



「介護実習」の受講条件を満たす(見込を含む)ので、「介護実習」先依頼に関する書類の送付を希望します。

フリガナ氏名	学籍番号		生年月日	昭和 平成	年	月	日	男女
現住所	〒 -			電話				
				FAX				
				携帯				
勤務先	名称			Eメール				
	〒 -			電話				
教員免許状取得の方法		学歴						
5条別表1 6条別表4		大学卒業 短大卒業 専修学校専門課程卒業 その他						
所持している免許状・資格		社会福祉士・介護福祉士・ホームヘルパー(1級・2級・3級)						
教職免許状		幼・小・中()・高()一種・二種・専修						
介護実習受入れ先		依頼状発行の前提科目の単位修得状況(単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を、他大学で修得済の場合は「他」と記入してください)			福祉科免許状を希望する理由			
1 自分で確保できる見込みがある 予定施設名								
施設種別								
2 現時点では見込みはないが、自分で確保する								
3 本学関連施設での実習を希望								
実習希望時期(予定)		年 月 日						
実習免除希望(ある場合理由の1か2に○を付ける)		下記の理由に該当するので免除を希望						
理由		1 介護福祉士の資格を厚生労働省が指定した大学・短期大学で取得 2 社会福祉士受験資格指定科目「社会福祉援助技術現場実習」を今回本学が認める実習先にて受講(実習施設種別:)						

(記入しないでください)

	履修条件	学年	履修登録	事前課題	入金	出席	評価	免除
5別1 6別4	可保不			/				

一度折り曲げてから切り離してください

平成23・24年度 教育実習 登録カード

郵送 (FAX不可) ・三ツ折可

私は、①将来教職につくことを強く希望しており、②現時点で教育実習先に内諾を得るための依頼状発行のための単位修得を終え、③教育実習受講までに必要な科目の単位修得が見込めるため、高等学校教諭一種免許状 (福祉) の授与に必要な「教育実習」の受講を平成23年または24年中に希望しています。

フリガナ氏名	学籍番号		生年月日		昭和 平成	年	月	日	男女				
現住所	〒		電話										
			FAX										
			携帯										
勤務先	名称		Eメール										
	〒		電話										
教育実習の事前指導スクーリング受講予定 (スクーリングの申込みは別途必要です)													
H23. 3 / 26・27 <input type="radio"/>			H24. 3 / 24・25 <input type="radio"/>										
実習希望時期 (予定)													
H23. 5 ~ H24. 2月 <input type="radio"/>			H24. 5 ~ H25. 2月 <input type="radio"/>										
依頼状発行の前提科目の単位修得状況 (単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を、他大学で修得済の場合は「他」と記入してください)			教育実習受講までに必要な科目の学習計画 (単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を、他大学で修得済の場合は「他」と、未修得の科目はレポートや試験の欄に合格している箇所は○を、提出して結果待ちの科目は△を、これからのものは何月に提出・受験・受講予定かを記入してください)										
科目名	単位数	単位修得済	科目名	単位数	単位修得済	レポート	2	3	4	科目修了試験	スクーリング		
教育原理	4	<input type="radio"/>	法の基礎 (日本国憲法を含む)	4									
教職論	2	<input type="radio"/>	健康科学	2									
教育心理学	2	<input type="radio"/>	コミュニケーション英語	2									
福祉科の指導法	4	<input type="radio"/>	情報処理 I	2									
高齢者福祉論	2 or 4	<input type="radio"/>	高等学校教育課程の意義と編成	2									
児童(・家庭)福祉論	4	<input type="radio"/>	教育方法論 (視聴覚教育等を含む)	2									
障害者福祉論	4	<input type="radio"/>	生徒指導論 (進路指導を含む)	2									
介護概論	2 or 4	<input type="radio"/>	社会福祉原論 (職業指導を含む)	4									
※上記8科目が単位修得済にならないと、この登録カードは提出できません。			H20年度以前入学者 社会福祉援助技術論 I	2									
			H20年度以前入学者 社会福祉援助技術論 III	2									
			H21年度以降入学者 社会福祉援助技術総論	4									
			H21年度入学者 福祉心理学	2									
			H23年度以降入学者 介護技術	2									
			介護実習事前事後指導	1									
			介護実習	2							実習受講 年 月		

(記入しないでください)

	履修条件	学年	履修登録	事前課題	合格	出席	評価	備考
5別1 6別4	可保不			/				

一度折り曲げてから切り離してください

障害者教育実習の事前指導スクーリング受講免除 希望届

私は、将来教職につくことを強く希望しており、現在、または以前に特別支援学校の教員として3カ月以上良好な成績で勤務し、教員としての素質・熱意を有しているため、障害者教育実習受講までに必要な「障害者教育実習の事前・事後指導」事前指導スクーリングの受講免除を希望します。

つきましては、事前指導スクーリング受講免除申請のための書類等の発送をお願いいたします。

フリガナ 氏名	-----				学籍 番号	[][] T [][][][]	生年 月日	昭和 平成	年	月	日	男女			
現住所	〒 -----						電話								
	-----						FAX								
	-----						携帯								
	-----						Eメール								
勤務先	名称														
	〒 -----						電話								
勤務時期	年		月		～	年		月		(年		ヶ月)			
勤務先の主たる領域（複数可）に○をしてください。															
知的障害 ・ 肢体不自由 ・ 病弱 ・ 聴覚障害															
障害者教育実習の事前指導スクーリング受講予定（スクーリングの申込みは別途必要です）															
H23. 3 / 26・27 ○			H23. 7 / 30・31 ○			H24. 3 / 24・25 ○			H24. 8月以降 ○						
実習希望時期（予定）			H23. 10月～ H24. 2月 ○			H24. 5～9月 ○			H25. 10～ H25. 2月 ○						
H23. 5～9月 ○			H23. 10月～ H24. 2月 ○			H24. 5～9月 ○			H25. 10～ H25. 2月 ○						
障害者教育実習受講までに必要な科目の学習計画															
単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を、単位未修得の科目はレポート・科目修了試験・スクーリングの欄に合格している箇所には○を、提出して結果待ちの箇所には△を、これからのものは何月に提出・受験・受講予定かを記入してください。履修不要な科目には「単位修得済」欄に×を記入してください。															
科目名	単位修得済	レポート1	レポート2	レポート3	レポート4	科目修了試験	スクーリング	科目名	単位修得済	レポート1	レポート2	レポート3	レポート4	科目修了試験	スクーリング
障害者教育総論								重複障害教育総論							
知的障害者の心理								(軽度)発達障害教育総論							
知的障害者の生理・病理								視覚障害教育総論							
肢体不自由者の心理、生理・病理								コミュニケーション障害教育							
病弱者の心理、生理・病理								聴覚障害者の心理							
知的障害教育								聴覚障害者の生理・病理							
肢体不自由教育								聴覚障害教育							
病弱教育															

(記入しないでください)

	履修条件	学年	履修登録	課題	合格	備考
教免有無	可保不			/		

平成23・24年度 障害者教育実習 登録カード (新法)

郵送 (FAX不可) ・三ツ折可

私は、①将来教職につくことを強く希望しており、②現時点で障害者教育実習先に内諾を得るための依頼状発行のための単位修得を終え、③障害者教育実習受講までに必要な科目の単位修得が見込めるため、特別支援学校教諭一種免許状の授与に必要な「教育実習」の受講を平成23年または24年中に希望しています。

フリガナ氏名		学籍番号		生年月日	昭和 平成	年 月 日	男女
現住所	〒 -			電話			
				FAX			
				携帯			
勤務先	名称			Eメール			
	〒 -			電話			

障害者教育実習の事前指導スクーリング受講予定 (スクーリングの申込みは別途必要です)

H23. 3/26・27 H23. 7/30・31 H24. 3/24・25 H24. 8月以降

実習希望時期 (予定)

H23. 5～9月 H23. 10月～
H24. 2月 H24. 5～9月 H25. 10～
H25. 2月

障害者教育実習受講までに必要な科目の学習計画

単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を、単位未修得の科目はレポート・科目修了試験・スクーリングの欄に合格している箇所には○を、提出して結果待ちの箇所には△を、これからのものは何月に提出・受験・受講予定かを記入してください。履修不要な科目には「単位修得済」欄に×を記入してください。指定4科目の単位修得済を確認後、内諾を得るための依頼状を発行します。

科目名	単位修得済	レポート1	レポート2	レポート3	レポート4	科目修了試験	スクーリング	科目名	単位修得済	レポート1	レポート2	レポート3	レポート4	科目修了試験	スクーリング
障害者教育総論								重複障害教育総論							
知的障害者の心理								(軽度)発達障害教育総論							
知的障害者の生理・病理								視覚障害教育総論							
肢体不自由者の心理、生理・病理								コミュニケーション障害教育							
病弱者の心理、生理・病理								聴覚障害者の心理							
知的障害教育								聴覚障害者の生理・病理							
肢体不自由教育								聴覚障害教育							
病弱教育															

所持している教職免許状

幼・小・中 (教科名) ・ 高 (教科名) 一種・二種・専修

実習希望校との関係

現時点ではない 上司・同僚の紹介予定 希望校の教職員を知っている その他

(記入しないでください)

	履修条件	学年	履修登録	事前課題	合格	出席	評価	備考
教免有 無	可 保 不			/				

平成23・24年度 障害児教育実習 登録カード (旧法)

郵送 (FAX不可) ・三ツ折可

私は、①将来教職につくことを強く希望しており、②現時点で障害児教育実習先に内諾を得るための依頼状発行のための単位修得を終え、③障害児教育実習受講までに必要な科目の単位修得が見込めるため、特別支援学校教諭一種免許状の授与に必要な「教育実習」の受講を平成23年または24年中に希望しています。

フリガナ氏名	学籍番号	生年月日	昭和 平成	年 月 日	男女
〒 -			電話		
現住所			FAX		
			携帯		
勤務先	名称		Eメール		
	〒 -				
			電話		

障害児教育実習の事前指導スクーリング受講予定 (スクーリングの申込みは別途必要です)

H23. 3 / 26・27 <input type="checkbox"/>	H23. 7 / 30・31 <input type="checkbox"/>	H24. 3 / 24・25 <input type="checkbox"/>	H24. 8月以降 <input type="checkbox"/>
実習希望時期 (予定)			
H23. 5～9月 <input type="checkbox"/>	H23. 10月～ H24. 2月 <input type="checkbox"/>	H24. 5～9月 <input type="checkbox"/>	H25. 10～ H25. 2月 <input type="checkbox"/>

障害児教育実習受講までに必要な科目の学習計画
 単位修得済の科目は「単位修得済」欄に○を、単位未修得の科目はレポート・科目修了試験・スクーリングの欄に合格している箇所には○を、提出して結果待ちの箇所には△を、これからのものは何月に提出・受験・受講予定かを記入してください。履修不要な科目には「単位修得済」欄に×を記入してください。指定3科目の単位修得済を確認後、内諾を得るための依頼状を発行します。

科目名	単位修得済	レポート 1単位め	2単位め	3単位め	4単位め	科目修了試験	スクーリング
障害児教育 I							
障害児教育 II							
障害児の指導法							
障害児の心理							
障害児の生理・病理							
障害児の教育課程							

所持している教職免許状

幼・小・中 (教科名) ・高 (教科名) 一種・二種・専修

実習希望校との関係 現時点ではない 上司・同僚の紹介予定 希望校の教職員を知っている その他

(記入しないでください)

	履修条件	学年	履修登録	事前課題	合格	出席	評価	備考
教免有 無	可 保 不			/				

一度折り曲げてから切り離してください

社会福祉援助技術現場実習指導（旧カリキュラム受講者）

事前 指導スクーリング申込カード

提出日 平成23年 月 日

学 籍 番 号	氏 名
□□ T □□□□□	

下記のスクーリング受講を申込みます。受講前に事前課題を、受講後に事後課題を行ったうえで、実習にのぞみます。

◆社会福祉援助技術現場実習指導（事前） 4コマ

対 象：2011年6/27～12/25の間に実習受講の方

申込締切：平成23年4月1日(金)必着

※開講日を2つ選択し、第1・2希望のいずれかに必ず○を付けてください。

開 講 日	開 講 地	第1希望	第2希望
4/16(土)	仙 台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5/3(火)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5/14(土)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5/21(土)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6/25(土)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

◆社会福祉援助技術現場実習指導（事前） 4コマ

対 象：2012年2/1～7/10の間に実習受講の方

申込締切：平成23年9月16日(金)必着

※開講日を2つ選択し、第1・2希望のいずれかに必ず○を付けてください。

開 講 日	開 講 地	第1希望	第2希望
11/5(土)	仙 台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12/17(土)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【科目情報】

科 目 名	コード	受講料	コマ数	S単位
社会福祉援助技術現場 実習指導	050132	10,000円	事前3 + 事後3	1

精神保健福祉援助実習

事前指導スクーリング申込カード

提出日 平成23年 月 日

学籍番号	氏名
<input type="text"/> <input type="text"/> T <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	<input type="text"/>

下記のスクーリング受講を申込みます。受講前に事前課題を、受講後に事後課題を行ったうえで、実習にのぞみます。

■精神保健福祉援助実習指導（事前） 3コマ

対象：2011年7/1～12/25の間に実習受講の方

申込締切：平成23年4月1日(金)必着

※開講日を2つ選択し、第1・2希望のいずれかに必ず○を付けてください。

開講日	開講地	第1希望	第2希望
5/22(日)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6/5(日)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7/3(日)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

■精神保健福祉援助実習指導（事前） 3コマ

対象：2012年2/1～7/10の間に実習受講の方

申込締切：平成23年9月16日(金)必着

※開講日を両方選択し、第1・2希望のいずれかに必ず○を付けてください。

開講日	開講地	第1希望	第2希望
11/20(日)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12/18(日)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【科目情報】

科目名	コード	受講料	コマ数	S単位
精神保健福祉援助実習 (事前指導)	050902	10,000円	事前3 + 事後5	1

[同一年度実習申込者はコピーして使用してください]

一度折り曲げてから切り離してください

社会福祉援助技術現場実習指導（旧カリキュラム受講者）

事後指導スクーリング申込カード

提出日 平成23年 月 日

学 籍 番 号	氏 名
<div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> T <div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px; height: 20px; margin-right: 5px;"></div> <div style="border: 1px dashed black; display: inline-block; width: 20px; height: 20px;"></div>	

社会福祉援助技術現場実習終了予定なので、実習事後指導スクーリングを申込みます。受講前に実習レポートを提出します。

◆社会福祉援助技術現場実習指導（事後） 3コマ

対 象：2011年2／1～7／10の間に実習受講の方。

申込締切：平成23年4月8日(金)必着

※必ず両方の開講日程について第1・2希望のいずれかに○を付けてください。

開講日程	開 講 地	第1希望	第2希望
6／12(日)	仙 台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9／3(土)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

◆社会福祉援助技術現場実習指導（事後） 3コマ

対 象：2011年6／27～12／25の間に実習受講し、規程年限以上在学して3月卒業を希望する方対象。

申込締切：9月3日・10月22日受講希望者：平成23年7月15日(金)必着

上記日程以外の受講希望者：平成23年9月30日(金)必着

※必ず2つの開講日程について第1・2希望のいずれかに○を付けてください。

開講日程	開 講 地	第1希望	第2希望
9／3(土)	仙 台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10／22(土)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11／19(土)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11／26(土)	札 幌	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	盛 岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	川 口	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	新 潟	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
平成24年1／7(土)	仙 台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

精神保健福祉援助実習

事後指導スクーリング申込カード

提出日 平成23年 月 日

学籍番号	氏名
□□ T □□□□□	

精神保健福祉援助実習終了予定なので、実習事後指導スクーリングを申込みます。受講前に実習レポートを提出します。

■精神保健福祉援助実習指導（事後） 5コマ

対象：2011年2/1～7/10の間に実習受講の方、および2011年7/1～8月第2週の間に実習を受講し
規程修業年限以上在学して9月卒業を希望する方。

申込締切：平成23年4月8日(金)必着

※必ず両方の開講日程について第1・2希望のいずれかに○を付けてください。

開講日程	開講地	第1希望	第2希望
7/9(土)・10(日)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9/10(土)・11(日)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

■精神保健福祉援助実習指導（事後） 5コマ

対象：2011年7/1～12/25の間に実習受講し、規程年限以上在学して3月卒業を希望する方対象。

申込締切：平成23年9月30日(金)必着

※必ず両方の開講日程について第1・2希望のいずれかに○を付けてください。

開講日程	開講地	第1希望	第2希望
12/3(土)・4(日)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2/4(土)・5(日)		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

一度折り曲げてから切り離してください

[同一年度実習申込者はコピーして使用してください]

郵便はがき

9 8 1 8 5 2 2

仙台市青葉区国見一―八―一

東北福祉大学通信教育部

実習指導A

スクーリング係 御中

50円切手を
貼付して
下さい。

一度折り曲げてから切り離してください

実習指導Aスクーリング受講申込ハガキ

投 函 日

/

申 込 日 控

差 出 人	住	〒	—
	所		
	氏名		

実習指導Aスクーリング受講申込書

学 籍 番 号

<input type="text"/>	<input type="text"/>	T	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

氏 名

氏名バーコード
貼 付 欄

(6桁のバーコード貼付でも可)

下記のスクーリング受講を申込みます。実習が許可にならなかった際は受講ができないことを了承します。

科 目 名	受講料	コマ数
社会福祉援助技術実習指導A	今回は不要	4

開 講 日	開講場所	第1希望	第2希望
平成24年3月3日(土)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	盛岡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
平成24年3月4日(日)	新潟	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
平成24年3月10日(土)	関東	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
平成24年3月17日(土)	仙台	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	札幌	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
平成24年4月1日(日)	仙台	<input type="radio"/>	平成24年度科目等履修生として実習受講予定者・および復学者専用

申込締切

11月30日(水) 必着

(24/11/30希望者は
24/2/20日)

4/1希望者を除き、必ず第2希望まで記入してください。
11月末の実習申込と同時に提出してください。

郵便はがき

9 8 1 8 5 2 2

仙台市青葉区国見

一 一 八 一 一

東北福祉大学

通信教育部

教職免許係 御中

50円切手を
貼付して
下さい。

スクーリング申込ハガキ

一度折り曲げてから切り離してください

投 函 日

/

申 込 日 控

差 出 人	住 所	〒 ー
	氏 名	
はしかの抗体 検査受診日		証明書あり（同封・別送）
いずれかに○を付けて 月日を記入してください		受診済 月 日（ ）
		受診予定 月 日（ ）

投 函 日
/

申 込 日 控

教育実習 事前指導スクーリング受講申込書

学 籍 番 号

		T							
--	--	---	--	--	--	--	--	--	--

氏 名

--	--

氏名バーコード
貼 付 欄
(6桁のバーコード貼付でも可)

下記の事前指導スクーリング受講を申込みます。

《特別支援学校》

科 目 名	コード	受講料	コマ数	S単位
障害児教育実習の事前・事後指導 (旧法)	050716	10,000円	8	1
障害者教育実習の事前・事後指導 (新法)	050740			

■平成23年度 障害者 (児) 教育実習受講予定の方

開 講 日	開催地	申込み欄		申込締切
		旧法	新法	
H23 7 / 30・31	仙台	○	○	H23 7 / 6 必着

■平成24年度 障害者 (児) 教育実習受講予定の方

開 講 日	開催地	申込み欄		申込締切
		旧法	新法	
H24 3 / 24・25	仙台	○	○	H24 3 / 1 必着

《高等学校 (福祉科) 》

科 目 名	コード	受講料	コマ数	S単位
教育実習の事前事後指導	050710	10,000円	8	1

■平成24年度 教育実習受講予定の方

開 講 日	開催地	申込み欄	申込締切
H24 3 / 24・25	仙台	○	H24 3 / 1 必着

○受講条件を満たす見込みになってから、締切日必着でお申込みください。
○「はしかの抗体を有する旨の医師の文言の入った証明書」のコピーを同封してください。
同封できない場合は、オモテ面に受診 (予定) 日を記入してください。

